

令和5年度
区のイメージに関するアンケート調査分析
報告書
（無作為抽出調査、区報・ウェブサイト等での
周知による調査）

墨 田 区

令和5年度
区のイメージに関するアンケート調査分析
報告書
（無作為抽出調査）

墨 田 区

目次

第1章 はじめに.....	1
1. 調査実施概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の実施方法	1
(3) 調査項目	1
(4) 回収状況	2
(5) 調査結果の集計と分析について	2
(6) 分析の視点	3
第2章 調査の結果	5
1. 回答者の基本属性	5
(1) 調査結果	5
2. 墨田区の基本構想について	9
(1) 調査結果概要	9
(2) 調査結果	11
3. 現在の区のイメージと今後の区に期待するイメージについて	60
(1) 調査結果概要	60
(2) 調査結果	61
4. 区への満足点、不満足点等について	73
(1) 調査結果概要	73
(2) 調査結果	74
5. 地域課題の解決やまちづくりへの区民参加について	89
(1) 調査結果概要	89
(2) 調査結果	89
6. 区が取り組むべきことへの意見・要望について	111
(1) 調査結果	111

第1章 はじめに

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、次期基本構想の策定に活用することを目的に、まちづくりの方向性や区の様々な取り組み等について広く区民の意見や意向を把握するため、満18歳以上の墨田区民から無作為に抽出した3,000人を対象として実施した。

(2) 調査の実施方法

対象地域：墨田区全域

調査対象：墨田区内に居住する満18歳以上の区民3,000人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配布、郵送・インターネット回答を併用して回収

調査期間：令和5年8月18日～令和5年9月8日

(3) 調査項目

調査項目は以下の通りである。

基本属性	F1	満年齢
	F2	性別
	F3	居住年数
	F4	居住地域
	F5	居住形態
	F6	世帯構成
	F7	配偶者の有無
	F8	家族形態(子ども、高齢者の居住の有無)
	F9	職業
	F10	国籍
基本構想について	問1	「歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する」ことができているか
	問2	「特色ある、多彩な魅力や個性を発信する」ことができているか
	問3	「水と緑を活かした、美しい景観をつくる」ことができているか
	問4	「多様な都市機能が調和したまちをつくる」ことができているか
	問5	「人々が交流できる、利便性が高いまちをつくる」ことができているか
	問6	「誰もが安全・快適に暮らし、移動できるまちをつくる」ことができているか
	問7	「活力ある、新たな産業の創出を図る」ことができているか
	問8	「楽しく時間を過ごせる、こだわりをもった商業・サービス業の集積を進める」ことができているか
	問9	「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる」ことができているか
	問10	「災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる」ことができているか
	問11	「すべての人がいきいきと生活できるしくみをつくる」ことができているか
	問12	「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる」ことができているか

	問 13	「豊かな人間性をもった子どもたちが健やかに育つしくみをつくる」ことができているか
	問 14	「地球にやさしい、環境への負荷の少ないまちとしくみをつくる」ことができているか
	問 15	「人と人とのつながりの強い、地域力の高いまちをつくる」ことができているか
	問 16	「多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる」ことができているか
	問 17	区が基本構想を策定していること及びその内容について以前から知っていたか
区のイメージについて	問 18.1	現在の区のイメージについて
	問 18.2	今後期待する区のイメージについて
区への満足点等について	問 19.1	区に満足している点のキーワード
	問 19.2	区に不満足である点のキーワード
	問 19.3	区がより一層魅力的になるためのキーワード
区民参加	問 20①	区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験
	問 20②	区と協力して地域課題の解決やまちづくりを進める重要性
	問 20③	地域課題の解決やまちづくりへの参加意向
	問 20③-1	地域課題の解決やまちづくりへ参加したいと思わない理由
	問 20④	参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式
その他	その他	墨田区をよりよいまちにするために区が取り組むべきことについての意見・要望(自由記述)

※本調査は、墨田区庁舎及び墨田リバーサイドホールに関するアンケート調査と一体で実施した。

(4) 回収状況

有効回収数：744 人（内訳：郵送回答 394 人、インターネット回答 350 人）

回収率：24.8%

(5) 調査結果の集計と分析について

① 留意事項

- ・ 図表中の n とは、各設問の回答者総数のことである。
- ・ 百分率は n を 100% として算出し、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示した。このため、百分率の合計が 100% にならない場合や合計と一致しない場合がある。
- ・ 読みやすさの観点から、回答割合が 1 % 未満のデータラベルを削除している場合がある。
- ・ 報告書中の SA は単一回答の、MA は複数回答のことである。
- ・ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化や補足している場合がある。特にクロス集計については、選択肢の簡略表記を使用しているほか、選択肢が多い場合には、無回答を除く上位 5 位までの記載としている場合がある。

② 標本誤差

本調査のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがある。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出される。なお、信頼度は 95% として算出する。

差は以下の式によって算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N=母集団数（満 18 歳以上の墨田区民） n=回答者数 P=回答比率（0 ≤ P ≤ 1）

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものは以下の表のとおりである。例えば、ある設問の回答者数（n）が 744 人であり、その設問中の選択肢の回答比率（P）が 30%であった場合、その回答比率の誤差は±3.4%となり、26.6%～33.4%の範囲にあると考えられる。

回収数	回答率					
	50%	40%又は 60%	30%又は 70%	20%又は 80%	10%又は 90%	5%又は 95%
1,000	3.2%	3.1%	2.9%	2.5%	1.9%	1.4%
744	3.7%	3.6%	3.4%	2.9%	2.2%	1.6%
500	4.5%	4.4%	4.1%	3.6%	2.7%	1.9%
250	6.3%	6.2%	5.8%	5.1%	3.8%	2.8%
100	10.0%	9.8%	9.2%	8.0%	6.0%	4.4%
50	14.1%	13.9%	13.0%	11.3%	8.5%	6.2%

（6）分析の視点

- ・ 分析は、必要に応じて基本属性ごと（年齢、居住地域、居住年数、世帯構成、性別など）にクロス集計を行った
- ・ 各クロス項目で「無回答」とした回答は、回答者が少なく標本誤差が大きいことから、クロス集計では「無回答」の集計軸は表示しないこととする。同様に、n 値が 50 以下の軸は標本誤差が大きいことから、他の選択肢と合わせた軸で集計を行うか、他の選択肢を合わせることが適さない場合には、この軸でのクロス集計結果は表示しないか参考値として表示する。
- ・ 年齢について、「10 代」の回答者数が少ないことから、「20 代」と合わせて、「10 代、20 代」として集計している。
- ・ 性別について、「その他・答えたくない」の回答者数が少なく標本誤差が大きいこと、ほかの選択肢に合わせることに適さないことから、この軸でのクロス集計は表示しないこととする。
- ・ 世帯構成について、「三世代世帯」の回答者数が少ないことから、「その他」と合わせて、「その他」として集計している。
- ・ 職業について、「経営者」、「学生」の回答者数が少ないことから、「その他」と合わせて、「その他」として集計している。
- ・ 居住地域については区内を以下の 6 地区に区分して分析している。

地区名	該当する町丁目
1. 堤通・墨田・八広地域	堤通2丁目、墨田1～5丁目、八広1～6丁目、東向島4～6丁目
2. 向島・京島・押上地域	堤通1丁目、京島1～3丁目、押上1～3丁目、東向島1～3丁目、向島1～5丁目
3. 東墨田・立花・文花地域	東墨田1～3丁目、立花1～6丁目、文花1～3丁目
4. 吾妻橋・本所・両国地域	吾妻橋1～3丁目、東駒形1～4丁目、本所1～4丁目、石原1～4丁目、横網1・2丁目、亀沢1～4丁目、両国1～4丁目
5. 業平・錦糸・江東橋地域	業平1～5丁目、横川1～5丁目、太平1～4丁目、錦糸1～4丁目、江東橋1～4丁目
6. 緑・立川・菊川地域	菊川1～3丁目、立川1～4丁目、緑1～4丁目、千歳1～3丁目、江東橋5丁目

第2章 調査の結果

1. 回答者の基本属性

(1) 調査結果

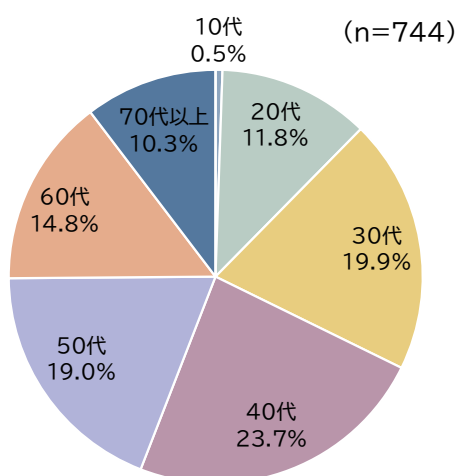
① 満年齢

年齢は、「40代」の割合が最も高く 23.7% である。次いで、「30代 (19.9%)」、「50代 (19.0%)」である。

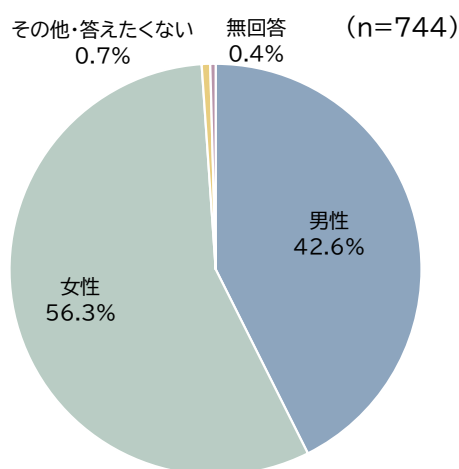
② 性別

性別は、「女性 (56.3%)」、「男性 (42.6%)」である。

図表 1 満年齢 (SA)



図表 2 性別 (SA)



③ 居住地域

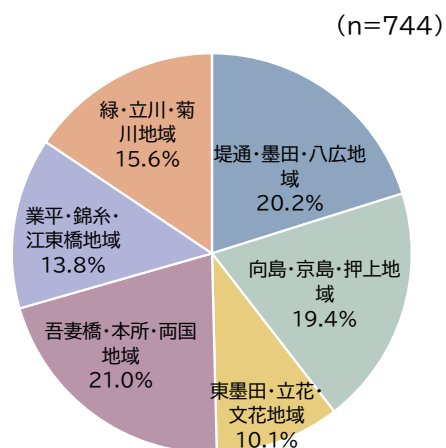
居住地域は「吾妻橋・本所・両国地域」の割合が最も高く 21.0%である。次いで、「堤通・墨田・八広地域 (20.2%)」、「向島・京島・押上地域 (19.4%)」である。

④ 居住年数

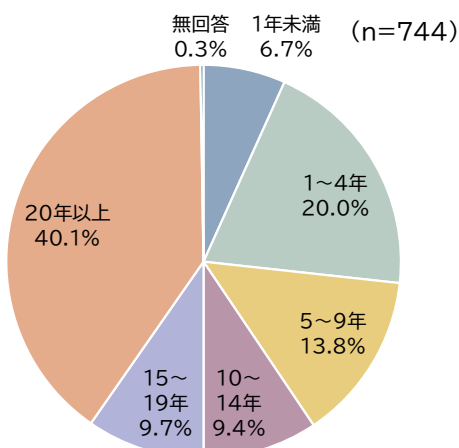
1) 全体

居住年数は「20年以上」の割合が最も高く 40.1%である。次いで、「1～4年 (20.0%)」、「5～9年 (13.8%)」である。

図表 3 居住地域 (SA)



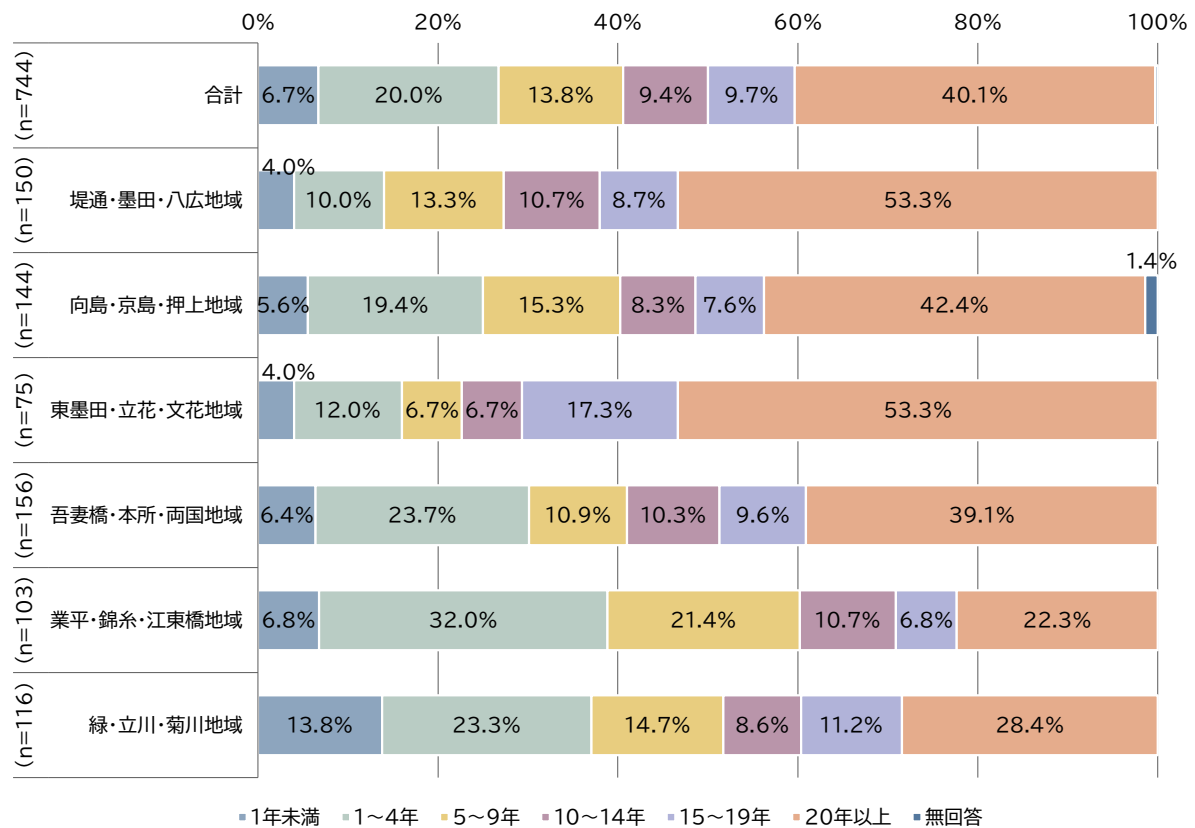
図表 4 居住年数 (SA)



2) 居住地域別

居住地域別でみると、居住年数が「20 年以上」の割合が、「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」で合計よりも高く、「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」で合計よりも低い。居住年数が「1 年～4 年」、「5 年～9 年」の割合が、「業平・錦糸・江東橋地域」で合計よりも高い。

図表 5 居住年数（居住地域別・SA）

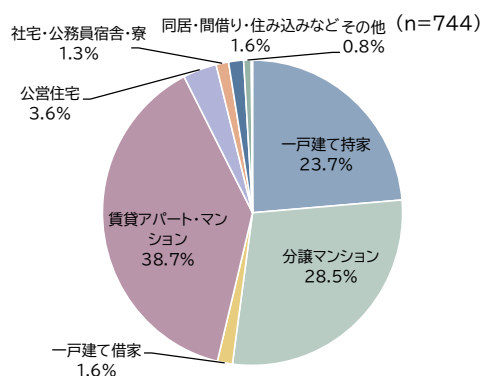


⑤ 居住形態

居住形態は「賃貸アパート・マンション」の割合が最も高く 38.7%である。次いで、「分譲マンション (28.5%)」、「一戸建て持家 (23.7%)」である。

「その他」の回答として、「自社ビル・マンション」、「親族の持ち家・マンション」等が挙げられた。

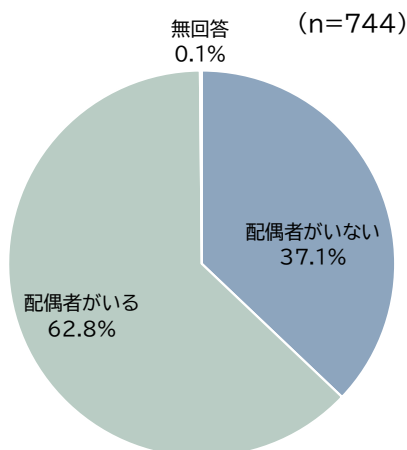
図表 6 居住形態 (SA)



⑦ 配偶者の有無

「配偶者がいる」の割合は 62.8%である。

図表 8 配偶者の有無 (SA)

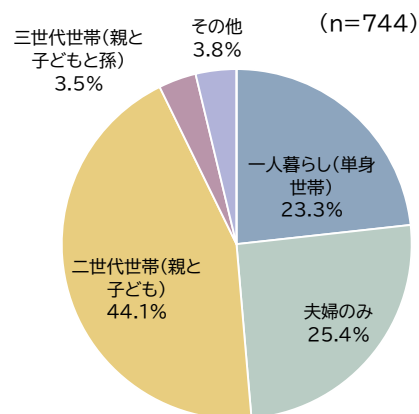


⑥ 世帯構成

世帯構成は「二世世代世帯 (親と子ども)」の割合が最も高く 44.1%である。次いで、「夫婦のみ (25.4%)」、「一人暮らし (単身世帯) (23.3%)」である。

「その他」の回答として、「ルームシェア」、「姉・兄」等が挙げられた。

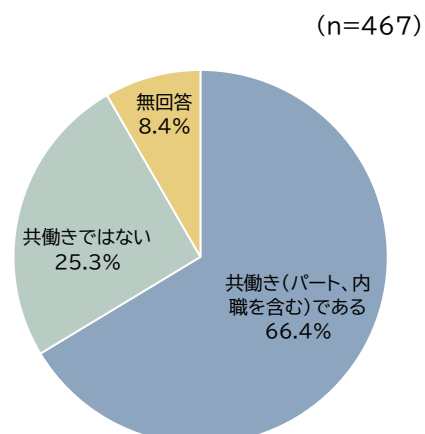
図表 7 世帯構成 (SA)



⑧ 共働きかどうか

配偶者がいる場合の共働きか否かの回答は、「共働き (パート、内職を含む) である」割合が 66.4%である。

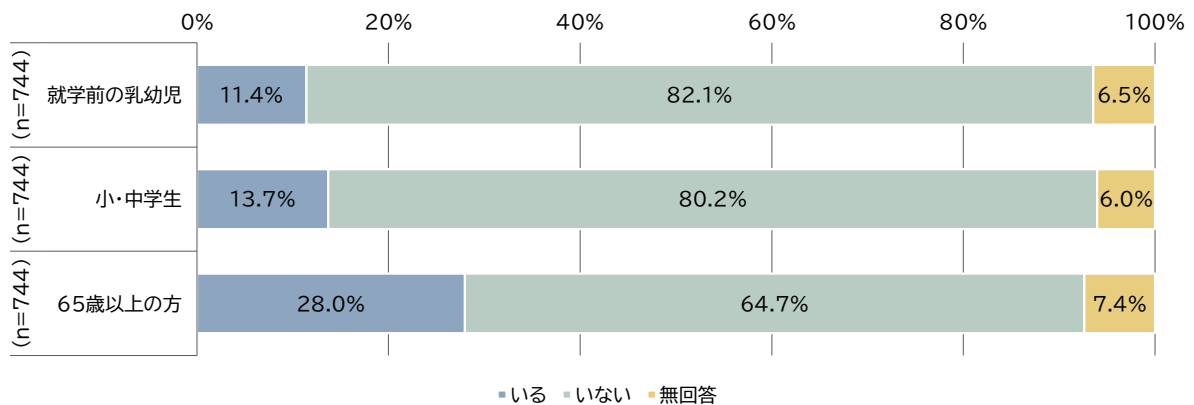
図表 9 共働き世帯の割合 (SA)



⑨ 家族形態

家族形態は、「就学前の乳幼児」がいる世帯が 11.4%、「小・中学生」がいる世帯が 13.7%、「65 歳以上の方」がいる世帯が 28.0%である。

図表 10 家族形態（就学前の乳幼児、小・中学生、65 歳以上の方の有無・SA）



⑩ 職業

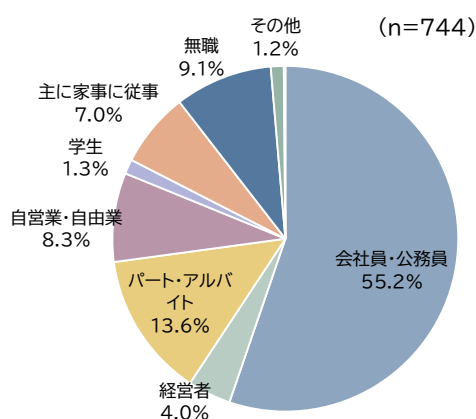
職業は「会社員・公務員」の割合が最も高く 55.2%である。次いで、「パート・アルバイト (13.6%)」、「無職 (9.1%)」である。

その他の回答として「医師・看護師」や「派遣社員」等が挙げられた。

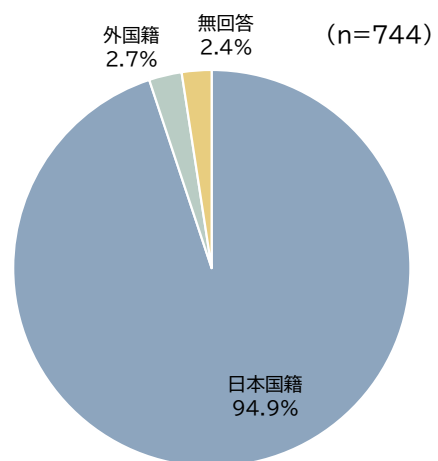
⑪ 国籍

国籍は「日本国籍 (94.9%)」、「外国籍 (2.7%)」である。

図表 11 職業 (SA)



図表 12 国籍 (SA)

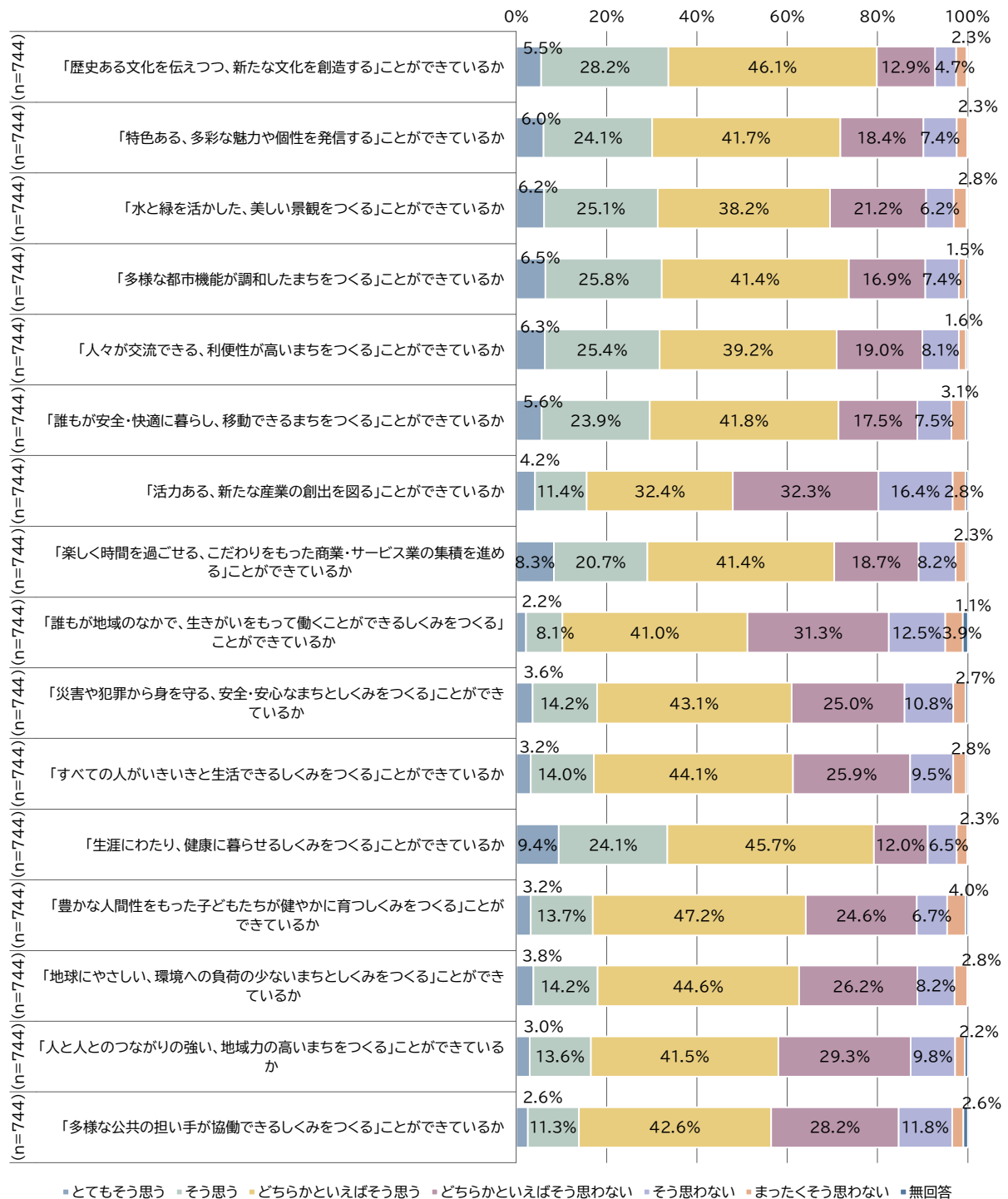


2. 墨田区の基本構想について

(1) 調査結果概要

- ◆ 現在の区の基本構想 16 項目の実現について、達成できていると思うとする回答割合（「とてもそう思う」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合）が高い項目は、「歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する（79.8%）」、「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる（79.2%）」、「多様な都市機能が調和したまちをつくる（73.7%）」である。（p.10 図表 13）
- ◆ 一方で、達成できていると思うとする回答割合が低い項目は、「活力ある、新たな産業の創出を図る（48.0%）」、「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる（51.2%）」、「多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる（56.5%）」である。（p.10 図表 13）
- ◆ また、年齢別では「多様な都市機能が調和したまちをつくる」、「楽しく時間を過ごせる、こだわりをもった商業・サービス業の集積を進める」、「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる」は、年齢が上がるにつれ達成できていると思うとする回答割合が減少している。（p.19 図表 24、p.28 図表 36、p.30 図表 39）
- ◆ 区が基本構想を策定していること及びその内容の認知状況について、「基本構想があることも内容についても知らなかった。」とする回答割合が約 7 割を占め、「基本構想があることを知っており、その内容についても知っていた」は 3.4%にとどまる。（p.57 図表 71）

図表 13 区の基本構想 16 項目について、実現できていると思うかどうか（SA）



(2) 調査結果

基本目標1 「「すみだ」らしさの息づくまちをつくる」について

(将来像)

- ✓ 江戸から受け継がれている「すみだ」に関わる歴史や文化が再発見されるとともに守り伝えられ、その時々ニーズをとらえた形で国の内外に発信されている。
- ✓ 歴史によって培われた文化や、隅田川をはじめとする豊かな水辺、まちの雰囲気、人とのふれあい、ものづくりの技など、区民が誇りと愛着をもてる「すみだ」の魅力によって、多くの人々が訪れる、にぎわいのあるまちになっている。

<基本目標1 小まとめ>

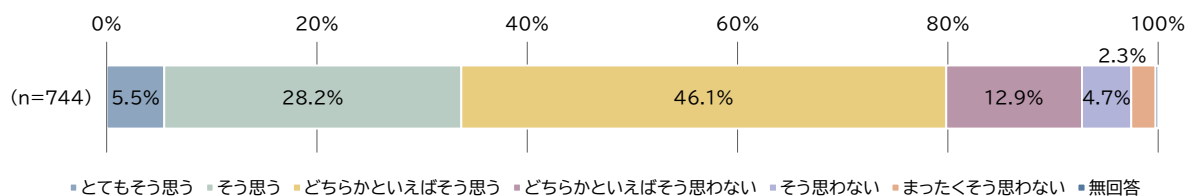
- ◆ 基本目標1で達成できていると思うとする回答割合（「とてもそう思う」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合）は、「歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する」が79.8%であり、最も高い。（p.11 図表14）

① 「歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する」ことができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約8割である。

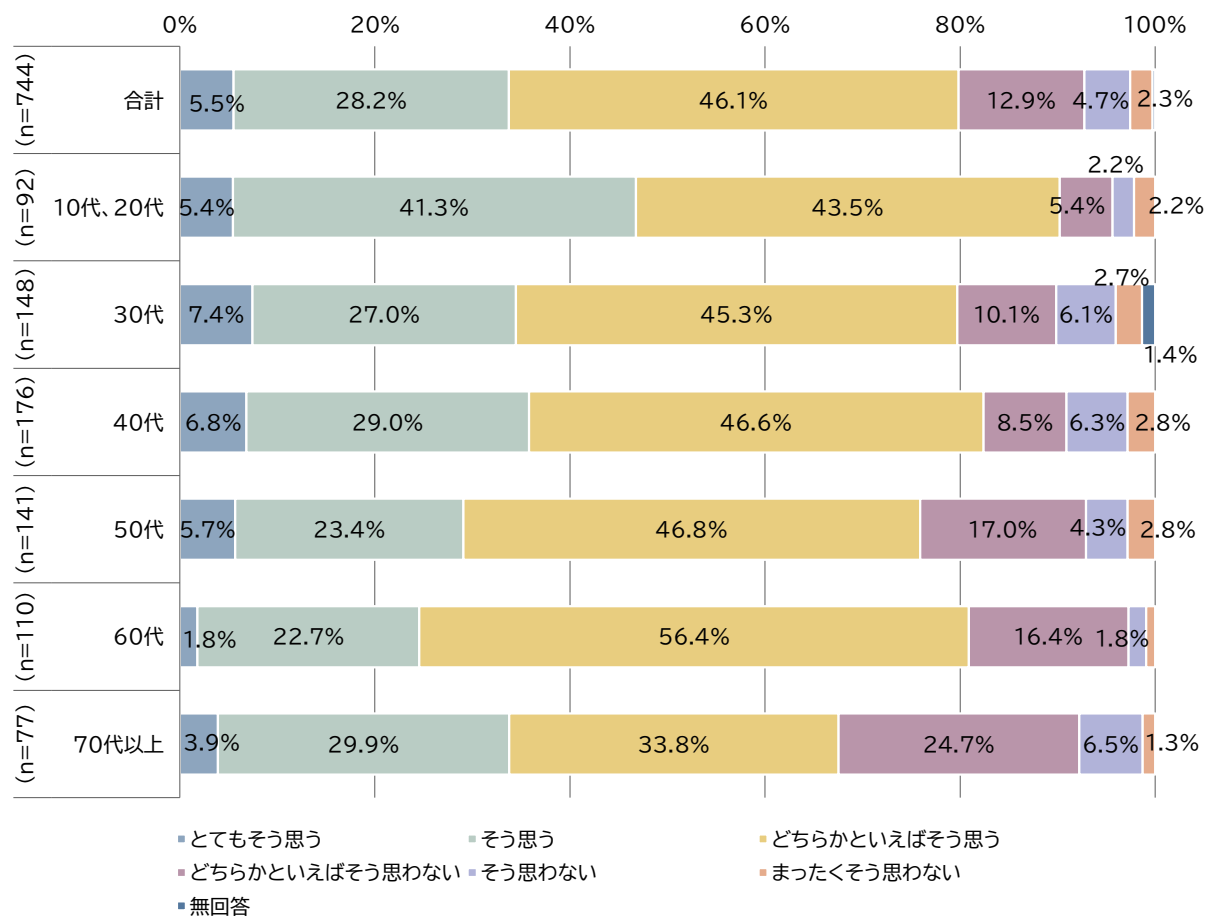
図表 14 「歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する」ことができていると思うか（SA）



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10代、20代」、最も低いのは「70代以上」である。「60代」で「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、「10代、20代」で「そう思う」の割合が高い。「70代以上」で「どちらかといえばそう思う」の割合が低く、「どちらかといえばそう思わない」の割合が高い。

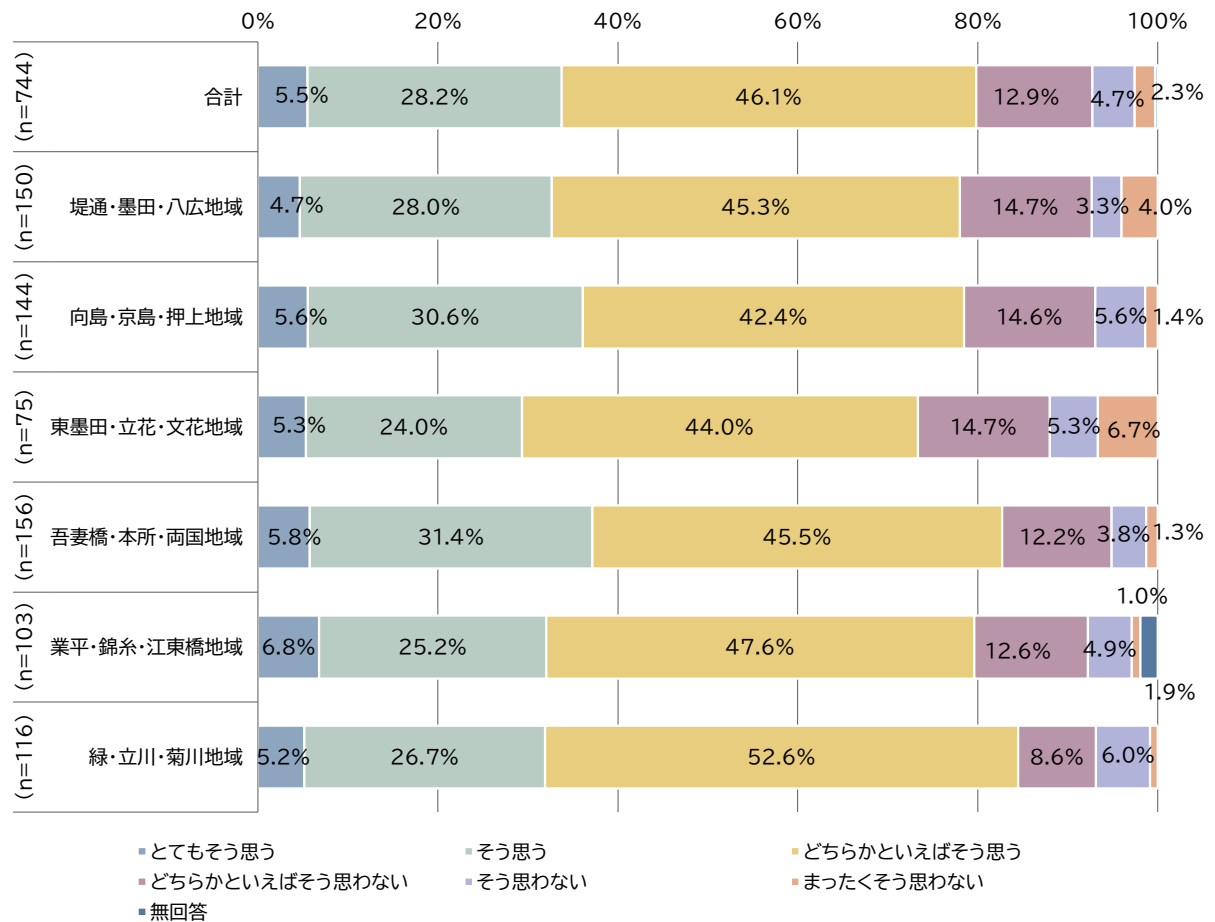
図表 15 「歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する」ことができていると思うか
(年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、いずれの地域でも達成できていると思う割合が7割以上を占める。
地域別の傾向には明確な差は認められない。

図表 16 「歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する」ことができていると思うか
(居住地域別・SA)

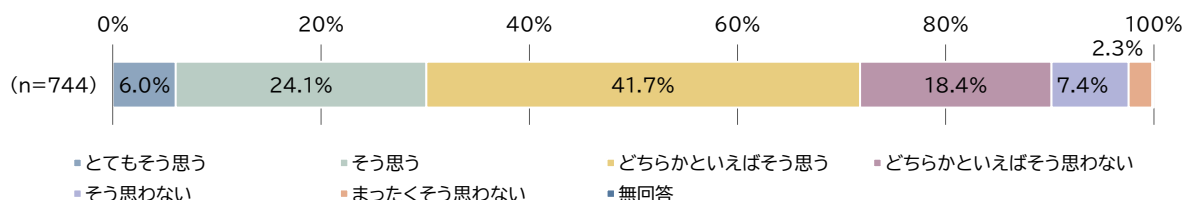


② 「特色ある、多彩な魅力や個性を発信する」ことができると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約7割である。

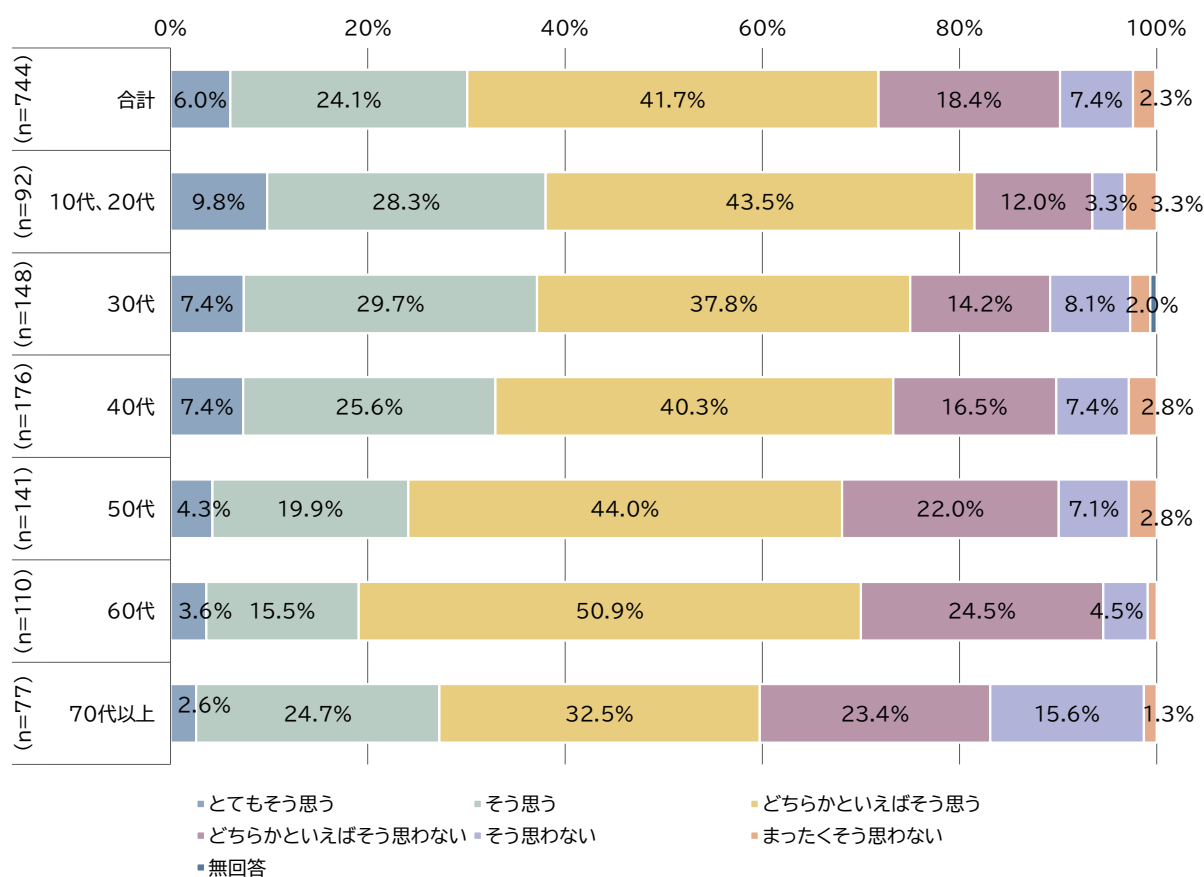
図表 17 「特色ある、多彩な魅力や個性を発信する」ことができると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10代、20代」、最も低いのは「70代以上」である。「60代」で「どちらかといえばそう思う」の割合が合計よりも高く、「70代以上」で「どちらかといえばそう思う」の割合が合計よりも低い。また、「とてもそう思う」の割合は年齢が上がるにつれて減少している。

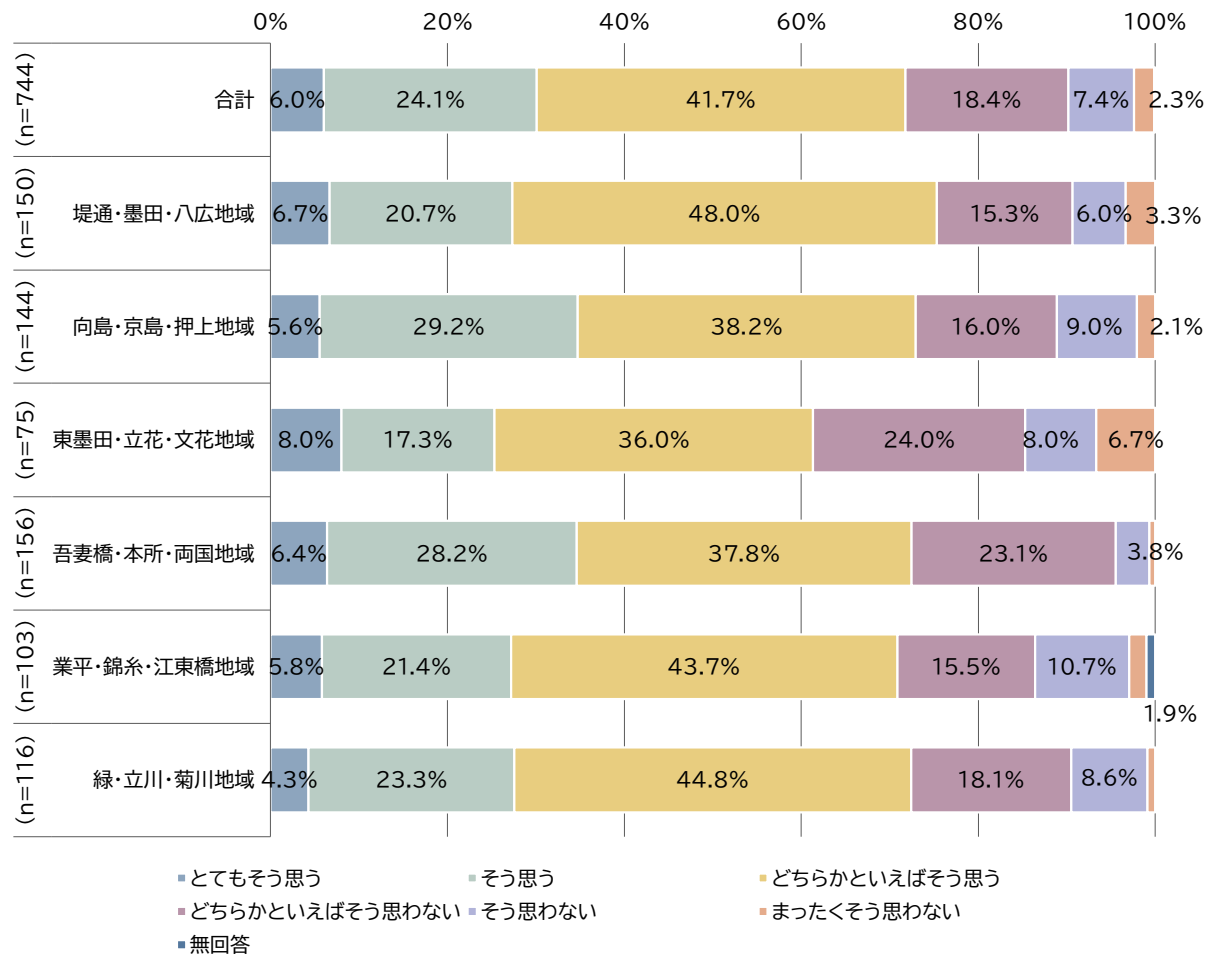
図表 18 「特色ある、多彩な魅力や個性を発信する」ことができると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、いずれの地域でも達成できていると思うとする割合が6割以上を占める。「東墨田・立花・文花地域」で達成できていると思うとする割合が合計より低い。

図表 19 「特色ある、多彩な魅力や個性を発信する」ことができていると思うか
(居住地域別・SA)

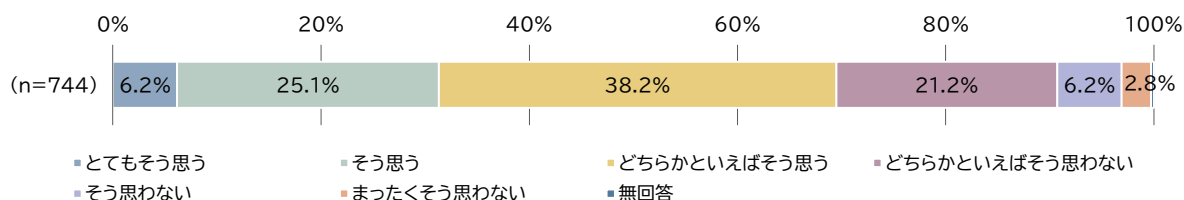


③ 「水と緑を活かした、美しい景観をつくる」ことができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約7割である。

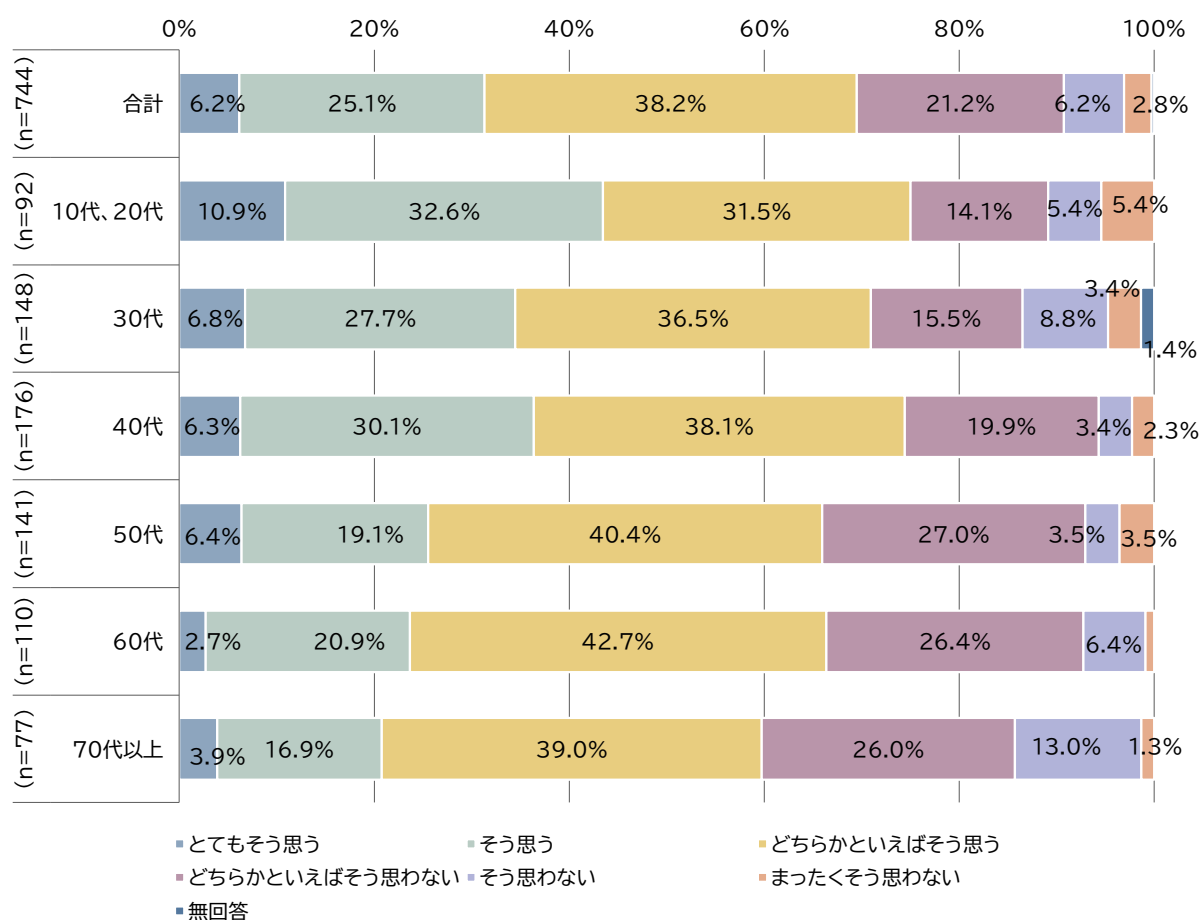
図表 20 「水と緑を活かした、美しい景観をつくる」ことができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10代、20代」で、最も低いのは「70代以上」である。年齢が上がるにつれて、「とてもそう思う」「そう思う」と回答する割合は減少傾向にある。

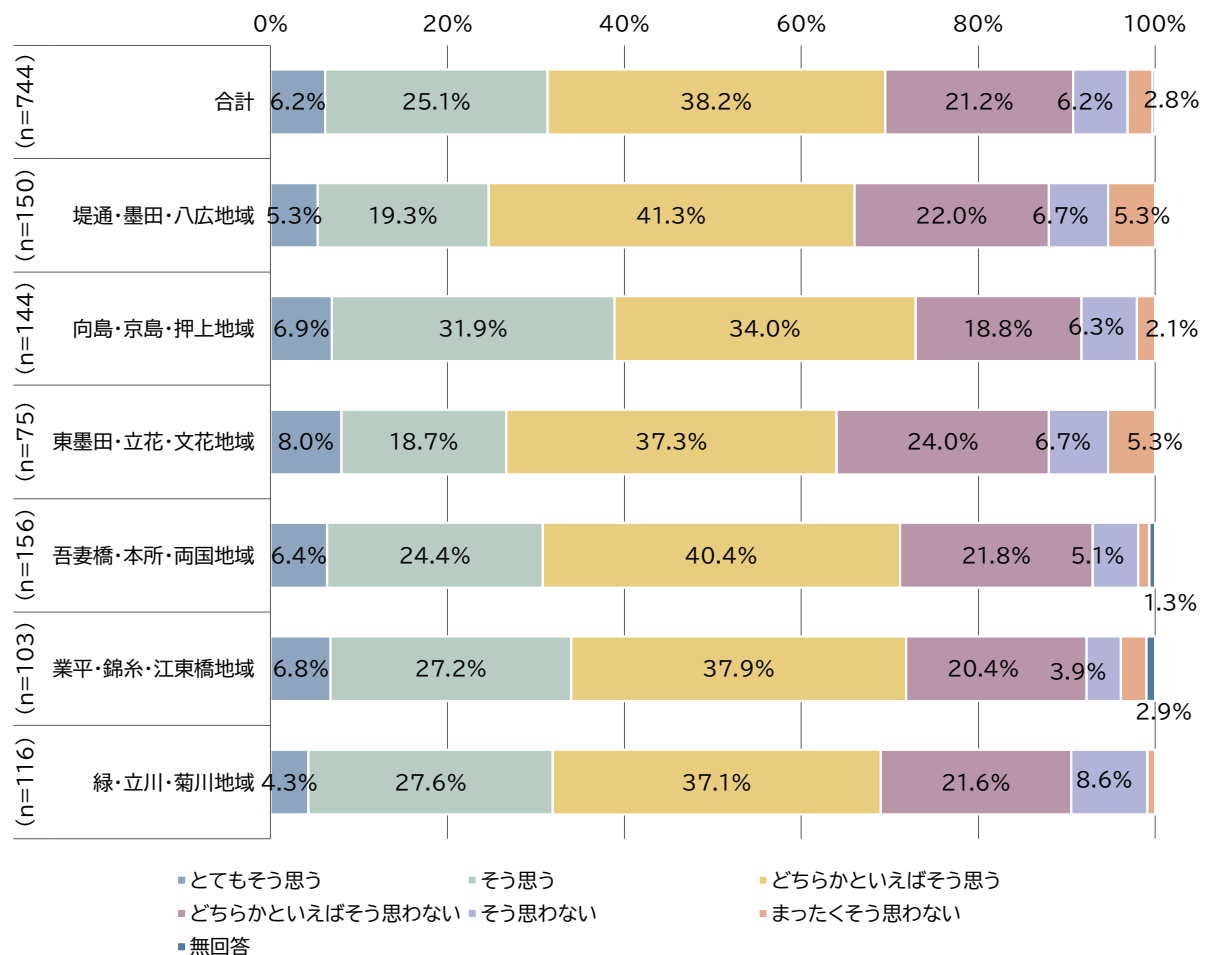
図表 21 「水と緑を活かした、美しい景観をつくる」ことができていると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、いずれの地域でも達成できていると思うとする割合が6割以上を占める。地域別の傾向には明確な差は認められない。

図表 22 「水と緑を活かした、美しい景観をつくる」ができていると思うか
(居住地域別・SA)



基本目標2 「地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる」について

(将来像)

- ✓ 多様な都市機能が調和したまちになっており、職・住・遊のバランスが取れた快適な居住環境のなかで、区民は心豊かに暮らしている。
- ✓ 主要駅周辺では商業・業務・サービス・文化などの機能が集中しているとともに、それぞれの地域においては日々の生活に必要な商品やサービスが容易に手に入る便利なまちになっている。
- ✓ 誰もが快適に移動できる交通機関や道路が整備されるなど、人々が活動しやすいまちになっている。

<基本目標2 小まとめ>

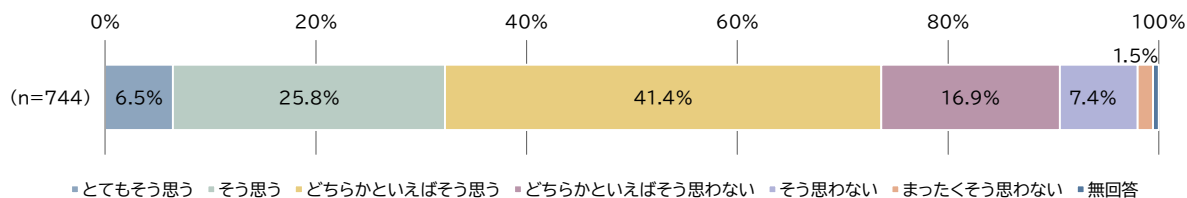
- ◆ 基本目標2で達成できていると思うとする回答割合は、「多様な都市機能が調和したまちをつくる」が73.7%であり、最も高い。(p.18 図表 23)

④ 「多様な都市機能が調和したまちをつくる」ことができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約 7.5 割を占める。

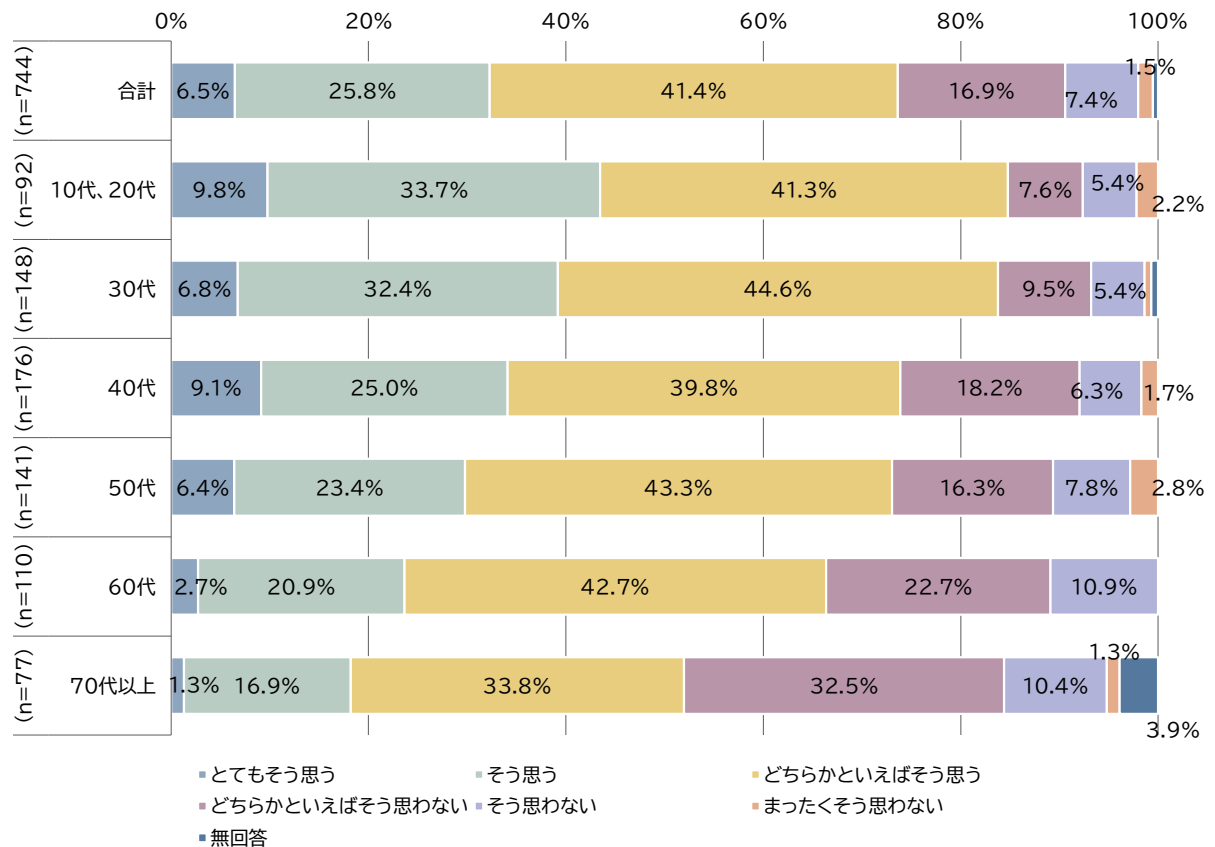
図表 23 「多様な都市機能が調和したまちをつくる」ことができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする回答割合が最も高いのは「10代、20代」で、最も低いのは「70代以上」である。年齢が上がるにつれて、達成できていると思うとする回答割合が減少傾向にある。「10代、20代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりもやや低く、「70代以上」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりも高い。

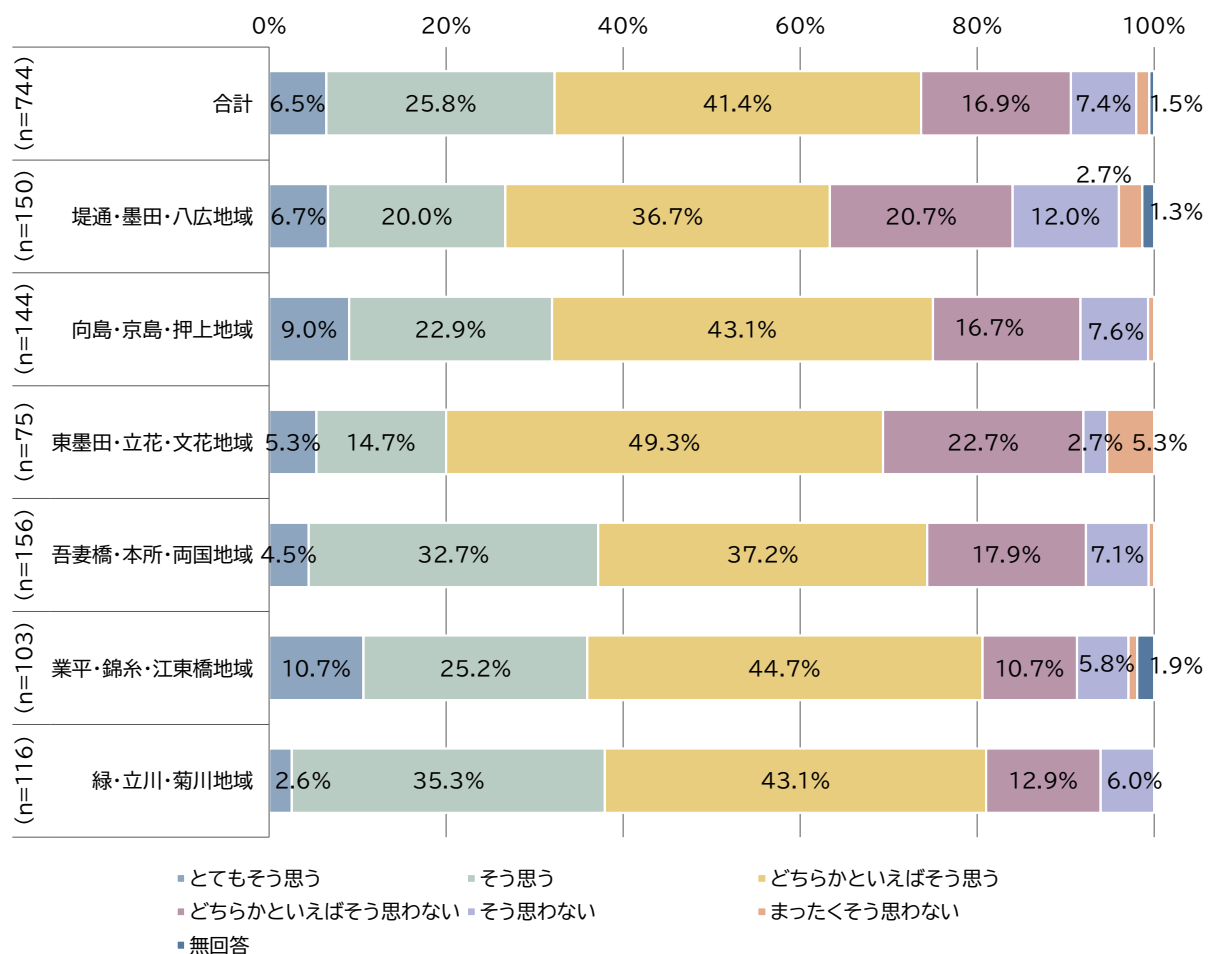
図表 24 「多様な都市機能が調和したまちをつくる」ことができると思うか（年齢別・SA）



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする回答割合が最も高いのは「緑・立川・菊川地域」で、最も低いのは「堤通・墨田・八広地域」である。「緑・立川・菊川地域」で「そう思う」の割合が合計よりやや高く、「東墨田・立花・文花地域」で「そう思う」の割合が合計よりも低い。

図表 25 「多様な都市機能が調和したまちをつくる」ことができていると思うか
(居住地域別・SA)

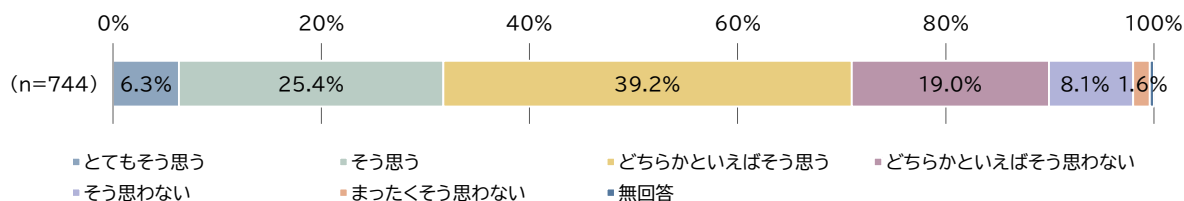


⑤ 「人々が交流できる、利便性が高いまちをつくる」ができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約 7 割である。

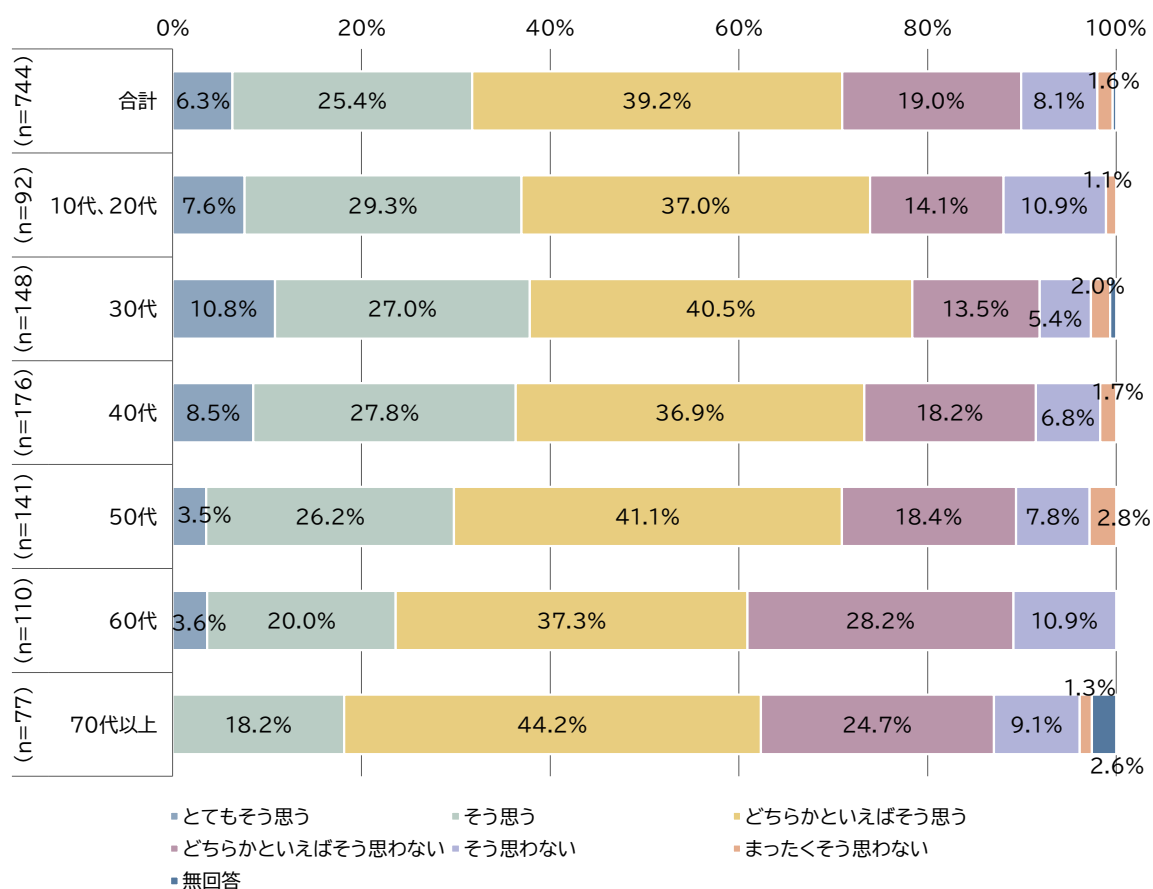
図表 26 「人々が交流できる、利便性が高いまちをつくる」ができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする回答割合が最も高いのは「30 代」で、最も低いのは「60 代」である。「60 代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりもやや高く、「70 代以上」は「とてもそう思う」の回答はない。

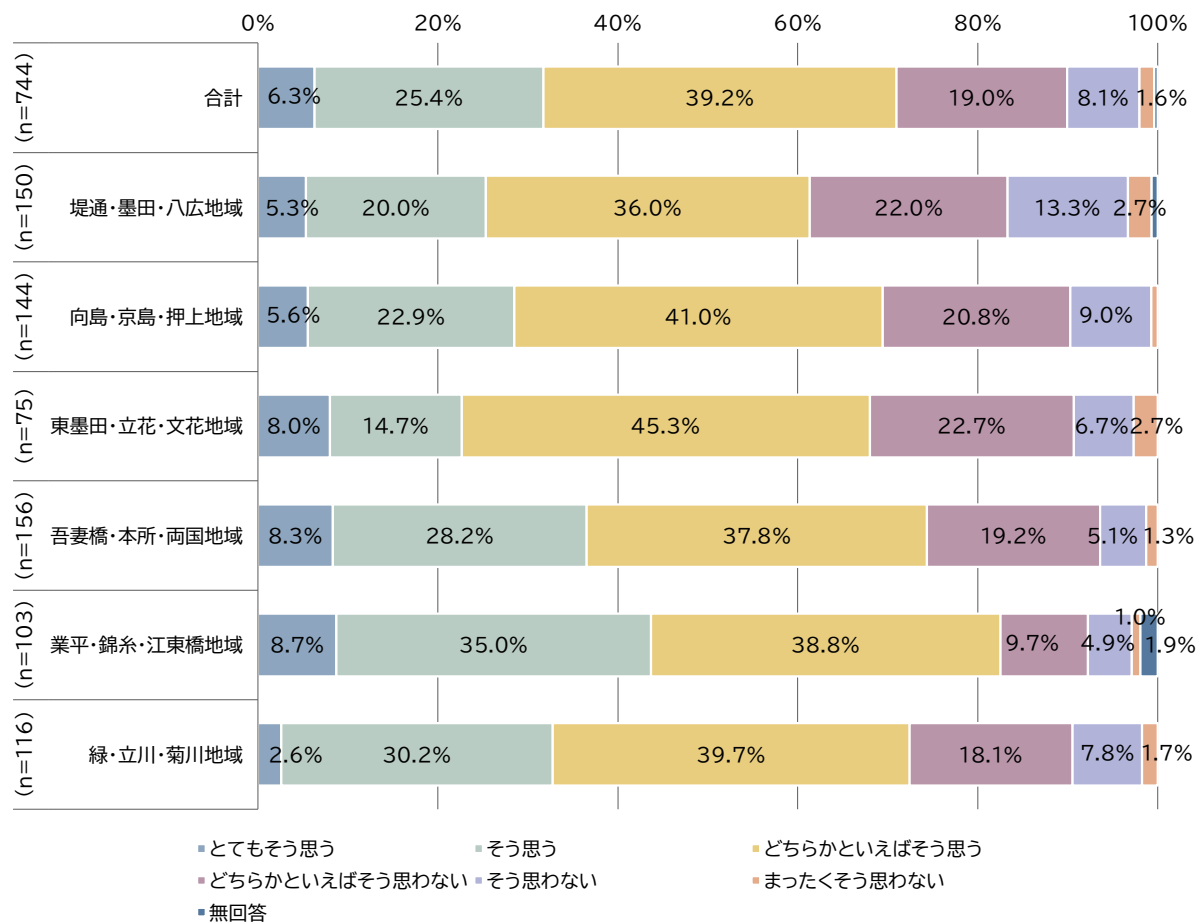
図表 27 「人々が交流できる、利便性が高いまちをつくる」ができていると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする回答割合が最も高いのは「業平・錦糸・江東橋地域」で、最も低いのは「堤通・墨田・八広地域」である。「業平・錦糸・江東橋地域」で「そう思う」の割合が合計よりもやや高く、「東墨田・立花・文花地域」で「そう思う」の割合が合計よりも低い。

図表 28 「人々が交流できる、利便性が高いまちをつくる」ことができていると思うか
(居住地域別・SA)

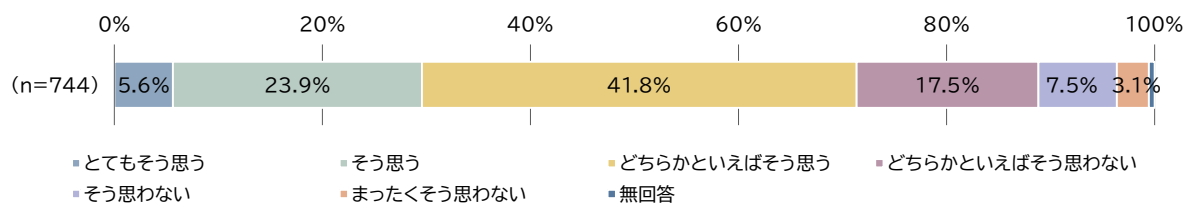


⑥ 「誰もが安全・快適に暮らし、移動できるまちをつくる」ができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約7割である。

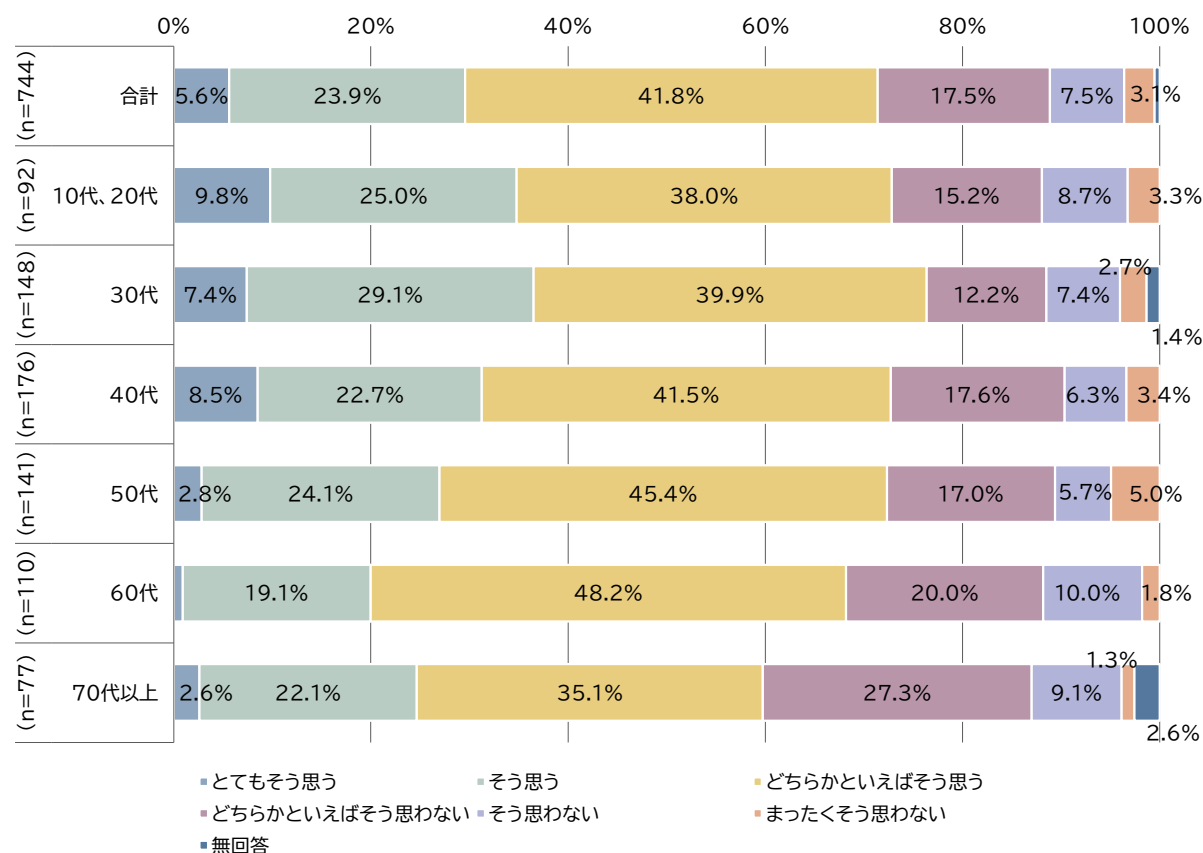
図表 29 「誰もが安全・快適に暮らし、移動できるまちをつくる」ができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする回答割合が最も高いのは「30代」で、最も低いのは「70代以上」である。「70代以上」の「どちらかといえばそう思わない」の割合は合計よりやや高い。

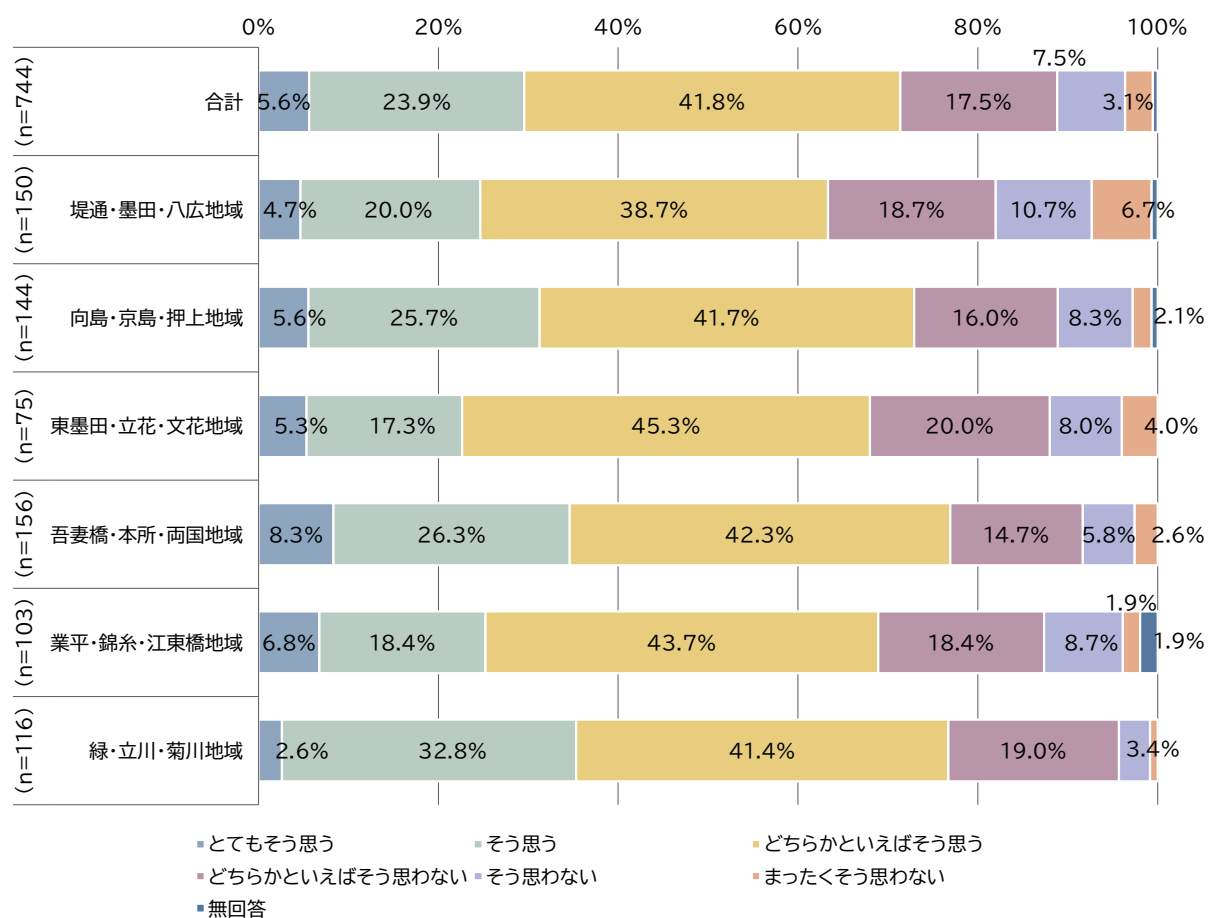
図表 30 「誰もが安全・快適に暮らし、移動できるまちをつくる」ができていると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「吾妻橋・本所・両国地域」で、最も低いのは「堤通・墨田・八広地域」である。「緑・立川・菊川地域」で「そう思う」の割合が合計よりも高い。

図表 31 「誰もが安全・快適に暮らし、移動できるまちをつくる」ことができていると思うか
(居住地域別・SA)



基本目標3 「新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる」について

(将来像)

- ✓ ものづくりのまちとして、技術・技能の継承が円滑に行われているとともに、さまざまな起業が盛んに行われ、国際競争力をもった新製品や新技術が次々と開発されるなど、新しい産業が生まれている。
- ✓ 消費者ニーズを的確にとらえた商品・サービスを提供できる新たな商業空間では、時間をかけて買い物を楽しむ多くの人々でにぎわっている。
- ✓ 誰もが地域のなかで自分の能力を十分に発揮し活躍する、活力にあふれた元気なまちになっている。

<基本目標3 小まとめ>

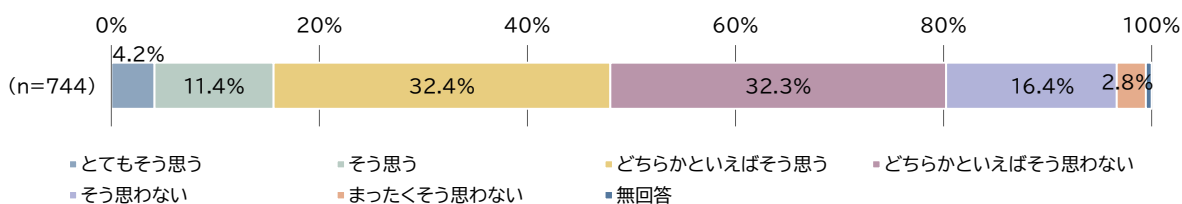
- ◆ 基本目標3で達成できていると思うとする回答割合（「とてもそう思う」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合）は、「楽しく時間を過ごせる、こだわりをもった商業・サービス業の集積を進める」が70.4%であり、最も高い。（p.28 図表 35）
- ◆ 「活力ある、新たな産業の創出を図る」ことを達成できていると思うとする回答割合は48.0%であり、基本目標すべての項目の中で最も低い。また、「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる」ことを達成できていると思うとする回答割合は51.2%であり、5.5割を下回っている。（p.25 図表 32、p.30 図表 38）

⑦ 「活力ある、新たな産業の創出を図る」ことができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は、約5割である。

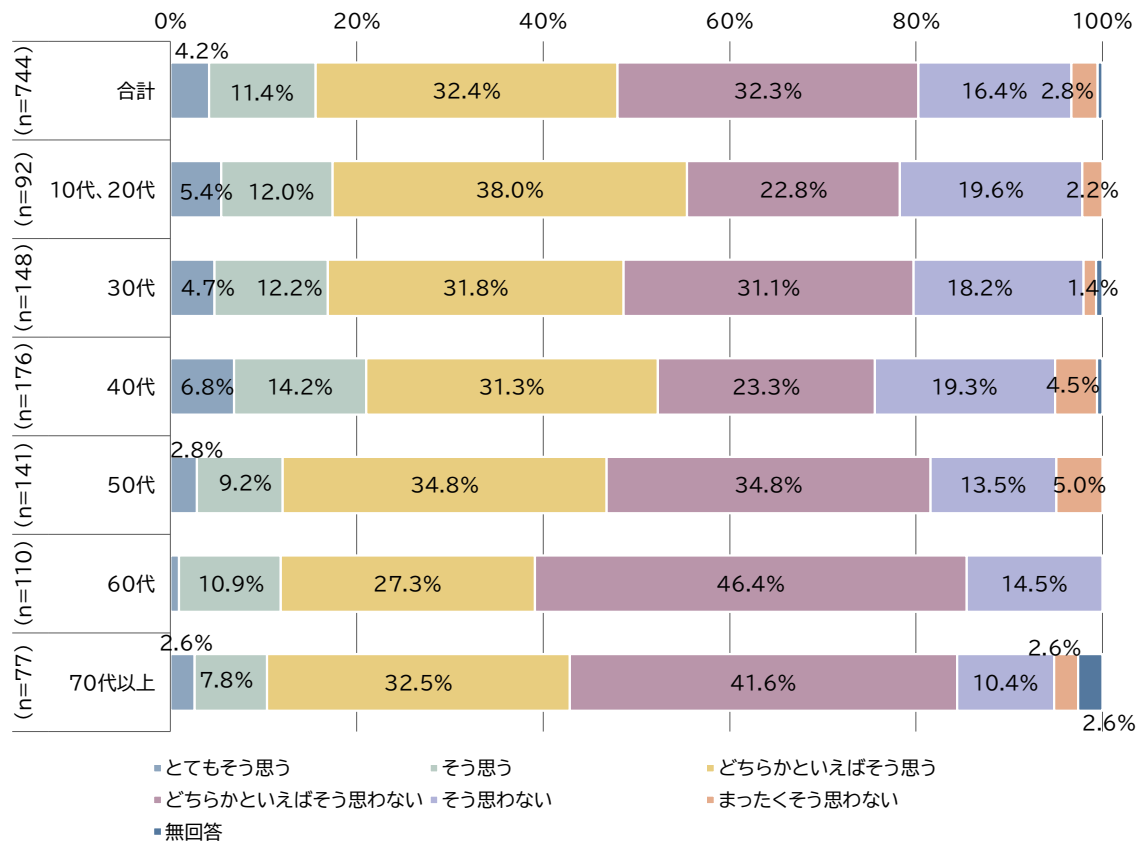
図表 32 「活力ある、新たな産業の創出を図る」ことができていると思うか（SA）



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10代、20代」で、最も低いのは「60代」である。「10代、20代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりもやや低く、「60代」、「70代以上」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりも高い。

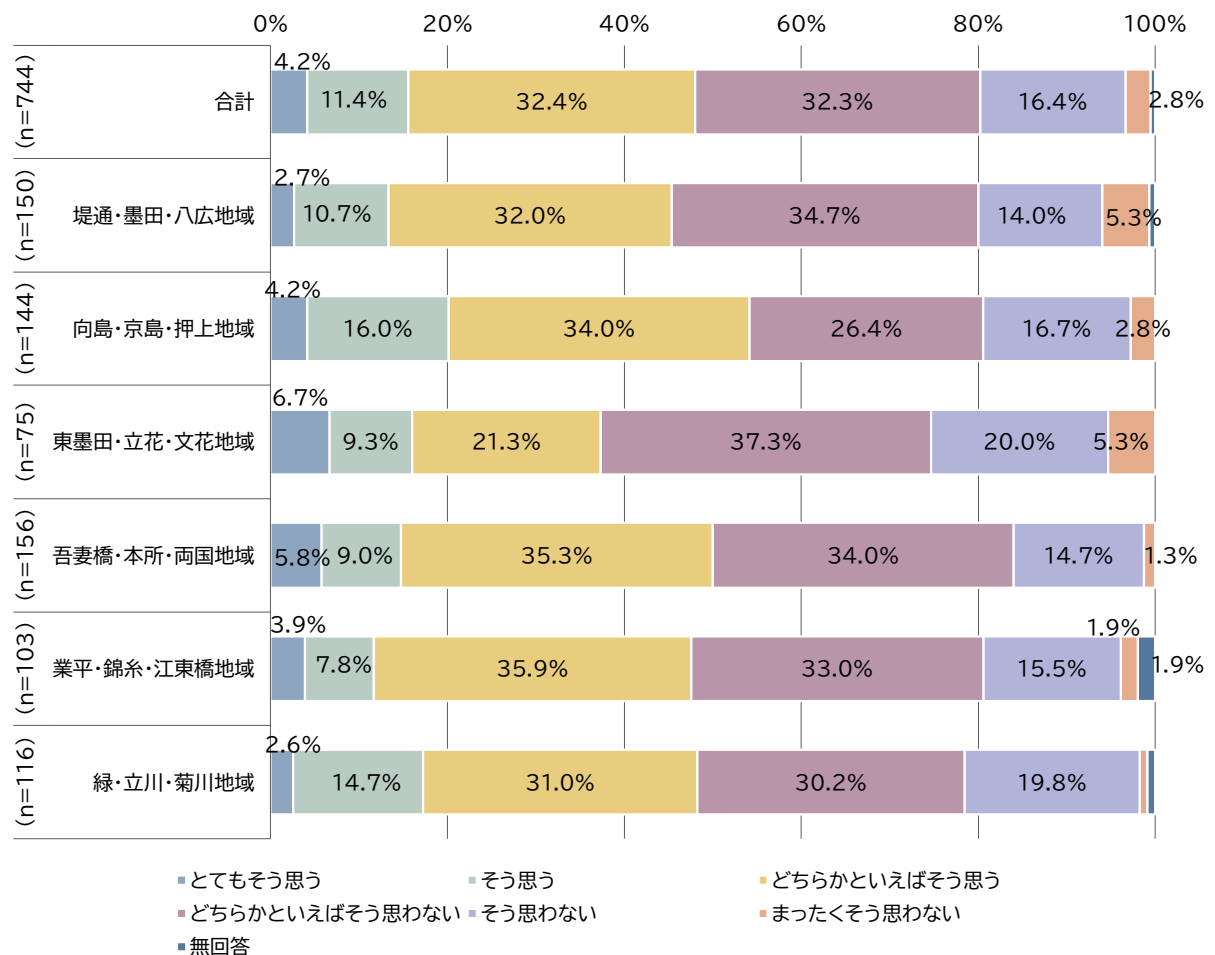
図表 33 「活力ある、新たな産業の創出を図る」ことができていると思うか（年齢別・SA）



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「向島・京島・押上地域」で、最も低いのは「東墨田・立花・文花地域」である。「東墨田・立花・文花地域」で「どちらかといえばそう思う」の割合が合計よりも低い。

図表 34 「活力ある、新たな産業の創出を図る」ことができていると思うか（居住地域別・SA）

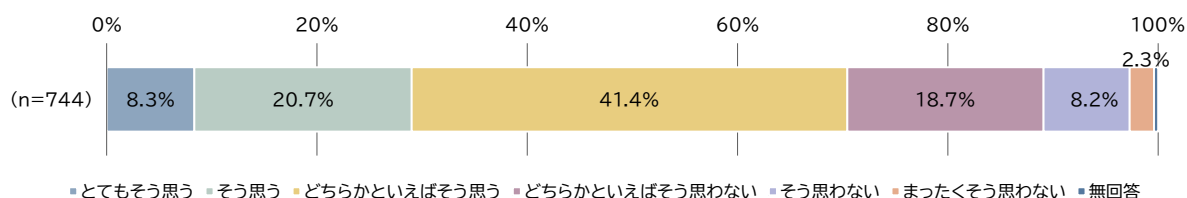


⑧「楽しく時間を過ごせる、こだわりをもった商業・サービス業の集積を進める」ことができると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約7割である。

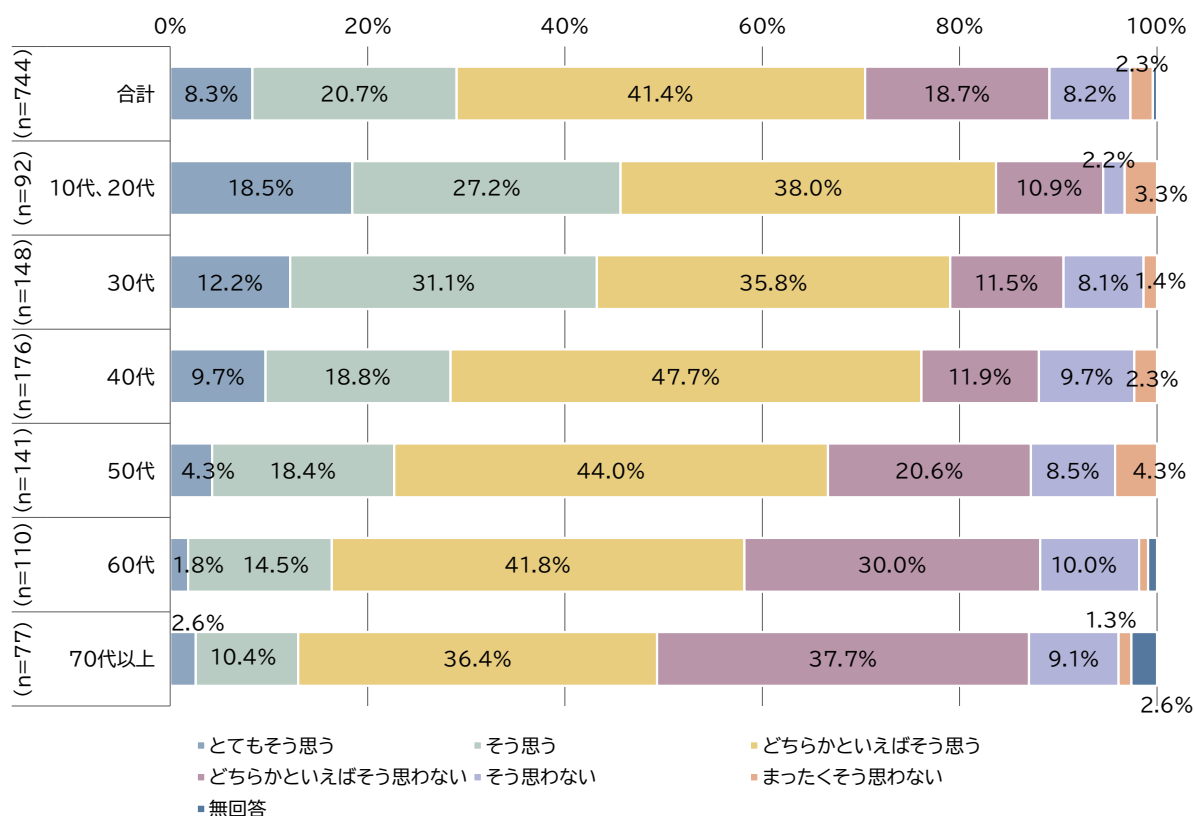
図表 35 「楽しく時間を過ごせる、こだわりをもった商業・サービス業の集積を進める」ことができると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10代、20代」で、最も低いのは「70代以上」である。年齢が上がるにつれて、達成できていると思うとする割合が減少している。「10代・20代」で「とてもそう思う」、「30代」で「そう思う」の割合が合計よりも高く、「70代以上」で「そう思う」の割合が合計よりも低い。また、「60代」、「70代以上」で「どちらかというところ思わない」の割合が合計よりも高い。

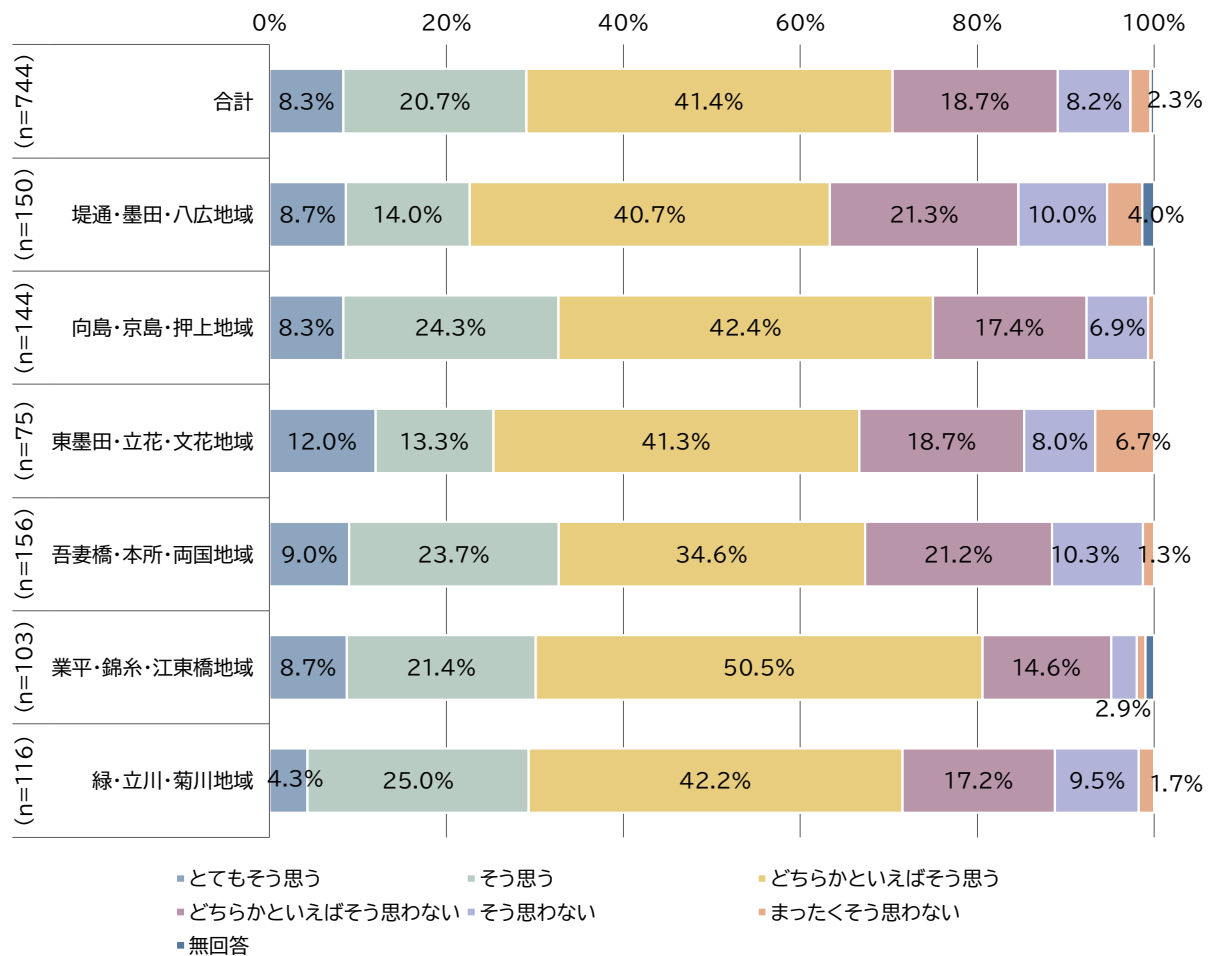
図表 36 「楽しく時間を過ごせる、こだわりをもった商業・サービス業の集積を進める」ことができると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「業平・錦糸・江東橋地域」で、最も低いのは「堤通・墨田・八広地域」である。「業平・錦糸・江東橋地域」で「どちらかといえばそう思う」の割合が合計よりもやや高い。

図表 37 「楽しく時間を過ごせる、こだわりをもった商業・サービス業の集積を進める」ことができると思うか（居住地域別・SA）

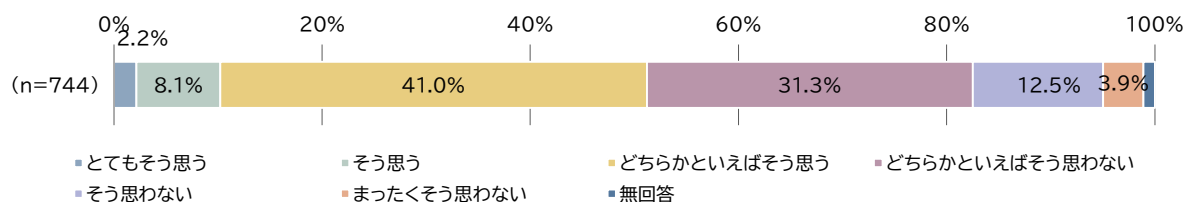


⑨ 「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる」ことができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約5割である。

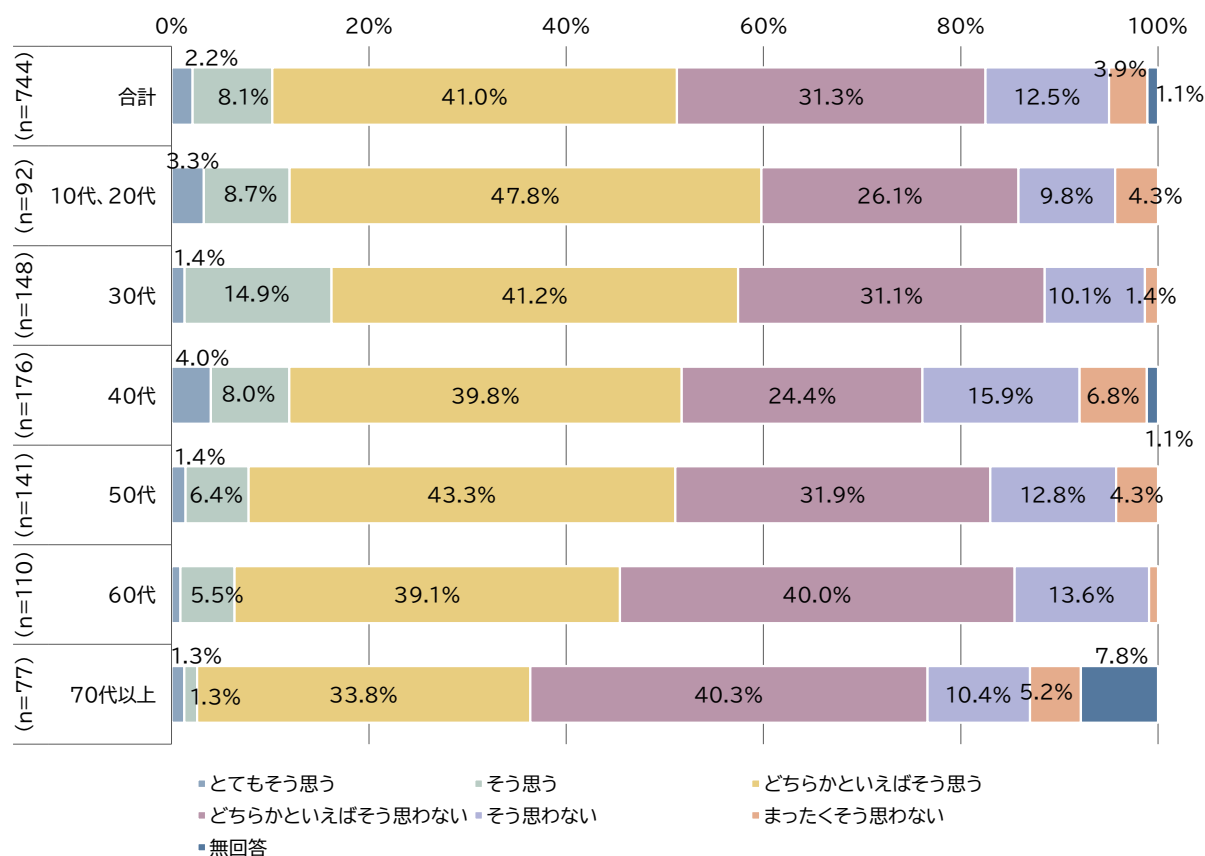
図表 38 「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる」ことができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10代、20代」で、最も低いのは「70代以上」である。年齢が上がるにつれて、達成できていると思うとする割合が減少している。「60代」、「70代以上」で「どちらかというと思わない」の割合が合計よりもやや高い。

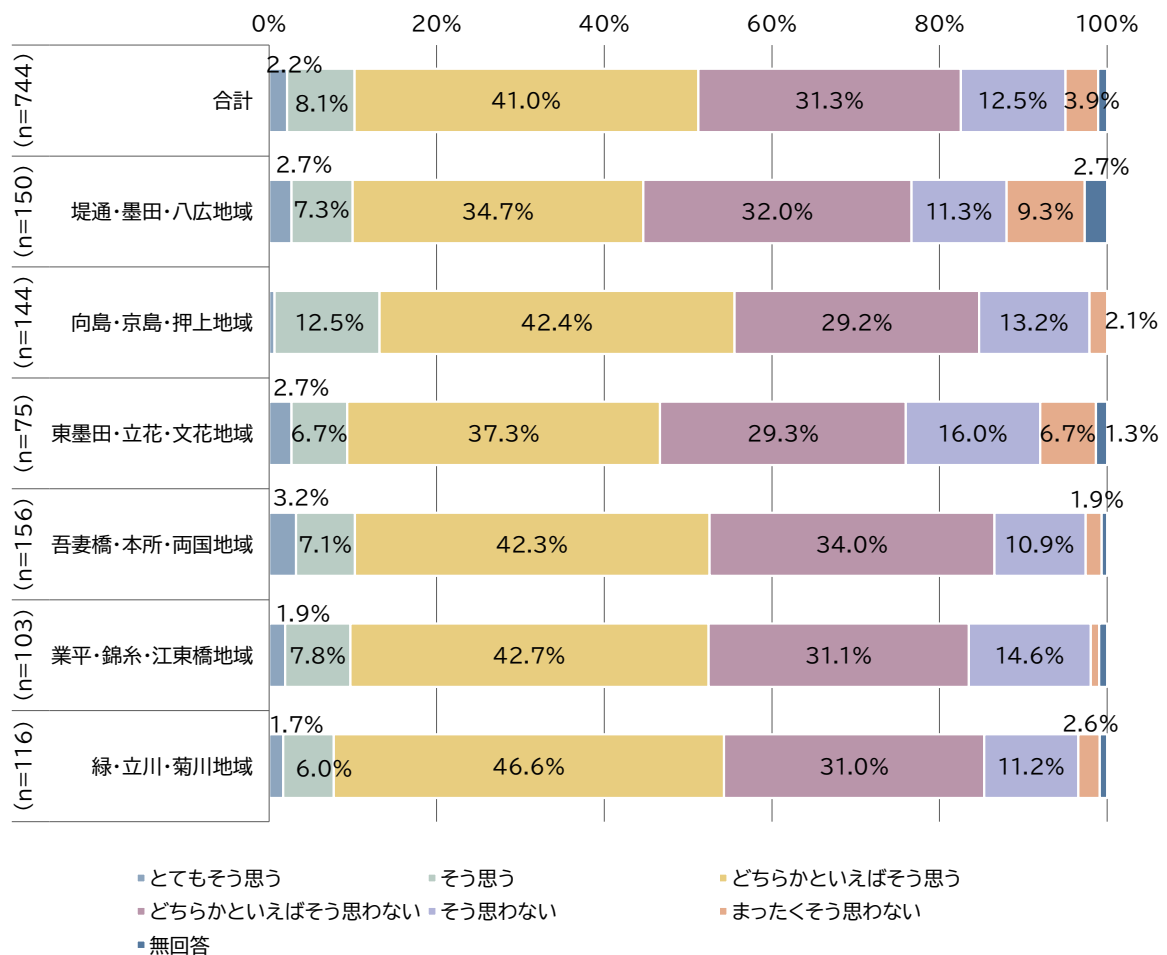
図表 39 「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる」ができていると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「向島・京島・押上地域」で、最も低いのは「堤通・墨田・八広地域」である。

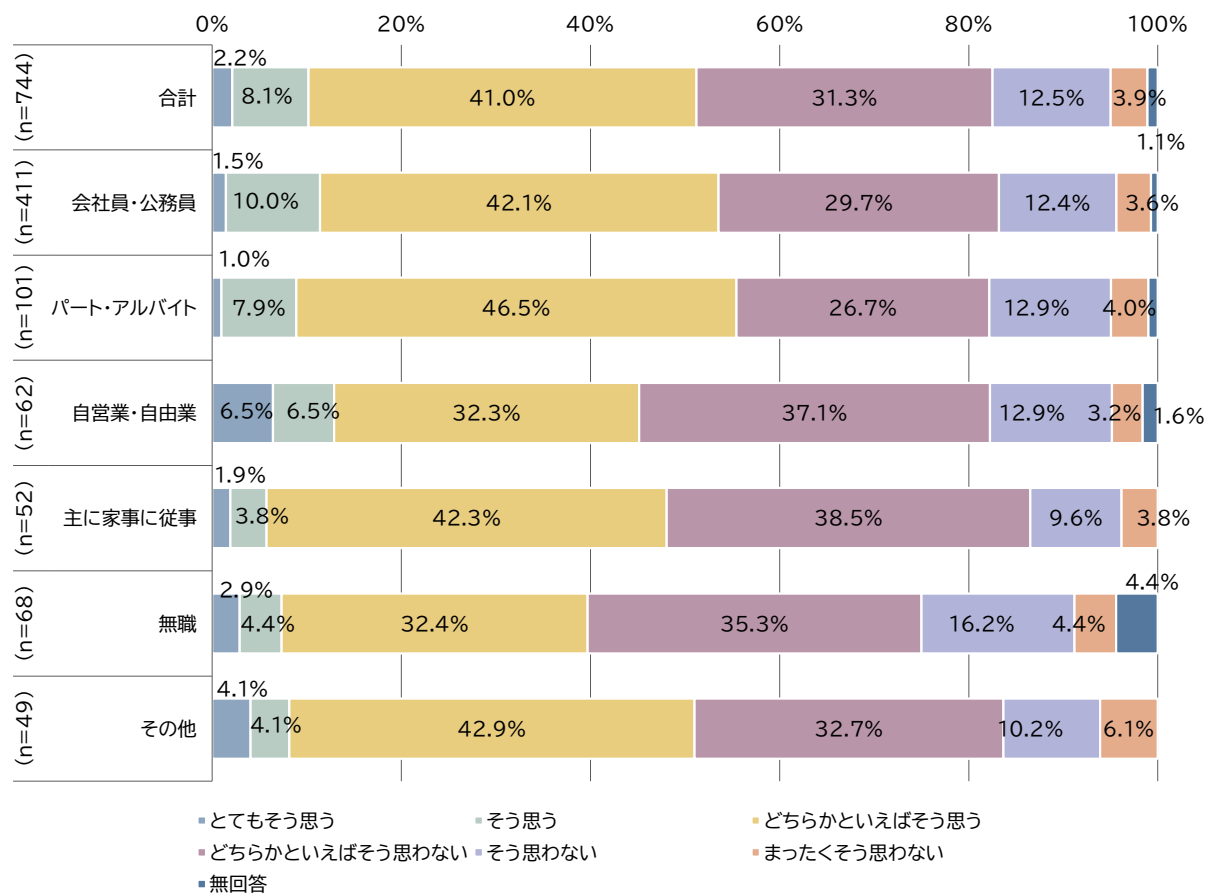
図表 40 「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる」ことができると思うか（居住地域別・SA）



4) 職業

職業別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「パート・アルバイト」で、最も低いのは「無職」である。「自由業」、「無職」で「どちらかというと思う」の割合が合計よりもやや低い。

図表 41 「誰もが地域のなかで、生きがいをもって働くことができるしくみをつくる」ことができていると思うか (SA)



基本目標4 「安心して暮らせる「すみだ」をつくる」について

(将来像)

- ✓ 災害や犯罪などの危険から人々の生命や財産が守られるようにまちの安全が確保され、区民は安心して暮らしている。
- ✓ 高齢者や障害者をはじめとしてすべての人が生涯健康で、ともに支えあいながら、いきいきと暮らしている。
- ✓ 子どもたちは豊かな社会生活を送っていくための確かな学力・体力・人間性を身につけて健やかに成長している。
- ✓ 区民一人ひとりが地球環境に負荷の少ない暮らしを実践する、環境と共生したまちになっている。

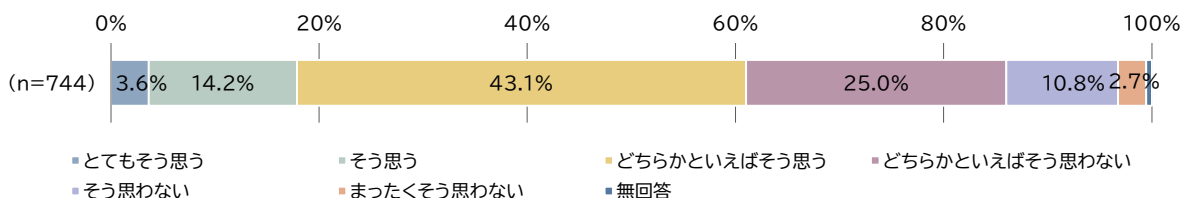
<基本目標4 小まとめ>

- ◆ 基本目標4で達成できていると思うとする回答割合（「とてもそう思う」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合）は、「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる」が79.2%であり、最も高い。（p.41 図表 51）

⑩ 「災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる」ことができていると思うか 1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約6割である。

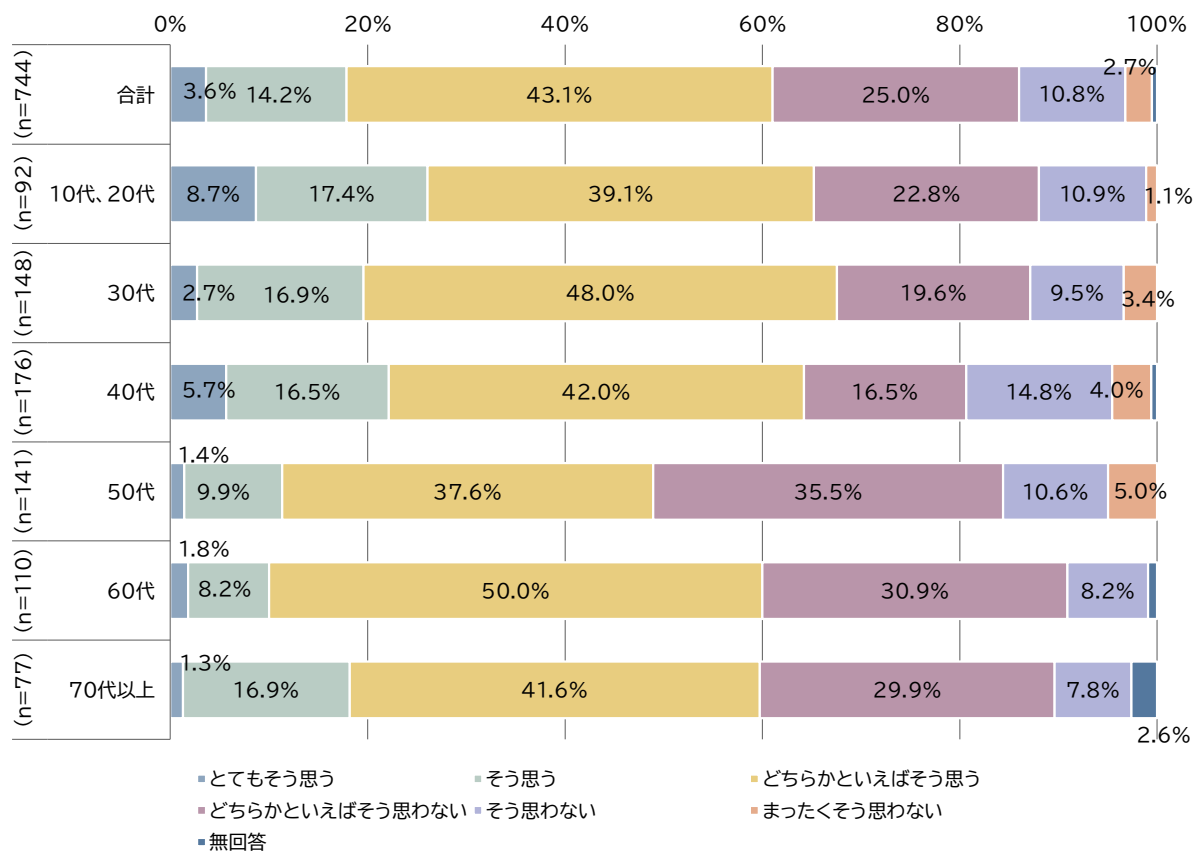
図表 42 「災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる」ことができていると思うか（SA）



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「30代」で、最も低いのは「50代」である。「50代」は、「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりも高い。

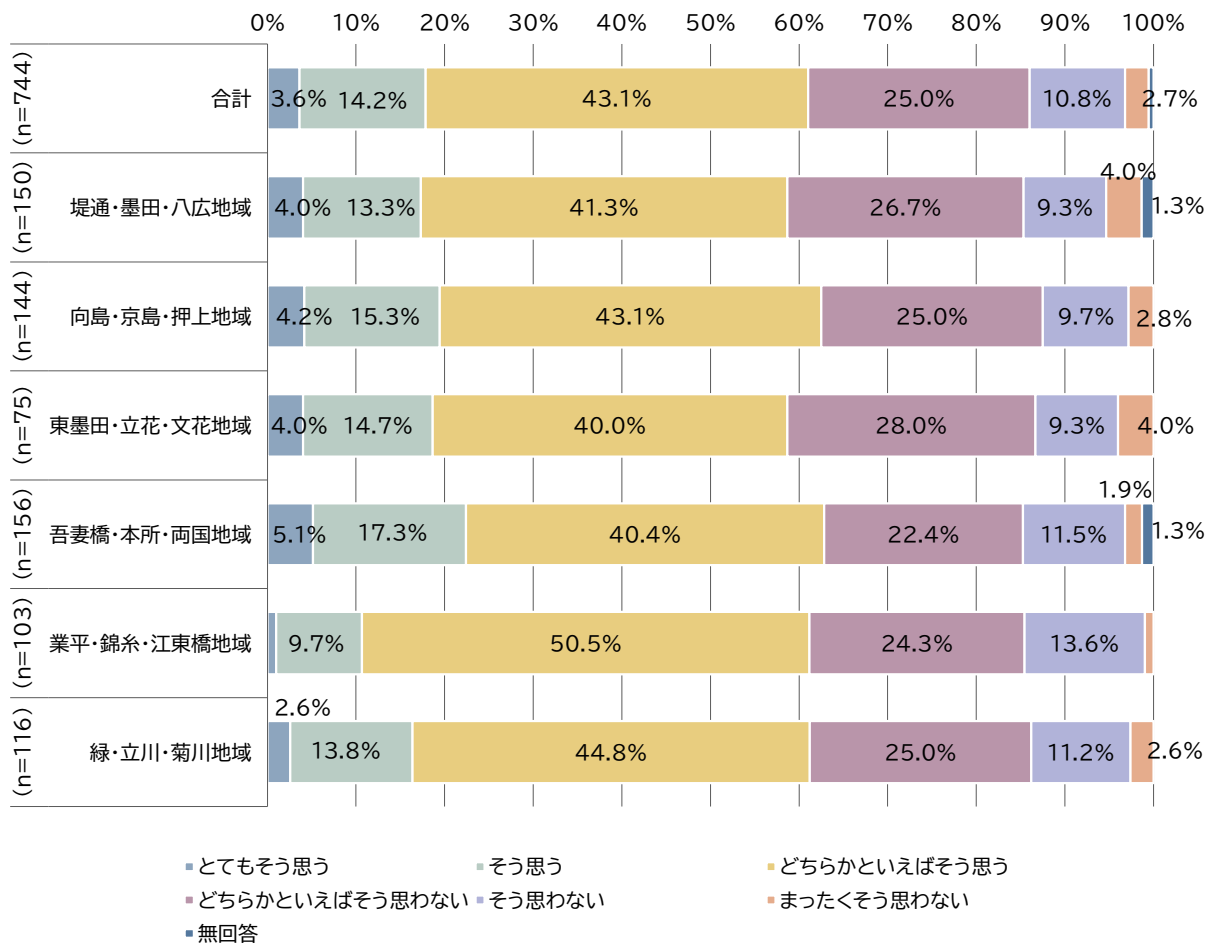
図表 43 「災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる」ができていると思うか（年齢別・SA）



3) 居住地域別

居住地域別でみると、いずれの地域でも達成できていると思う割合が6割近くを占める。地域別の傾向には明確な差は認められない。

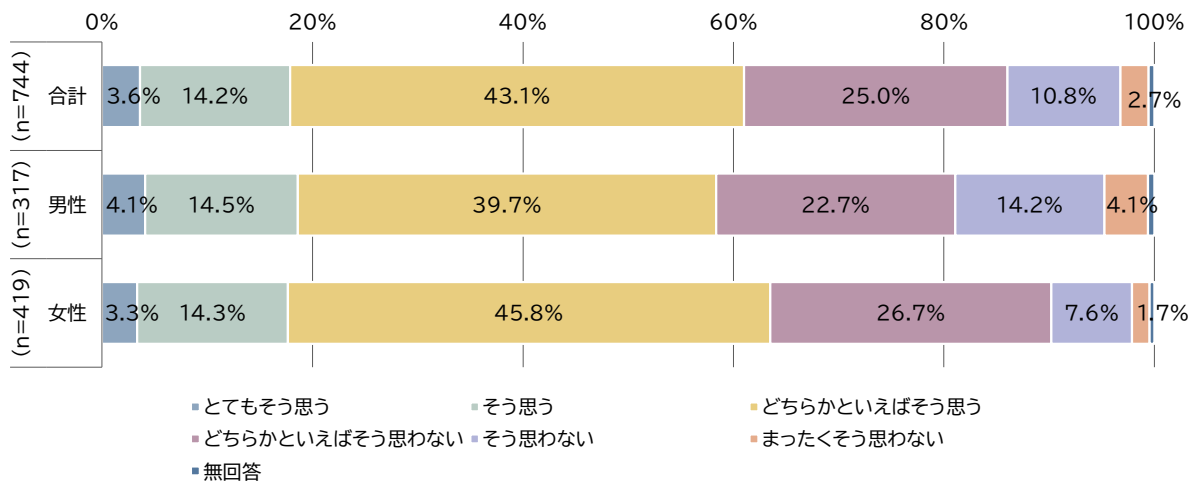
図表 44 「災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる」ができていると思うか（居住地域別・SA）



4) 性別

性別でみると、達成できていると思うとする割合は「女性」で6割、「男性」で5.5割以上を占める。

図表 45 「災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる」ことができていると思うか（性別・SA）

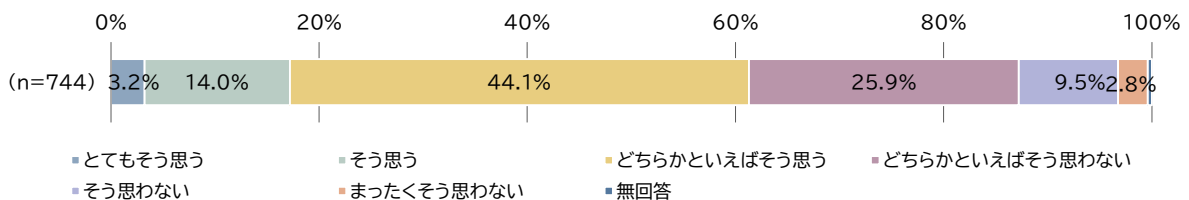


⑪ 「すべての人がいきいきと生活できるしくみをつくる」ことができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約6割である。

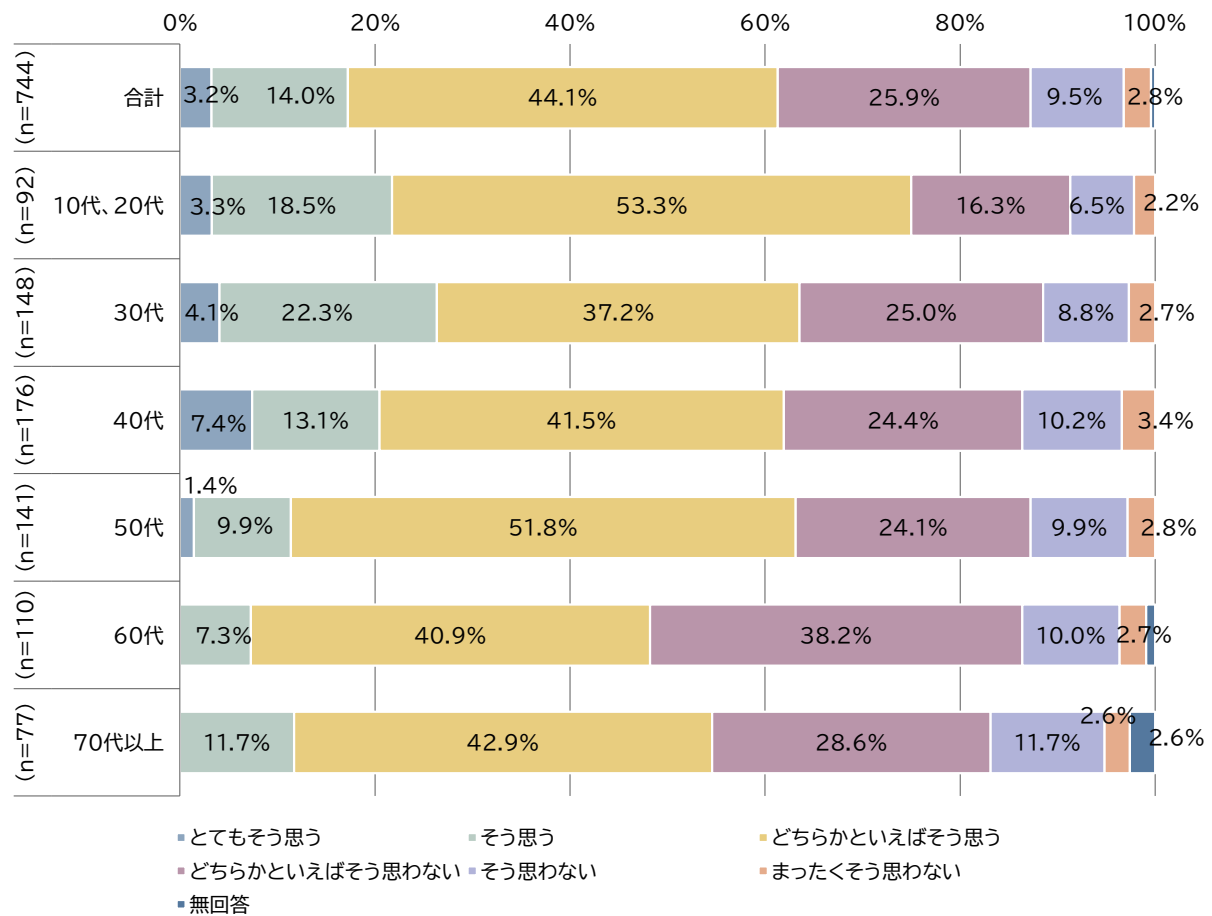
図表 46 「すべての人がいきいきと生活できるしくみをつくる」ことができていると思うか（SA）



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10代、20代」で、最も低いのは「60代」である。「10代・20代」で「どちらかといえばそう思う」の割合が合計よりもやや高く、「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりもやや低い。「60代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりも高い。「60代」、「70代以上」では「とてもそう思う」の回答はない。

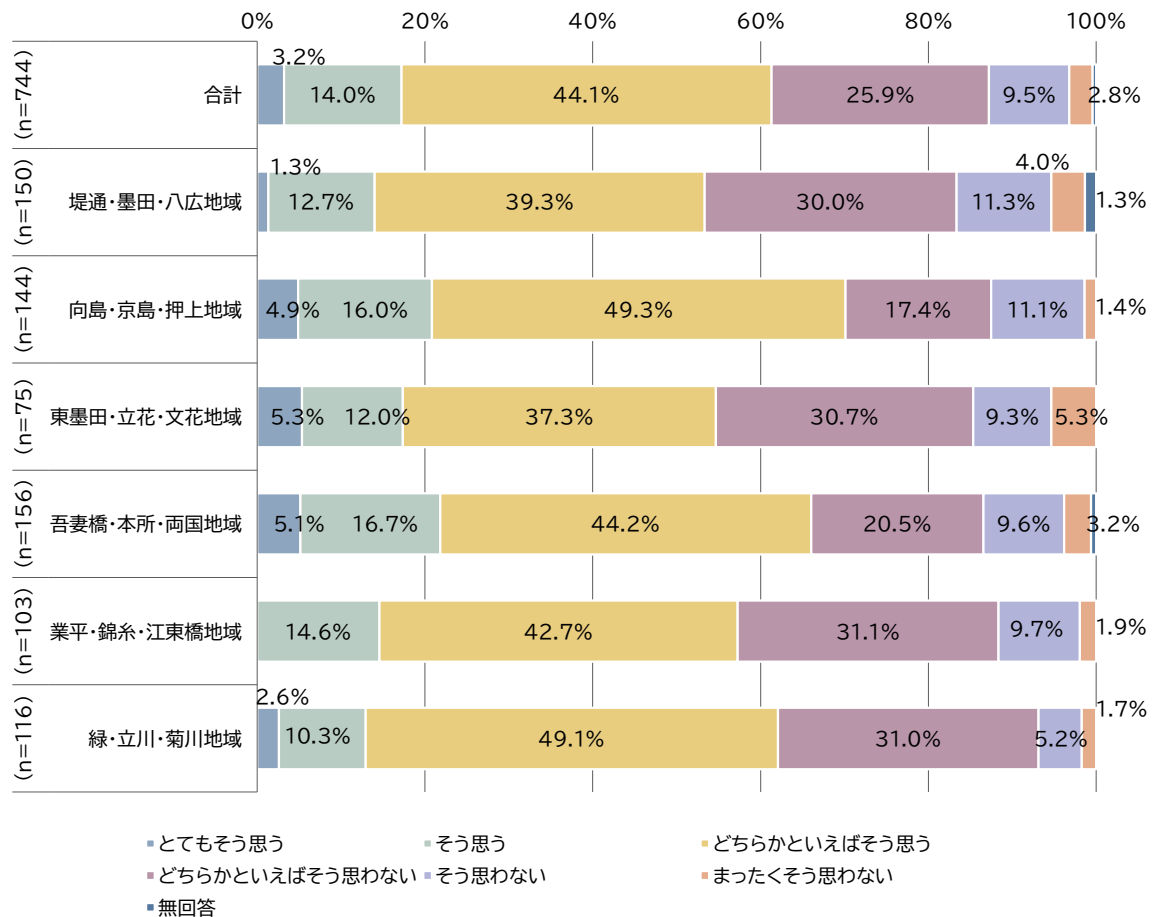
図表 47 「すべての人がいきいきと生活できるしくみをつくる」ことができていると思うか
(年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「向島・京島・押上地域」で、最も低いのは「堤通・墨田・八広地域」である。「業平・錦糸・江東橋地域」では、「とてもそう思う」の回答はない。

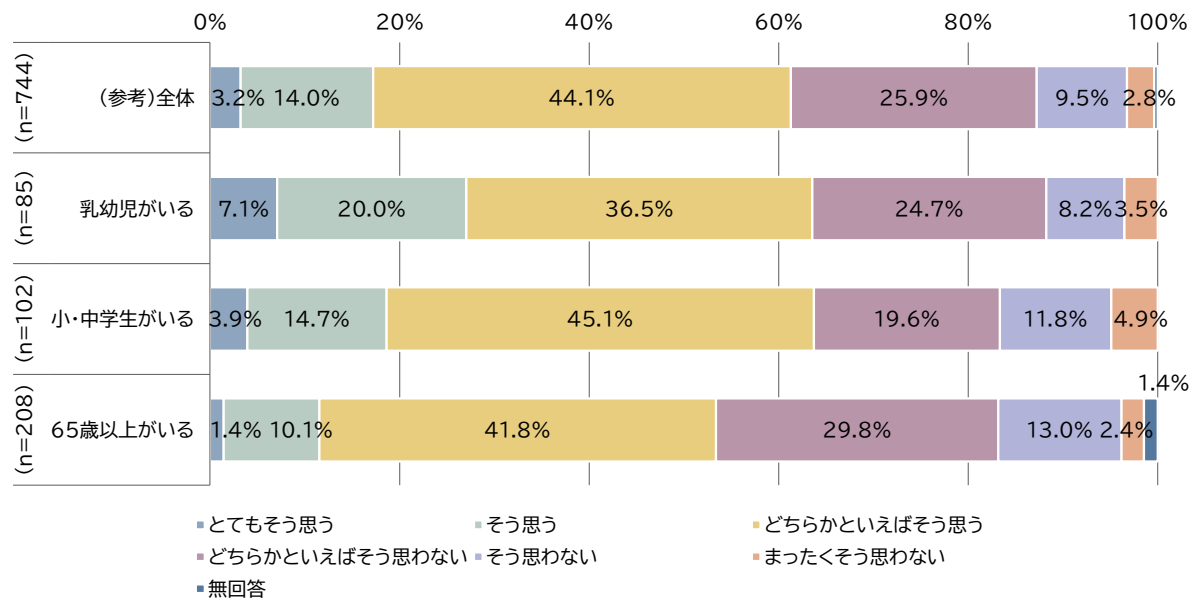
図表 48 「すべての人がいきいきと生活できるしくみをつくる」ができていると思うか
(居住地域別・SA)



4) 家族形態別

家族形態別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「小・中学生がいる」世帯で、最も低いのは「65 歳以上がいる」世帯である。「65 歳以上がいる」世帯での「そう思う」の割合は「乳幼児がいる」世帯よりも低い。

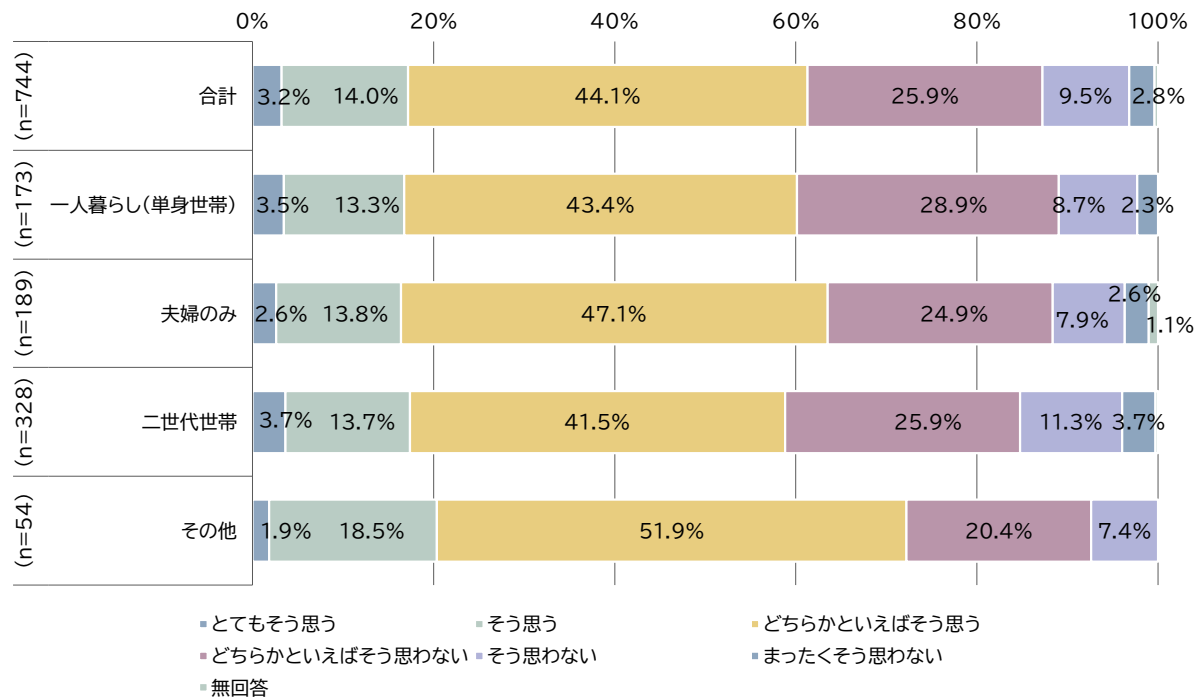
図表 49 「すべての人がいきいきと生活できるしくみをつくる」ことができていると思うか
(家族形態別・SA)



5) 世帯構成別

世帯構成別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「その他」の世帯で、最も低いのは「二世帯世帯」である。

図表 50 「すべての人がいきいきと生活できるしくみをつくる」ことができるか
(世帯構成別・SA)

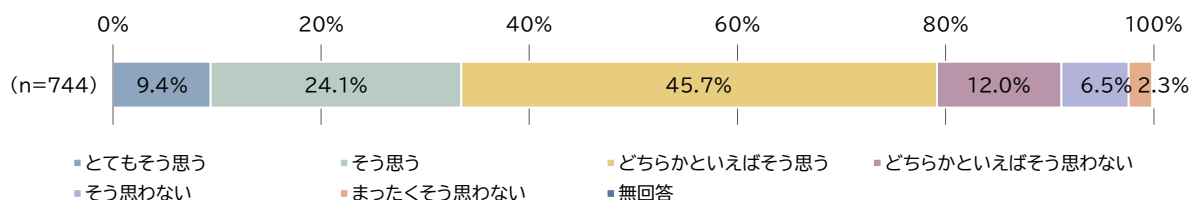


⑫ 「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる」ができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約8割である。

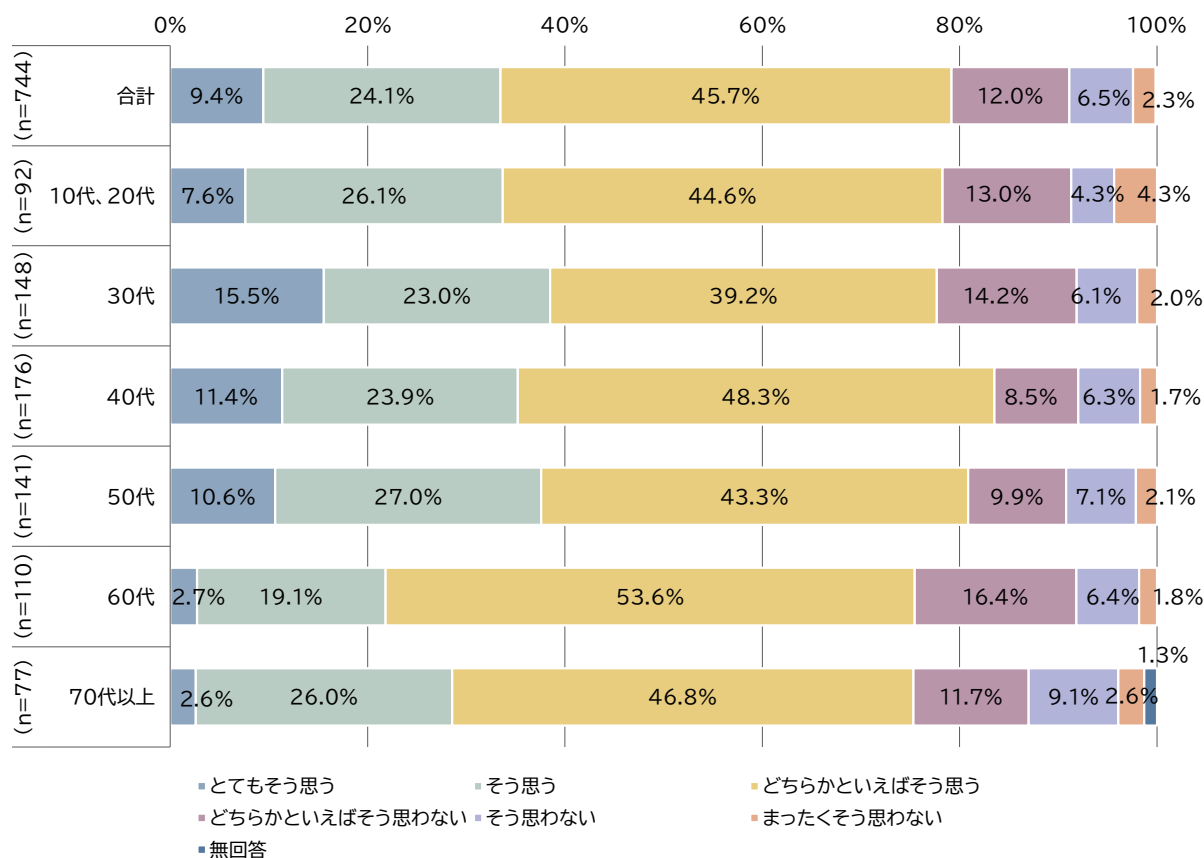
図表 51 「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる」ができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、いずれの年齢でも達成できていると思うとする割合が7.5割以上である。「60代」で「どちらかといえばそう思う」の割合が合計よりもやや高い。

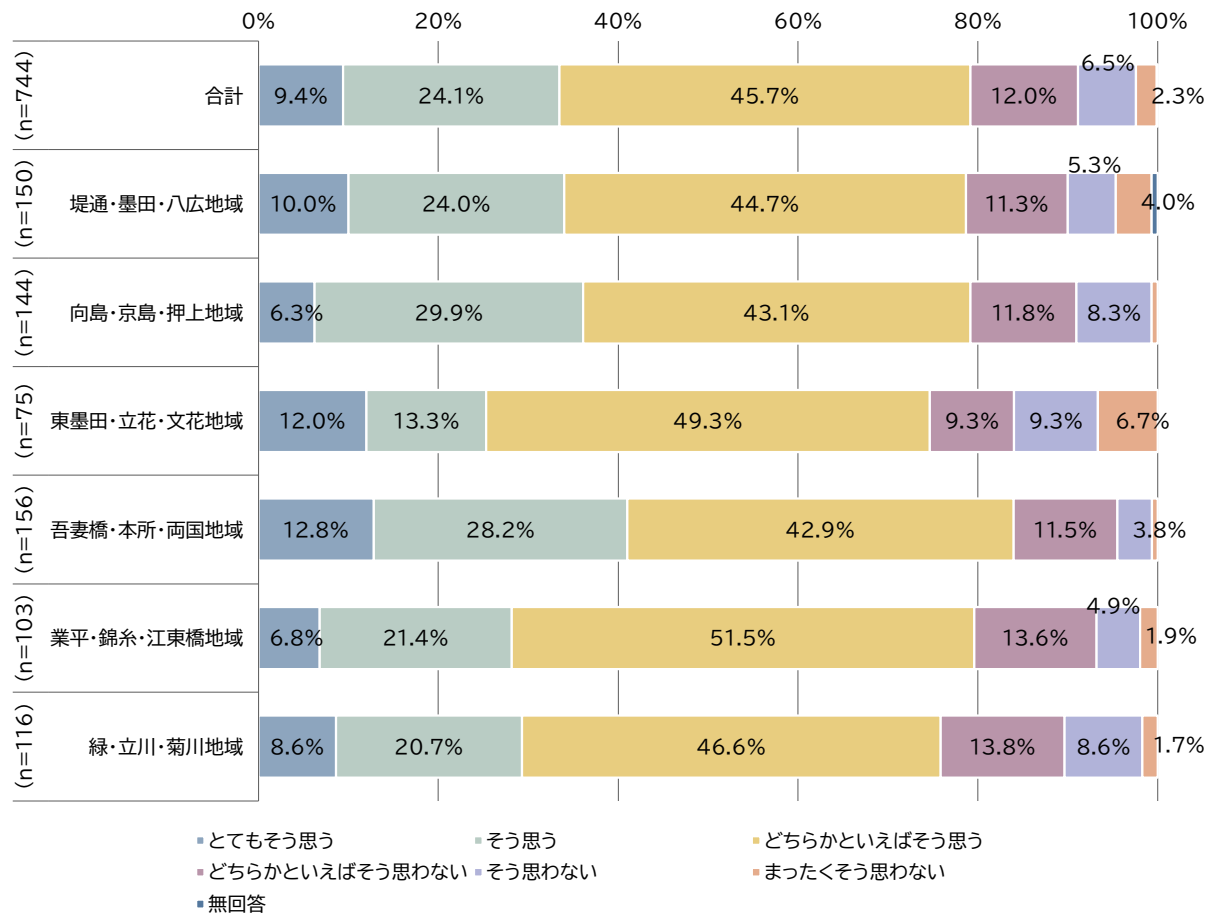
図表 52 「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる」ができていると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「吾妻橋・本所・両国地域」で、最も低いのは「東墨田・立花・文花地域」である。「東墨田・立花・文花地域」で「そう思う」の割合が合計よりも低い。

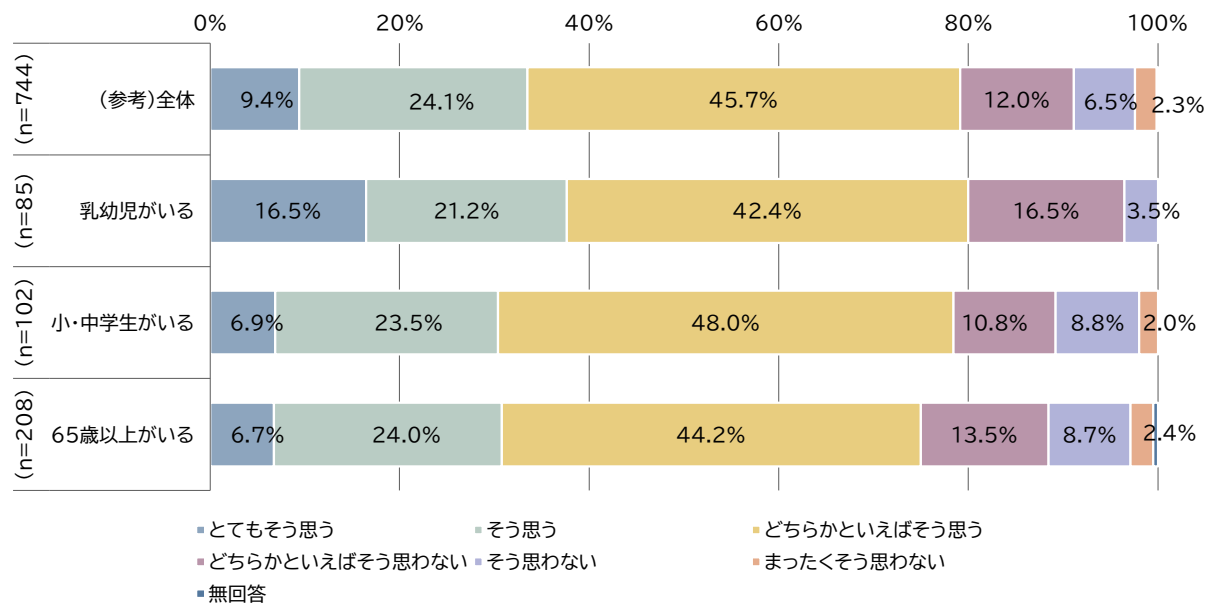
図表 53 「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる」ことができていると思うか
(居住地域別・SA)



4) 家族形態別

家族形態別でみると、いずれの家族形態でも達成できていると思うとする割合が7.5 割以上である。「小・中学生がいる世帯」、「65 歳以上がいる世帯」での「とてもそう思う」の割合は「乳幼児がいる」世帯よりもやや低い。

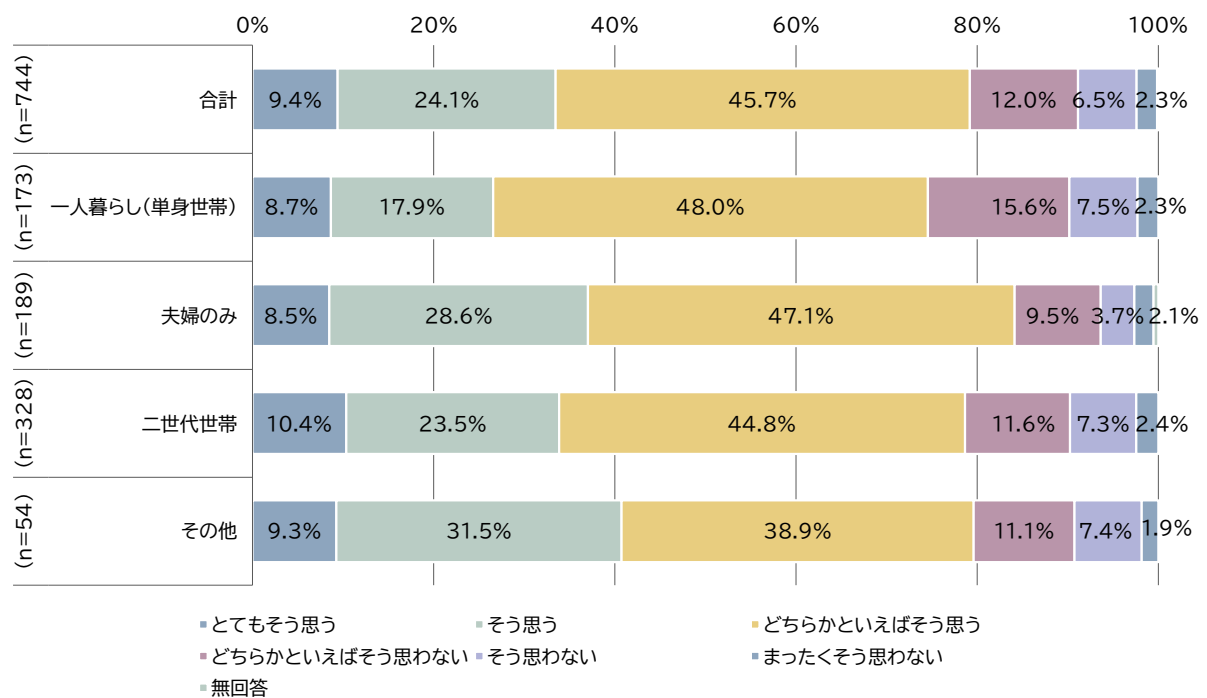
図表 54 「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる」ことができていると思うか
(家族形態別・SA)



5) 世帯構成別

世帯構成別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「夫婦のみ」で、最も低いのは「一人暮らし（単身世帯）」である。「その他」の世帯での「そう思う」の割合は「合計」よりもやや高く、「その他」の世帯での「どちらかといえばそう思う」の割合は「合計」よりもやや低い。

図表 55 「生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる」ことができるか
(世帯構成別・SA)

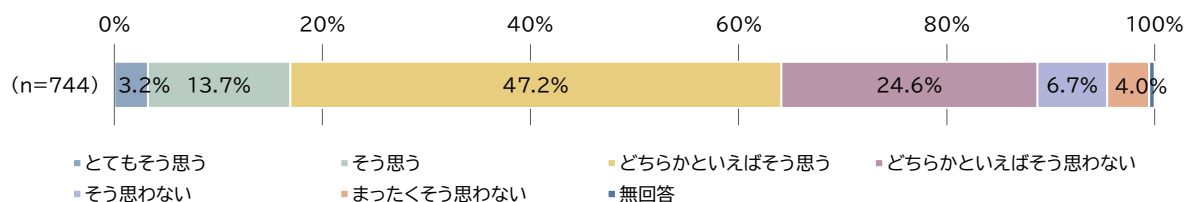


⑬ 「豊かな人間性をもった子どもたちが健やかに育つしくみをつくる」ことができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約 6.5 割である。

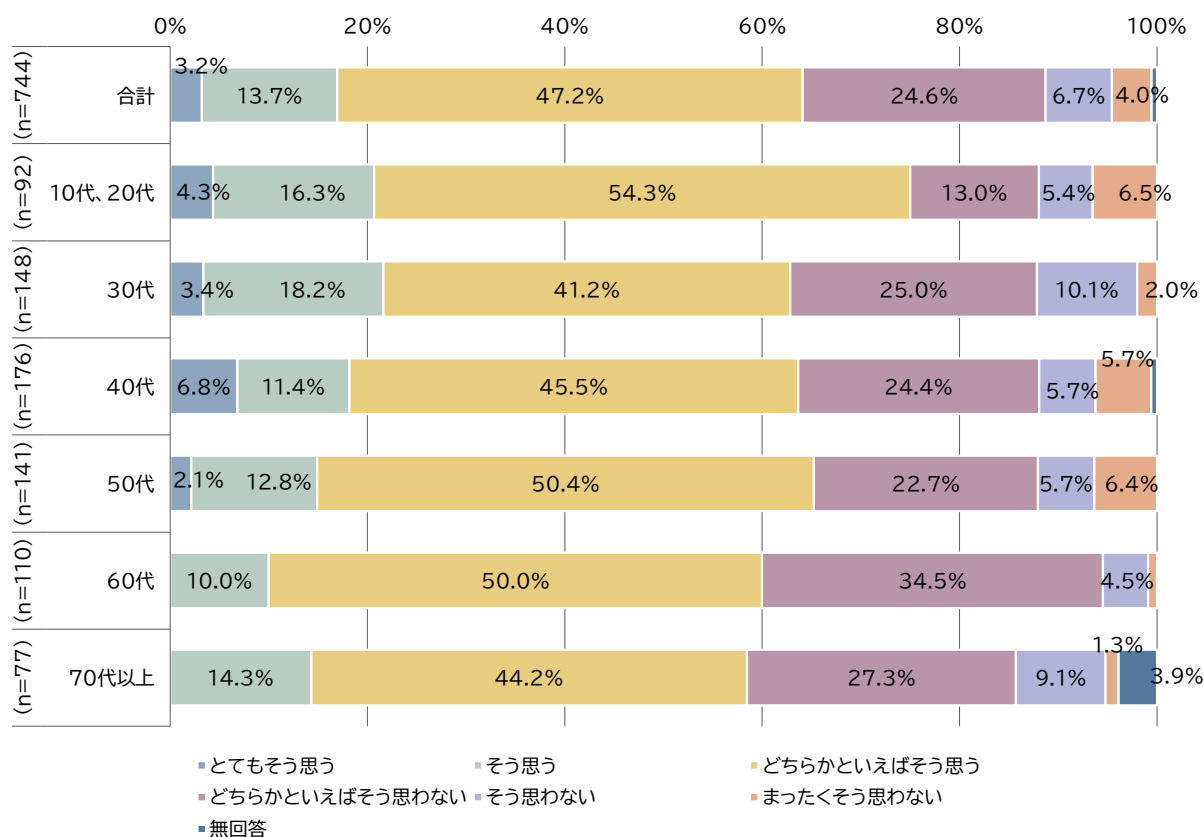
図表 56 「豊かな人間性をもった子どもたちが健やかに育つしくみをつくる」ことができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10 代、20 代」で、最も低いのは「70 代以上」である。「10 代、20 代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりも低く、「60 代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりもやや高い。

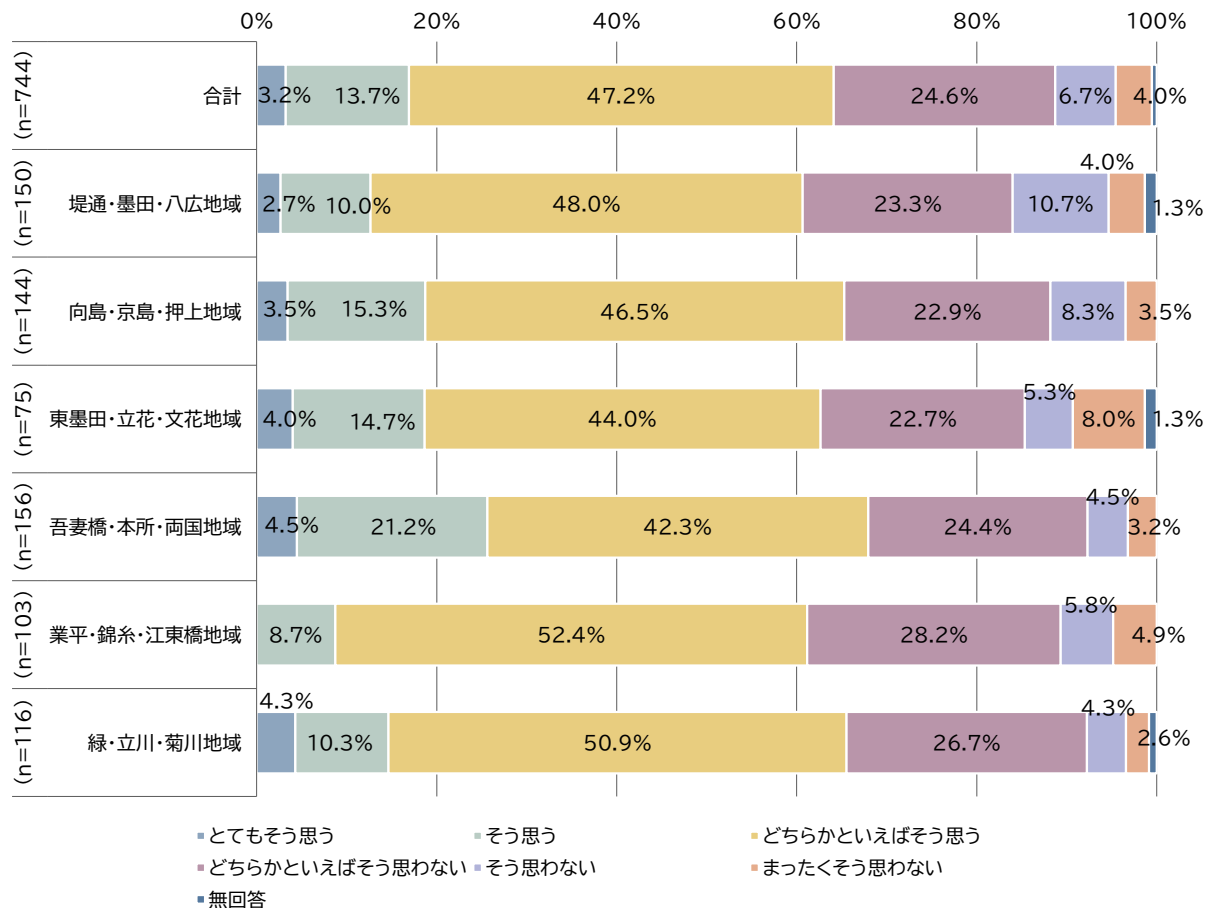
図表 57 「豊かな人間性をもった子どもたちが健やかに育つしくみをつくる」ことができていると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「吾妻橋・本所・両国地域」で、最も低いのは「堤通・墨田・八広地域」である。「業平・錦糸・江東橋地域」で「とてもそう思う」の選択はない。

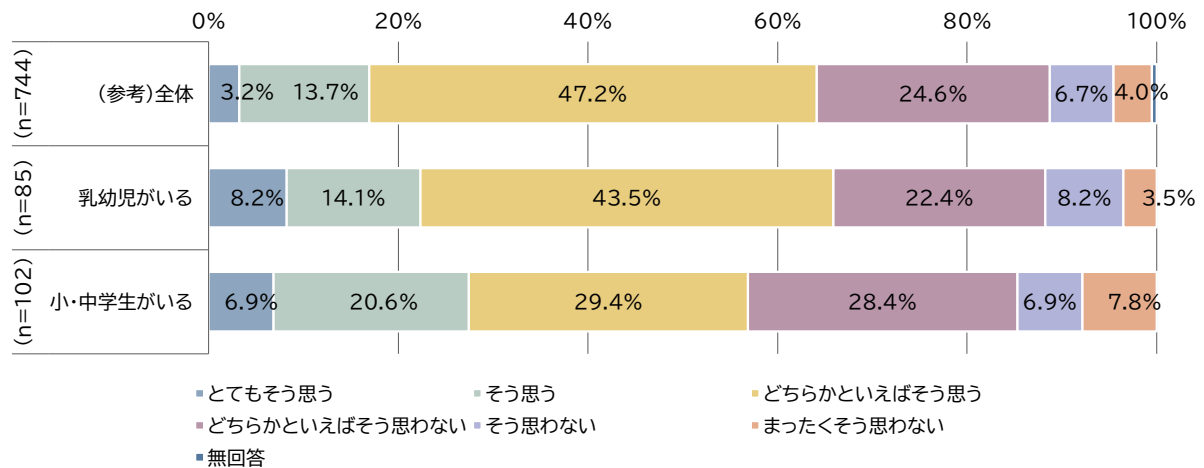
図表 58 「豊かな人間性をもった子どもたちが健やかに育つしくみをつくる」ことができていると思うか（居住地域別・SA）



4) 家族形態別（乳幼児、小・中学生のいる世帯）

家族形態別でみると、達成できていると思うとする割合は「乳幼児がいる世帯」で約 6.5 割、「小中学生がいる世帯」で約 5.5 割である。「小中学生がいる世帯」で「どちらかといえばそう思う」の割合が「(参考)全体」よりも低い。

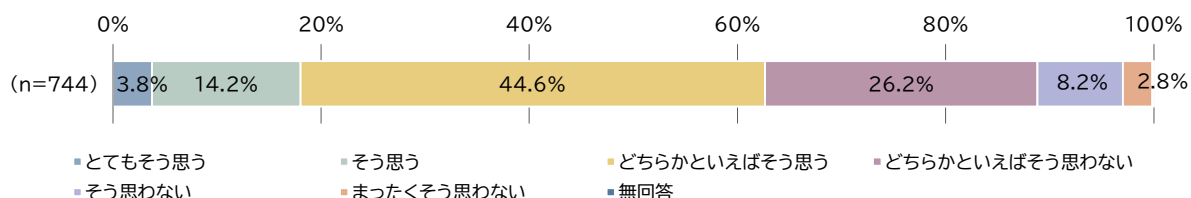
図表 59 「豊かな人間性をもった子どもたちが健やかに育つしくみをつくる」ことができていると思うか（家族形態別(乳幼児、小・中学生のいる世帯)・SA）



⑭ 「地球にやさしい、環境への負荷の少ないまちとしくみをつくる」ができていると思うか
1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約 6 割である。

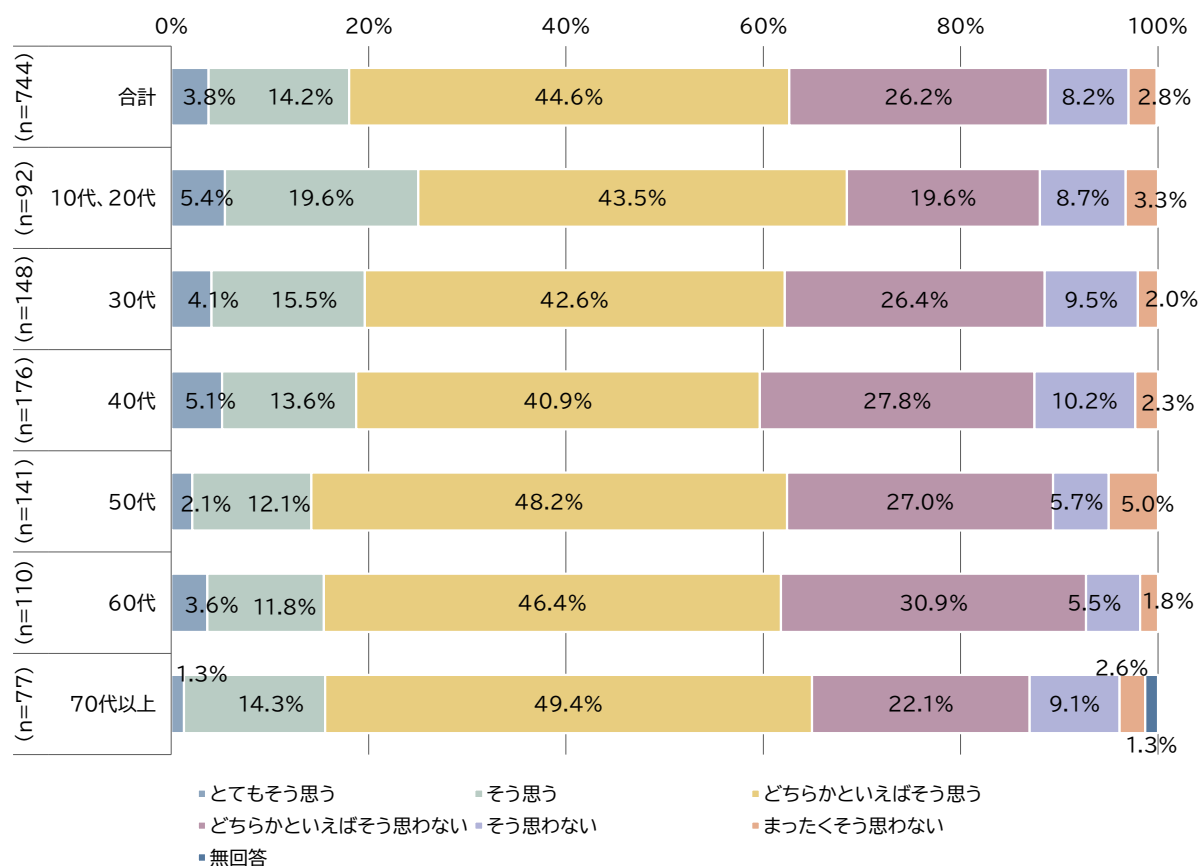
図表 60 「地球にやさしい、環境への負荷の少ないまちとしくみをつくる」ができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、いずれの年齢でも達成できていると思うとする割合が6割以上を占める。「10 代、20 代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりもやや低い。

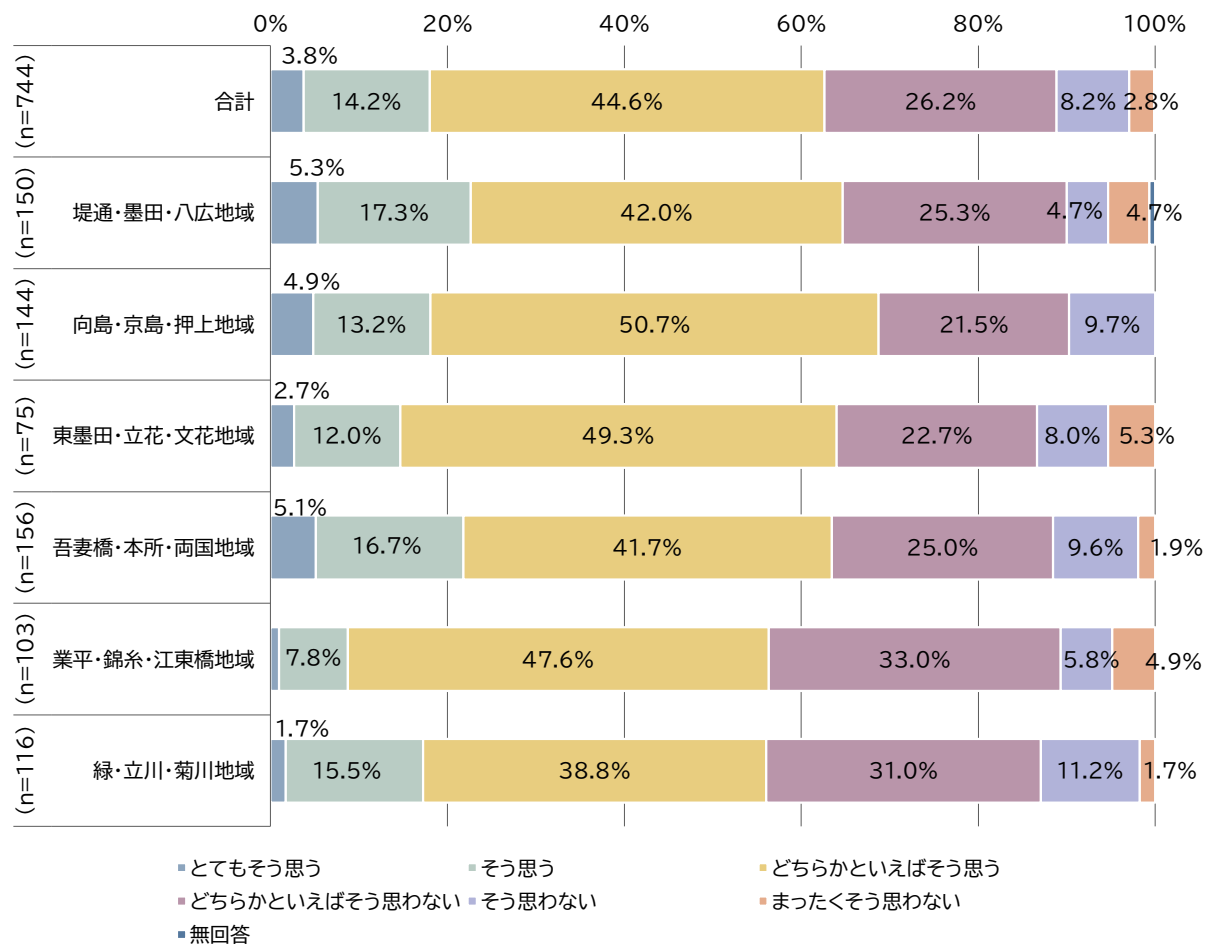
図表 61 「地球にやさしい、環境への負荷の少ないまちとしくみをつくる」ができていると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「向島・京島・押上地域」で、最も低いのは「緑・立川・菊川地域」である。「向島・京島・押上地域」の「どちらかといえばそう思う」の割合が「緑・立川・菊川地域」よりも高い。

図表 62 「地球にやさしい、環境への負荷の少ないまちとしくみをつくる」ができていると思うか（居住地域別・SA）



基本目標5 「区民と区が協働で「すみだ」をつくる」について

(将来像)

- ✓ 区民一人ひとりが責任と自覚をもって積極的にまちづくりに関わり、地域の課題をみずから話しあい、みずからの行動によって解決できる自律型地域社会になっている。
- ✓ 区民・地域・NP0・企業など「すみだ」の力が結集されるなかで、それぞれの主体と区との役割分担が明確になっており、住民自治の進展のもとに、多様な公共サービスの担い手によって、地域のニーズにかなったサービスが提供されるまちになっている。

<基本目標5 小まとめ>

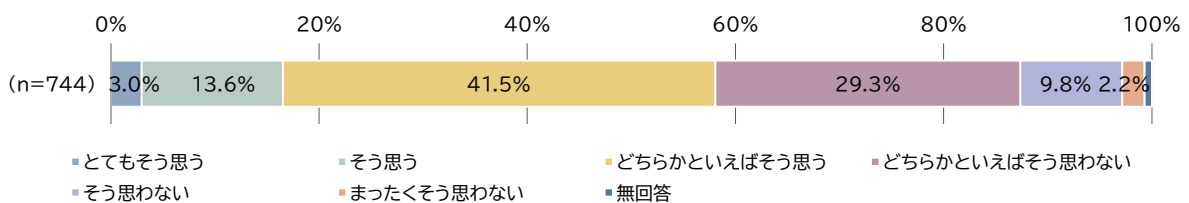
- ◆ 基本目標5の項目で達成できていると思うとする回答割合（「とてもそう思う」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合）は「人と人とのつながりの強い、地域力の高いまちをつくる」が58.1%、「多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる」は56.5%であり、6割を下回っている。（p.50 図表 63、p.54 図表 67）

⑮ 「人と人とのつながりの強い、地域力の高いまちをつくる」ことができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約6割である。

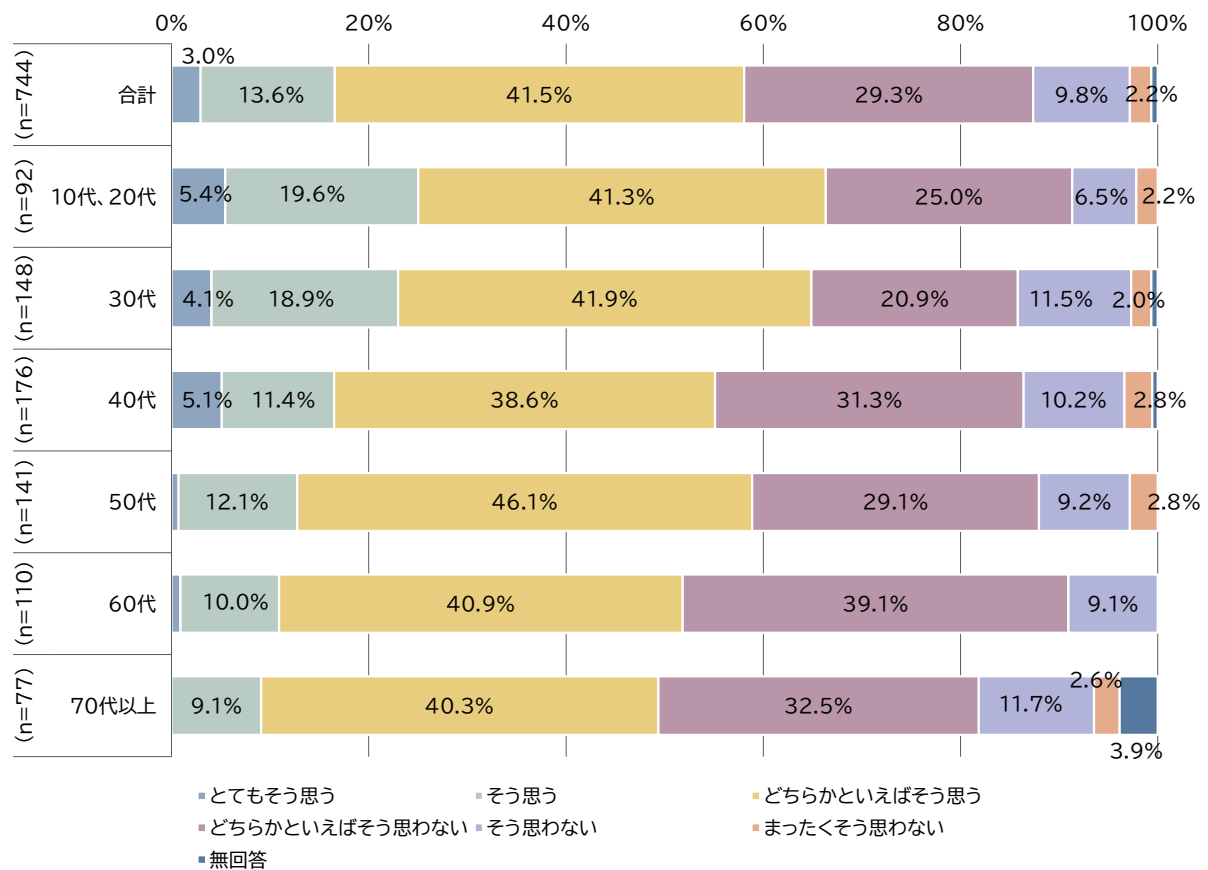
図表 63 「人と人とのつながりの強い、地域力の高いまちをつくる」ことができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10代、20代」で、最も低いのは「70代以上」である。「60代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりも高い。また、年齢が上がるにつれて、「そう思う」の割合が減少傾向にある。「70代以上」では「とてもそう思う」の回答がない。

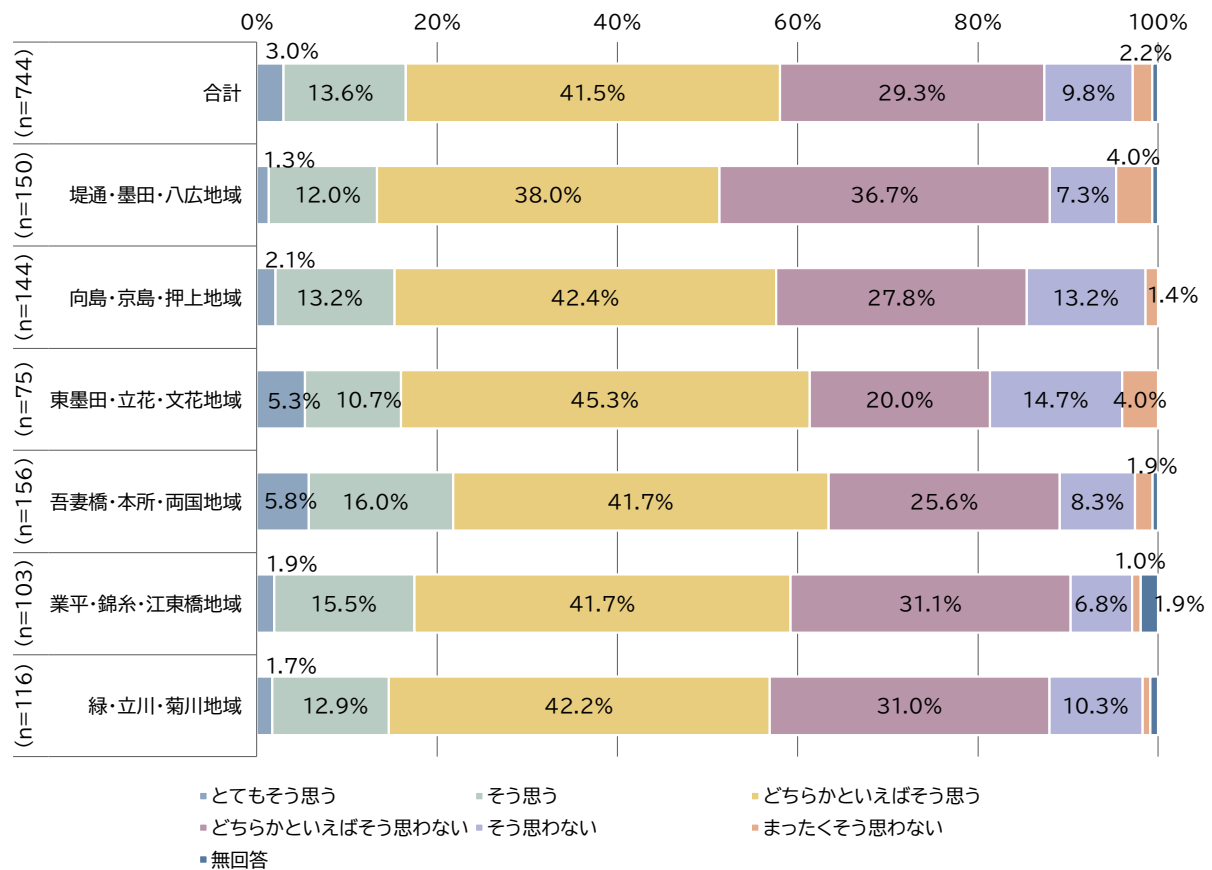
図表 64 「人と人とのつながりの強い、地域力の高いまちをつくる」ことができていると思うか
(年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「吾妻橋・本所・両国地域」で、最も低いのは「堤通・墨田・八広地域」である。「東墨田・立花・文花地域」で「どちらかというと思わない」の割合が合計よりも低い。

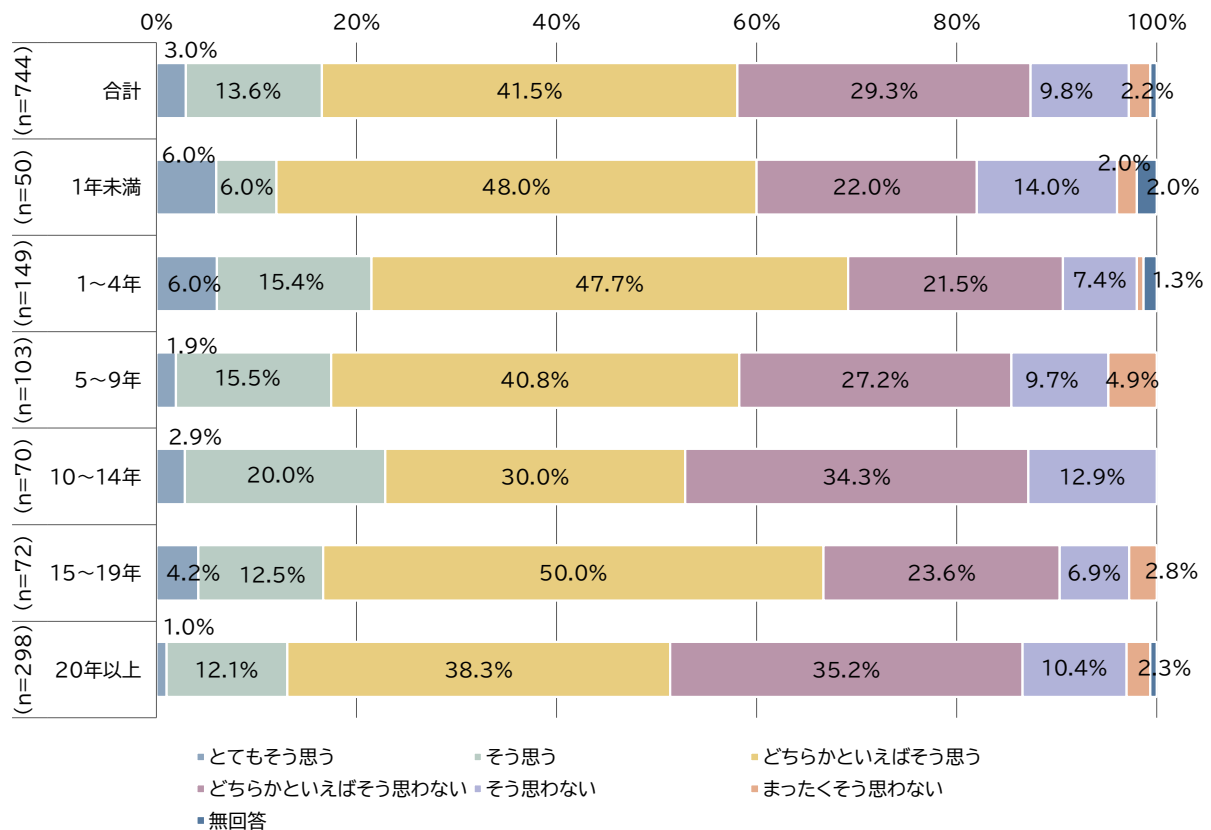
図表 65 「人と人とのつながりの強い、地域力の高いまちをつくる」ができていると思うか
(居住地域別・SA)



4) 居住年数別

居住年数別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「1～4年」で、最も低いのは「20年以上」である。「15～19年」で「どちらかといえば思う」の割合が合計よりも高く、「10～14年」で「どちらかといえば思う」の割合が合計よりも低い。

図表 66 「人と人とのつながりの強い、地域力の高いまちをつくる」ことができていると思うか
(居住年数別・SA)

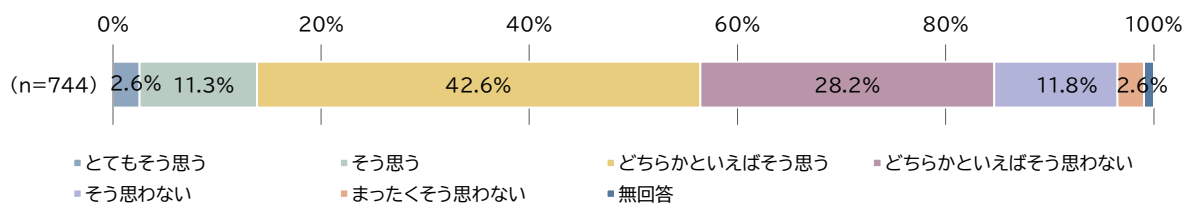


⑯ 「多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる」ができていると思うか

1) 全体

達成できていると思うとする回答割合は約 5.5 割である。

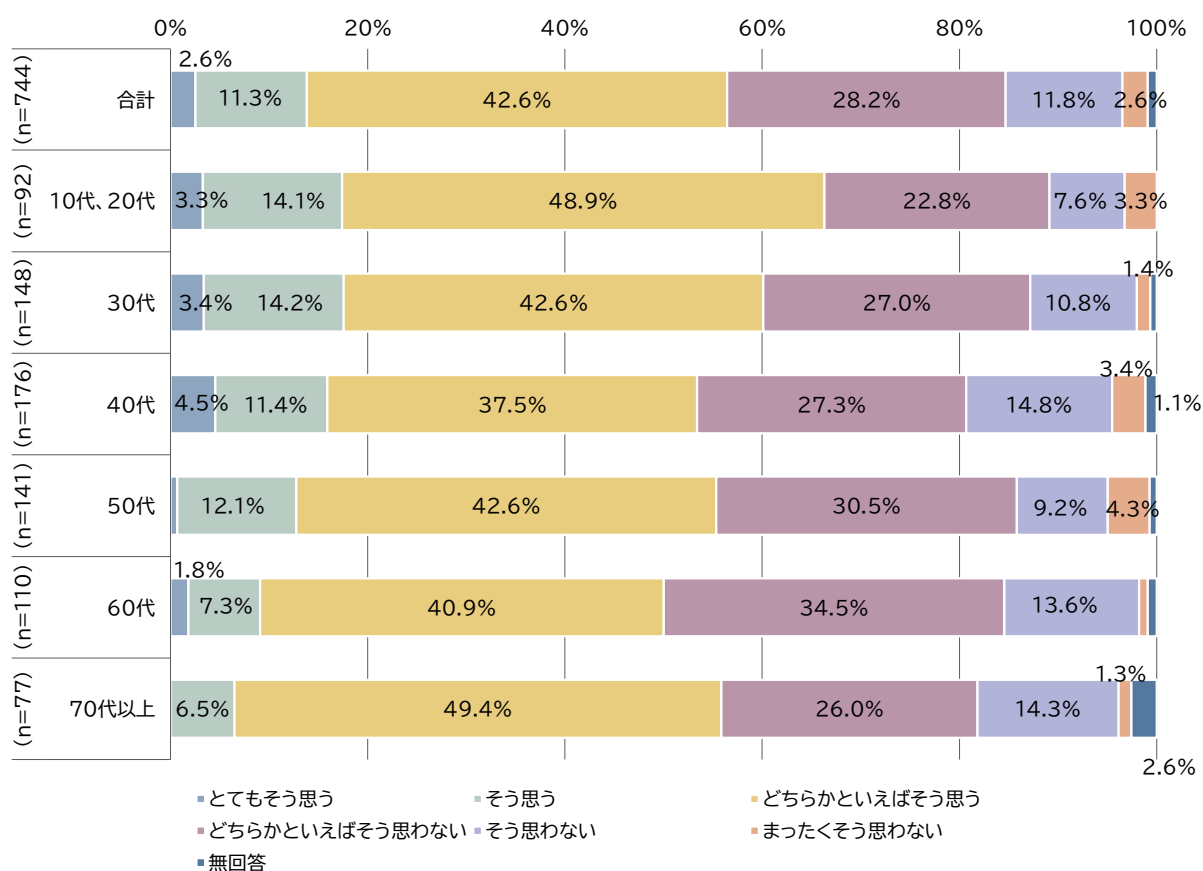
図表 67 「多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる」ができていると思うか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「10 代、20 代」で、最も低いのは「60 代」である。

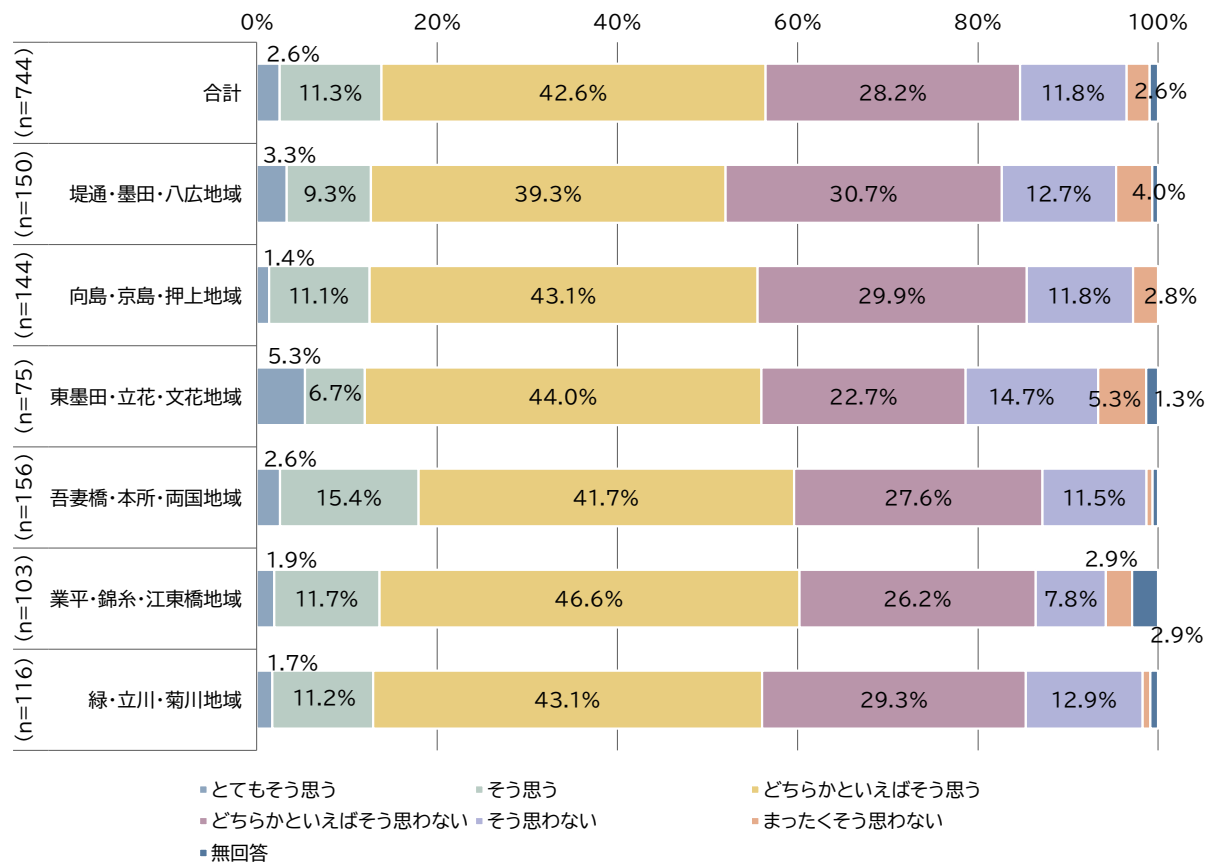
図表 68 「多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる」ができていると思うか (年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、いずれの地域でも達成できていると思うとする割合が5割以上を占める。地域別の傾向には明確な差は認められない。

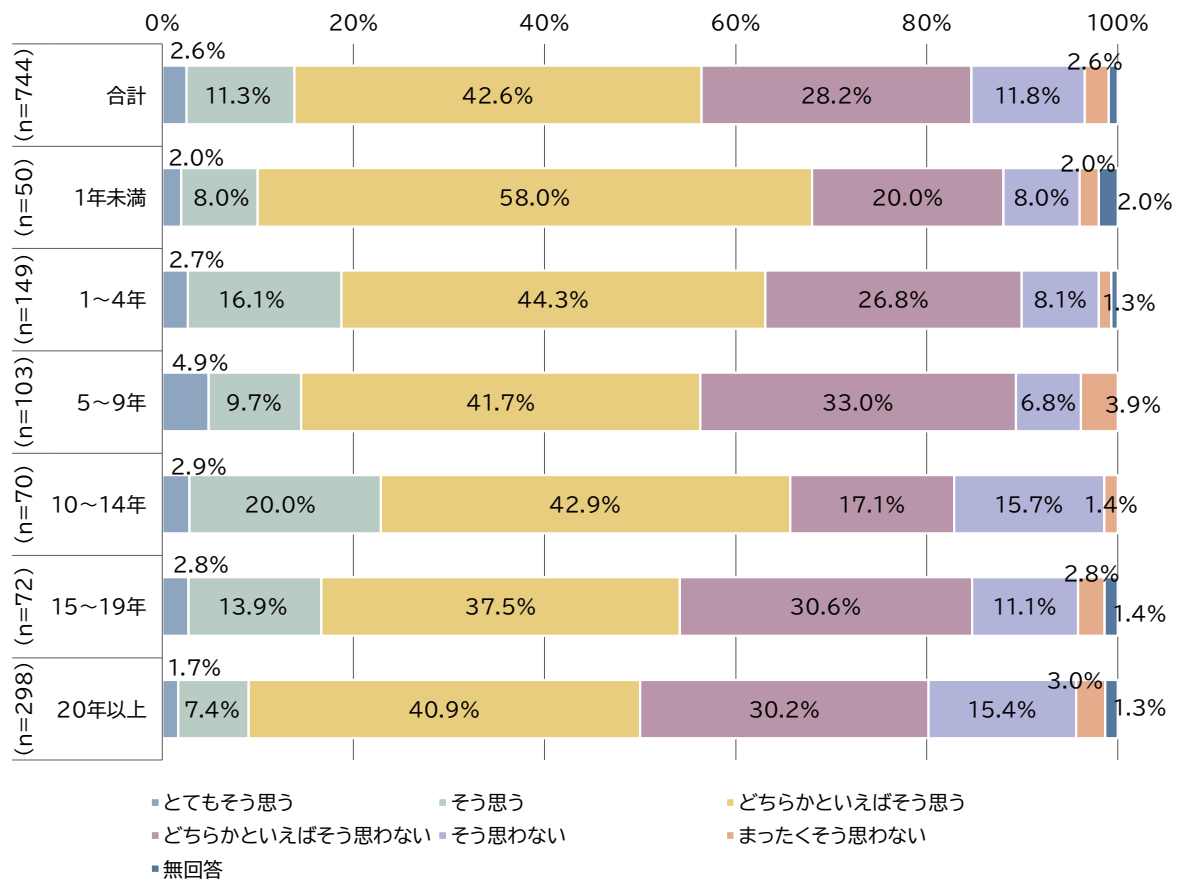
図表 69 「多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる」ができていると思うか
(居住地域別・SA)



4) 居住年数別

居住年数別でみると、達成できていると思うとする割合が最も高いのは「1年未満」で、最も低いのは「20 年以上」である。「1年未満」で「どちらかといえばそう思う」の割合が合計よりも高く、「10～14 年」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりも低い。

図表 70 「多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる」ことができていると思うか
(居住年数別・SA)

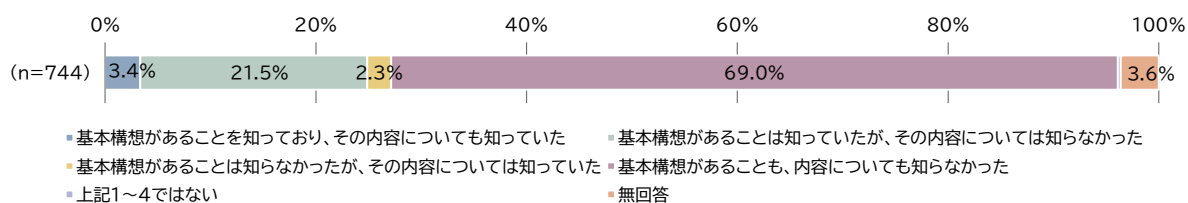


⑰ 区が基本構想を策定していること及びその内容の周知状況

1) 全体

このアンケートに回答する以前から、区が基本構想を策定していること及びその内容を知っていたかを確認する。無回答を除いて、「基本構想があることも、内容についても知らなかった」の割合が最も高く 69.0%である。次いで、「基本構想があることは知っていたが、その内容については知らなかった (21.5%)」、「基本構想があることを知っており、その内容についても知っていた (3.4%)」の順である。

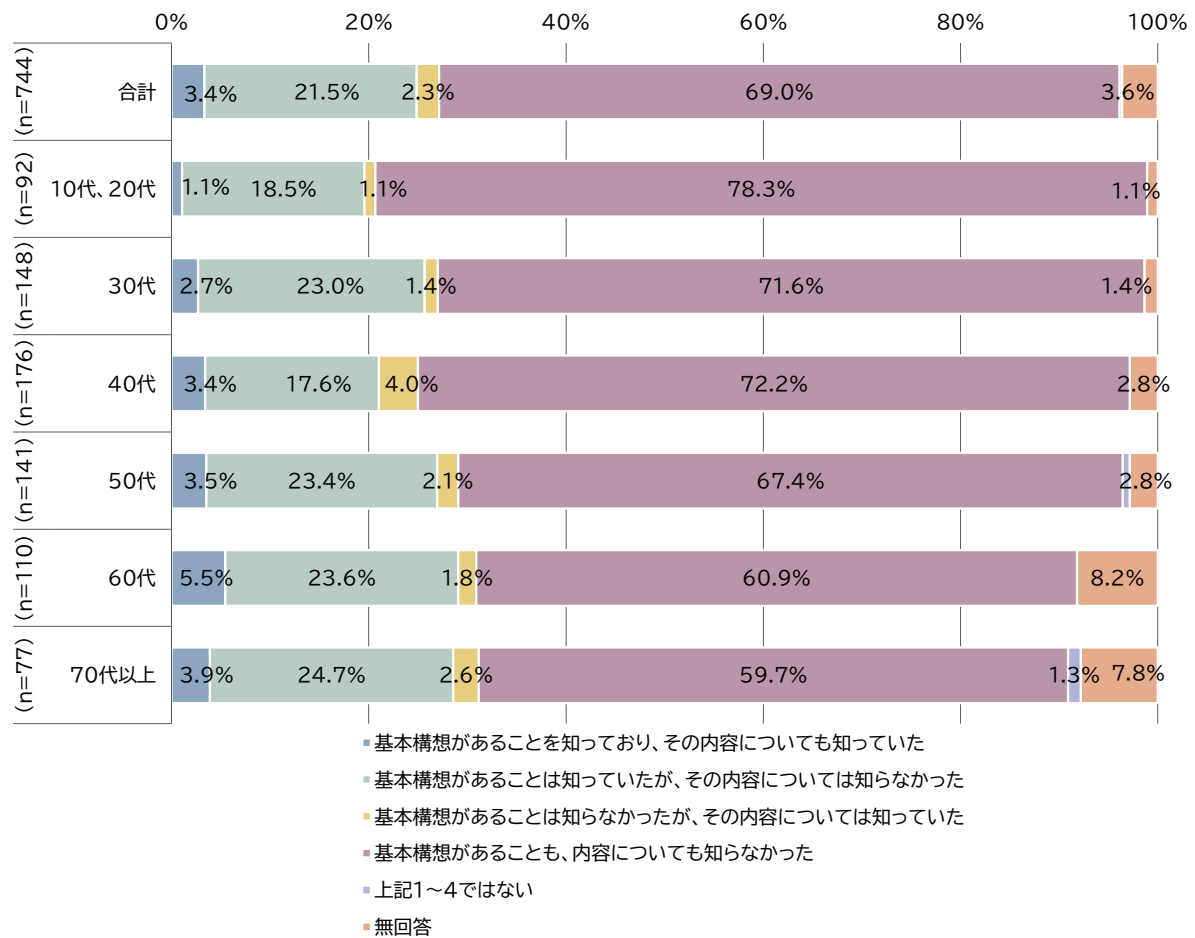
図表 71 区が基本構想を策定していること及びその内容について、このアンケート調査に回答する以前から知っていたか (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、「10代、20代」で「基本構想があることも、内容についても知らなかった」の割合が合計よりもやや高く、「70代以上」で「基本構想があることも、内容についても知らなかった」の割合が合計よりもやや低い。年齢が上がるにつれて、「基本構想があることも、内容についても知らなかった」の割合が減少傾向にある。

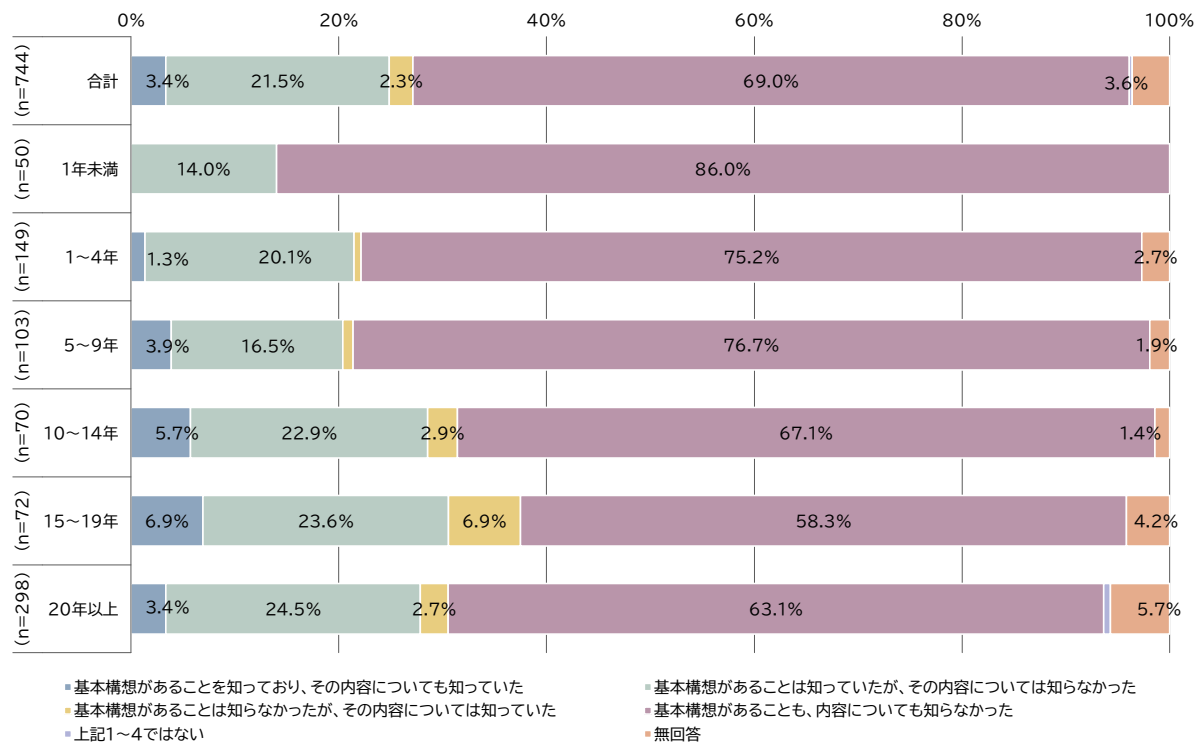
図表 72 区が基本構想を策定していること及びその内容について、このアンケート調査に回答する以前から知っていたか（年齢別・SA）



3) 居住年数別

居住年数別でみると、「1年未満」で「基本構想があることも、内容についても知らなかった」の割合が合計よりも高く、「15～19年」で「基本構想があることも、内容についても知らなかった」の割合が合計よりも低い。居住年数が長くなるにつれて、「基本構想があることも、内容についても知らなかった」の割合が減少傾向にある。

図表 73 区が基本構想を策定していること及びその内容について、このアンケート調査に回答する以前から知っていたか（居住年数別・SA）



3. 現在の区のイメージと今後の区に期待するイメージについて

(1) 調査結果概要

- ◆ 現在の墨田区のイメージは、「便利で住みやすいまち」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」、「多くの人を訪れるにぎわいのあるまち」の選択率が、他の選択肢から突出して高い。(p.61 図表 74)
- ◆ 今後墨田区に期待するイメージでは、「災害に強いまち」、「治安が良いまち」、「便利で住みやすいまち」の選択率が高い。また、居住年数が「1年未満」では「便利で住みやすいまち」の選択率が特に高く、「業平・錦糸・江東橋地域」では「治安が良いまち」の選択率が特に高い。「就学前の乳幼児がいる世帯」と、「30代」で「出産・子育てがしやすいまち」の選択率が特に高い。(p.67 図表 81、p.69 図表 83、p.70 図表 84、p.71 図表 86、p.68 図表 82)

(2) 調査結果

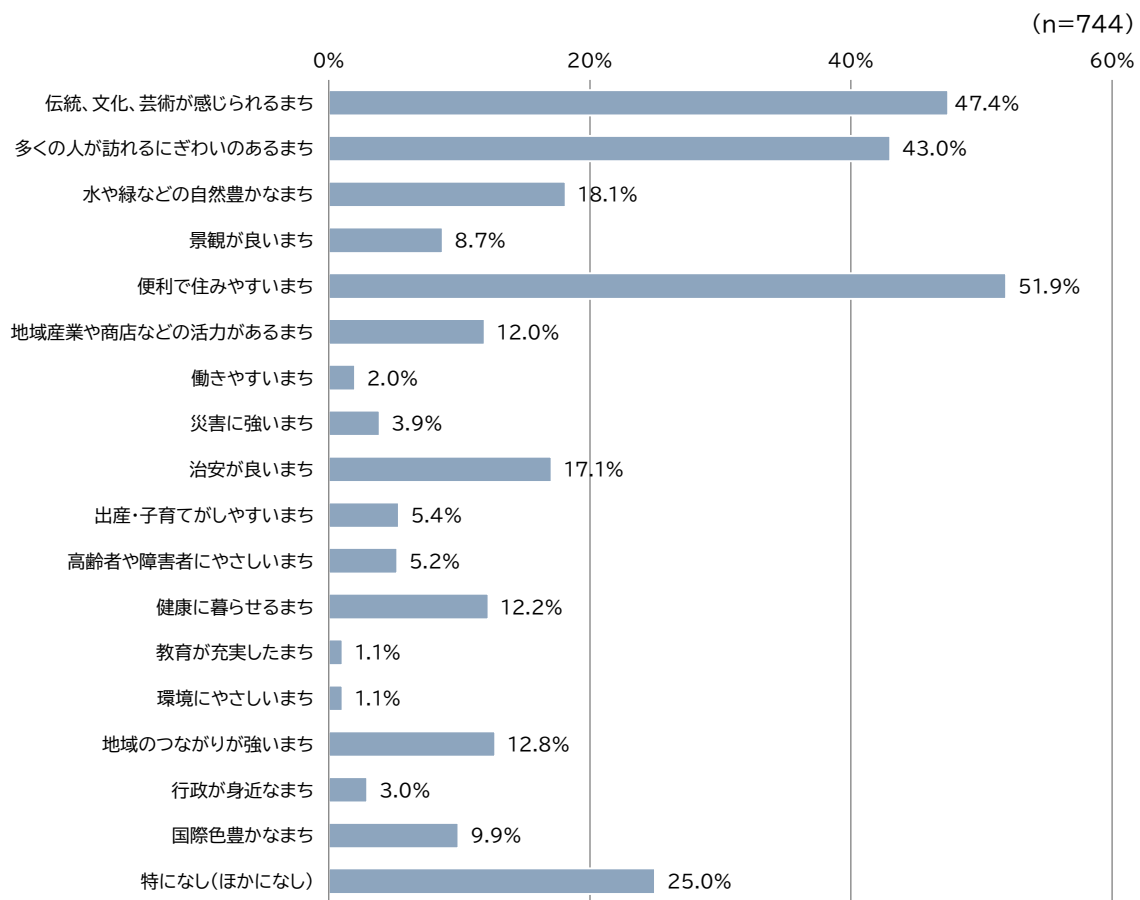
① 現在の墨田区へのイメージについて（回答の選択割合）

現在の墨田区へのイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

現在の墨田区のイメージとして、選択されている割合は、「便利で住みやすいまち（51.9%）」「伝統、文化、芸術が感じられるまち（47.4%）」、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち（43.0%）」の順に高い。

図表 74 現在の墨田区へのイメージ（回答の選択割合）



2) 年齢別

年齢別でみると、「便利で住みやすいまち」が「40代」を除いて1位、「40代」で2位であり、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「40代」で1位、「10代、20代」、「30代」、「50代」で2位、「60代」、「70代以上」で3位である。また、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」もどの年齢でも4位以内で選択されている。

図表 75 現在の墨田区へのイメージ（年齢別・回答の選択割合）

全体

第1位	便利で住みやすいまち	51.9%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	47.4%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	43.0%
第4位	特になし(ほかになし)	25.0%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	18.1%

10代、20代

第1位	便利で住みやすいまち	55.4%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	46.7%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	46.7%
第4位	水や緑などの自然豊かなまち	30.4%
第5位	景観が良いまち	21.7%

40代

第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	52.8%
第2位	便利で住みやすいまち	45.5%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	43.2%
第4位	特になし(ほかになし)	23.9%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	17.6%
第5位	治安が良いまち	17.6%

60代

第1位	便利で住みやすいまち	57.3%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	48.2%
第3位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	37.3%
第4位	特になし(ほかになし)	26.4%
第5位	健康に暮らせるまち	16.4%

30代

第1位	便利で住みやすいまち	58.1%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	53.4%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	49.3%
第4位	特になし(ほかになし)	22.3%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	17.6%

50代

第1位	便利で住みやすいまち	52.5%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	49.6%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	39.7%
第4位	特になし(ほかになし)	26.2%
第5位	治安が良いまち	19.1%

70代以上

第1位	便利で住みやすいまち	41.6%
第2位	特になし(ほかになし)	39.0%
第3位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	35.1%
第4位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	24.7%
第5位	健康に暮らせるまち	22.1%

※回答者数は、全体＝744、10代、20代＝92、30代＝148、40代＝176、50代＝141、60代＝110、70代以上＝77である。

3) 居住年数別

居住年数別でみると、「便利で住みやすいまち」が「1 年未満」、「1～4 年」、「10～14 年」、「20 年以上」で1位、「5～9 年」で2位、「15～19 年」で3位であり、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「5～9 年」、「15～19 年」で1位、「1 年未満」、「1～4 年」、「10～14 年」、「20 年以上」で2位である。また、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」もどの居住年数でも3位以内で選択されている。

図表 76 現在の墨田区へのイメージ（居住年数別・回答の選択割合）

全体

第1位	便利で住みやすいまち	51.9%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	47.4%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	43.0%
第4位	特になし(ほかになし)	25.0%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	18.1%

1年未満

第1位	便利で住みやすいまち	58.0%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	52.0%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	46.0%
第4位	水や緑などの自然豊かなまち	24.0%
第5位	景観が良いまち	22.0%

1～4年

第1位	便利で住みやすいまち	55.0%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	53.7%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	46.3%
第4位	水や緑などの自然豊かなまち	25.5%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	17.4%
第5位	特になし(ほかになし)	17.4%

5～9年

第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	53.4%
第2位	便利で住みやすいまち	52.4%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	40.8%
第4位	水や緑などの自然豊かなまち	23.3%
第5位	特になし(ほかになし)	19.4%

10～14年

第1位	便利で住みやすいまち	50.0%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	45.7%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	45.7%
第4位	特になし(ほかになし)	22.9%
第5位	治安が良いまち	17.1%
第5位	健康に暮らせるまち	17.1%
第5位	地域のつながりが強いまち	17.1%

15～19年

第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	54.2%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	48.6%
第3位	便利で住みやすいまち	47.2%
第4位	治安が良いまち	20.8%
第4位	地域のつながりが強いまち	20.8%
第4位	特になし(ほかになし)	20.8%

20年以上

第1位	便利で住みやすいまち	51.0%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	40.3%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	39.3%
第4位	特になし(ほかになし)	33.6%
第5位	治安が良いまち	19.1%

※回答者数は、全体＝744、1 年未満＝50、1～4 年＝149、5～9 年＝103、10～14 年＝70、15～19 年＝72、20 年以上＝298 である。

4) 居住地域別

居住地域別でみると、「便利で住みやすいまち」が「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で1位、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で2位であり、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で1位、「東墨田・立花・文花地域」で2位、「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で3位である。また、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」もすべての居住地域において3位以内で選択されている。

図表 77 現在の墨田区へのイメージ（居住地域別・回答の選択割合）

全体		
第1位	便利で住みやすいまち	51.9%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	47.4%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	43.0%
第4位	特になし(ほかになし)	25.0%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	18.1%

堤通・墨田・八広地域		
第1位	便利で住みやすいまち	42.0%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	39.3%
第3位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	38.7%
第4位	特になし(ほかになし)	29.3%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	21.3%

東墨田・立花・文花地域		
第1位	便利で住みやすいまち	41.3%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	40.0%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	40.0%
第4位	特になし(ほかになし)	29.3%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	24.0%

業平・錦糸・江東橋地域		
第1位	便利で住みやすいまち	64.1%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	54.4%
第3位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	47.6%
第4位	特になし(ほかになし)	23.3%
第5位	国際色豊かなまち	19.4%

向島・京島・押上地域		
第1位	便利で住みやすいまち	56.9%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	47.2%
第3位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	46.5%
第4位	特になし(ほかになし)	20.8%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.4%

吾妻橋・本所・両国地域		
第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	53.8%
第2位	便利で住みやすいまち	51.3%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	48.1%
第4位	治安が良いまち	23.1%
第5位	特になし(ほかになし)	21.8%

緑・立川・菊川地域		
第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	56.0%
第2位	便利で住みやすいまち	55.2%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	27.6%
第3位	特になし(ほかになし)	27.6%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	21.6%

※回答者数は、全体＝744、堤通・墨田・八広地域＝150、向島・京島・押上地域＝144、東墨田・立花・文花地域＝75、吾妻橋・本所・両国地域＝156、業平・錦糸・江東橋地域＝103、緑・立川・菊川地域＝116 である。

5) 世帯構成別

世帯構成別でみると、「便利で住みやすいまち」が「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で1位、「その他」で2位であり、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「その他」で1位、「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で2位である。また、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」がすべての世帯構成において3位で選択されている。

図表 78 現在の墨田区へのイメージ（世帯構成別・回答の選択割合）

全体					
第1位	便利で住みやすいまち	51.9%			
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	47.4%			
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	43.0%			
第4位	特になし(ほかになし)	25.0%			
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	18.1%			
一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	便利で住みやすいまち	55.5%	第1位	便利で住みやすいまち	56.1%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	45.1%	第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	49.7%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	41.0%	第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	47.6%
第4位	水や緑などの自然豊かなまち	22.0%	第4位	特になし(ほかになし)	24.9%
第5位	特になし(ほかになし)	22.0%	第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.6%
二世帯世帯			その他		
第1位	便利で住みやすいまち	47.6%	第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	55.6%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	46.0%	第2位	便利で住みやすいまち	51.9%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	41.2%	第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	44.4%
第4位	特になし(ほかになし)	26.2%	第4位	特になし(ほかになし)	27.8%
第5位	治安が良いまち	19.2%	第5位	水や緑などの自然豊かなまち	20.4%

※回答者数は、全体＝744、一人暮らし（単身世帯）＝173、夫婦のみ＝189、二世帯世帯＝328、その他＝54である。

6) 家族形態別

家族形態別でみると、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「就学前の乳幼児がいる世帯」、「小・中学生がいる世帯」で1位、「65歳以上の方がいる世帯」で2位であり、「便利で住みやすいまち」が「65歳以上の方がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」、「小・中学生がいる世帯」で2位である。また、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」がすべての家族形態で3位に選択されている。

図表 79 現在の墨田区へのイメージ（家族形態別・回答の選択割合）

(参考)全体					
第1位	便利で住みやすいまち	51.9%			
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	47.4%			
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	43.0%			
第4位	特になし(ほかになし)	25.0%			
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	18.1%			
就学前の乳幼児がいる世帯			小・中学生がいる世帯		
第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	56.5%	第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	51.0%
第2位	便利で住みやすいまち	48.2%	第2位	便利で住みやすいまち	45.1%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	44.7%	第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	41.2%
第4位	地域産業や商店などの活力があるまち	20.0%	第4位	地域のつながりが強いまち	24.5%
第5位	特になし(ほかになし)	20.0%	第5位	特になし(ほかになし)	22.5%
65歳以上の方がいる世帯					
第1位	便利で住みやすいまち	49.5%			
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	38.0%			
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	34.1%			
第4位	特になし(ほかになし)	31.3%			
第5位	治安が良いまち	23.1%			

※回答者数は、（参考）全体＝744、就学前の乳幼児がいる世帯＝85、小・中学生がいる世帯＝102、65歳以上の方がいる世帯＝208である。

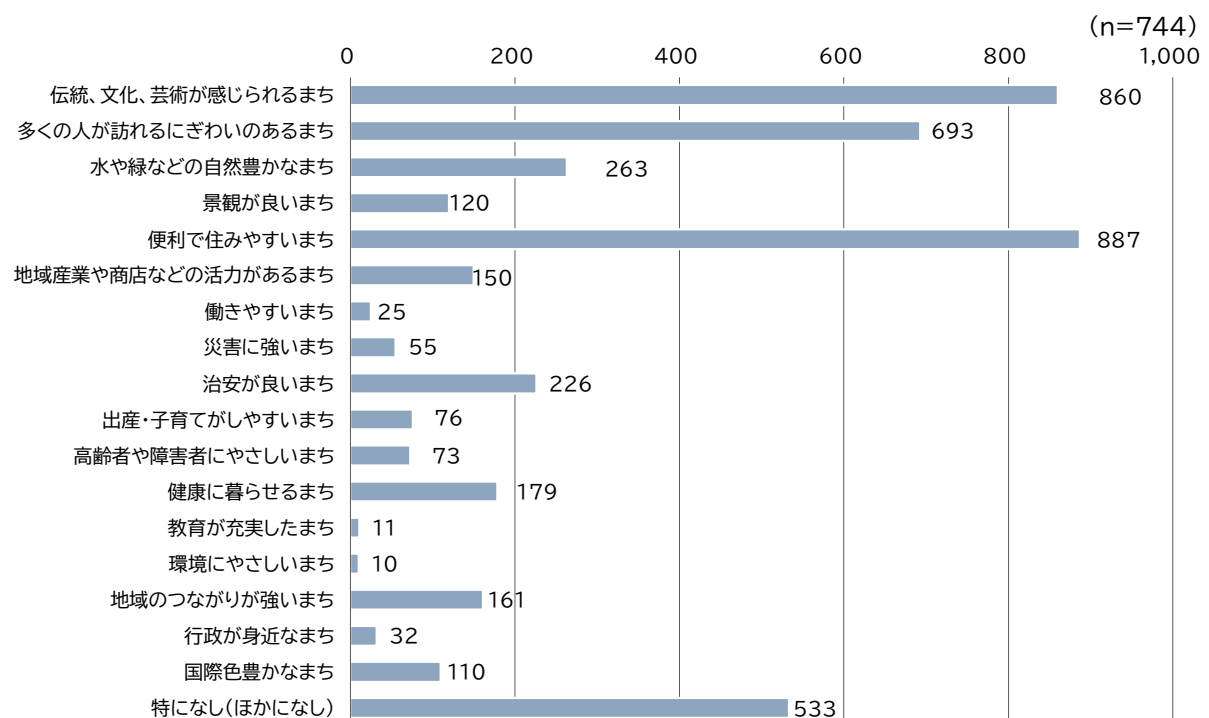
② 現在の墨田区へのイメージについて （回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 3 点、2 番目に選択されたものを 2 点、3 番目に選択されたものを 1 点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

現在の区のイメージを点数化した結果は、「便利で住みやすいまち（887）」「伝統、文化、芸術が感じられるまち（860）」、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち（693）」の順に高い。

図表 80 現在の墨田区へのイメージ（回答の点数化）



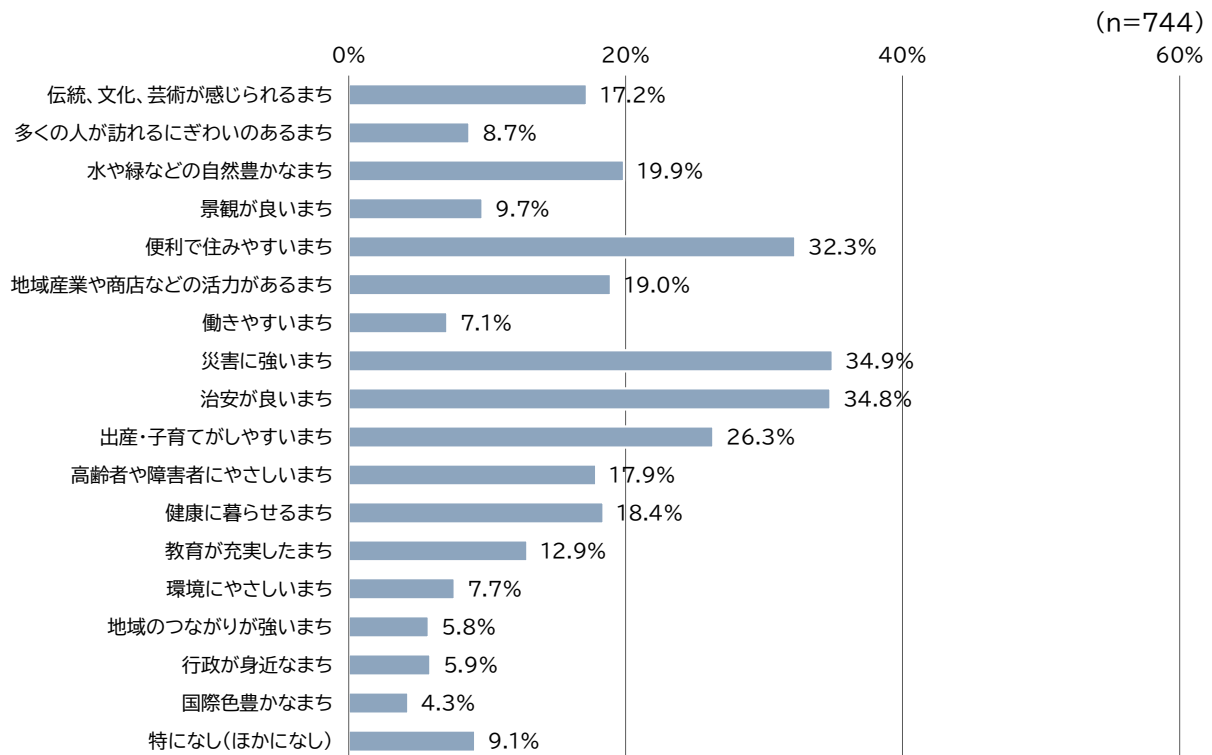
③ 今後の墨田区へ期待するイメージについて （回答の選択割合）

今後の墨田区へ期待するイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

今後の墨田区へ期待するイメージとして、選択されている割合は、「災害に強いまち（34.9%）」「治安が良いまち（34.8%）」、「便利で住みやすいまち（32.3%）」の順に高い。

図表 81 今後墨田区へ期待するイメージについて（回答の選択割合）



2) 年齢別

年齢別でみると、「災害に強いまち」が「50代」、「70代以上」で1位、「60代」で2位、「10代、20代」、「40代」で3位であり、「便利で住みやすいまち」が「10代、20代」で1位、「40代」で2位、「30代」、「50代」、「60代」で3位である。「出産・子育てがしやすいまち」が、「10代、20代」、「30代」で1位、「40代」で4位である。また、「治安が良いまち」がすべての年齢で4位以内に選択されている。

図表 82 今後墨田区へ期待するイメージについて（年齢別・回答の選択割合）

全体		
第1位	災害に強いまち	34.9%
第2位	治安が良いまち	34.8%
第3位	便利で住みやすいまち	32.3%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	26.3%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.9%

10代、20代		
第1位	便利で住みやすいまち	34.8%
第1位	出産・子育てがしやすいまち	34.8%
第3位	災害に強いまち	33.7%
第4位	治安が良いまち	27.2%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	20.7%

40代		
第1位	治安が良いまち	40.3%
第2位	便利で住みやすいまち	37.5%
第3位	災害に強いまち	31.8%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	22.2%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	18.8%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	18.8%

60代		
第1位	高齢者や障害者にやさしいまち	38.2%
第2位	災害に強いまち	37.3%
第3位	便利で住みやすいまち	32.7%
第4位	治安が良いまち	30.0%
第5位	健康に暮らせるまち	22.7%

30代		
第1位	出産・子育てがしやすいまち	49.3%
第2位	治安が良いまち	39.2%
第3位	便利で住みやすいまち	33.8%
第4位	災害に強いまち	26.4%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	22.3%

50代		
第1位	災害に強いまち	44.7%
第2位	治安が良いまち	38.3%
第3位	便利で住みやすいまち	27.7%
第4位	高齢者や障害者にやさしいまち	26.2%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	21.3%

70代以上		
第1位	災害に強いまち	39.0%
第2位	高齢者や障害者にやさしいまち	32.5%
第3位	健康に暮らせるまち	31.2%
第4位	治安が良いまち	23.4%
第5位	便利で住みやすいまち	22.1%

※回答者数は、全体＝744、10代、20代＝92、30代＝148、40代＝176、50代＝141、60代＝110、70代以上＝77である。

3) 居住年数別

居住年数別でみると、「治安が良いまち」が「5～9年」、「10～14年」で1位、「1年未満」、「15～19年」、「20年以上」で2位、「1～4年」で3位であり、「便利で住みやすいまち」が「1年未満」で1位、「1～4年」、「10～14年」で2位、「5～9年」、「15～19年」で3位である。「出産・子育てがしやすいまち」が「1～4年」で1位、「5～9年」で2位、「1年未満」、「10～14年」で4位である。また「災害に強いまち」は「15～19年」、「20年以上」で1位であり、他の居住年数においても4位以内に選択されている。

図表 83 今後墨田区へ期待するイメージについて（居住年数別・回答の選択割合）

全体

第1位	災害に強いまち	34.9%
第2位	治安が良いまち	34.8%
第3位	便利で住みやすいまち	32.3%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	26.3%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.9%

1年未満

第1位	便利で住みやすいまち	46.0%
第2位	治安が良いまち	30.0%
第3位	地域産業や商店などの活力があるまち	24.0%
第4位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	22.0%
第4位	災害に強いまち	22.0%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	22.0%

1～4年

第1位	出産・子育てがしやすいまち	37.6%
第2位	便利で住みやすいまち	36.9%
第3位	治安が良いまち	34.2%
第4位	災害に強いまち	32.2%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	30.2%

5～9年

第1位	治安が良いまち	38.8%
第2位	出産・子育てがしやすいまち	36.9%
第3位	便利で住みやすいまち	30.1%
第4位	災害に強いまち	29.1%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	22.3%

10～14年

第1位	治安が良いまち	41.4%
第2位	便利で住みやすいまち	37.1%
第3位	災害に強いまち	35.7%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	28.6%
第5位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	22.9%

15～19年

第1位	災害に強いまち	38.9%
第2位	治安が良いまち	30.6%
第3位	便利で住みやすいまち	26.4%
第3位	教育が充実したまち	26.4%
第5位	健康に暮らせるまち	20.8%

20年以上

第1位	災害に強いまち	39.3%
第2位	治安が良いまち	34.2%
第3位	高齢者や障害者にやさしいまち	29.2%
第4位	便利で住みやすいまち	28.9%
第5位	健康に暮らせるまち	24.2%

※回答者数は、全体＝744、1年未満＝50、1～4年＝149、5～9年＝103、10～14年＝70、15～19年＝72、20年以上＝298である。

4) 居住地域別

居住地域別でみると、「災害に強いまち」が「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」で1位であり、「吾妻橋・本所・両国地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で2位、「緑・立川・菊川地域」が3位、「治安が良いまち」が「吾妻橋・本所・両国地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」で1位であり、「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」で2位である。また、「便利で住みやすいまち」もすべての居住地域で3位以内に選択されている。

図表 84 今後墨田区へ期待するイメージについて（居住地域別・回答の選択割合）

全体

第1位	災害に強いまち	34.9%
第2位	治安が良いまち	34.8%
第3位	便利で住みやすいまち	32.3%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	26.3%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.9%

堤通・墨田・八広地域

第1位	災害に強いまち	40.0%
第2位	治安が良いまち	36.7%
第3位	便利で住みやすいまち	35.3%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	24.0%
第5位	高齢者や障害者にやさしいまち	20.7%

向島・京島・押上地域

第1位	災害に強いまち	38.9%
第2位	治安が良いまち	28.5%
第3位	便利で住みやすいまち	27.1%
第3位	出産・子育てがしやすいまち	27.1%
第5位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	25.0%

東墨田・立花・文花地域

第1位	災害に強いまち	40.0%
第2位	便利で住みやすいまち	36.0%
第3位	出産・子育てがしやすいまち	30.7%
第4位	高齢者や障害者にやさしいまち	28.0%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	22.7%

吾妻橋・本所・両国地域

第1位	治安が良いまち	34.6%
第2位	災害に強いまち	32.1%
第3位	便利で住みやすいまち	30.1%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	25.6%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.9%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	19.9%

業平・錦糸・江東橋地域

第1位	治安が良いまち	48.5%
第2位	災害に強いまち	32.0%
第3位	便利で住みやすいまち	31.1%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	28.2%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	24.3%

緑・立川・菊川地域

第1位	治安が良いまち	37.1%
第2位	便利で住みやすいまち	36.2%
第3位	災害に強いまち	26.7%
第4位	水や緑などの自然豊かなまち	25.0%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	25.0%

※回答者数は、全体＝744、堤通・墨田・八広地域＝150、向島・京島・押上地域＝144、東墨田・立花・文花地域＝75、吾妻橋・本所・両国地域＝156、業平・錦糸・江東橋地域＝103、緑・立川・菊川地域＝116 である。

5) 世帯構成別

世帯構成別でみると、「治安が良いまち」が「二世帯世帯」、「その他」で1位、「一人暮らし(単身世帯)」で2位、「夫婦のみ」で3位であり、「災害に強いまち」が「夫婦のみ」で1位、「二世帯世帯」、「その他」で2位、「一人暮らし(単身世帯)」で3位である。また「便利で住みやすいまち」が「一人暮らし(単身世帯)」で1位に、他の世帯構成においても4位以内に選択されている。

図表 85 今後墨田区へ期待するイメージについて（世帯構成別・回答の選択割合）

全体

第1位	災害に強いまち	34.9%
第2位	治安が良いまち	34.8%
第3位	便利で住みやすいまち	32.3%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	26.3%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.9%

一人暮らし(単身世帯)

第1位	便利で住みやすいまち	39.9%
第2位	治安が良いまち	37.0%
第3位	災害に強いまち	31.8%
第4位	水や緑などの自然豊かなまち	28.9%
第5位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	21.4%

夫婦のみ

第1位	災害に強いまち	37.0%
第2位	便利で住みやすいまち	29.6%
第3位	治安が良いまち	27.5%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	23.8%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	23.3%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	23.3%

二世帯世帯

第1位	治安が良いまち	36.6%
第2位	災害に強いまち	34.5%
第3位	出産・子育てがしやすいまち	33.8%
第4位	便利で住みやすいまち	29.9%
第5位	教育が充実したまち	20.4%

その他

第1位	治安が良いまち	42.6%
第2位	災害に強いまち	40.7%
第3位	便利で住みやすいまち	31.5%
第3位	健康に暮らせるまち	31.5%
第5位	高齢者や障害者にやさしいまち	20.4%

※回答者数は、全体＝744、一人暮らし（単身世帯）＝173、夫婦のみ＝189、二世帯世帯＝328、その他＝54 である。

6) 家族形態別

家族形態別でみると、「災害時に強いまち」が「65 歳以上の方がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」、「小・中学生がいる世帯」で4位である。「治安が良いまち」が「小・中学生がいる世帯」で2位、「就学前の乳幼児がいる世帯」、「65 歳以上の方がいる世帯」で3位であり、「出産・子育てがしやすいまち」が「就学前の乳幼児がいる世帯」で1位、「小・中学生がいる世帯」で3位である。

図表 86 今後墨田区へ期待するイメージについて（家族形態別・回答の選択割合）

(参考)全体

第1位	災害に強いまち	34.9%
第2位	治安が良いまち	34.8%
第3位	便利で住みやすいまち	32.3%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	26.3%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.9%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	出産・子育てがしやすいまち	67.1%
第2位	教育が充実したまち	38.8%
第3位	治安が良いまち	35.3%
第4位	災害に強いまち	25.9%
第5位	便利で住みやすいまち	22.4%

小・中学生がいる世帯

第1位	便利で住みやすいまち	43.1%
第2位	治安が良いまち	38.2%
第3位	出産・子育てがしやすいまち	34.3%
第4位	災害に強いまち	31.4%
第5位	教育が充実したまち	27.5%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	災害に強いまち	41.8%
第2位	高齢者や障害者にやさしいまち	30.3%
第3位	治安が良いまち	29.3%
第4位	健康に暮らせるまち	28.4%
第5位	便利で住みやすいまち	26.9%

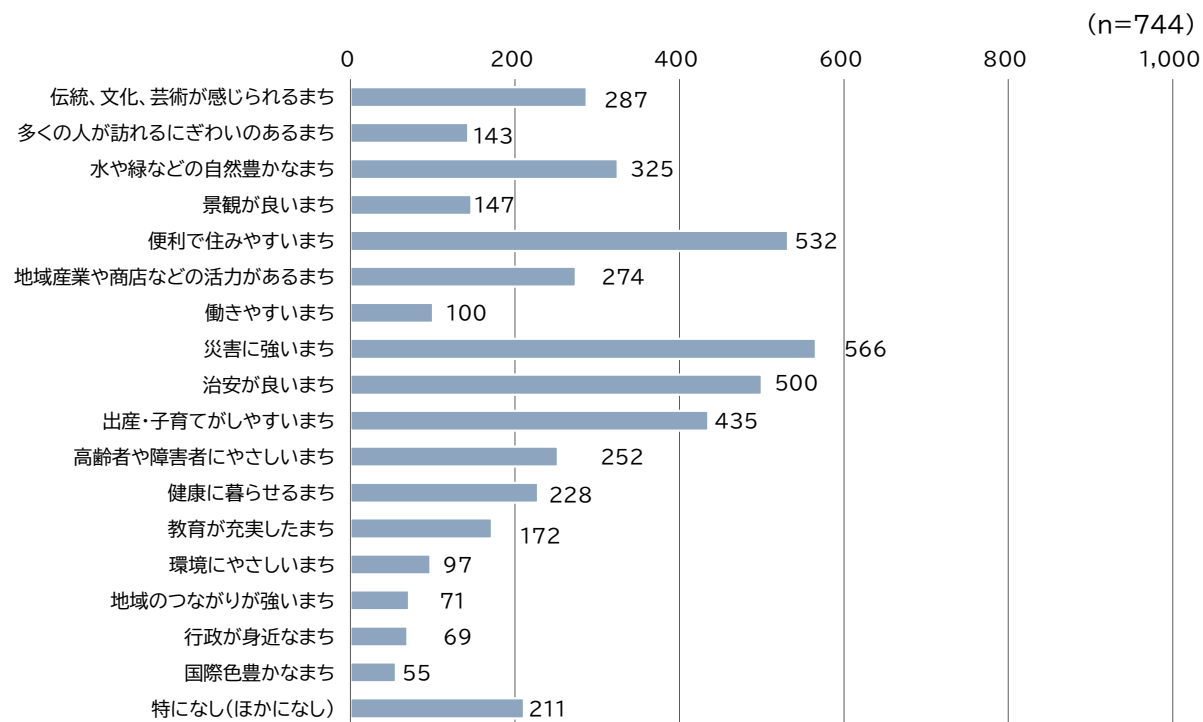
※回答者数は、（参考）全体＝744、就学前の乳幼児がいる世帯＝85、小・中学生がいる世帯＝102、65 歳以上の方がいる世帯＝208 である。

④ 今後の墨田区へ期待するイメージについて （回答の点数化）

1) 全体

今後の墨田区へ期待するイメージについて点数化した結果は、「災害に強いまち（566）」「便利で住みやすいまち（532）」、「治安が良いまち（500）」の順に高い。

図表 87 今後墨田区へ期待するイメージについて（回答の点数化）



4. 区への満足点、不満足点等について

(1) 調査結果概要

- ◆ 墨田区に満足している点のキーワードについては、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」、「伝統・歴史」、「観光」、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「商業・商店街」の選択率が高い。（p.74 表 88）
- ◆ 墨田区への不満足点のキーワードについては、「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街」、「防災」、「防犯」、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「子ども・若者支援」の選択率が高い。（p.79 図表 94）
- ◆ 墨田区がより一層魅力的になるためのキーワードについては、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「まちなみ」、「子ども・若者支援」、「商業・商店街」、「防災」、「妊娠・出産・子育て」の選択率が高い。（p.84 図表 100）

(2) 調査結果

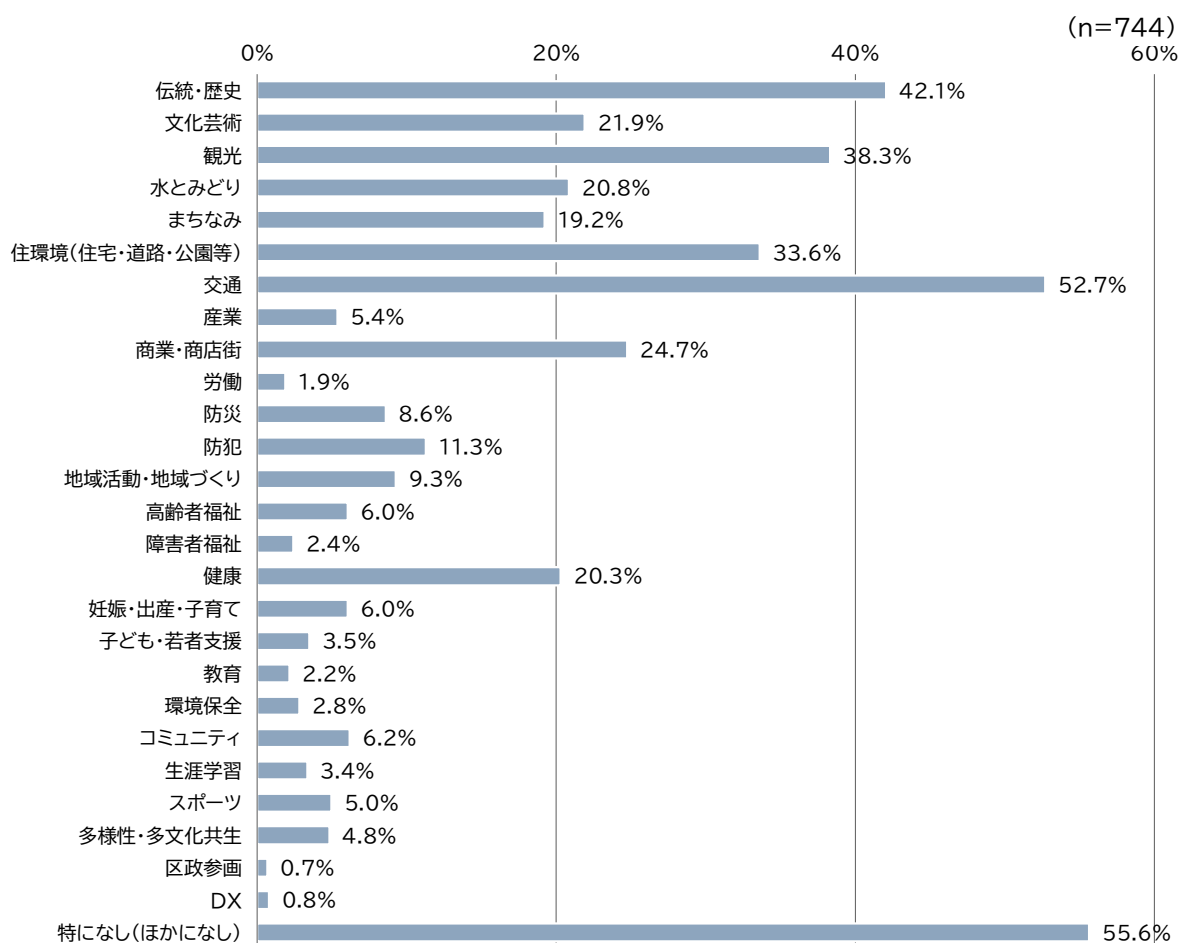
① 満足している点のキーワード（回答の選択割合）

墨田区に満足している点のキーワードについて、1位～5位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

墨田区に満足している点のキーワードについて、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（52.7%）」、「伝統・歴史（42.1%）」、「観光（38.3%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（33.6%）」、「商業・商店街（24.7%）」の順に高い。

図表 88 満足している点のキーワード（回答の選択割合）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」が「10代、20代」以外で1位、「10代、20代」で2位である。また、「観光」が「10代、20代」で1位、「60代」を除く年齢でも3位以内で選択されている。また、「伝統・歴史」がすべての年齢で4位以内に選択されている。

図表 89 満足している点のキーワード（年齢別・回答の選択割合）

全体

第1位	特になし(ほかになし)	55.6%
第2位	交通	52.7%
第3位	伝統・歴史	42.1%
第4位	観光	38.3%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	33.6%

10代、20代

第1位	特になし(ほかになし)	55.4%
第2位	観光	53.3%
第3位	交通	48.9%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	43.5%
第5位	伝統・歴史	34.8%

30代

第1位	特になし(ほかになし)	56.8%
第2位	交通	54.7%
第3位	観光	48.0%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	45.9%
第5位	伝統・歴史	38.5%

40代

第1位	特になし(ほかになし)	54.0%
第2位	交通	50.6%
第3位	伝統・歴史	43.2%
第4位	観光	37.5%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	31.8%

50代

第1位	交通	56.0%
第2位	伝統・歴史	53.9%
第3位	特になし(ほかになし)	53.2%
第4位	観光	31.2%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	28.4%
	健康	28.4%

60代

第1位	特になし(ほかになし)	58.2%
第2位	交通	57.3%
第3位	伝統・歴史	42.7%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	28.2%
第5位	観光	27.3%

70代以上

第1位	特になし(ほかになし)	58.4%
第2位	交通	45.5%
第3位	伝統・歴史	32.5%
第3位	観光	32.5%
第5位	防犯	20.8%

※回答者数は、全体＝744、10代、20代＝92、30代＝148、40代＝176、50代＝141、60代＝110、70代以上＝77である。

3) 居住地域別

居住地域別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」がすべての居住地域で1位であり、「伝統・歴史」が「堤通・墨田・八広地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で2位、「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」が3位である。また、「観光」が「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」において3位以内で選択されている。

図表 90 満足している点のキーワード（居住地域別・回答の選択割合）

全体

第1位	特になし(ほかになし)	55.6%
第2位	交通	52.7%
第3位	伝統・歴史	42.1%
第4位	観光	38.3%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	33.6%

堤通・墨田・八広地域

第1位	特になし(ほかになし)	60.7%
第2位	交通	42.0%
第3位	伝統・歴史	40.0%
第4位	観光	37.3%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	26.7%

東墨田・立花・文花地域

第1位	特になし(ほかになし)	64.0%
第2位	交通	40.0%
第3位	観光	34.7%
第4位	伝統・歴史	28.0%
第5位	商業・商店街	24.0%

業平・錦糸・江東橋地域

第1位	交通	69.9%
第2位	特になし(ほかになし)	52.4%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	44.7%
第3位	商業・商店街	44.7%
第5位	観光	43.7%

向島・京島・押上地域

第1位	特になし(ほかになし)	52.8%
第2位	交通	50.7%
第3位	観光	45.1%
第4位	伝統・歴史	38.2%
第5位	商業・商店街	27.8%

吾妻橋・本所・両国地域

第1位	交通	52.6%
第2位	特になし(ほかになし)	51.3%
第3位	伝統・歴史	48.7%
第4位	観光	41.7%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	38.5%

緑・立川・菊川地域

第1位	交通	62.1%
第2位	特になし(ほかになし)	56.0%
第3位	伝統・歴史	54.3%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	42.2%
第5位	文化芸術	25.0%

※回答者数は、全体＝744、堤通・墨田・八広地域＝150、向島・京島・押上地域＝144、東墨田・立花・文花地域＝75、吾妻橋・本所・両国地域＝156、業平・錦糸・江東橋地域＝103、緑・立川・菊川地域＝116 である。

4) 世帯構成別

世帯構成別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」が「一人暮らし(単身世帯)」、「二世世代世帯」、「その他」で1位、「夫婦のみ」で2位であり、「伝統・歴史」が「夫婦のみ」で1位、「二世世代世帯」、「その他」で2位、「一人暮らし(単身世帯)」で3位である。また、「観光」が全ての世帯構成で3位以内に選択されている。

図表 91 満足している点のキーワード（世帯構成別・回答の選択割合）

全体					
第1位	特になし(ほかになし)	55.6%			
第2位	交通	52.7%			
第3位	伝統・歴史	42.1%			
第4位	観光	38.3%			
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	33.6%			
一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	交通	58.4%	第1位	特になし(ほかになし)	58.7%
第2位	特になし(ほかになし)	53.2%	第2位	伝統・歴史	49.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	42.2%	第3位	交通	48.1%
第4位	伝統・歴史	35.3%	第4位	観光	40.7%
第5位	観光	35.3%	第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	29.6%
二世世代世帯			その他		
第1位	特になし(ほかになし)	54.6%	第1位	特になし(ほかになし)	59.3%
第2位	交通	51.8%	第2位	交通	55.6%
第3位	伝統・歴史	41.8%	第3位	伝統・歴史	38.9%
第4位	観光	38.4%	第3位	観光	38.9%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	31.7%	第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	31.5%

※回答者数は、全体＝744、一人暮らし（単身世帯）＝173、夫婦のみ＝189、二世世代世帯＝328、その他＝54 である。

5) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」がすべての家族形態において1位であり、「伝統・歴史」が「小・中学生がいる世帯」、「65 歳以上の方がいる世帯」で2位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で3位である。また、「観光」がすべての家族形態において3位以内に選択されている。

図表 92 満足している点のキーワード（家族形態別・回答の選択割合）

(参考)全体					
第1位	特になし(ほかになし)	55.6%			
第2位	交通	52.7%			
第3位	伝統・歴史	42.1%			
第4位	観光	38.3%			
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	33.6%			
就学前の乳幼児がいる世帯			小・中学生がいる世帯		
第1位	交通	51.8%	第1位	交通	53.9%
第2位	観光	50.6%	第2位	特になし(ほかになし)	50.0%
第3位	特になし(ほかになし)	43.5%	第3位	伝統・歴史	41.2%
第4位	伝統・歴史	40.0%	第4位	観光	32.4%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	37.6%	第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	29.4%
65歳以上の方がいる世帯					
第1位	特になし(ほかになし)	56.3%			
第2位	交通	53.4%			
第3位	伝統・歴史	36.5%			
第4位	観光	29.8%			
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	23.6%			
第5位	健康	23.6%			

※回答者数は、(参考) 全体＝744、就学前の乳幼児がいる世帯＝85、小・中学生がいる世帯＝102、65 歳以上の方がいる世帯＝208 である。

② 満足している点のキーワード（回答の点数化）

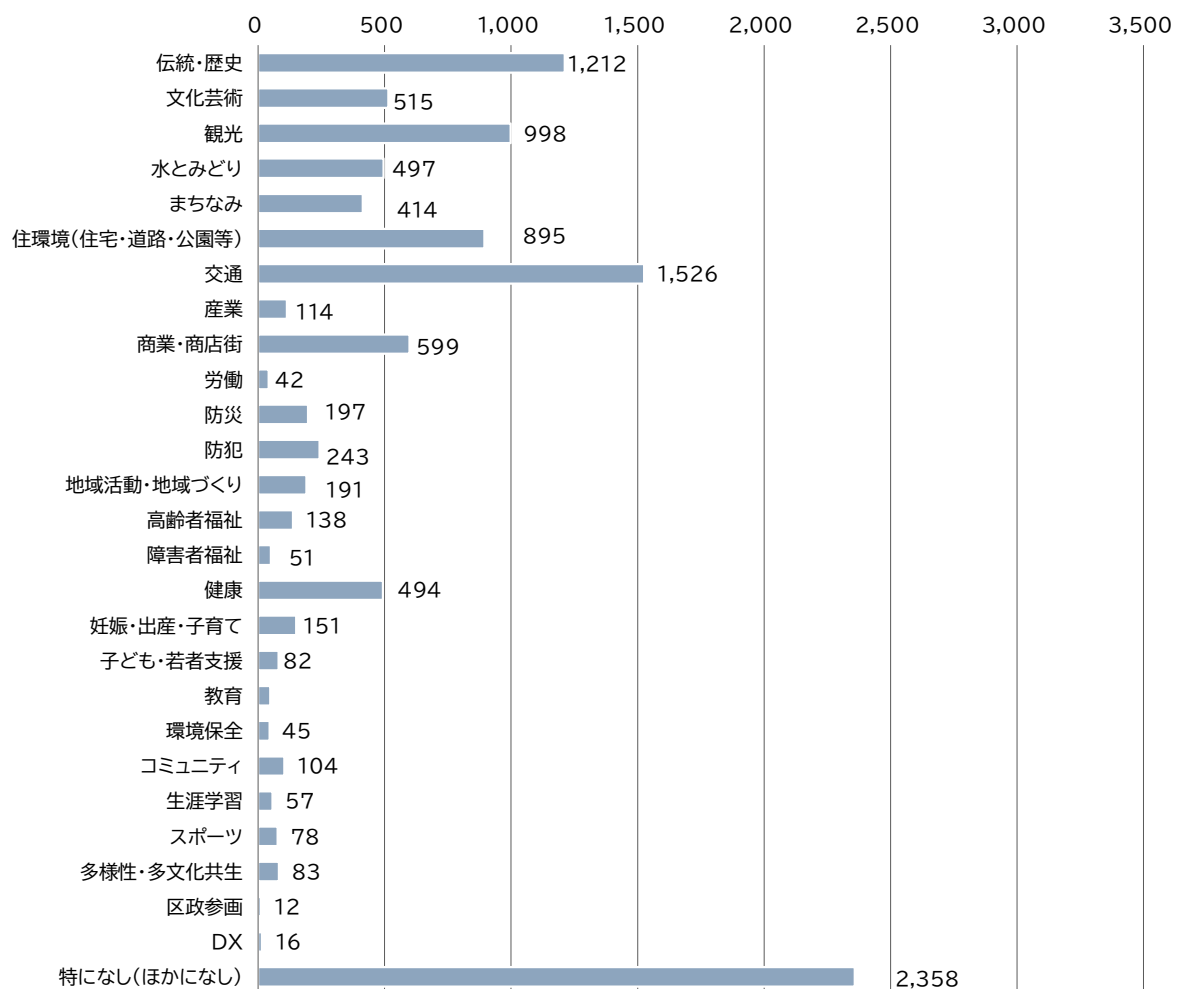
1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

満足している点のキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（1,526）」「伝統・歴史（1,212）」、「観光（998）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（895）」、「商業・商店街（599）」の順に高い。

図表 93 満足している点のキーワード（回答の点数化）

(n=744)

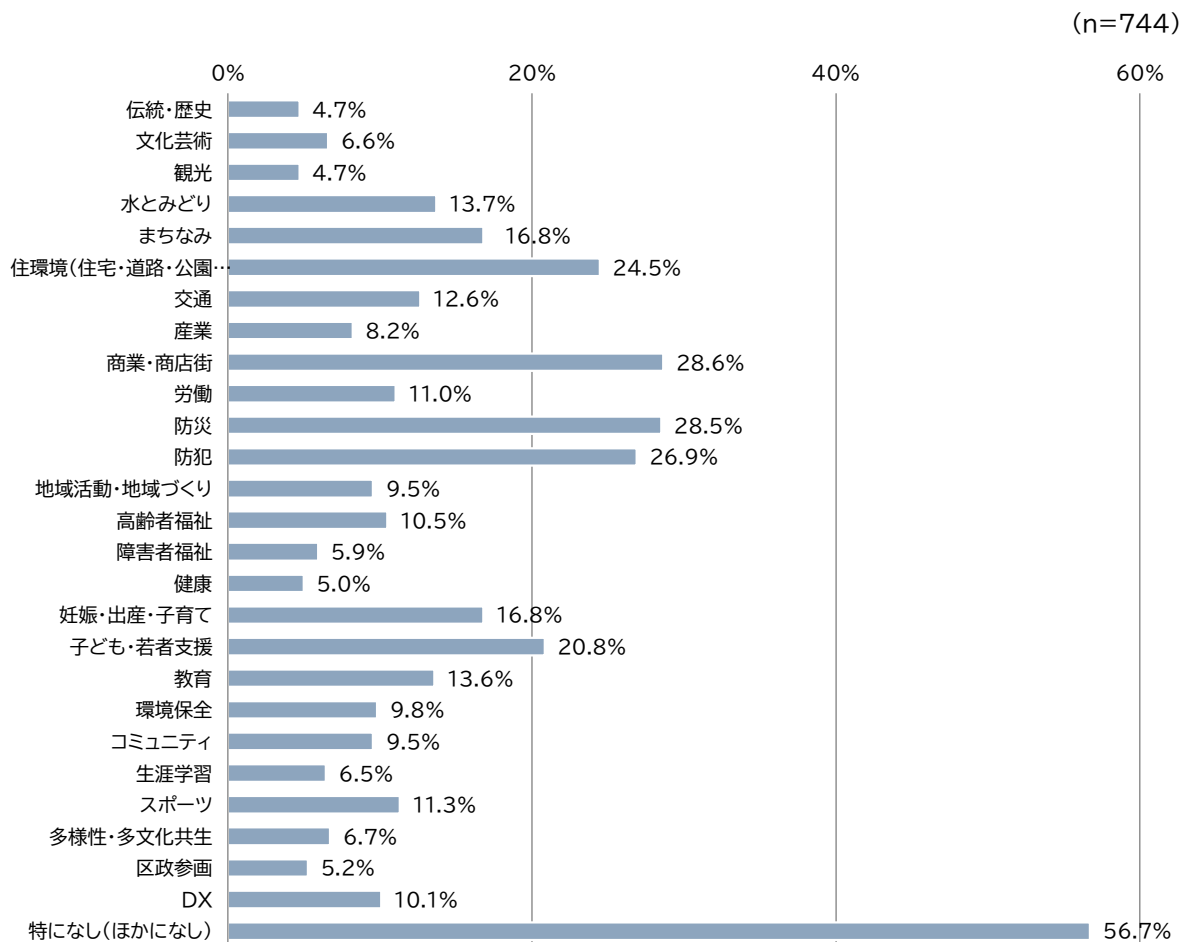


③ 不満足である点のキーワード（回答の選択割合）

1) 全体

墨田区に不満足である点のキーワードについて、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街（28.6%）」、「防災（28.5%）」、「防犯（26.9%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（24.5%）」、「子ども・若者支援（20.8%）」の順に高い。

図表 94 不満である点のキーワード（回答の選択割合）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて「商業・商店街」が「60代」、「70代以上」で1位、「40代」、「50代」で2位であり、「防災」が「10代、20代」、「50代」で1位、「60代」で2位、「70代以上」で4位である。

図表 95 不満である点のキーワード（年齢別・回答の選択割合）

全体

第1位	特になし(ほかになし)	56.7%
第2位	商業・商店街	28.6%
第3位	防災	28.5%
第4位	防犯	26.9%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	24.5%

10代、20代

第1位	特になし(ほかになし)	63.0%
第2位	防災	37.0%
第3位	妊娠・出産・子育て	25.0%
第4位	子ども・若者支援	23.9%
第5位	防犯	20.7%

30代

第1位	特になし(ほかになし)	64.9%
第2位	妊娠・出産・子育て	29.1%
第3位	防犯	27.0%
第3位	子ども・若者支援	27.0%
第5位	防災	26.4%

40代

第1位	特になし(ほかになし)	56.3%
第2位	防犯	30.1%
第3位	商業・商店街	26.1%
第4位	子ども・若者支援	24.4%
第5位	防災	23.9%

50代

第1位	特になし(ほかになし)	51.1%
第2位	防災	36.9%
第3位	商業・商店街	34.8%
第4位	防犯	31.9%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	29.1%

60代

第1位	特になし(ほかになし)	53.6%
第2位	商業・商店街	41.8%
第3位	防災	28.2%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	26.4%
第4位	防犯	26.4%

70代以上

第1位	特になし(ほかになし)	49.4%
第2位	商業・商店街	33.8%
第3位	まちなみ	27.3%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	26.0%
第5位	防災	18.2%
第5位	防犯	18.2%
第5位	高齢者福祉	18.2%

※回答者数は、全体=744、10代、20代=92、30代=148、40代=176、50代=141、60代=110、70代以上=77である。

3) 居住地域

居住地域別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「商業・商店街」が「堤通・墨田・八広地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で1位、「向島・京島・押上地域」で2位、「東墨田・立花・文花地域」で3位であり、「防災」が「東墨田・立花・文花地域」で1位、「堤通・墨田・八広地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で2位、「向島・京島・押上地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で3位である。「防犯」が、「業平・錦糸・江東橋地域」で1位、ほかの地域でも4位以内に選択されている。

図表 96 不満である点のキーワード（居住地域別・回答の選択割合）

全体

第1位	特になし(ほかになし)	56.7%
第2位	商業・商店街	28.6%
第3位	防災	28.5%
第4位	防犯	26.9%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	24.5%

堤通・墨田・八広地域

第1位	特になし(ほかになし)	49.3%
第2位	商業・商店街	34.7%
第3位	防災	32.7%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	29.3%
第5位	防犯	28.7%

東墨田・立花・文花地域

第1位	特になし(ほかになし)	60.0%
第2位	防災	33.3%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	29.3%
第4位	商業・商店街	28.0%
第5位	防犯	20.0%

業平・錦糸・江東橋地域

第1位	特になし(ほかになし)	51.5%
第2位	防犯	41.7%
第3位	防災	31.1%
第4位	子ども・若者支援	30.1%
第5位	まちなみ	26.2%

向島・京島・押上地域

第1位	特になし(ほかになし)	66.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	29.2%
第3位	商業・商店街	28.5%
第4位	防災	25.7%
第5位	防犯	19.4%
第5位	子ども・若者支援	19.4%

吾妻橋・本所・両国地域

第1位	特になし(ほかになし)	56.4%
第2位	商業・商店街	36.5%
第3位	防犯	25.0%
第4位	防災	24.4%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	20.5%
第5位	子ども・若者支援	20.5%

緑・立川・菊川地域

第1位	特になし(ほかになし)	57.8%
第2位	商業・商店街	28.4%
第3位	防犯	27.6%
第4位	防災	26.7%
第5位	労働	18.1%

※回答者数は、全体＝744、堤通・墨田・八広地域＝150、向島・京島・押上地域＝144、東墨田・立花・文花地域＝75、吾妻橋・本所・両国地域＝156、業平・錦糸・江東橋地域＝103、緑・立川・菊川地域＝116 である。

4) 世帯構成別

世帯構成別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「商業・商店街」が「二世帯世帯」、「その他」で1位、「一人暮らし(単身世帯)」で3位であり、「防災」が「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」で1位、「その他」で2位である。また、「防犯」が「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」で2位、「その他」で3位に選択されている。

図表 97 不満である点のキーワード（世帯構成別・回答の選択割合）

全体					
第1位	特になし(ほかになし)	56.7%			
第2位	商業・商店街	28.6%			
第3位	防災	28.5%			
第4位	防犯	26.9%			
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	24.5%			
一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	62.4%	第1位	特になし(ほかになし)	59.8%
第2位	防災	28.9%	第2位	防災	32.8%
第3位	防犯	27.7%	第3位	防犯	27.5%
第4位	商業・商店街	25.4%	第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	26.5%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	17.9%	第4位	商業・商店街	26.5%
二世帯世帯			その他		
第1位	特になし(ほかになし)	52.4%	第1位	特になし(ほかになし)	53.7%
第2位	商業・商店街	30.5%	第2位	商業・商店街	35.2%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	28.0%	第3位	防災	29.6%
第4位	子ども・若者支援	27.1%	第4位	防犯	25.9%
第5位	防犯	26.2%	第4位	子ども・若者支援	25.9%

※回答者数は、全体＝744、一人暮らし（単身世帯）＝173、夫婦のみ＝189、二世帯世帯＝328、その他＝54 である。

5) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「子ども・若者支援」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で2位であり、「住環境(住宅・道路・公園等)」が「小・中学生がいる世帯」で2位、「65 歳以上の方がいる世帯」で3位である。

図表 98 不満である点のキーワード（家族形態別・回答の選択割合）

(参考)全体					
第1位	特になし(ほかになし)	56.7%			
第2位	商業・商店街	28.6%			
第3位	防災	28.5%			
第4位	防犯	26.9%			
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	24.5%			
就学前の乳幼児がいる世帯			小・中学生がいる世帯		
第1位	特になし(ほかになし)	51.8%	第1位	特になし(ほかになし)	51.0%
第2位	妊娠・出産・子育て	43.5%	第2位	子ども・若者支援	39.2%
第3位	子ども・若者支援	41.2%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	33.3%
第4位	防犯	32.9%	第4位	教育	32.4%
第5位	防災	29.4%	第5位	防犯	30.4%
65歳以上の方がいる世帯					
第1位	特になし(ほかになし)	52.4%			
第2位	商業・商店街	38.0%			
第3位	防災	24.5%			
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	23.6%			
第4位	防犯	23.6%			

※回答者数は、(参考) 全体＝744、就学前の乳幼児がいる世帯＝85、小・中学生がいる世帯＝102、65 歳以上の方がいる世帯＝208 である。

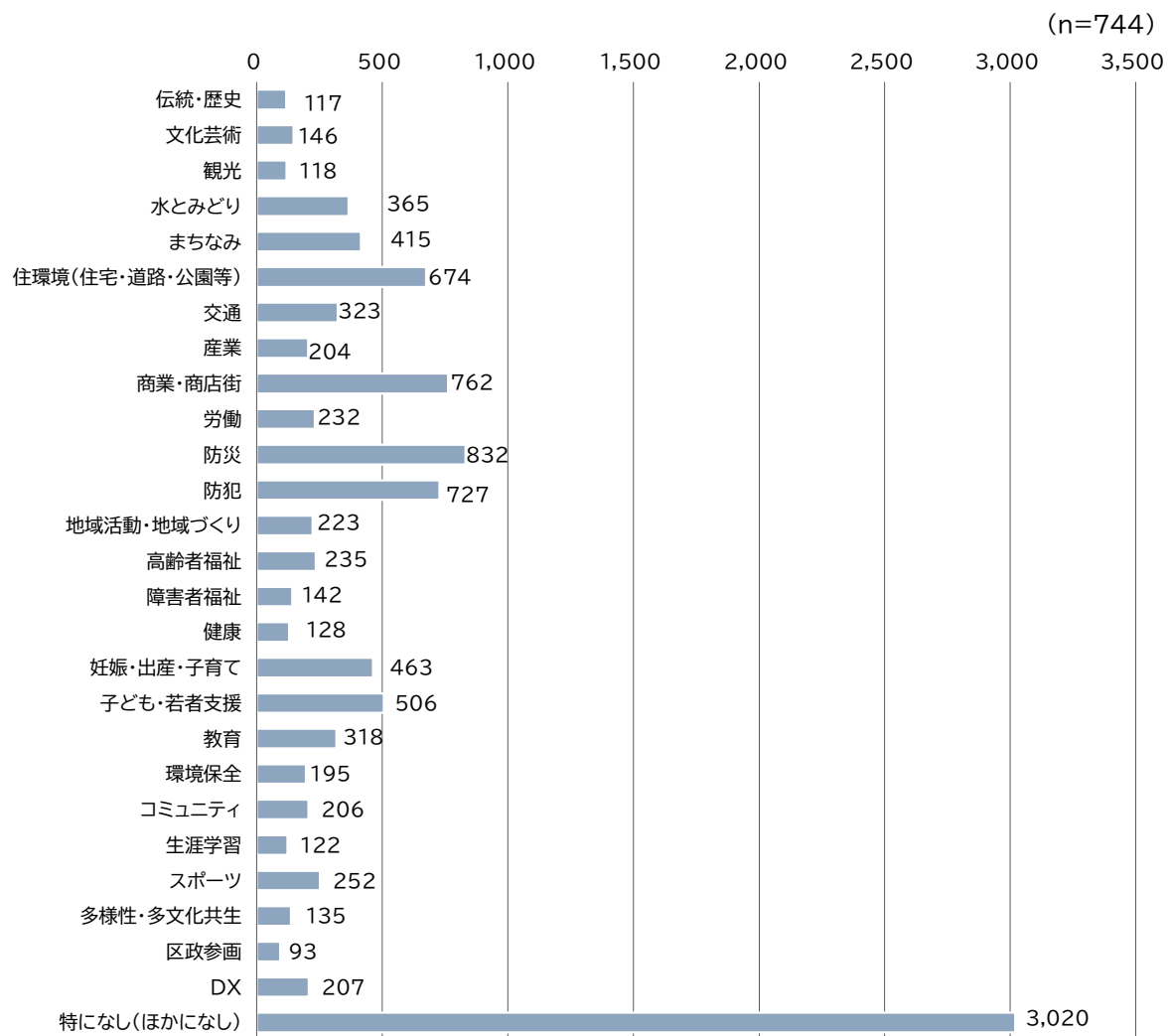
④ 不満足である点のキーワード（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

不満足である点のキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「防災（832）」「商業・商店街（762）」「防犯（727）」「住環境（住宅・道路・公園等）（674）」「子ども・若者支援（506）」の順に高い。

図表 99 不満である点のキーワード（回答の点数化）



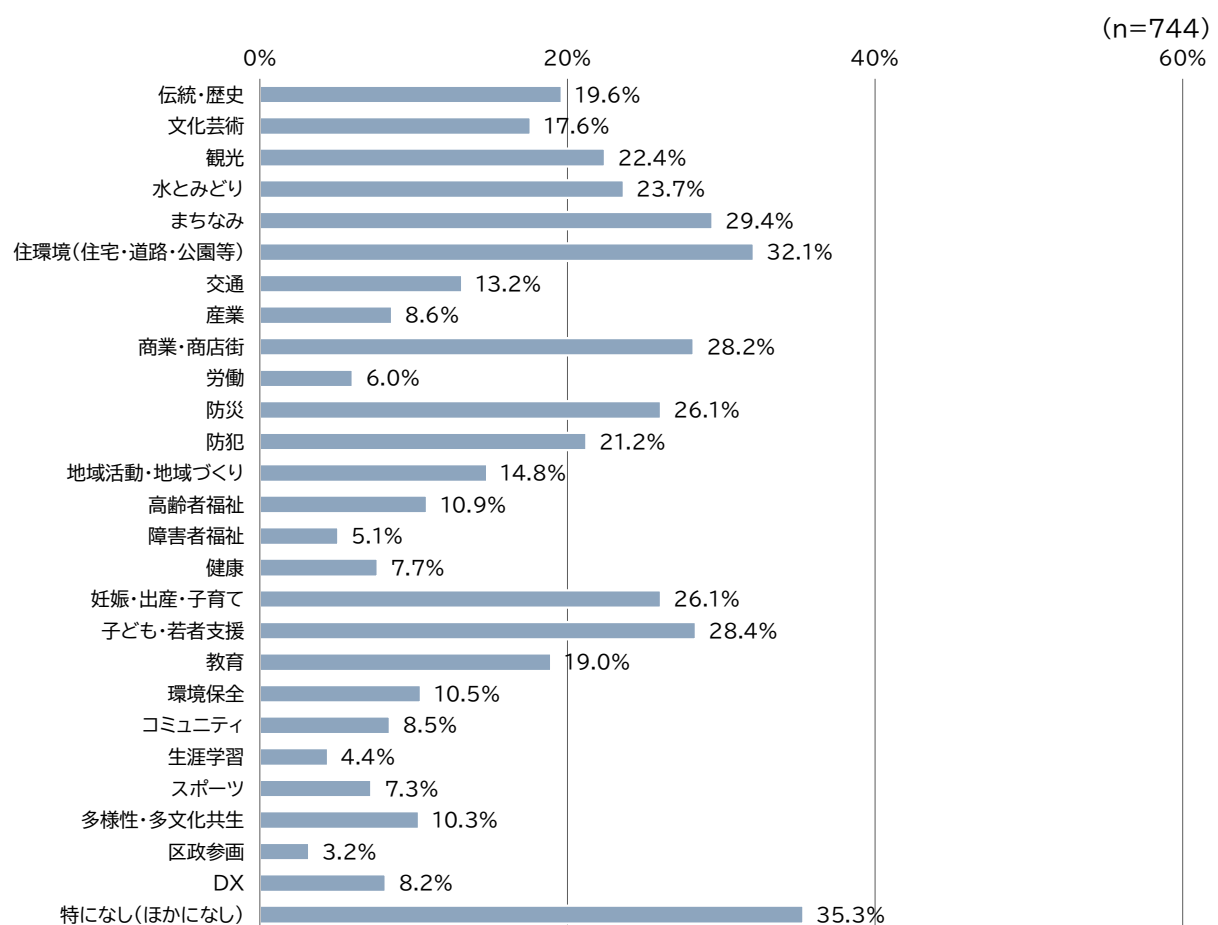
⑤ 魅力的になるためのキーワード（回答の選択割合）

墨田区がより一層魅力的になるためのキーワードとして、1位～5位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

墨田区がより一層魅力的になるためのキーワードについて、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（32.1%）」、「まちなみ（29.4%）」、「子ども・若者支援（28.4%）」、「商業・商店街（28.2%）」、「防災（26.1%）」、「妊娠・出産・子育て（26.1%）」の順に高い。

図表 100 魅力的になるためのキーワード（回答の選択割合）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて「住環境(住宅・道路・公園等)」が「60代」、「70代以上」で1位、「40代」で2位、「30代」、「50代」で3位であり、「まちなみ」は「40代」、「50代」で1位であり、「30代」、「60代」で4位に選択されている。また「商業・商店街」が「10代、20代」で1位、「50代」で2位、「60代」、「70代以上」3位であり、「子ども・若者支援」は「10代、20代」～「50代」で4位以内に選択されている。

図表 101 魅力的になるためのキーワード（年齢別・回答の選択割合）

全体

第1位	特になし(ほかになし)	35.3%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.1%
第3位	まちなみ	29.4%
第4位	子ども・若者支援	28.4%
第5位	商業・商店街	28.2%

10代、20代

第1位	特になし(ほかになし)	46.7%
第2位	商業・商店街	32.6%
第3位	水とみどり	30.4%
第4位	妊娠・出産・子育て	29.3%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	28.3%
第5位	子ども・若者支援	28.3%

30代

第1位	妊娠・出産・子育て	40.5%
第2位	子ども・若者支援	38.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	37.8%
第4位	特になし(ほかになし)	35.1%
第5位	まちなみ	29.7%

40代

第1位	特になし(ほかになし)	35.2%
第2位	まちなみ	33.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	33.0%
第4位	観光	31.8%
第5位	子ども・若者支援	30.1%

50代

第1位	まちなみ	34.8%
第2位	商業・商店街	30.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	29.1%
第3位	子ども・若者支援	29.1%
第3位	特になし(ほかになし)	29.1%

60代

第1位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.7%
第2位	防災	31.8%
第2位	特になし(ほかになし)	31.8%
第4位	商業・商店街	28.2%
第5位	まちなみ	25.5%

70代以上

第1位	特になし(ほかになし)	39.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	28.6%
第2位	防災	28.6%
第4位	商業・商店街	26.0%
第5位	高齢者福祉	23.4%

※回答者数は、全体=744、10代=92、20代=92、30代=148、40代=176、50代=141、60代=110、70代以上=77である。

3) 居住地域別

居住地域別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「住環境(住宅・道路・公園等)」が「堤通・墨田・八広地域」、「緑・立川・菊川地域」で1位、「業平・錦糸・江東橋地域」が2位、他の地域でも4位以内に選択され、「まちなみ」が、「向島・京島・押上地域」で1位、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で2位に選択されている。また、「子ども・若者支援」が「吾妻橋・本所・両国地域」で1位、「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で4位以内に、「商業・商店街」が「東墨田・立花・文花地域」で1位、「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」、「緑・立川・菊川地域」で4位以内に選択されている

図表 102 魅力的になるためのキーワード（居住地域別・回答の選択割合）

全体

第1位	特になし(ほかになし)	35.3%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.1%
第3位	まちなみ	29.4%
第4位	子ども・若者支援	28.4%
第5位	商業・商店街	28.2%

堤通・墨田・八広地域

第1位	特になし(ほかになし)	34.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.0%
第3位	子ども・若者支援	30.7%
第4位	観光	24.7%
第4位	商業・商店街	24.7%
第4位	防災	24.7%

東墨田・立花・文花地域

第1位	商業・商店街	33.3%
第1位	特になし(ほかになし)	33.3%
第3位	防災	29.3%
第4位	妊娠・出産・子育て	28.0%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	26.7%
第5位	子ども・若者支援	26.7%

業平・錦糸・江東橋地域

第1位	防犯	36.9%
第2位	特になし(ほかになし)	35.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	35.0%
第4位	防災	33.0%
第4位	子ども・若者支援	33.0%

向島・京島・押上地域

第1位	特になし(ほかになし)	36.8%
第2位	まちなみ	34.7%
第3位	商業・商店街	33.3%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.6%
第5位	妊娠・出産・子育て	31.3%

吾妻橋・本所・両国地域

第1位	特になし(ほかになし)	36.5%
第2位	子ども・若者支援	32.1%
第3位	まちなみ	29.5%
第4位	水とみどり	27.6%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	26.9%

緑・立川・菊川地域

第1位	住環境(住宅・道路・公園等)	39.7%
第2位	まちなみ	37.9%
第3位	特になし(ほかになし)	34.5%
第4位	商業・商店街	31.9%
第5位	水とみどり	31.0%

※回答者数は、全体＝744、堤通・墨田・八広地域＝150、向島・京島・押上地域＝144、東墨田・立花・文花地域＝75、吾妻橋・本所・両国地域＝156、業平・錦糸・江東橋地域＝103、緑・立川・菊川地域＝116 である。

4) 世帯構成別

世帯構成別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「住環境(住宅・道路・公園等)」が「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」で1位、「二世帯世帯」で4位に、「商業・商店街」が「その他」で1位、「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」で4位に選択されている。また、「子ども・若者支援」と「妊娠・出産・子育て」は、「二世帯世帯」、「その他」で4位以内に選択されている。

図表 103 魅力的になるためのキーワード（世帯構成別・回答の選択割合）

全体		
第1位	特になし(ほかになし)	35.3%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.1%
第3位	まちなみ	29.4%
第4位	子ども・若者支援	28.4%
第5位	商業・商店街	28.2%
一人暮らし(単身世帯)		
第1位	特になし(ほかになし)	43.4%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.9%
第3位	まちなみ	30.1%
第4位	水とみどり	27.7%
第5位	商業・商店街	26.0%
夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	36.5%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	34.4%
第3位	防災	30.2%
第4位	水とみどり	26.5%
第5位	商業・商店街	25.4%
二世帯世帯		
第1位	子ども・若者支援	36.9%
第2位	まちなみ	32.3%
第3位	妊娠・出産・子育て	32.0%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	31.4%
第5位	特になし(ほかになし)	31.1%
その他		
第1位	商業・商店街	44.4%
第2位	観光	31.5%
第3位	特になし(ほかになし)	31.5%
第4位	子ども・若者支援	29.6%
第5位	妊娠・出産・子育て	27.8%

※回答者数は、全体＝744、一人暮らし（単身世帯）＝173、夫婦のみ＝189、二世帯世帯＝328、その他＝54である。

5) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「妊娠・出産・子育て」が「就学前の乳幼児がいる世帯」で1位、「小・中学生がいる世帯」で2位であり、「子ども・若者支援」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で2位である。また、「教育」は「就学前の乳幼児がいる世帯」と「小・中学生がいる世帯」で4位以内に、「住環境(住宅・道路・公園等)」はすべての家族形態において4位以内に選択されている。

図表 104 魅力的になるためのキーワード（家族形態別・回答の選択割合）

(参考)全体		
第1位	特になし(ほかになし)	35.3%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.1%
第3位	まちなみ	29.4%
第4位	子ども・若者支援	28.4%
第5位	商業・商店街	28.2%
就学前の乳幼児がいる世帯		
第1位	妊娠・出産・子育て	52.9%
第2位	子ども・若者支援	50.6%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	38.8%
第4位	教育	37.6%
第5位	まちなみ	28.2%
小・中学生がいる世帯		
第1位	子ども・若者支援	49.0%
第2位	妊娠・出産・子育て	38.2%
第3位	教育	36.3%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	32.4%
第5位	観光	27.5%
65歳以上の方がいる世帯		
第1位	特になし(ほかになし)	33.2%
第2位	商業・商店街	32.2%
第3位	防災	31.7%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	29.8%
第5位	まちなみ	27.9%

※回答者数は、(参考) 全体＝744、就学前の乳幼児がいる世帯＝85、小・中学生がいる世帯＝102、65歳以上の方がいる世帯＝208である。

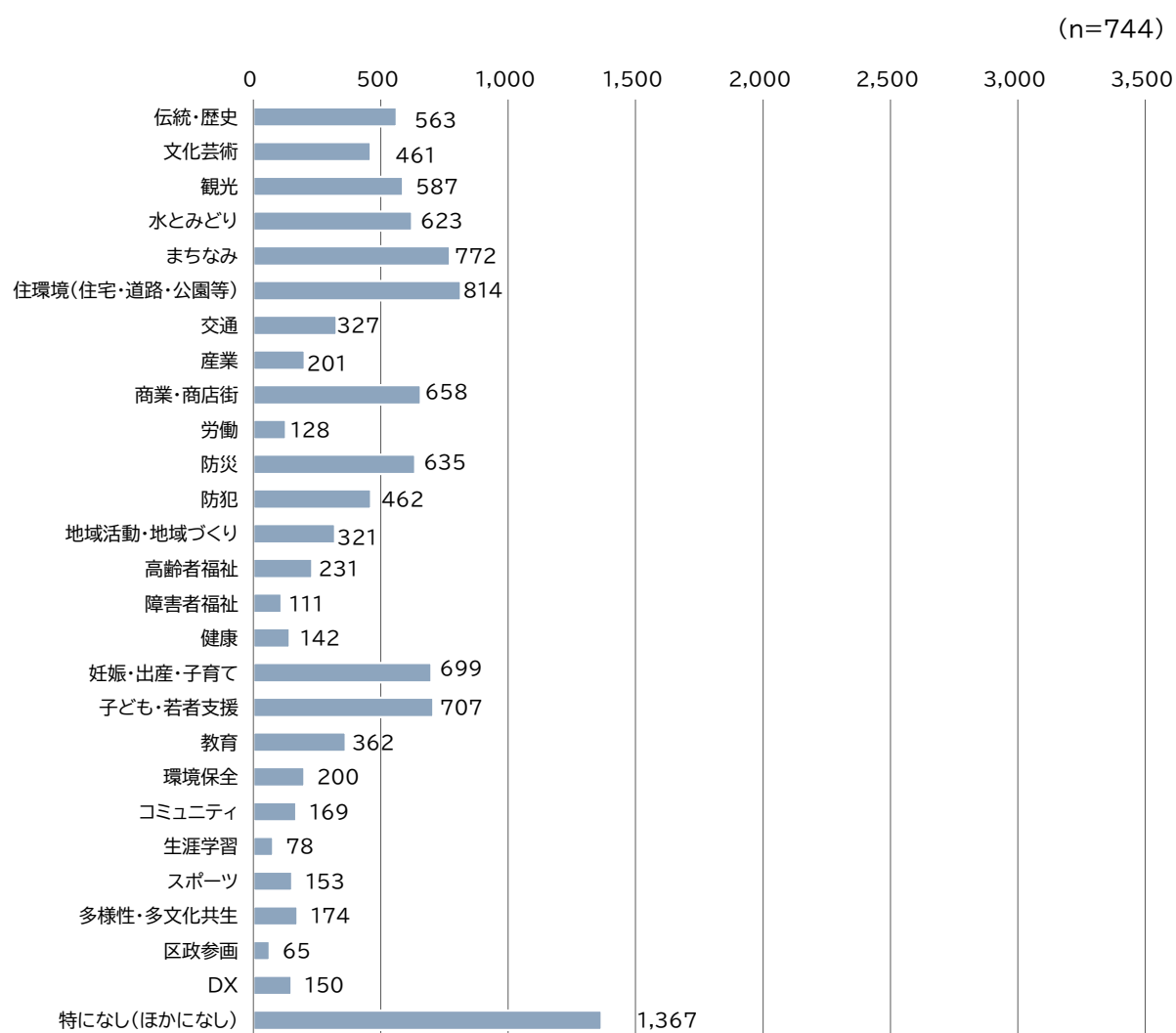
⑥ 魅力的になるためのキーワード（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

魅力的になるためのキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（814）」「まちなみ（772）」「子ども・若者支援（707）」「妊娠・出産・子育て（699）」「商業・商店街（658）」の順に高い。

図表 105 魅力的になるためのキーワード（回答の点数化）



5. 地域課題の解決やまちづくりへの区民参加について

(1) 調査結果概要

- ◆ 回答者全体の区の事業やイベントなどへの企画・実施経験がある割合は 8.7%である。居住年数が長くなるにつれて、参加経験があるとする回答割合が増加傾向にある。(p.89 図表 106、p.92 図表 110)
- ◆ 区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合)は、全体の9割以上を占める。(p.93 図表 111)
- ◆ 地域課題の解決やまちづくりへの参加意向があるとする割合(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合)は全体の約6割を占める一方、約4割が関わりたいと思わない(「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答している。(p.96 図表 115)
- ◆ 地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わないと回答した理由としては、「忙しく時間が合わない」が最も多く、次いで「きっかけがない」、「興味がない・やりたいと思わない」が挙げられた。(p.99 図表 120)
- ◆ 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式は、「SNS 等によるアンケート」の割合が最も高く、次いで、「地域の課題解決やまちづくりに関する対面ワークショップ」、「オンラインでの意見交換等」が挙げられた。(p.105 図表 126)

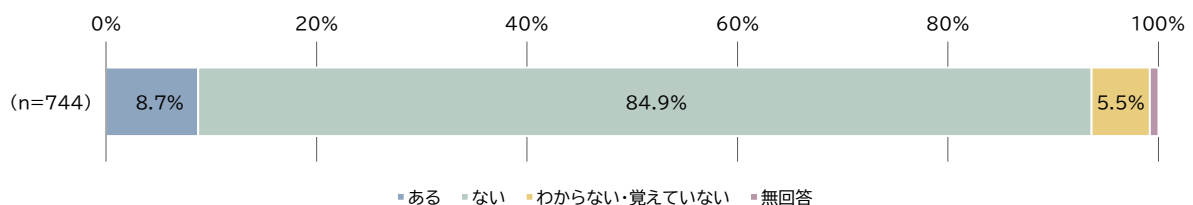
(2) 調査結果

① これまでの区の事業やイベントなどへの企画・実施経験

1) 全体

区の事業やイベントなどへの企画・実施経験は、「(参加経験が)ある」の割合が 8.7%、「(参加経験が)ない」の割合が 84.9%である。

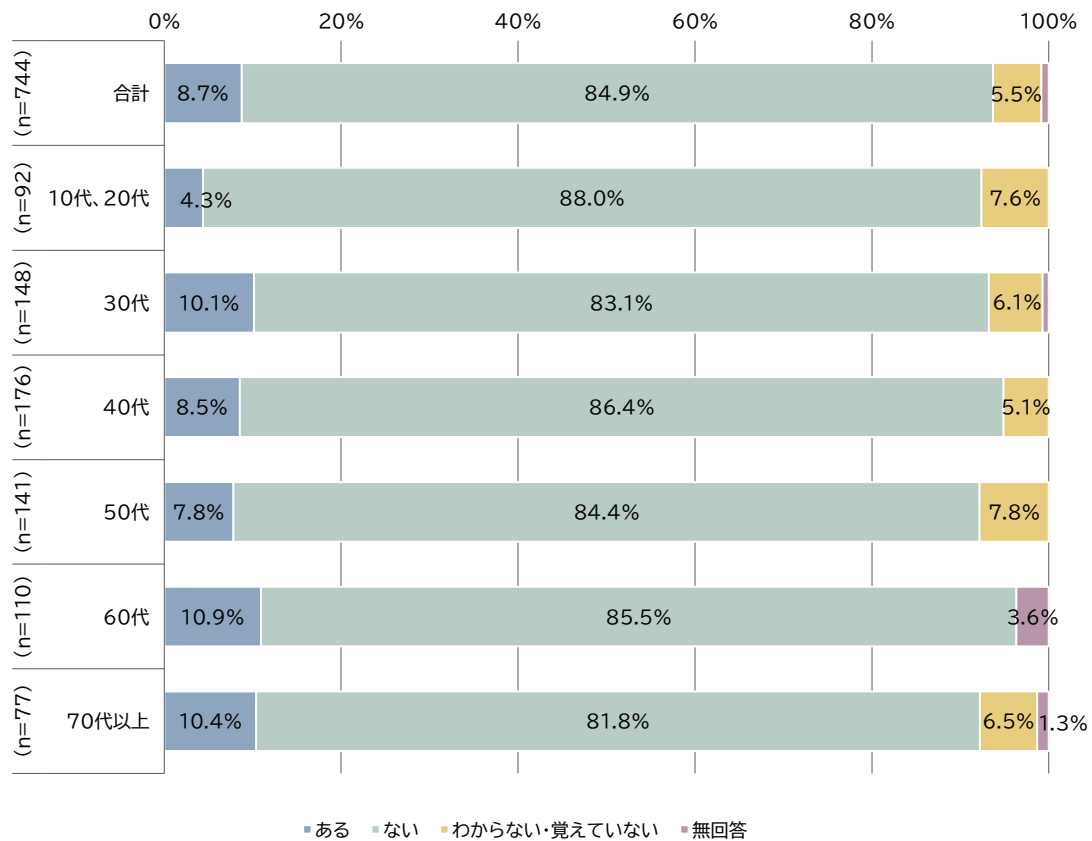
図表 106 これまでの区の事業やイベントなどへの企画・実施経験 (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、いずれの年齢でも、区の事業やイベントなどへの企画・実施経験について「ある」とする回答は「10代、20代」で約0.5割、ほかの年齢で1割前後である。

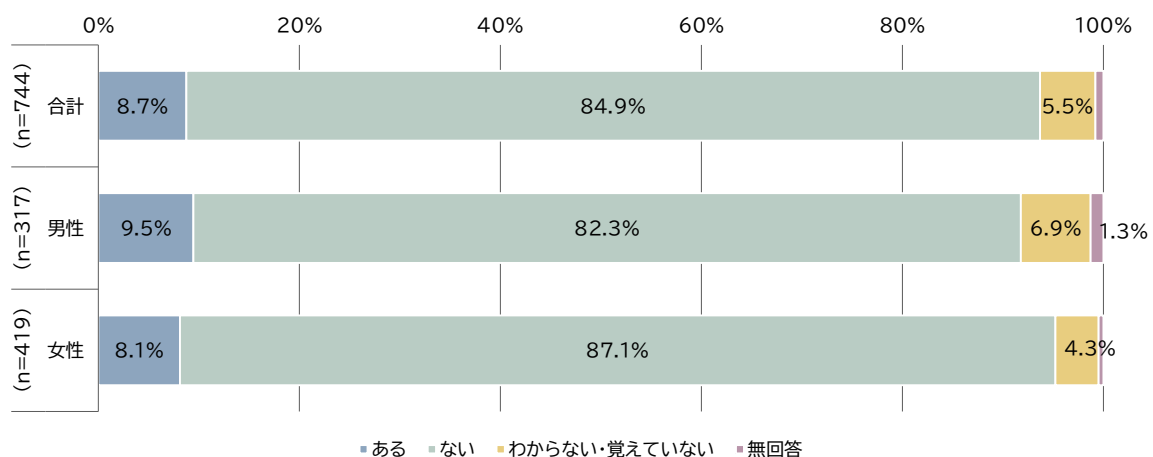
図表 107 これまでの区の事業やイベントなどへの企画・実施経験（年齢別・SA）



3) 性別

性別でみると、「男性」、「女性」ともに、区の事業やイベントなどへの企画・実施経験について「ある」とする回答は1割弱である。性別の傾向に明確な差は認められない。

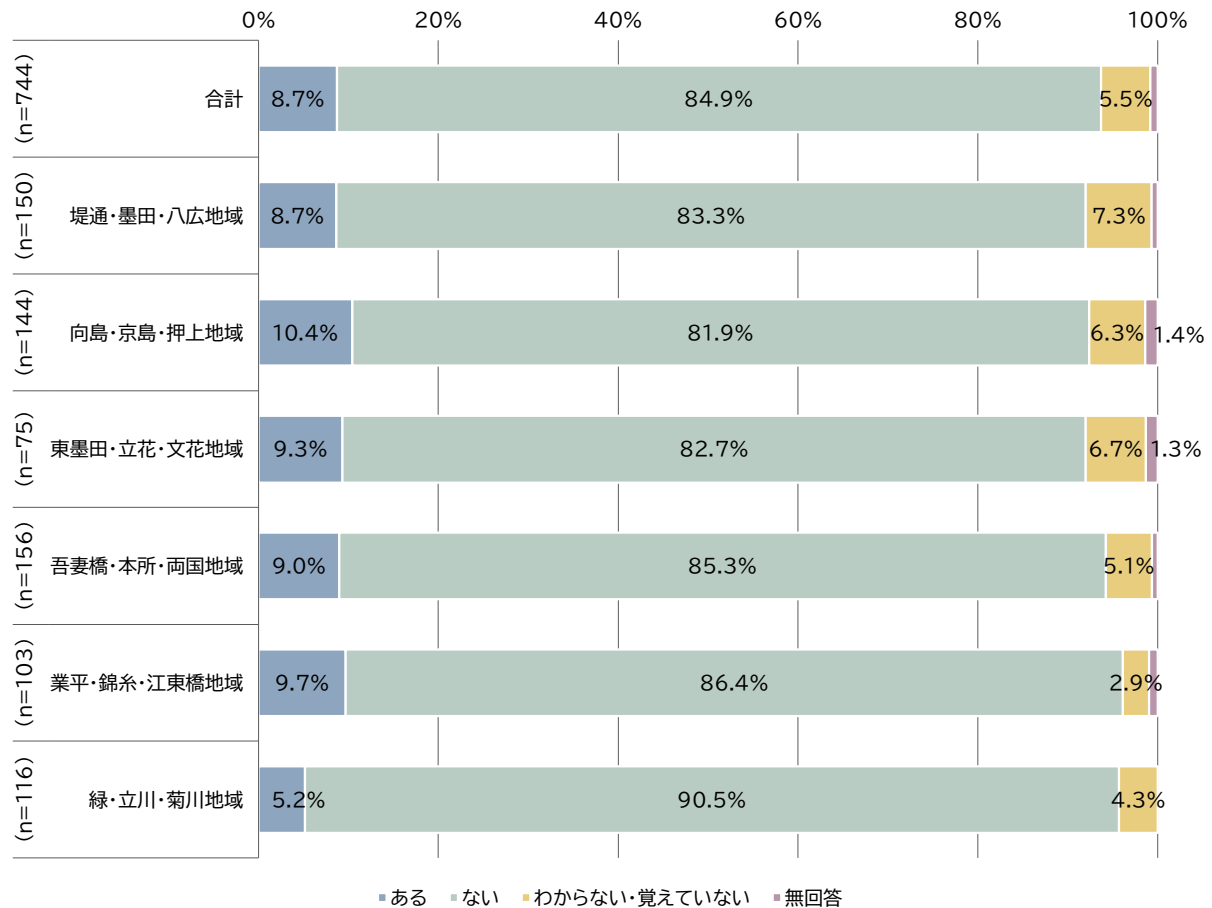
図表 108 これまでの区の事業やイベントなどへの企画・実施経験（性別・SA）



4) 居住地域別

居住地域別でみると、いずれの居住地域でも、区の事業やイベントなどへの企画・実施経験について「ある」とする回答は、「緑・立川・菊川地域」で約 0.5 割、他の地域で 1 割前後である。

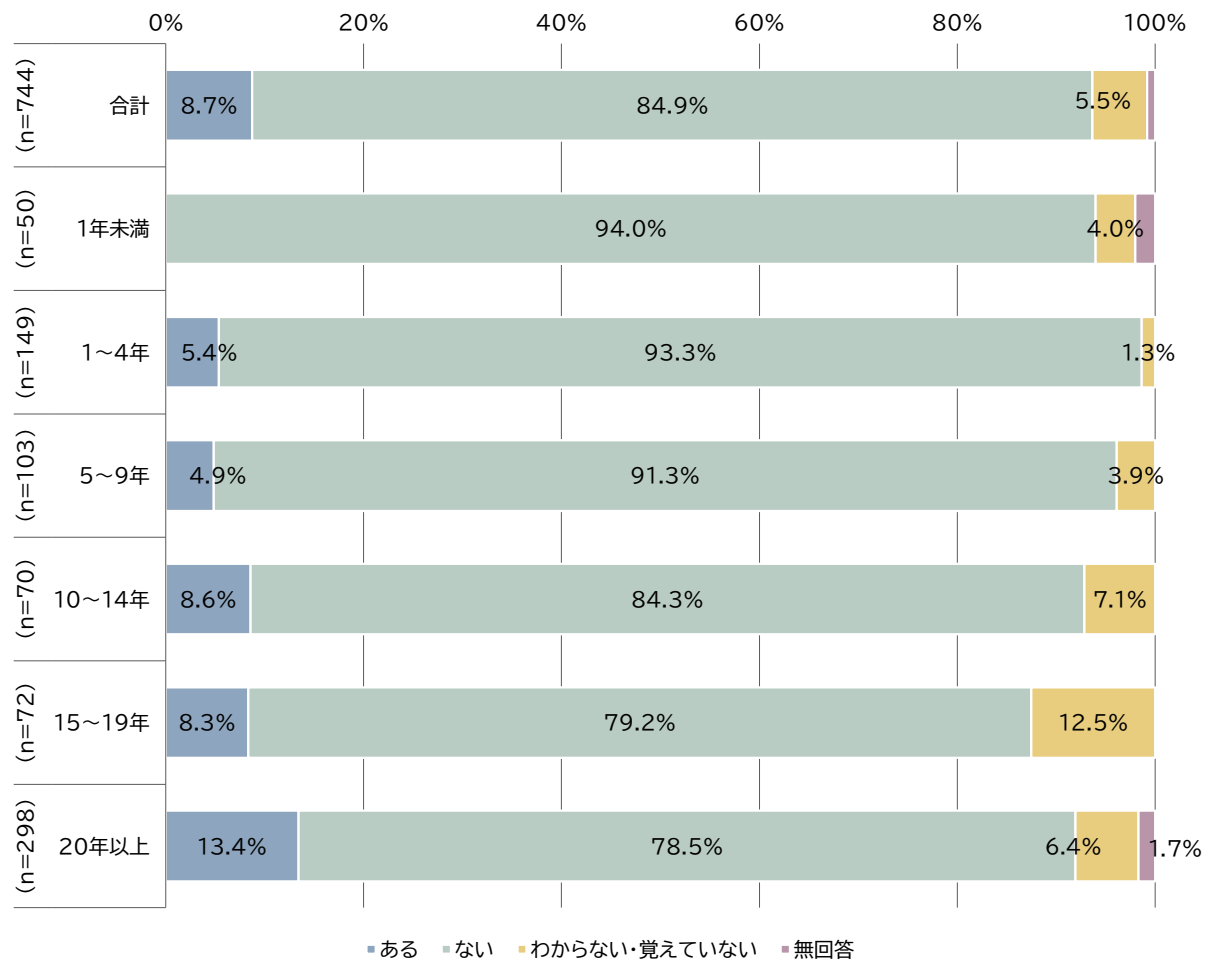
図表 109 これまでの区の事業やイベントなどへの企画・実施経験（居住地域別・SA）



5) 居住年数別

居住年数別でみると、居住年数が「20 年以上」で「ある」とする回答が 13.4%と最も高く、「1 年未満」で「ある」の回答はない。居住年数が長くなるにつれて、参加経験があるとする回答割合が増加傾向にある。

図表 110 これまでの区の事業やイベントなどへの企画・実施経験（居住年数別・SA）

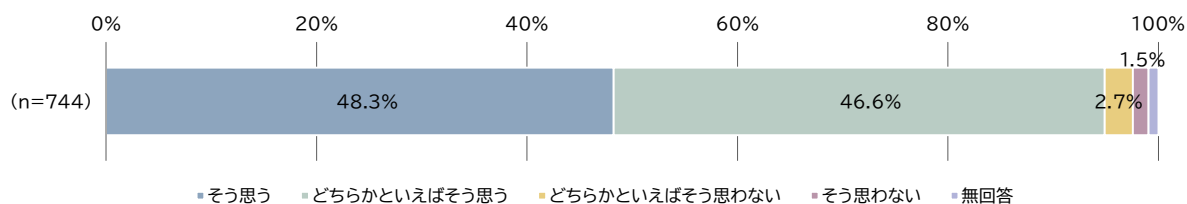


② 区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことの重要性

1) 全体

区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合）は、全体の9割以上を占める。

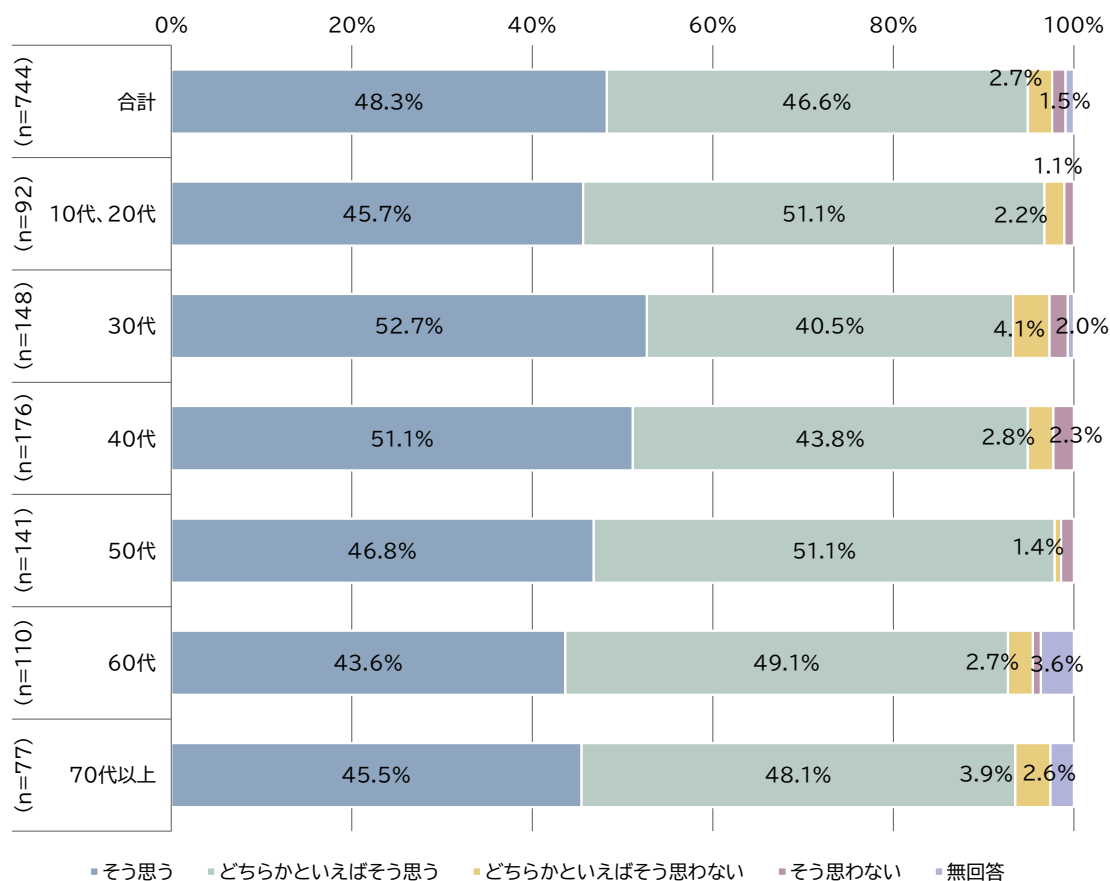
図表 111 区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことの重要性
(SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、いずれの年齢でも区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合が9割以上を占める。年齢別の傾向には明確な差は認められない。

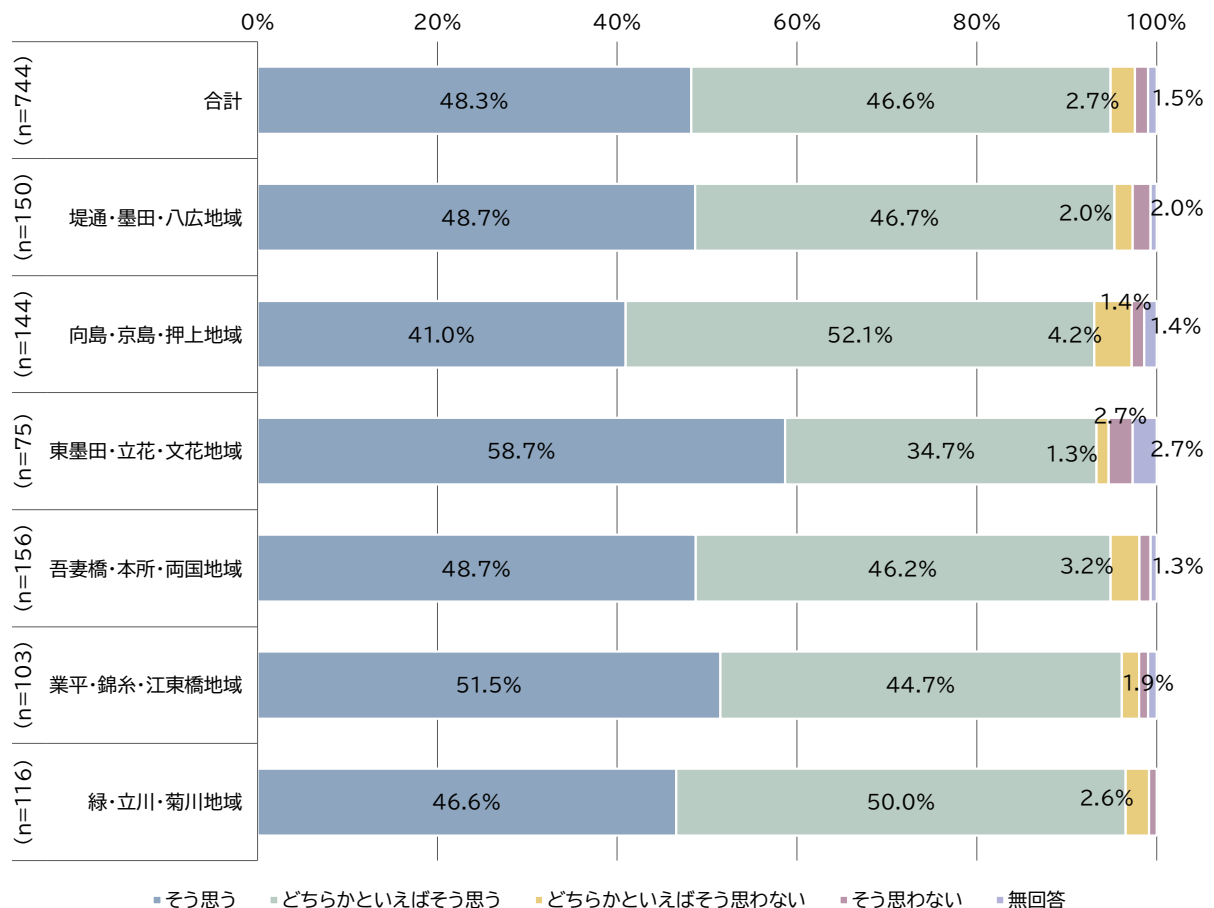
図表 112 区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことの重要性
(年齢別・SA)



3) 居住地域別

居住地域別でみると、いずれの居住地域でも区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合が9割以上を占める。「東墨田・立花・文花地域」の「そう思う」の割合が合計よりも高い。

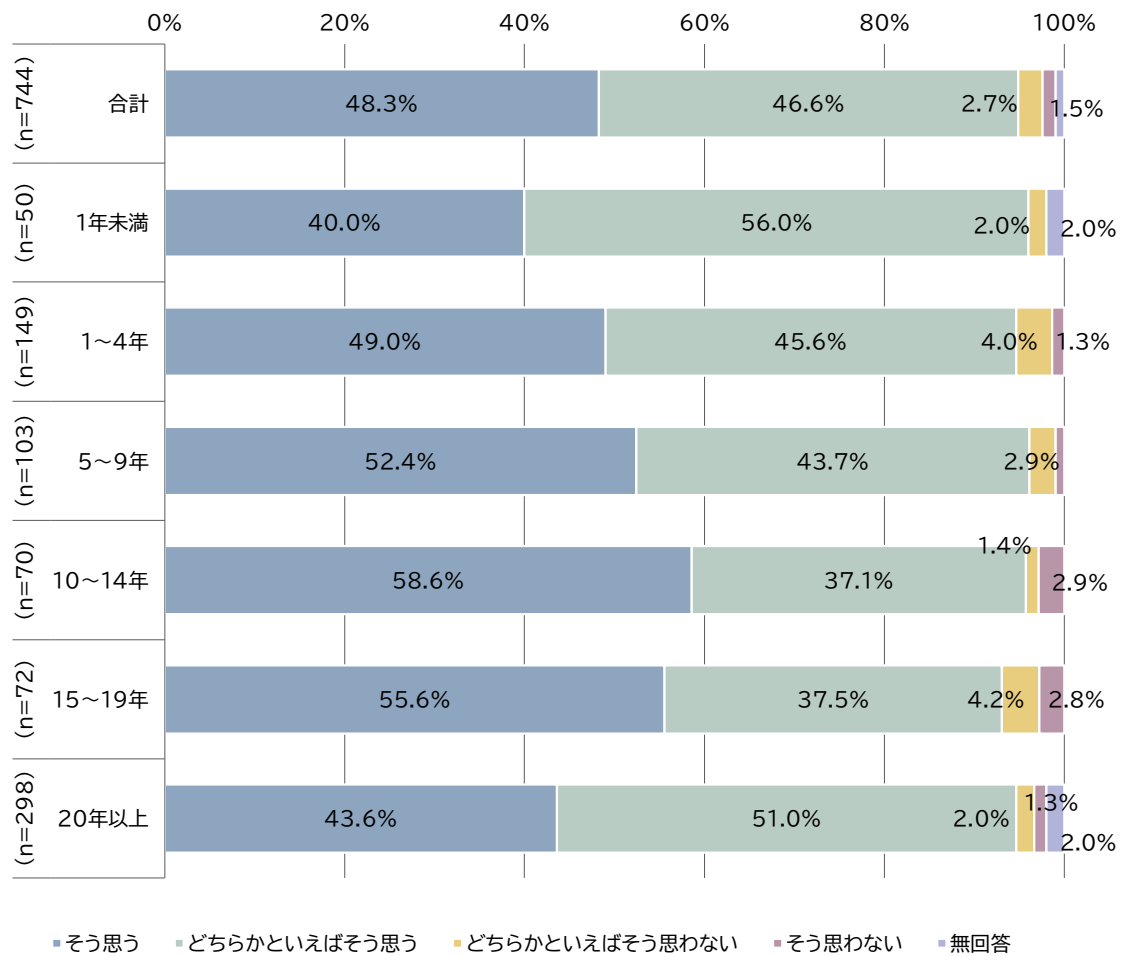
図表 113 区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことの重要性
(居住地域別・SA)



4) 居住年数別

居住年数別でみると、いずれの居住年数でも区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合が9割以上を占める。「10～14年」の「そう思う」の割合は合計よりも高い。

図表 114 区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことの重要性
(居住年数別・SA)

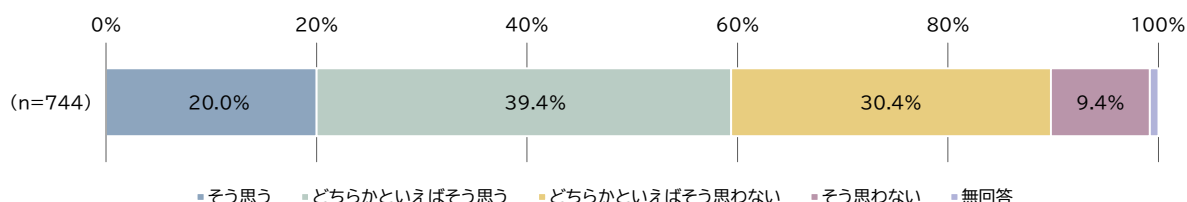


③ 地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいか

1) 全体

地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいと思う割合（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計割合）は、全体の約6割を占める。

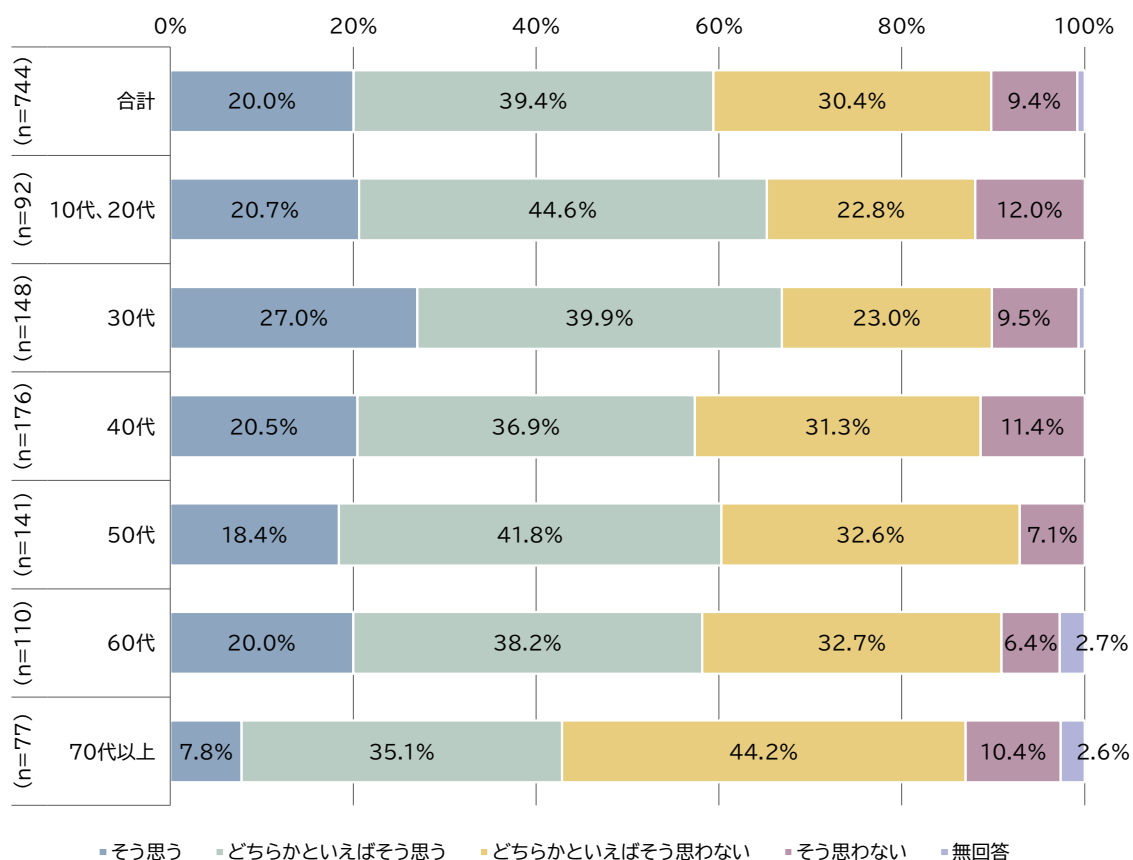
図表 115 地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいか（SA）



2) 年齢別

年齢別でみると、地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいと思う割合が最も高いのは「30代」で、最も低いのは「70代以上」である。また、「70代以上」で「そう思う」の割合は合計よりも低く、「どちらかといえばそう思わない」の割合が合計よりも高い。年齢が上がるにつれて、地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいと思う割合は減少傾向にあり、「70代以上」で突出して低い。

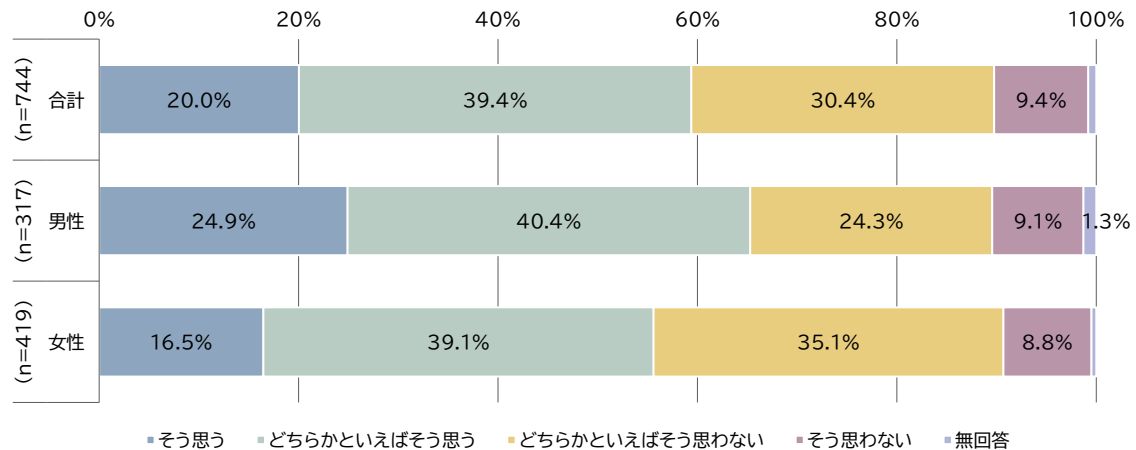
図表 116 地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいか（年齢別・SA）



3) 性別

性別でみると、地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいと思う割合は「男性」が約 6.5 割、「女性」が約 5.5 割である。

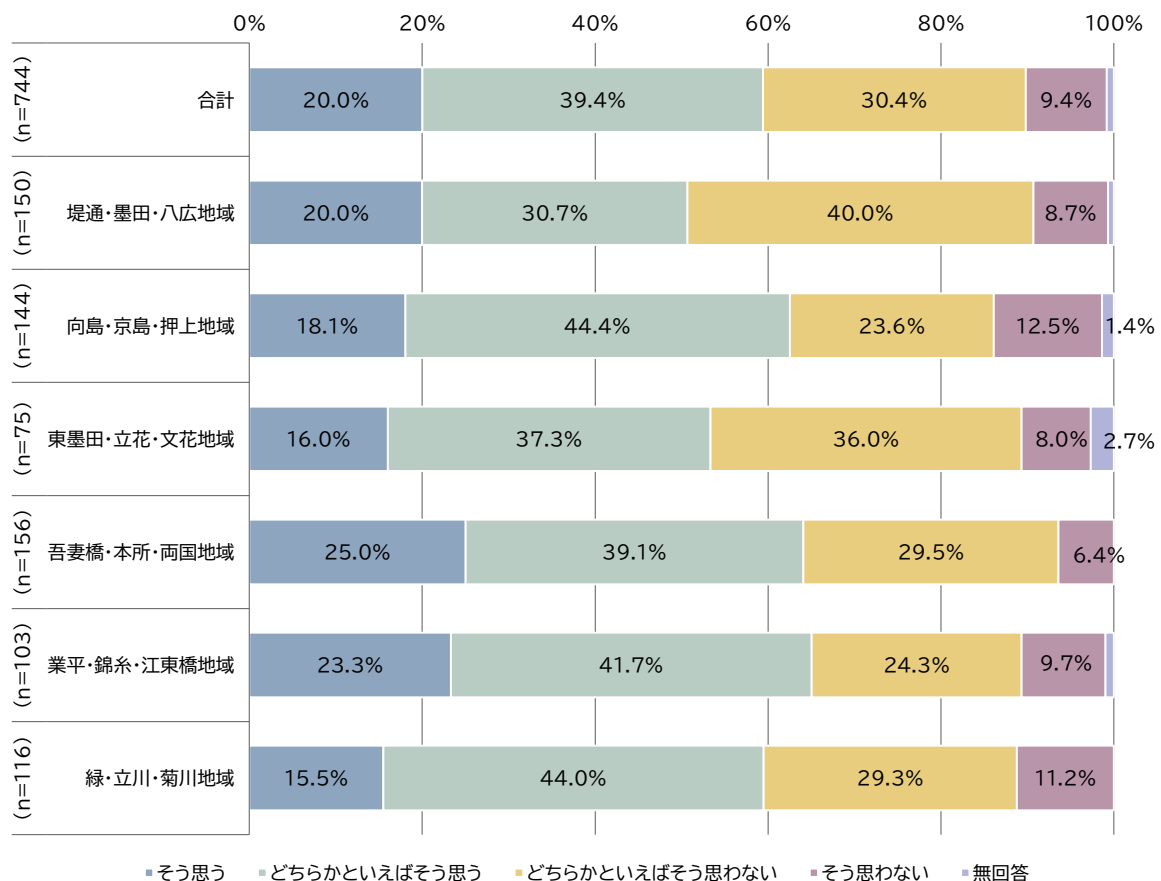
図表 117 地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいか（性別・SA）



4) 居住地域別

居住地域別でみると、地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいと思う割合はいずれの居住地域でも5割を超えている。居住地域別の傾向には明確な差は認められない。

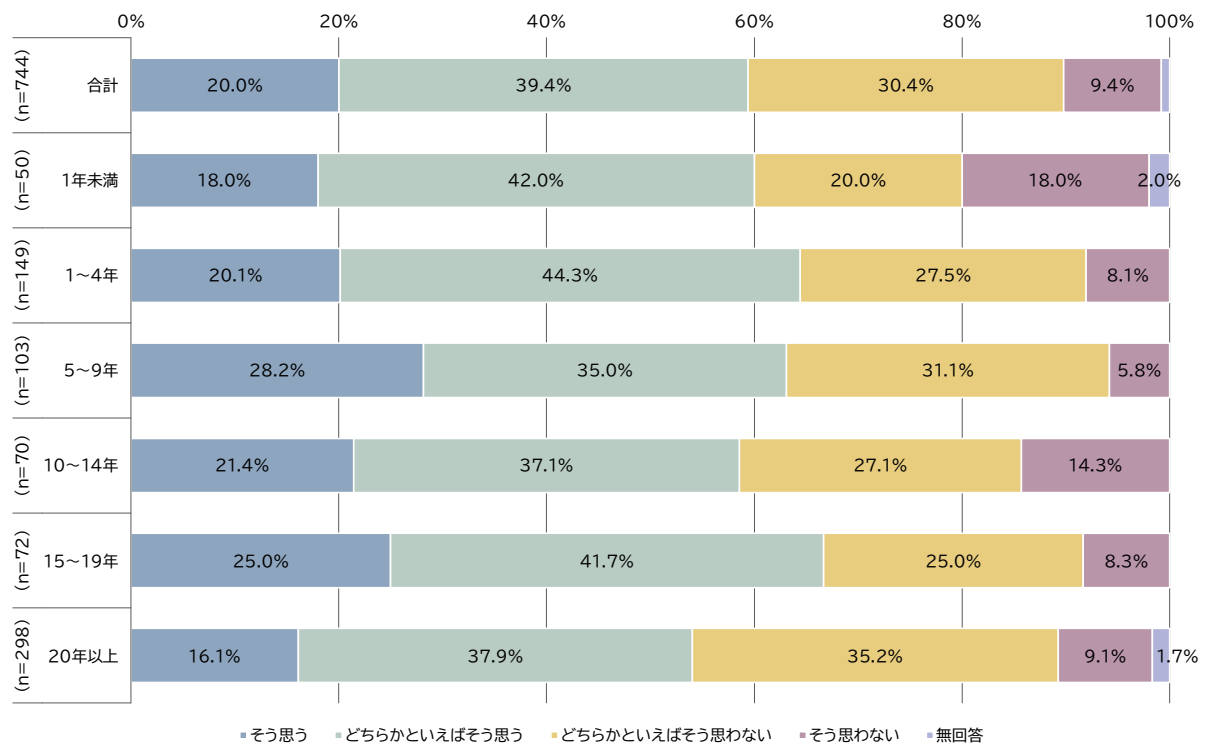
図表 118 地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいか（居住地域別・SA）



5) 居住年数別

居住年数別でみると、地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいと思う割合が最も高いものは「15～19年」、最も低いものは「20年以上」である。「5～9年」での「そう思う」の割合は「20年以上」よりも高い。

図表 119 地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいか（居住年数別・SA）



④ 地域課題の解決やまちづくりへ関わりたいと思わない理由

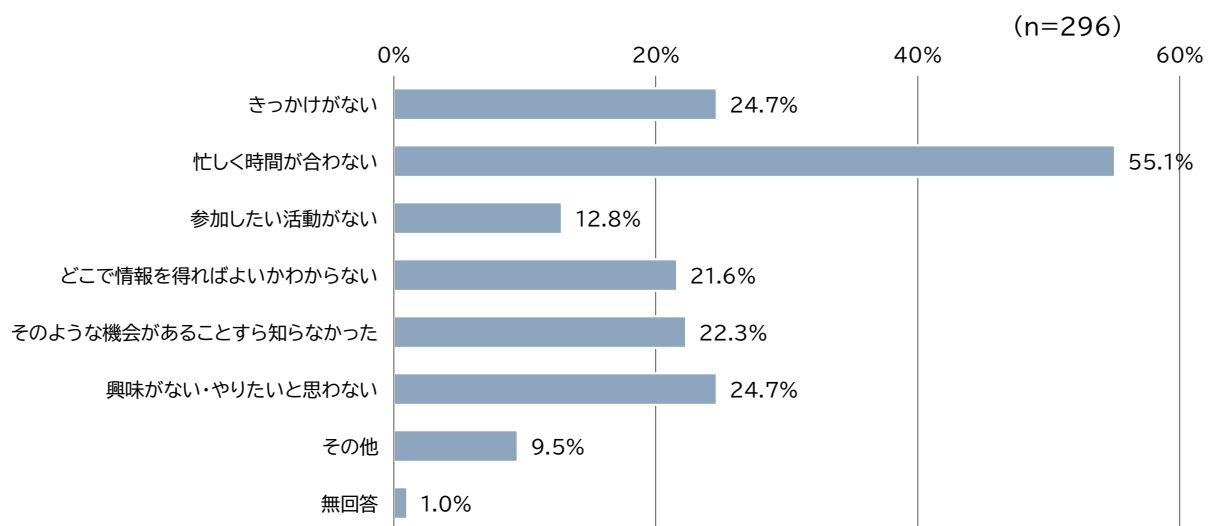
1) 全体

地域課題の解決やまちづくりへの参加に対し関わりたいと思わない（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」）と回答した方を対象にその理由を確認した。

地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由としては、「忙しく時間が合わない」の割合が最も高く 55.1%である。次いで、「きっかけがない(24.7%)」、「興味がない・やりたいと思わない(24.7%)」である。

「その他」の回答として、「高齢のため難しい」、「体力や健康上の不安がある」、「コミュニティへの参加方法がわからない、参加に壁を感じる、苦手意識がある」、「過去に経験したが、現在は意欲がない」、「今後転居の予定がある」等が挙げられた。

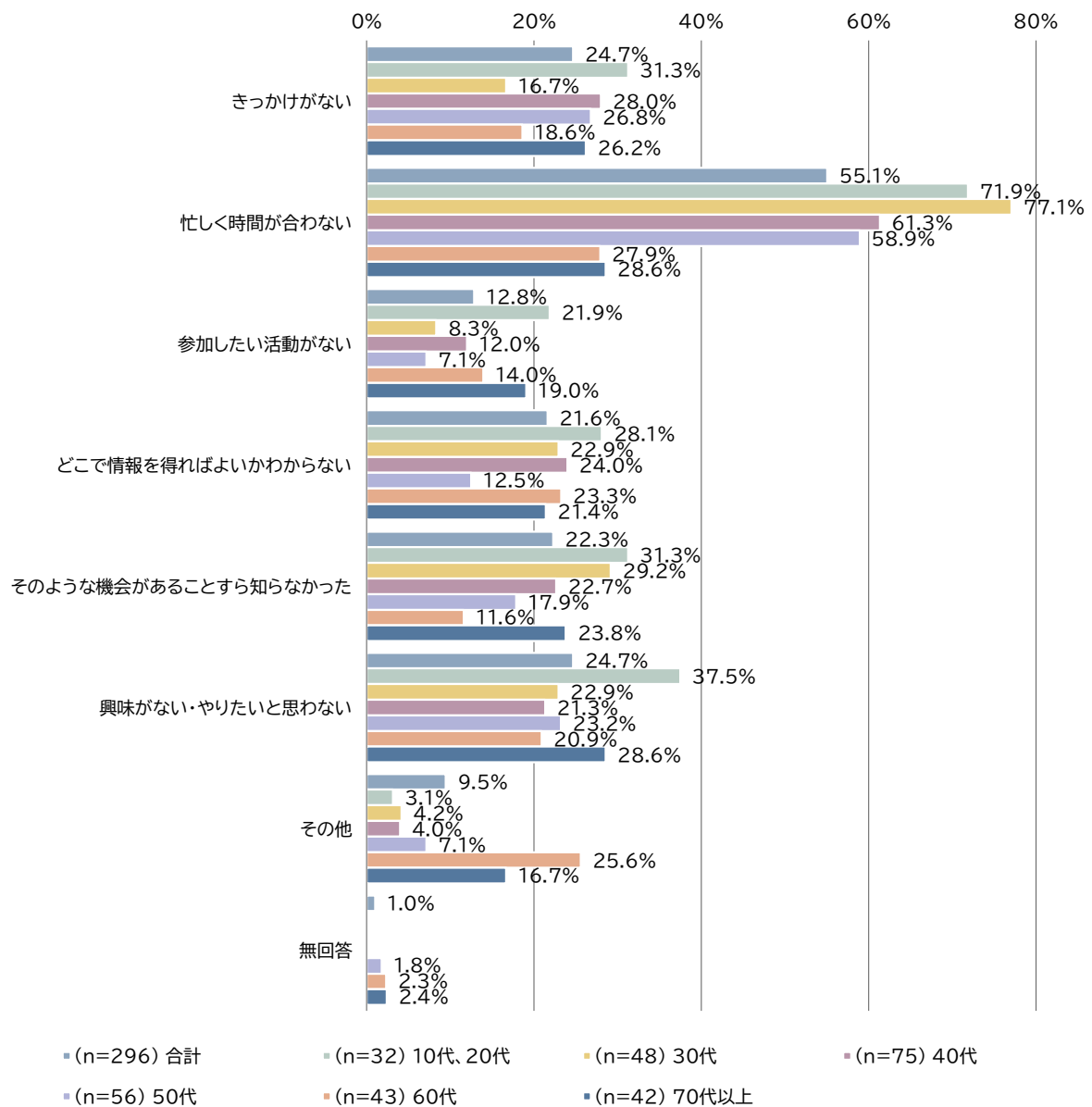
図表 120 関わりたいと思わない理由 (MA)



2) 年齢別

年齢別でみると、地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由について、「忙しく時間が合わない」の選択割合が、「10 代、20 代」、「30 代」で合計よりも 15 ポイント以上高いのに対し、「60 代」、「70 代以上」では、合計よりも 30 ポイント近く低い。「その他」の選択割合は、「60 代」で合計よりも 15 ポイント以上高い。「10 代、20 代」では、多くの選択肢での選択率が合計よりも高い傾向にある。

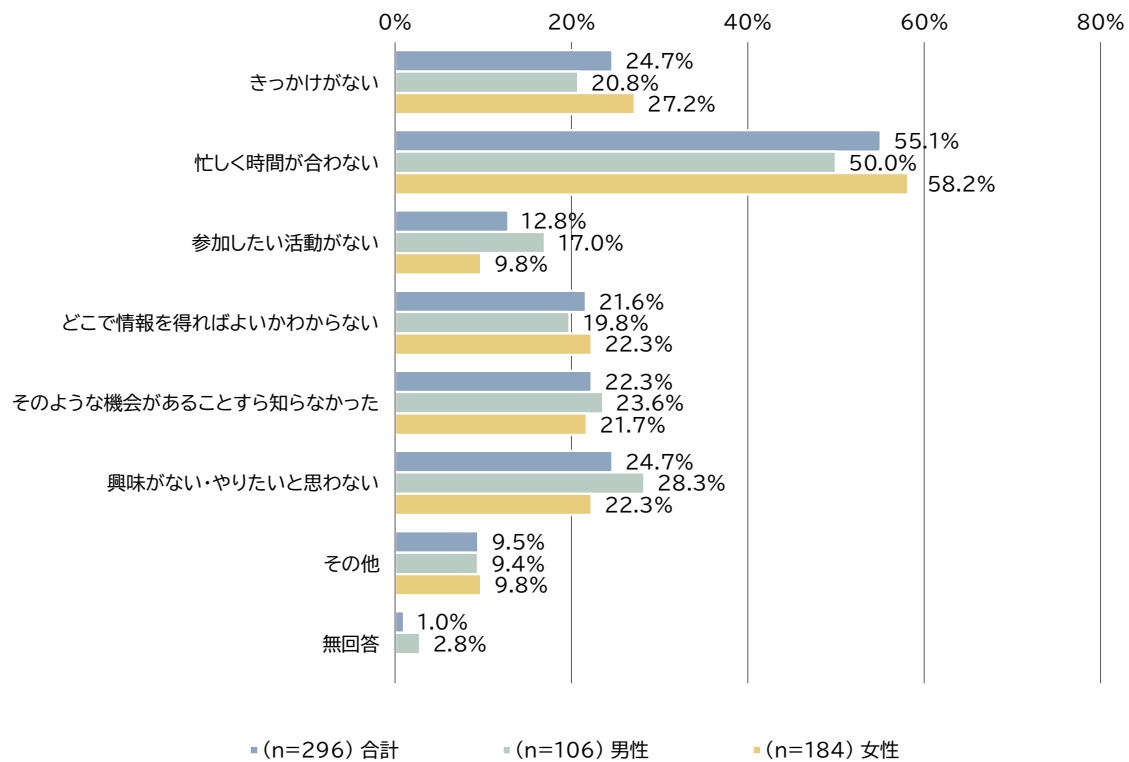
図表 121 関わりたいと思わない理由（年齢別・MA）



3) 性別

性別でみると、地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由について、明確な差は認められない。

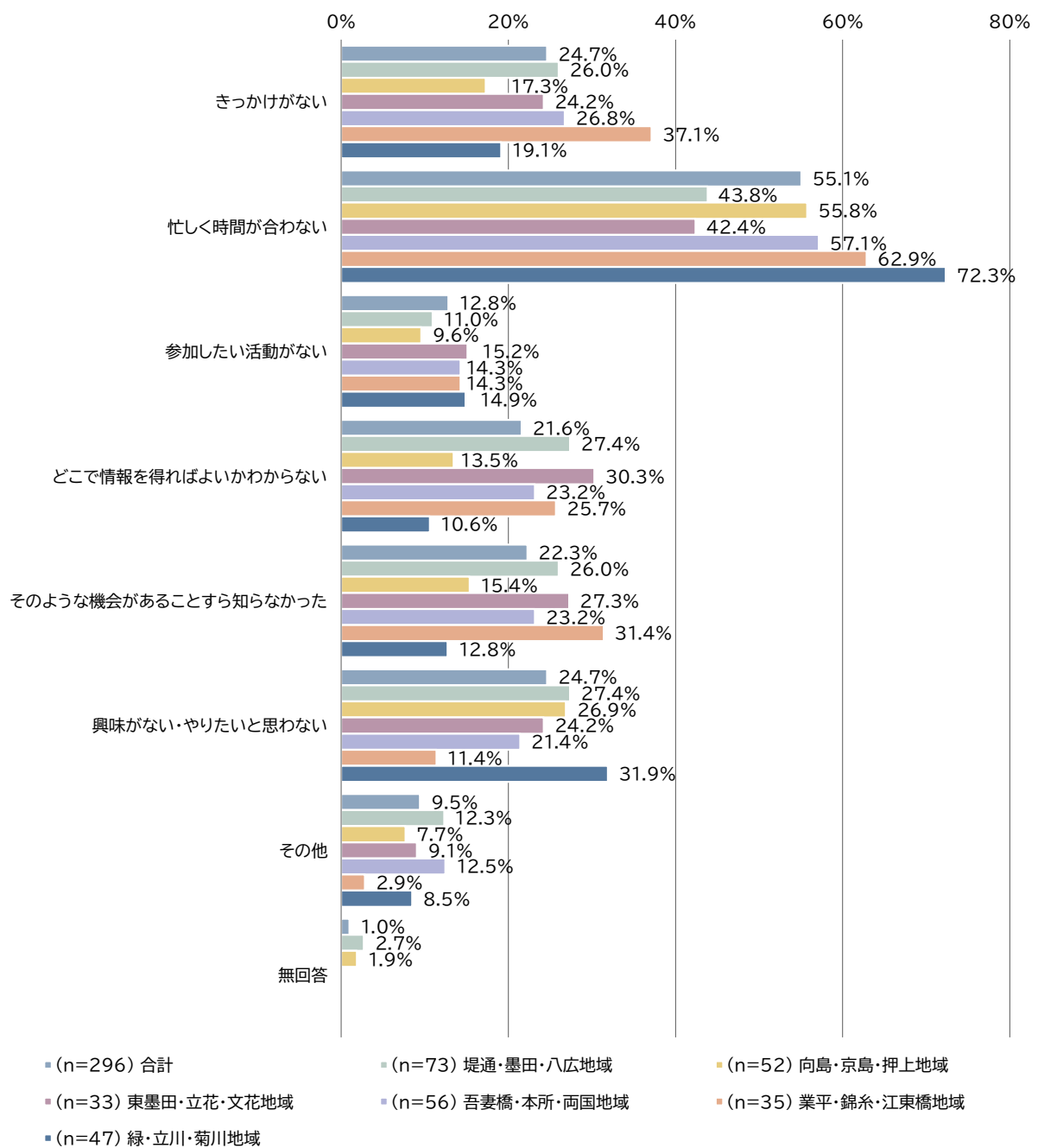
図表 122 関わりたいと思わない理由（性別・MA）



4) 居住地域別

居住地域別でみると、地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由について、「忙しく時間が合わない」の選択割合は、「緑・立川・菊川地域」で合計よりも 15 ポイント以上高いのに対し、「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」で合計よりも 10 ポイント以上低い。「興味がない・やりたいたと思わない」の選択割合は、「業平・錦糸・江東橋地域」で合計よりも 15 ポイント程度低い。「きっかけがない」の選択割合は、「業平・錦糸・江東橋地域」で合計よりも 10 ポイント以上高い。

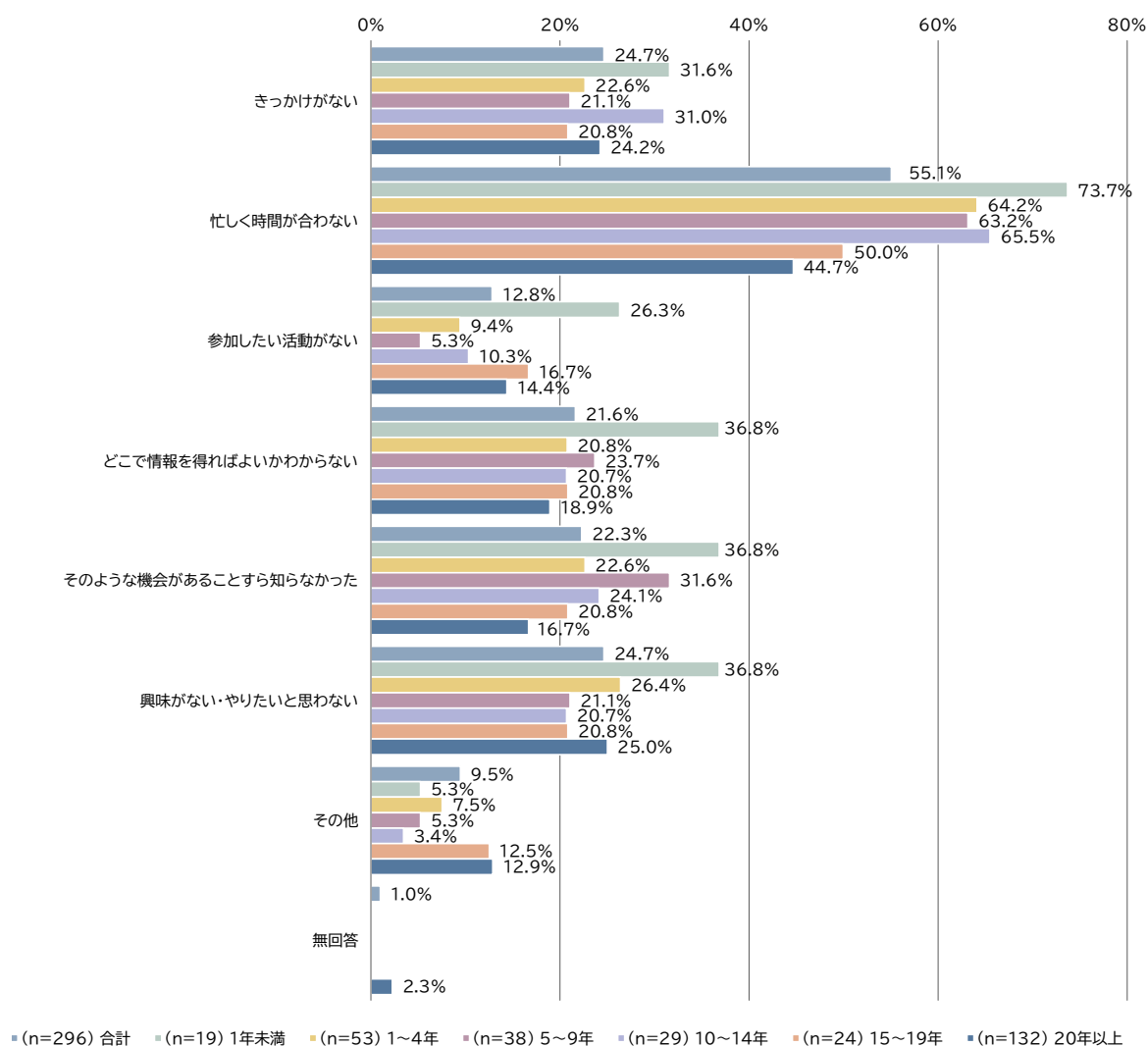
図表 123 関わりたいと思わない理由（居住地域別・MA）



5) 居住年数別

居住年数別でみると、地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由について、「忙しく時間が合わない」の選択割合は、「1年未満」で合計よりも 20 ポイント近く、「10～14 年」で10ポイント以上高いのに対し、「20 年以上」で合計よりも 10 ポイント以上低い。また、「1年未満」では、多くの選択肢での選択率が合計よりも高い傾向にある。

図表 124 関わりたいと思わない理由（居住年数別・MA）

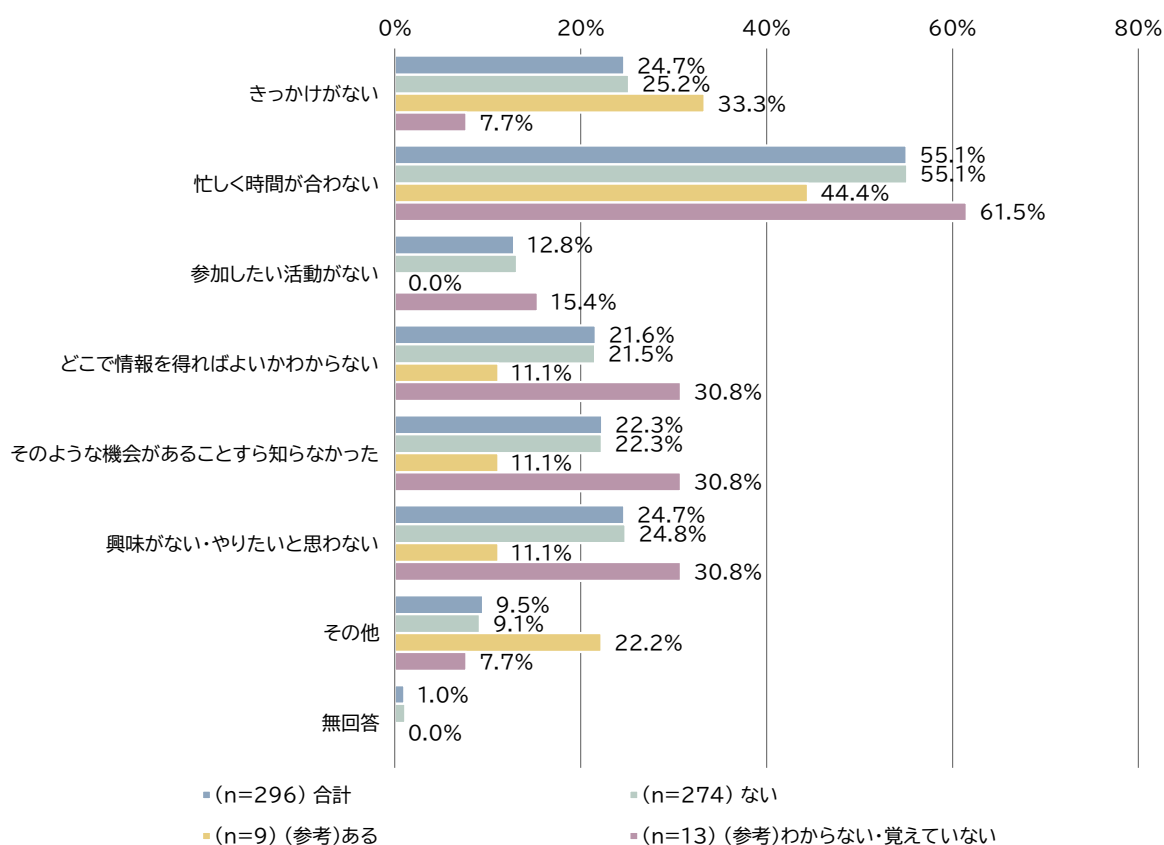


6) 参加経験別

地域課題の解決やまちづくりへの参加経験別でみると、地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由について、全体と「(参加経験が)ない」において明確な差は認められない。

※「(参加経験が)ある」「わからない・覚えていない」は回答数が少ないため、参考値としてのみ掲載する。

図表 125 関わりたいと思わない理由（参加経験別・MA）



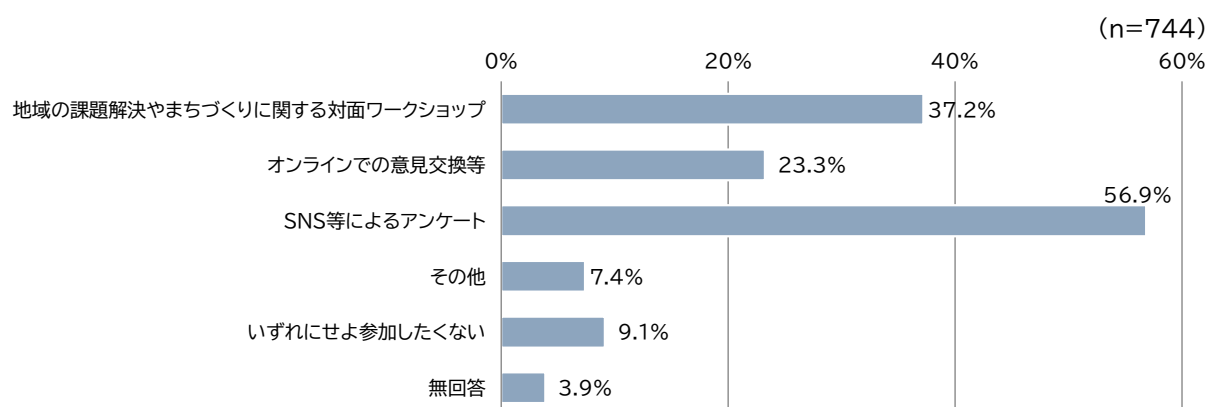
⑤ 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式

1) 全体

参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式は、「SNS 等によるアンケート」の割合が最も高く 56.9%である。次いで、「地域の課題解決やまちづくりに関する対面ワークショップ(37.2%)」、「オンラインでの意見交換等(23.3%)」である。

「その他」の回答として、「少額でも良いから有償にする」、「地元出身者中心で実施」などが挙げられた。

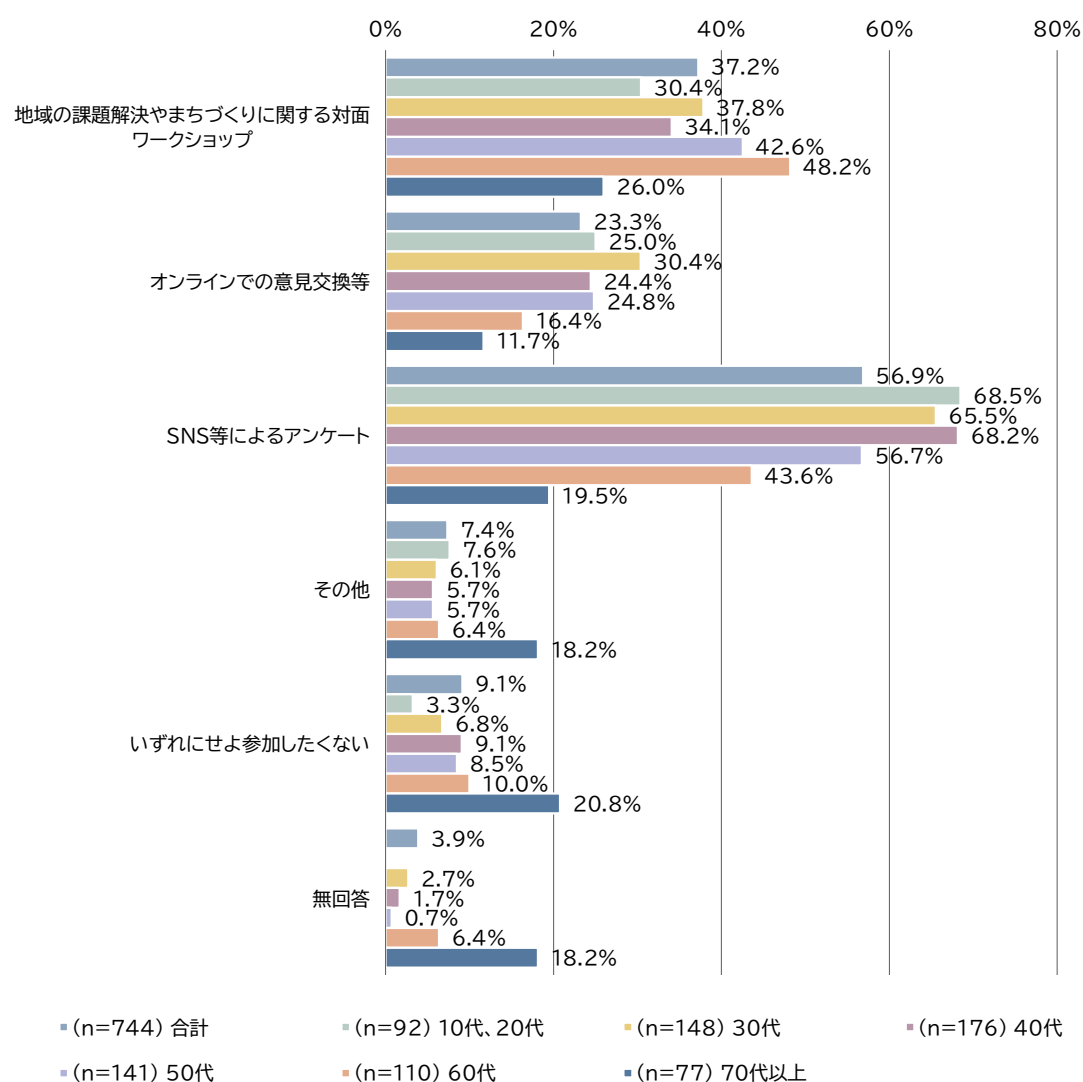
図表 126 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式 (MA)



2) 年齢別

年齢別でみると、参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式について、「70 代以上」では「いずれにせよ参加したくない」、「その他」の選択割合は、合計よりも 10 ポイント以上高く、他の選択肢の選択割合も合計より低いものが多い。また、「SNS 等によるアンケート」の選択割合は、「10 代、20 代」、「40 代」で合計よりも 10 ポイント以上高い一方で、「60 代」で 15 ポイント近く、「70 代以上」で 35 ポイント以上合計よりも低い。「地域の課題解決やまちづくりに関する対面ワークショップ」の選択割合は、「60 代」で合計よりも 10 ポイント以上高い一方で、「70 代以上」で合計よりも 10 ポイント以上低い。

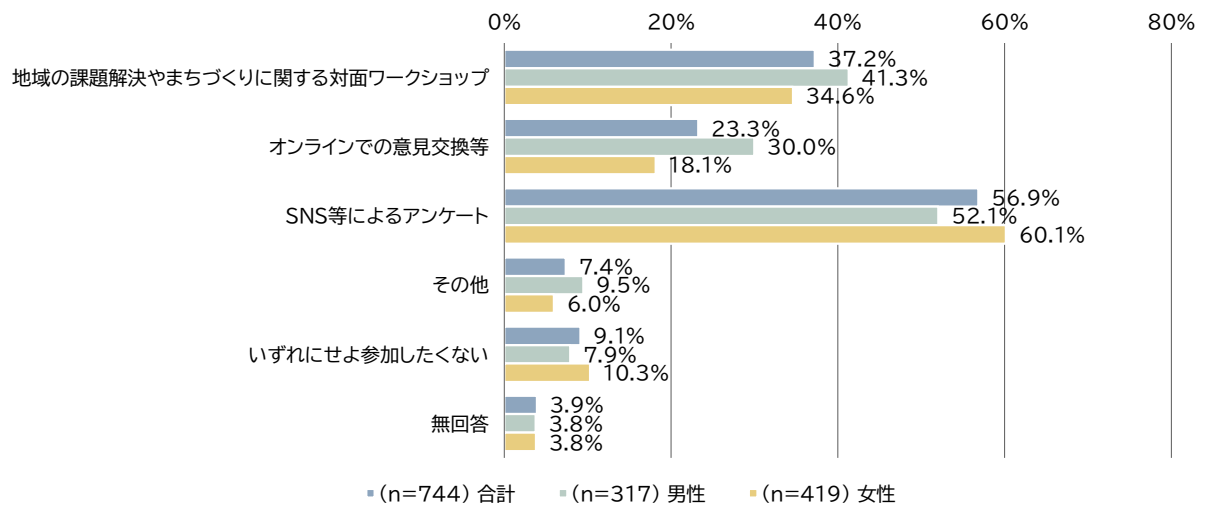
図表 127 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式（年齢別・MA）



3) 性別

性別でみると、参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式について、「オンラインでの意見交換等」の選択割合について、「男性」は「女性」よりも 10 ポイント以上高い。

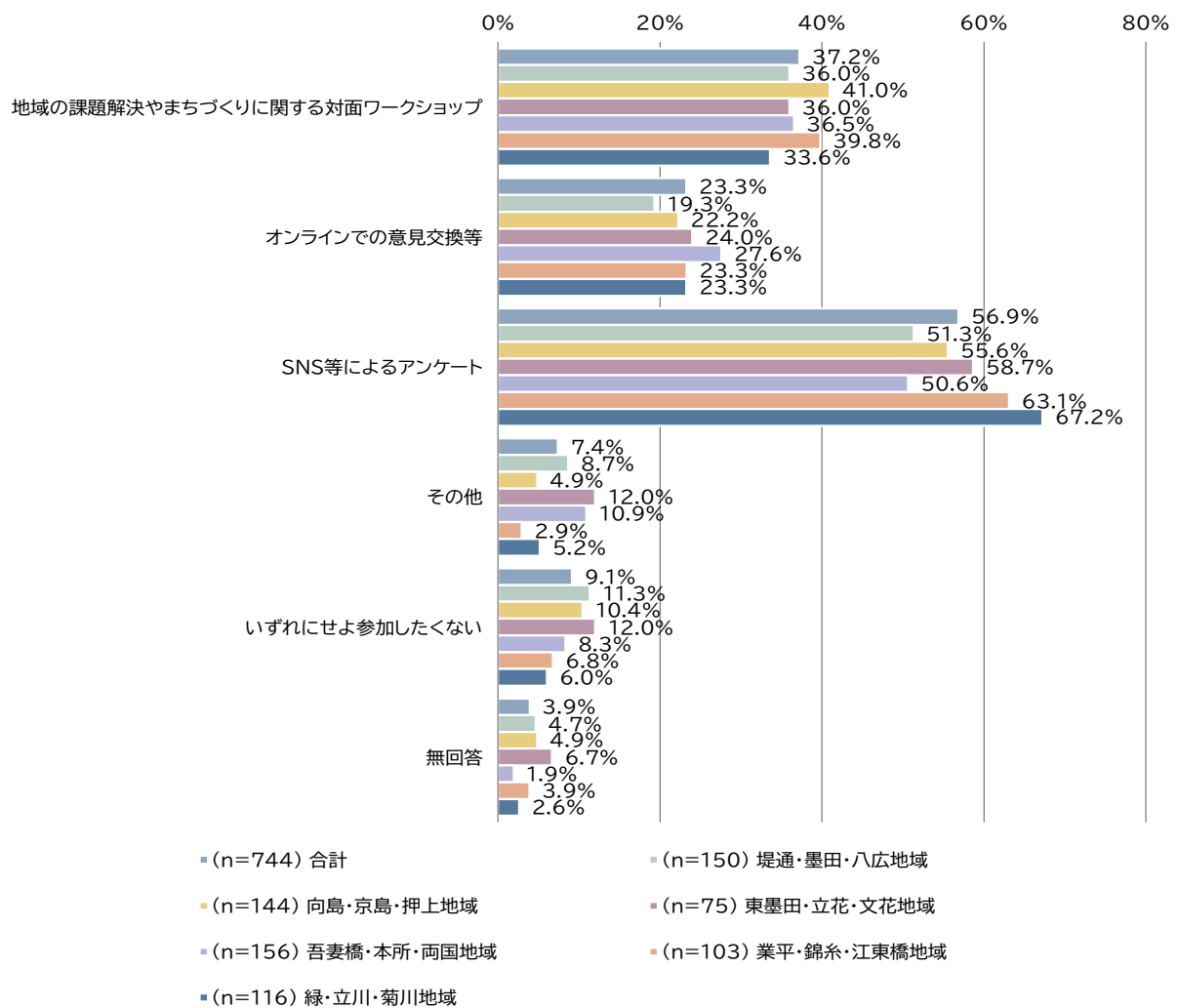
図表 128 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式（性別・MA）



4) 居住地域別

居住地域別でみると、参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式について、「SNS 等によるアンケート」の選択割合は、「緑・立川・菊川地域」では、「向島・京島・押上地域」よりも 10 ポイント以上、「吾妻橋・本所・両国地域」、「堤通・墨田・八広地域」よりも 15 ポイント以上高い。

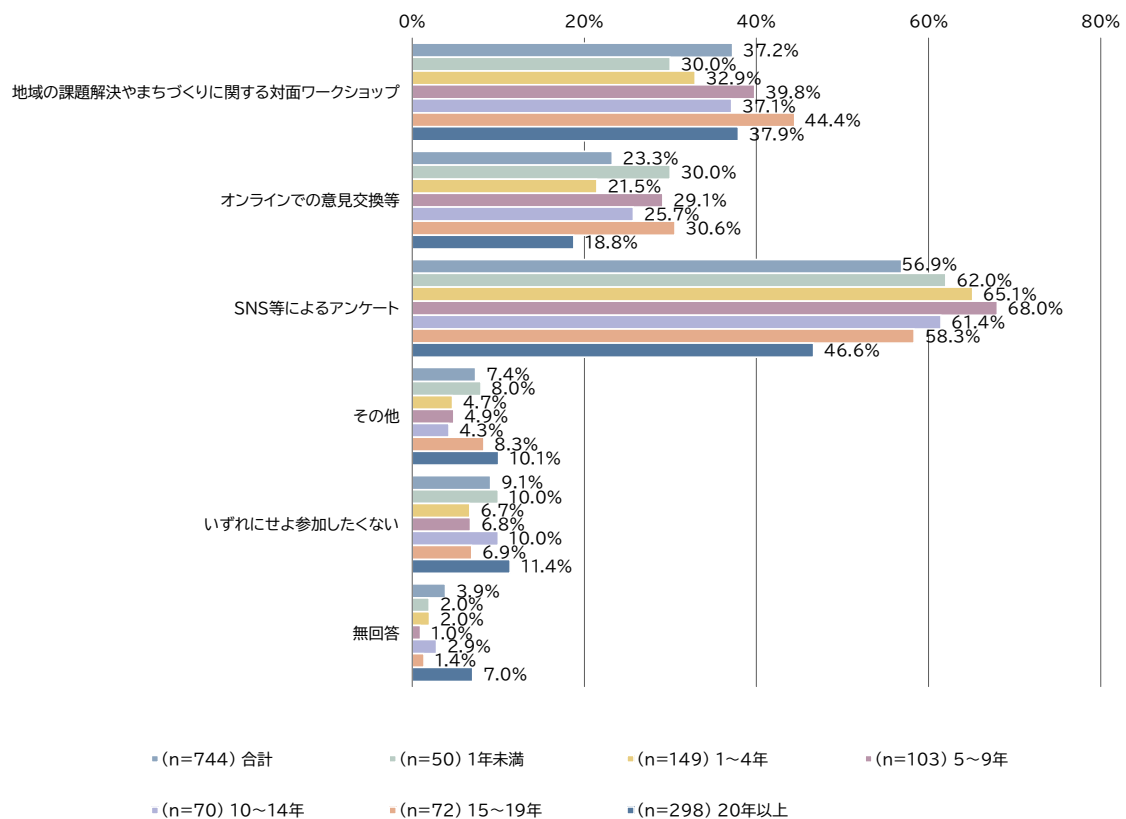
図表 129 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式（居住地域別・MA）



5) 居住年数別

居住年数別でみると、参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式について、「SNS 等によるアンケート」の選択割合は、「5～9年」で合計よりも10ポイント以上高い一方で、「20年以上」で合計よりも10ポイント以上低い。また、「オンラインでの意見交換等」の選択割合は、「1年未満」、「5～9年」、「15～19年」で「20年以上」よりも10ポイント以上高い。

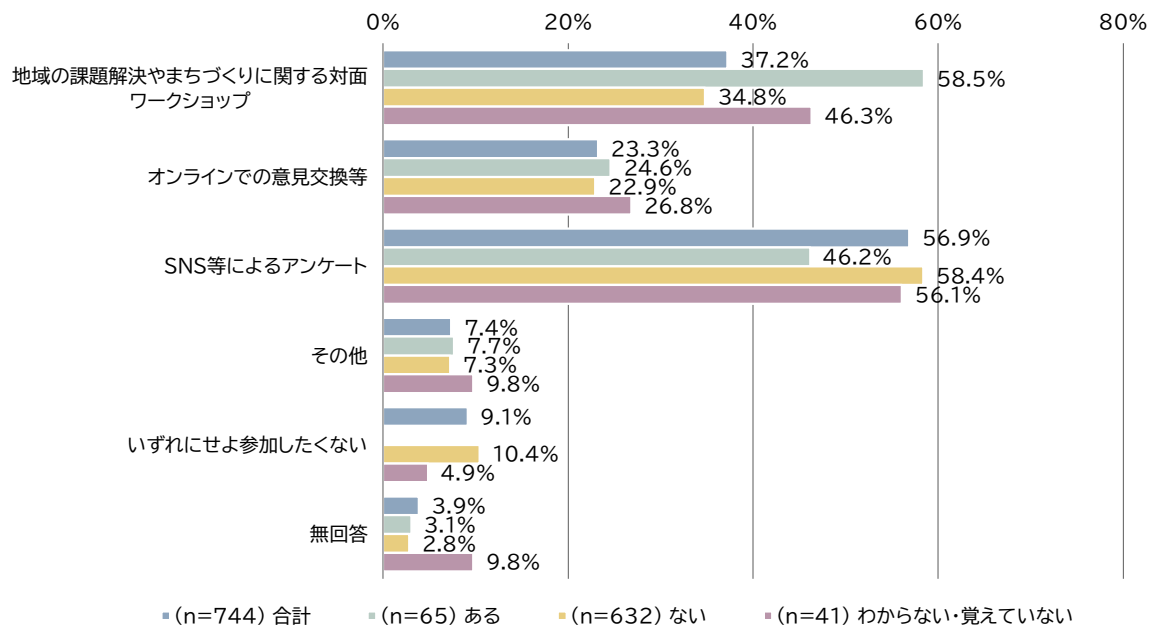
図表 130 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式（居住年数別・MA）



6) 参加経験別

域課題の解決やまちづくりへの参加経験別でみると、参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式について、「地域の課題解決やまちづくりに関する対面ワークショップ」の選択割合は、「(参加経験がある)」で合計よりも 20 ポイント以上高い一方、「SNS 等によるアンケート」の選択割合は「(参加経験がある)」で合計よりも 10 ポイント以上低い。

図表 131 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式（参加経験別・MA）



6. 区が取り組むべきことへの意見・要望について

(1) 調査結果

今後の墨田区をよりよいまちにするために、区に取組んでほしいこと（区が取組むと良いと思うこと）について、回答者に自由に記述していただいたところ、423名から（回答者全体の56.8%）から回答が寄せられた。

本項目では、明らかな誤字・脱字は修正した上で、原文のママで自由記述の意見を掲載した。

ただし、外国語で記載されたものは邦訳して掲載したほか、回答者個人に関わる内容や文章量が著しく多い意見、本自由記述の趣旨と異なる意見はその内容を一部削除した。複数の回答者から同様の意見が寄せられたものは、意見の趣旨をまとめた上で合わせて掲載している。

なお、1人の回答者が2つ以上のテーマについて記載している場合は、読みやすさの観点から可能な範囲で意見を分割した上で、テーマごとに掲載した。

1) 区政について（102件）

ア 区政全般（42件）

- ・ 墨田区に引っ越してきましたが、暮らしやすくて気に入っています。より良いまちづくりのためにたくさんの人の声を聞き続けてください。色々な施策、楽しみにしています。

【3件】

- ・ 住民税、区民税を減らしてほしい。【2件】
- ・ 墨田区に住みたいと思う人をより多く増やすために住みたい街づくりや取組をしてほしい。

【2件】

- ・ ふるさと納税は廃止した方がよい。
- ・ 世帯見回りの徹底的な強化・拡充、税金利用内容の全公開、領収書のWeb公開義務化・区職員の配置・職務状況・給与・勤怠の匿名全公開。
- ・ 区民を平等に扱ってほしいです。
- ・ 40年間墨田に住んでおります。とても良い街になったと感じております。私と父が通っていた小学校に娘が通い始めました。夏にはすみだスポーツ健康センターでプールで遊び、すみだトリフォニーホールで素晴らしい演奏に涙を流し、オリナスで映画、買物、曳舟には世界一（暗算）のそろばんの先生がいます。墨田区で楽しい毎日、輝く未来があります。
- ・ 墨田区の良さを生かしつつ、新しさをそなえしなやかで全ての区民にやさしい街にして下さい
- ・ 明るく住みやすく、安心して住みつづける町にしていきたいと思います。
- ・ また税金の面でも、予算（貯金）が多いのであればそれを還元する何かをしないと長期に住んでもらえる街にはならないと思っています。ただ他の区と比較すると一歩上を行っていると思うので上記を改善してもっと差をつけていってほしいと思います。
- ・ 議員定数の削減及び職員数の見直し。（ギリシャと同じようになってきている公務員天国）
- ・ いつもお世話になっています。感謝しかありません。本当にありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。

- ・ 区議会議員 32 名 → 20 名に定数をへらす。
- ・ このアンケートを出す書籍類にも税金がかかっていると思います。アンケートで良案を提示される方は少ないと思います。役所で働いている人は沢山いらっしゃいますよね。もっともって区の為に頭と体を使って下さい。アンケートの内容は答えづらい質問もあり、あてはまらない答えもあったりしました。集計されたアンケートも結果的にはどうなのか？…と。
- ・ より良くすることも大事だが認知度を高めるのが良いと思う。今回のアンケートでは全ての回答がとてもあいまいだった。それをすみだの区がやっていることを何も知らないからだ。墨田区民がみんな墨田区に興味があるわけではないと思いました。
- ・ 区の人口が増えているので区の職員を減らすとかやめてほしい。
- ・ 公務の為に現状調査、把握、見て見ぬふりのない人員教育。無駄な員数の見直し、適材適所、勉強、無知な公務のない業務遂行
- ・ 墨田区のふるさと納税制を充実させ、上手く情宜する事。
- ・ 墨田区に移り住んで5年が経ちます。こんなに住みやすいエリアは初めてなのでこれからもすみだ区民でいたいと思っています。よろしくお願いします。
- ・ （このアンケートのような）こんなくだらない事をやってないで1円でも多くとりあげた税金を返せ。くだらない人、物、事を断捨離して必要最低限の事だけやっていればヨシ。金返せ！！！！！！
- ・ 住めばよい街ですが、対外的なイメージはあまり具体的になっていないように感じます。
- ・ 区長を中心に、とてもよくやっていただいていると感謝しています。現在でも、とてもよいまちだと思います。今後区をよりよいまちにするという点では、区民が“墨田区は私たち区民が関心を持ち、必要に応じて意見することで、もっとよいまちになる”と自覚、認識できれば充分だと思います。その意味では、若い世代が行政に関心を持てるよう取り組んでいただければ有り難いです。
- ・ 観光客が増える中、区民サービスをもっと増やす。 例) 区民割引があるお土産店、区民には特典ありなど
- ・ 土地を持っている人ばかりが優遇されている。
- ・ 観光がうまいとは思えないので、伝統や文化に頼ることなく、100 年後 200 年後を考えたあたらしい墨田を作っていくべきだ。
- ・ 今の現状で凡そ満足しているので、現状が続くことを望んでいます。
- ・ お金をばらまいてほしい
- ・ 政治を行うは人。今の区政を一新する意気込みの考えが取り組みに必要。結局は、永田町に目が行くような選挙を含めた、偏った人間関係が少しでも改善できた時に、区民の考えを盛り込んだ取り組みができると考える。
- ・ いま出入りしているコンサル事業者以外にも声掛けをして、新しい視点を増やすとともに、今後の調達における競争性を高められるようにしてほしい。
- ・ 23 区内でより分かりやすく区政の違いを明確化できるよう、20 代から 40 代の 10 年後の墨田区を支える世代の声をしっかりヒアリングのうえ、区政に反映してほしい。
- ・ 区の職員の方が十分努力されており、課題を感じつつも変更しにくい部分があるかと理解し

ています。ぜひ区民の声を活用して、職員の方にとってもやり易い行政を目指して下さい。

- ・ 台東区との連携ばかりで西側に重点を置いているようだが、東は葛飾区・江戸川区と南は江東区と接しているにもかかわらずそれらの区との連携が希薄だと思う。西側ばかりでなく東側にもっと目を向けて欲しい。
- ・ いろいろ、大変だと思いますが、頑張ってください！応援も期待もしています！
- ・ 20年以上住み続けていますが、特に不満に感じることは無いです。
- ・ 墨田区に引っ越してきて共働き世帯に関して、区民税が東京都の中でも高いと思っています。日々子育てするのにお金がかかるので、区民税が少しでも安くなると嬉しいです。
- ・ 住環境や行政サービスに関してはとても満足しています。
- ・ 墨田区自体は便利で、安全で、住み易く気に入っています。
- ・ 基本目標を策定することは良いと思うが、それを継続的にすすめるための区としての活力を維持するため、生産人口の維持を目指してほしい。維持するために効果的な施策を推進してほしい。

イ 区の施設について（7件）

- ・ 墨田区には、もっと若い人達が活動できる施設などを増やしてほしい。
- ・ 利用できる施設が、北の方にあって、南の地区に住んでいる私は、思うように利用出来ないのが現実です。
- ・ 真先に文化センターの喫煙所を廃止してほしい、文化センターの名が汚れる！また、便所の様な、地下室の様なレベルの低い食堂を上層階のレストランへしてほしい。
- ・ 墨田区内でも、色々な施設が片寄っていると思います
- ・ 施設の運営委託をする業者を適正な価格で選定しているのか、危ぶんでいます。安ければ安い方がいいで選んで質が劣化しているように思うことがあります。
- ・ 小学校、中学校をはじめ区の施設が全体的に老朽化しているので一新してほしい
- ・ 区で観光客の誘致や大きなモール建設など、一日を墨田区で過ごせる施設を作してほしい

ウ 区役所について（16件）

- ・ 平日の仕事が忙しくても行けるように窓口の時間延長もしくは土日も開庁して下さったらうれしいです。【2件】
- ・ 区役所に問い合わせた時の対応などが冷たく怖い印象で、上から目線なので、改善して頂きたいです。【2件】
- ・ 職員同士が仲良くないイメージ。働く場所の最先端となるよう労働している職員の方の環境をととのえてあげて欲しいです。
- ・ 墨田区に越してきて始めて行った区役所にて、すごく嫌な対応をされ、違う区へ引越したくなりました。私自身が自治体で働いていた為、よりひどく感じ、これなら一般市民からの苦情もごもっともだと思いました。2度と行きたくなるような対応でしたので、改善された方が良いかと思います。手続きに行きたくありません。
- ・ 出張所でできる事が少なすぎて、結局庁舎の手続に案内されてしまう。

- ・ 老人にも若い人にも子供達にもとにかくわかりやすく便利に利用できるようにしてほしい。何もかもむずかしくしないでほしい。
- ・ 高齢者の相談窓口が立花地区から無くなり、文花地区と一緒に、行くまでの距離が遠のいてしまいました。やっと辿り着いても働いている職員が不親切だったので、行く気は、なくなりました。他区から来ているから仕方ないと思いました。
- ・ 先日区役所に行った時、大声でしつこく、時には恫喝するように一人の方が粘って自分の主張を通そうとしていました。(海外出身の方のように聞こえました) 対応、大変だと思いますが、海外に滞在経験のある身としては、目的の為には手段を選ばない文化の方達も少なからずいるのはわかっているので、負けずに対峙される姿にエールを送ります。川口のようにならないよう頑張ってください。墨田区はとても住みやすい町で誇りに思っています！
- ・ まず区役所内にて、別部署との連携、情報共有、コミュニケーションをとって欲しい。
- ・ 区役所のエレベーターが遅い。エレベーターホールが暗い。
- ・ 墨田区が広いと、庁舎に行く際遠いので、ちょっとしたことでわざわざ足を運ばなければいけないのが困る。出張所がもっとあるといい。
- ・ 区役所にいっても、いつも皆さんが親切で、やるべきことをちゃんとされているという区への信頼がとてもあります。墨田区から離れたくないと思っています。
- ・ 数年前に引っ越して来たが、他県と比べて区役所の手続きのスムーズさが抜群に良く、大変助かった。なので、そうした機能的・迅速な動きは引き続き行っていただきたい。
- ・ 墨田区でパスポート更新などできるようにしてほしい

エ 区役所の情報発信について (37 件)

- ・ 墨田区民のためになる取り組みなどの情報発信には、より力を入れてほしい。【3 件】
- ・ 墨田区として何を実施しているのか、何に取り組んでいるのかを住民から能動的に調べないと知る機会がないことが残念です。X (旧 t w i t t e r) や SNS 等での情報発信にて、広く公開してほしい。SNS 実施をしていることを各種案内送付の際に区民に PR することで、少しずつ認知を上げるとともに、掲示板や地域の回覧板情報では届かない層に対する周知を行ってほしいです。【2 件】
- ・ 墨田区の発信している情報を理解しているわけでも、全ての情報を受けとり、読み聞きしているわけではない。区の情報を自ら取りにいかなくても、自然と情報が入ってくればいいなと思います。メルマガとか、区のマイページとか。(ログインしたら、キャンペーン情報等が、ポップアップするようなイメージ) 【2 件】
- ・ 墨田区がどのようなイベント等を行っているのか、もっと広報誌等を分かりやすく、魅力的なものにしてほしい。(e x 子育て特集やグルメ特集など気軽に情報集収できる雑誌のようなイメージ) 例えば江戸川区の広報誌の方が見やすく、内容やイベント情報も収集しやすかった。【2 件】
- ・ 墨田区としてどんな事業があって、今自分が使える(利用できる)ものがあるのか不明。情報を得ようとしていないこともあるが、区の取り組みを知る機会がほしい(用事のある時にしか W e b s i t e を見に行かない) 掲示板や、広報を使用して情報を教えてほしい。【2 件】

- ・ いま、どのような施策をしているか等、そもそも知らない区民の方が多いと思います。知らないからこそ恩恵を受けられていない制度などあれば、もっと知る機会が増えればいいなと思いました。【2件】
- ・ 本アンケートについて、「分からない・知らない」という選択肢があってもよかったと思う。【2件】
- ・ 本アンケートの分析結果を公表してほしい、それがどう活かされるのかをフィードバックする事も重要。【2件】
- ・ お祭りなど古き良き文化が多いので、もっと墨田区のイベントを、HP などに集約して知らせしてほしい。イベントの告知をしっかりした方が集客を見込めると思う。【2件】
- ・ 区民新聞は、役所や駅に行かないともらえないが、各家庭に回覧板と一緒に配って欲しい。墨田区で何がおこっているか、新聞を通してでないと伝わってこない事が多々あるので、せっかく区で良い活動をして下さっていても、墨田区民には伝わっていないと思う。これからもより良い墨田区になる事を期待しております。
- ・ 墨田区のお知らせ「すみだ」は月に3回発行されていますが多いような気がします。月2回でいいかなと思います。すこしでも経費の節約にならないでしょうか？
- ・ 墨田区としての財政の健全化とわかり易いネット公開。
- ・ 区民目線を大切にしている区である事は感じとれるが、反面何をしているのか具体的には分からない事多々。これと言った「区の良さ」が他者に伝えられない。
- ・ 墨田区から流れる放送は「こちらは、墨田区役所です」のあとがよく聞こえず、逆に不安がつるばかりです。もう少し鮮明に内容が判るよう工夫してほしい
- ・ すみだ区報のポスティングをしてほしい。新聞をとっていませんので、区が何をやっているのかよくわかりません。携帯だと若い人は読むと思うのですが年をとると目が疲れるし、老人は無理かと思います。
- ・ 区政全般において、その成果は日々の生活の中で評価が出来る事は少なく、むしろ、マスコミ等を通じて知ることが多い。上手にマスコミの露出度が増えると良いと思います。
- ・ インターネット社会ですが、アナログ人間も大勢います。くわしくはQRコード、ウェブで検索ではなく区の広報などは、高齢者にもわかるように知らせてほしいと思います。宜しくお願い致します。安心、安全な墨田区にこれからも住わせて頂きます。
- ・ 区のお知らせなどで情報をとどけているのでこれで色々なことが分かります。このまま続けて下さい。
- ・ 良いとりくみも沢山あるので、もっとメディアへPRを強化しても良いのでは…と思いました。
- ・ イベントを増やしたり、地域活動はどのような事を行っているかWEBや紙面で知れると安心感と信頼感が増す。
- ・ 私の子供の頃に比べると墨田区はものすごく変わりました。街もキレイになり、道も整備され、スカイツリーができ、観光の街としても注目されることは 良い意味で驚きです。ただ、私自身、地元に対して何かアクションをしたことが無かったですし、何かできるのかも知らなかったというのが正直なところです。情報は発信するだけでなく受け取る側の問題も大き

いので、情報共有できるようになると様々なチャレンジができるのではないかと思います。受け取る側へのアプローチを考えてほしいと思います。

- ・ ホームページが見やすく分かりやすくなるといい。
- ・ 新時代に向けて大人や子供達の未来が明るく今を輝いて懸命に生きられるよう今後の墨田区のイメージをもっと伝える取り組みをして頂きたいです。
- ・ このアンケートでは、沢山の質問の中で回答する際のポイントが、各項にありましたが、墨田がどういう取り組みをしているのか、全くわかりません。
- ・ 定期的な情報発信（何かしら強制的に情報が入るような手段で）
- ・ ニュースで墨田区が取り上げられる度に、誇らしくもありました。住んでいる区に対して、改めて感謝と誇りを持つきっかけに。きっと沢山の事をしてきていると思うのですが、日常のことは当たり前になってしまい感謝の気持ちを忘れると思う。
- ・ いつも墨田区のお知らせ「すみだ」を楽しみにしています。ありがとうございます。

2) 伝統・歴史について（6件）

- ・ 歴史をしっかり残しつつ、向こう20年～50年を見据えた新たな発想を取り入れてほしいと考えています。
- ・ 海外の方との交流ができる場が増えれば、もっと、墨田区の伝統的な部分や、歴史的な部分が活用できると思います。
- ・ 定期的にお祭り等、開催してほしい。
- ・ 墨田区はとても魅力的な街なので、せっかくならもっと歴史や文化的な背景を気軽に学べる施設や催しをもっとあるといいなと。たまにパネルを見たり、資料館などに行ったりすると、いろいろな発見があって面白いので、そういう知識を得ることで街の魅力が理解され、もっと良い街にしたいなと思う意識が自然と生まれてくるように思います。
- ・ 歴史について 墨田区は、江戸はもちろん、それ以前の歴史のある場所であるが、そのことを感じさせるものが少ない。アピール不足である。歴史について記載する掲示板を設置することは最低限の措置であるが、その掲示板に一工夫をしてみてもはどうだろうか。デザインされた掲示板と共通デザインのオブジェなど。
- ・ 素晴らしい伝統文化が沢山ある地なので、観光集客や若者に発信など活かせると思っています。

3) 文化芸術について（5件）

- ・ 墨田区を、音楽の街にしましょう。すみだトリフォニーホールはクラシックの聖地です。錦糸公園にストリートミュージシャンを呼び、活気ある街にしましょう。
- ・ 神輿、花火など、文化が残る町。
- ・ 墨田区に5年住む前は江東区に4年程住んでいましたが、せっかくの隅田川花火大会を快適に見られる場所がありません。
- ・ すみだトリフォニーホール、すみだ北斎美術館などの文化施設の予算削減を食い止め、維持・設備改善に努めて頂きたい。

- ・ マインクラフトコンテストの開催

4) 観光について (14 件)

- ・ 浅草から吾妻橋を渡ってスカイツリーに行く外国人や観光客が多いのでこのコースをもっと魅力あるコースにして欲しい！ 特に「東京ミズマチ」が途中で横断できず、ホンダのディーラーまで行かなければ行けないのは非常に残念です！【3 件】
- ・ 観光エリアの魅力度をさらに高めるため、隣接する他区の観光エリアとの連携をさらに強化する。すでにスカイツリーエリアは東京ミズマチやすみだリバーウォーク等により浅草と連携し、魅力度が高まってきていると思うが、更に強固な連携を図り両エリアの行き来をスムーズにする。
- ・ 浅草～スカイツリーの間に住んでいます。大勢の観光客が毎日目の前を通って行きますが、大半が墨田区ではスカイツリー目当てでしかありません。スカイツリー以外にも客を引ける魅力、スカイツリーそのものがより魅力的な施設になれば益々発展するのではないかと思います。
- ・ スカイツリーが出来て、外国の観光客も多く来ているので近辺の道路街並みをきれいにし、花などの飾りつけをして欲しい。川辺をきれいにし、観光目的の船の運行をする事を期待したい。
- ・ スカイツリーは世界中からたくさんの方が来るので、周りの建っている建物が古いビルなどが多いのでキレイになればなど。ホテルがあまりないので、高級なホテルができればまた雰囲気が変わるのかと。場所がないとは思いますが…
- ・ 墨田区が芸術・文化・伝統を前面に出すのであれば、インバウンド対応に関して、デザインターゲット・ビジネスグラウンドデザイン・アクションを明確に打ち出すべきかと思います。
- ・ 両国駅付近～すみだ北斎美術館付近で外国人を多く見かけるので、もっと英語表記の案内板や外国人向けの施設を増やすと良いと思います。
- ・ 海外の観光客が多くてウザイ（ソラマチ）。
- ・ 観光地のイメージ作り。
- ・ 近所の友人とよく話すのだが、隅田川を渡って墨田区に入ってきててもこれといって自慢できるところがない。両国については相撲開催の時以外は寂れているし、浅草からスカイツリーまでの道もこれといって人を惹き付けるなにかはない。
- ・ オフシーズン策が必要では？
- ・ 交通の便は何を使うにも便利な場所なので観光、住まい共に活性化されると潤うと思う。(例えば24時間テレビが両国国技館でやるようになり相撲以外のファンが興味を持つ事で、地域にも関心を抱いたり…)

5) 水とみどりについて (26 件)

- ・ 水とみどりと言うほど緑が多い街とは感じないため、もっと植栽や公園・学校の芝生化などの緑を増やす等の緑化を進めてほしい。【8 件】
- ・ 隅田川を始めとした水資源周りの水質改善が進むとより住みやすい街になると感じている。

川や公園内の池などで、臭気が気になることがある。【6件】

- ・ 区民が水辺や緑の多い場所へ散歩に行った際に、そこでコーヒーを飲みながらおしゃべりできるようなカフェ・テラスなどの憩いの場の環境を整えてほしい。【4件】
- ・ 墨田区にはたくさんの水辺空間や緑があり、憩いの場が多いので水と緑のまちとしてさらに魅力的な場所を作ってほしいです。旧中川の水辺、墨田公園など、10年くらい前に比べるととても良くなったと思います。(10年前は区民ではなかったのですが訪れたことはありました)【3件】
- ・ 害虫駆除。街路樹等の剪定、再配置。多ければ良いというものではない(緑が)。意見公募を周知してから行う。
- ・ 江東区のように、川をメインとした、イベント等利用した企画希望。もったいない。
- ・ 水の町のイメージアピールが弱い
- ・ 河川敷の活性化 休日の河川敷では野球の試合が行われているが 観戦は芝生の法面ではなく、道路淵に椅子をおいて行っている。危険である。法面の保護を兼ねてコンクリートの保護を階段状に行うことで、よい観客席が提供できるのではないかと。墨田区には、河川敷という他の区にはない有意な場所がある ここを生かすべく国交省等との協議を進めて欲しい。また、河川敷へのアクセスは非常にしづらい 河川敷を生かす方策を検討してほしい。
- ・ お花を道にたくさん植えてほしい。

6) まちなみについて (27件)

- ・ 喫煙の出来る環境を増やして欲しい。【2件】
- ・ 墨田区の中心部、押上より南側は施設も多く利便性が良いが、東武スカイツリーラインの押上より北側は施設が少なく不便を感じることがある。同様に京成の押上～八広駅間にも、魅力のある施設や、自然と接する緑のある広場など休暇を過ごせる場所があれば良いと思う。区として、北部の地域にも目を向けてもらいたいと感じている。【2件】
- ・ 高速、電車の高架下が多いので、明るくする、落書きを消すなど環境を整えてほしい。清潔感がないため、綺麗になるだけでも印象が変わると思う。【2件】
- ・ 歴史のあるところが魅力的である反面、古い街並みの一部は老朽化が激しく見た目にも安全性上もよろしくないため、必要に応じて整備し、景観をより美しくしてほしい。【2件】
- ・ 昔からある下町っぽさと、スカイツリーのような新しい施設が入り混じった雰囲気独特であり、墨田区の魅力であるように思っています。一方であまりにごちゃごちゃすぎているところは少しずつ景観を整えていただきたいなとも思いますが、今ある古いものと新しいものが融合しているような雰囲気を良さとして残していただけたらいいなと思います。【2件】
- ・ 街並みを活気あるものに変えてほしい。
- ・ 工場の町を脱却して、住民の民度を上げ、歴史、文化の香りのする町づくりを！J Tに気を使わずに喫煙所を廃止！真先に文化センターの喫煙所を廃止、文化センターの名が汚れる！
- ・ 犬を飼育している人が多く、同じ墨田区で飼っている人と交流したいので、ドックランや犬と入れる室内施設が1つでも出来ると嬉しいです。(現在は他の区に行って交流しているため)

- ・ 街中の喫煙スペースをなくしてほしい。特に錦糸町駅周辺は路上喫煙が多く、迷惑しています。
- ・ 空家問題の解決
- ・ そういえば、いつも街がきれいだなと思います。ゴミとか、いつもだれかがきれいにしてくれているんだなと思います。
- ・ 高い建物や、マンションなど増やさず、下町らしき一戸建てなどを事業者に進めてもらいたい。立てよりも横のつながりを推奨して下さい。
- ・ 住みやすく美しい街並。
- ・ 街の中心から少し外れると、かなり古びた空き家が多くあるように見受けられます。区で買い取って再開発し、街並みを整えられませんか？川の両岸に桜を植えて、住民や他区域の方からも親しめる景観を整えたり、美しい街づくりを目指してほしいです。繁華街は居酒屋ばかりで風紀が悪いです。カフェやレストランが少ないので、区で大きめの土地を買い、街づくりを整えてほしいです。亀戸の方にどんどん人が流れてしまうので、頑張って頂きたいです。
- ・ 公園がたくさんあってうれしい反面、あまり衛生的とはいえない状況もある。墨田区の雑多なイメージは、こういうところから解消できたらと思う。
- ・ マンション多すぎ。景観が良く無い
- ・ 工場を減らして、学校(大学、専門学校など)を増やすこと
- ・ 江東橋あたりはマンションばかりで住民も多く、新しいマンションも数棟建設途中です。ラブホエリアではありながら住宅エリアでもあるので、この辺の治安・街並みにもっと力を入れてほしいです！新築マンションに住める人たちはだいたい高収入者が多いはずですが、それなりの安心感のある街と全くイメージが違います。本当に錦糸町駅の南口と北口の差別にゾッとします！江東橋エリアが暮らしやすくなるように良い街作りに頑張って頂きたいです！
- ・ ホームレスの排除、路上の清掃、路上にはみ出し視界や幅を狭めている樹木の剪定や私有物の撤去、両国駅周辺の再開発
- ・ 区の建物について 区には様々な建物があるが、その関連性が感じられない。墨田区と一体感のあるものとする工夫が欲しい。建物の外観を整えるということができれば一番よいが、それは相当に難しい。なにかシンボルとなる看板オブジェの様なものを設置するだけでもちがうのではないか。
- ・ 玄関口の駅が綺麗ではないのを改善してほしい。
- ・ 墨田区らしい下町の雰囲気を感じられる景観を大切にするまちづくり

7) 住環境（住宅・道路・公園等）について（64件）

ア 住宅について（8件）

- ・ 高齢者や1人暮らしの人が安心して住める専用マンションや施設を増やして欲しい。
- ・ ファミリータイプ（70㎡以上）の賃借マンションが少ない。
- ・ 1人暮らし用の区営住宅の募集をもっと頻度上げて欲しい。働けない年代の方で困っている

方がいるので優先入居などもあったら良い。倍率高すぎて全くそういったところに入れる気がしない。

- ・ 多世代共生型シェアハウス（都営住宅リノベーション）シングルマザーシェアハウスと高齢者などの多世代とシェアすることでお互いにメリットがあると思います。
- ・ 子育ての面でも、現在でも十分手厚い補助はあり、ありがたく利用させていただいています。しかしながら、住む地域にもよりますが決して安くは無の家賃を考慮すると、他県やより郊外への引っ越しも考慮せざるを得ない状況です。
- ・ 現在の居住地では、家族が住める広さの住居が限られているため、子供の成長と共に墨田区を出ることを考えざるを得ないと感じている。錦糸町駅近辺に子育て世帯が多い一方で住宅供給が追い付いていない印象がある。わたしも解決の案があるわけではないが、区としても検討をお願いしたい。
- ・ 狭小住宅の制限について 区画整理をおこなうにあたり、ネックとなる狭小住区の建設制限を提案したい。一戸建て住宅の需要が多いため、少しまとまった建物が解体されると住戸間が50cm程度しかなく、敷地面積が十数坪の狭小な住宅が数多く建設されている。これは、まちの不燃化をさまたげることはもちろん、道路拡幅の妨げあり、また、マンションによる積層化による人口増加を妨げる いわば、墨田区の都市化をさまたげる元凶である。これらの住宅は一般に1階に部屋がなく、狭い階段で、将来の介護の妨げにもなる。
- ・ 空き家を活用して土地の有効活用と街のさらなる活性化をしてほしい。

イ 道路について（26件）

- ・ 東京都の中でも墨田区は古い家屋や狭い道路が多く災害の時に救助活動に大きな支障をきたすので、無電柱化を一刻も早く行ってほしい。一部のエリアだけでなくできるだけ多くの道路を無電柱化してほしい。【7件】
- ・ 狭あい道路の完全な解消を切望します。近隣での建替えが数件ありますが、依然として、狭あい道路は拡幅せず、消防・救急活動の面から、緊急車両の通行ができるのか危惧しております。区や国が促進事業をされているのは存じ上げておりますが、墨田区をより暮らしやすい、安心して暮らせるために、さらに強化して取り組むべき課題であると住民のひとりとして感じています。【4件】
- ・ 錦糸町駅までの道で飲食店舗前にゴミが散乱していることもあり、清潔をたもてるように事業者への指導をお願いしたい。【2件】
- ・ 錦糸町駅付近等、人が多く利用する道路の点検を定期的にして頂きたい。例えば少量の雨でも水ハケ悪く水たまりが出来てしまったり凸凹デコボコがあり、つまずいて転倒されている人を見かけたり、卵を買って自転車で帰ると家に着くまでに割れていることすらあります。【2件】
- ・ 歩道、自転車専用道路などを設けて道幅を広くしてほしい。古い1軒分の土地に3軒建てている状態を道幅に利用してほしい。密集した家火災の時の事を考えるとゾっとする。
- ・ 道路改修など新たに設備投資する際には自転車にも快適な設計を期待します。（段差や幅など）
- ・ 人の往来がある道は、私道の場合墨田区が買い上げて区で管理する様にして行った方がいい

と思う。(水道か、ガスかわからないが私道に無断で工事のコーンを立てたらしく、地主がおこって、工事事業者を帰してしまったそう。その地域の老朽化の交換はできたのだろうか。)

- ・ 業平周辺の街並は、ペットを飼っている私達にとっては、やさしくない場所で、狭い補道に、カートを押した老人自転車が多く、犬が散歩しにくい。赤ちゃんがのったベビーカーの方も老人の方の態度に困惑されてる方をよく見かけます。東京なのでもっと最新と思っていたが、すごく遅れている様に思います。
- ・ 騒音や排気ガス対策を施した安心して歩ける道を増やしてほしいです。
- ・ 錦糸町駅近辺の歩道が狭く、歩道拡張による安全確保をお願いしたい。
- ・ 来年小学校への入学予定の子どもの学校が大通りをはさんでおり、安全面で気になる。交通安全も考慮した学区割りをお願いしたい。
- ・ 黒のアスファルトをやめ、酷暑対策をして欲しい。
- ・ 道路の整備。
- ・ 自転車で移動しやすい街にしてほしい。道路に書いてある自転車道のマークは車が駐車してあり使えません。駐輪場もわかりやすいところに増やしてほしい。隅田川沿いの通りが汚い。台東区側はキレイなのに墨田区側は舗装されていなかったりされていてもガタガタだったり植栽が貧相だったり、川沿いの散歩をするときはなるべく台東区か足立区側へ行くようにしている。墨田区民として恥ずかしく思うし、ああ、そういう街(そういうところに手を回す余裕がない街)なんだないつも思ってしまう。
- ・ 向島地区近辺で、子供を道路で遊ばせる「道路族」が増えてきている。狭い幅員の道路なので自転車等で走行中に子供が飛び出してきて非常に危険である。近い内に道路で遊んでいる子供と車両との交通事故が高い確率で起こるであろうことは容易に想像できる。子供の安全を確保するために、自治会や行政を通して、道路で遊ぶのは危険であることを親と子供に発信する必要性を感じる。将来を担う子供が安全に過ごせない街に将来性は無いと考える。

ウ 公園について (15 件)

- ・ 公園整備、運河等のゴミ環境整備、地域清掃の徹底、地域住民も協力する。【3件】
- ・ 芝生の多い公園を増やしてほしい。区のイメージがUPすると思います。【2件】
- ・ 公園が足りません。公園を充実してください【2件】
- ・ 元々土地がなく広い公園が少ないので仕方ないとは思いますが、ボールが蹴れる公園がほとんどありません。子供が思いきり遊べる(気軽に遊べる)公園を整備して下さい。今では親子で、キャッチボールも出来ない公園ばかりです。【2件】
- ・ 錦糸町南口側の公園や道路等の環境が悪すぎる。(江東橋公園のタバコ。ビール缶等ゴミの散乱、交通ルールを一切守らない車など)、江東橋公園?をもう少し明るく子供向けに改善してほしい(ホームレスやゴミが散乱していたり、遊具が少なく暗くて利用しにくい)
- ・ 錦糸公園が気に入っておりますので、現状またはそれ以上の状態を維持していただきたい。
- ・ 大横川親水公園はとても良い。
- ・ 石原地区でバスケットボールの出来る公共の施設(公園)が近くになく、困っています。日進公園にバスケットゴールだけでも取り付けただけないでしょうか?高架下のバスケット

ゴールのある所は高速の出入り口近くで小学生低学年が友達と行くには危なすぎます。また
豎川のバスケットコートは遠すぎて 小学生の子供だけで行くのは不安があります。

- ・ 公園の見直し。遊ぶ気も起きない単純な遊具ばかり。子供の成長に合わせて挑戦できる、体の使い方を、学べるような遊具があれば利用させたいと思える。
- ・ 観光の促進(公園でのイベント開催等)を図る上で、住環境の確保(騒音の防止等)との両立も考慮してほしい。

エ その他 (15 件)

- ・ 老若男女も関係なく住みやすい町にしてほしいです。【2 件】
- ・ 歩きタバコを取り締まってほしいです。【2 件】
- ・ 墨田区で 57 年間暮らしています。昔より交通の便や医療、学校、コンビニなどで暮らしやすくなりました。
- ・ 現在の墨田区は京島地区と押上地区に差がありすぎると日々感じています。その解消は大きな課題かと思います。
- ・ 清掃
- ・ ハトやカラスの対策をして町をきれいにしてくれるといいなと思います。また、喫煙所も周りの空気はやはり悪いので性能が上がるとうれしいです。
- ・ 賑やかに感じるのは駅周辺のみ。活気がある様に見えて日常生活しにくい事が多い。賃貸マンションが増え、住人が定着していると思えない。
- ・ 錦糸町駅周辺の自転車一時駐輪場（路上）も増えて、良かったです。また、短時間なら無料なものも有難いです。取組のお願い思い出しました。緑図書館、東駒形コミュニティの駐輪場を増やして頂きたいです。
- ・ 駅周辺に駐輪場があると助かります。（一時利用）大江戸線の両国駅、本所吾妻橋駅あたり。
- ・ 個人的には住みやすさを感じている。しかし、あまり、そのイメージを持たれていない?と思う。そこがもったいない。
- ・ 駐輪場の無料化(特に錦糸町駅前の駐輪場が高すぎる。環境を気にするのであれば自転車を気軽に使用できるように駐輪場の無料化または減額を希望する)、飲食店前の歩道の清潔感(朝ゴミが散乱、臭いなど問題あり)
- ・ 台東区と一緒に考えてほしい、また警察にお願いすべき点でもあるのですが、浅草に観光に来ていられると思われる若者・外国人観光客が深夜うるさくしたりしていたり、観光客が戻ってきて少しゴミのポイ捨てが増えている気がするので、何とか対策してほしいです。それ以外は文句のつけようのない素晴らしいところだと思っています。
- ・ 公衆トイレの冷暖房化、向島区の道の整備と住宅の高層化

8) 交通について (61 件)

ア 道路交通について (38 件)

- ・ スカイツリー周辺の道路渋滞についてなんとかしてほしい。道路整備について、交通課と連携してほしい【5 件】

- ・ 歩道の整備や専用の走行車線等の充実を検討してほしい。現状、自転車の走行車線は車道にあるが、駐停車する車があるため、車の走行車線にはみ出さざるを得ない。狭い道路はやむを得ないが、広い道路の場合はできるだけ自転車等の専用走行車線を設けてほしい。例えば、周辺区で言うと、京葉道路の亀戸駅南側あたりとか浅草通りの浅草～上野間、とかは歩行者にも自転車にもたいへん良い。【4件】
- ・ コミュニティバスが休日なかなか来ずダイヤがよめない。また混雑している。本数を増やすなど対応いただきたい。【4件】
- ・ ベビーカーでのバスの乗り降りがとても大変です。ノンステップと言いつつ、停車時に道路のはしに寄ってもらえないので20cmぐらいはなれていると、ベビーカーの乗り降りは大変です。【4件】
- ・ 自転車のマナーが悪い（歩道を走る、無灯火など）と感じるので、もう少し取り締まるか、交通の教育を区でやってほしい。また、自転車専用ロードがあるのにほとんど使用されていない…。【3件】
- ・ コミュニティバスの帰路の足が遠回りで不便さを感じています。逆方向にも運行してほしいです。区内観光ならいいのですが…区民の足として考えてほしいです。【3件】
- ・ コミュニティバス、すみまらくん循環バスの停留所を多くして欲しい。【2件】
- ・ 公園内での自転車の乗り方を規制してほしい。（大横川親水公園）
- ・ コミュニティバス等、移動手段の拡充。
- ・ バスの運行本数の調整
- ・ コロナが明け、外国人も増えて来ました。レンタルの自転車やキックボードで移動する観光客も多くなってきていて、ただでさえ、自転車が危ない!と思うことが多いのに、心配が増えています。交通含め、外からの人が増えることでリスクも増えることへの対策をお願いしたい。
- ・ 歩道の自転車の走行が危険です。ぶつかることもあって怖いので取り締まりや整備をお願いしたいです。
- ・ 歩きスマホと自転車の信号無視による接触事故の恐れです。私個人でも何度も経験しています。難しいかもしれませんが、条例などで取り締まるくらいのことをしても良いと思いました。本当に危険を感じたことがあり、とても切実です。
- ・ スカイツリーの駐車場待ちの車が公共のバスの進入を塞いでいるどうにか解決して欲しい
- ・ 水戸街道の車が多すぎ、車中心の規制が多い。八広駅前閉鎖しすぎ、線路下をもっと開放してほしい
- ・ 押上の駅前、年末年始に大渋滞になり、すみまろ君(バス)が30分以上進まなかったの、道路を拡張するか、何か対策して欲しい。
- ・ コミュニティバスやシェアサイクル等の地域公共交通の更なる整備
- ・ 北斎通りを両国から錦糸町に向かうバス
- ・ 電動キックボード(LUUP)が使用できる箇所を今以上にたくさん増やしてほしい。墨田区として、区民の交通に関する利便性向上にも寄与するものと考えております。
- ・ 江東橋エリアにも、すみまろを走らせてほしい。

イ 鉄道及び駅について（14件）

- ・ 鐘ヶ淵駅の再開発、高架・立体化による、踏切の撤廃の早急に取り組んで欲しい。【4件】
- ・ 錦糸町駅の南北口間の移動が自由にできるようになればよい。【3件】
- ・ 両国駅のJR駅と大江戸線駅の乗り換えが、江戸博物館のあたりを活用し、早く、雨も気にならない動線で出来たらよいと思う。【2件】
- ・ 電車移動が多いのですが、段差やホームとの幅がありベビーカーがとてもあぶないです。ホームにもガードが無く子どもやおとしよりはより危ないのでガードが欲しい
- ・ 押上駅が駅のホームに行くまでに時間がかかりすぎるためエスカレーターをつくってほしい（階段を真ん中にサイドに上下のエスカレーター2つ）・東あずま駅の改札が1つしかないのが不便です。もう1つ増やしてほしい。
- ・ 錦糸町南口の半蔵門線乗り場に向かう歩道は、歩行者の通行量が多くてタクシーが通れず、タクシー待ちの行列が出来やすいので、信号機を作るなり対策しないと強引に渡ろうとするタクシーに人が轢かれる可能性があります。せっかくの観光地なので、車も行き来しやすくなった方がよい。
- ・ 地下鉄の入り口(地上)にもっとエレベーターを増やしてほしい。乳児がおり、ベビーカー移動がほとんどで、近くの入り口にエレベーターが無く遠回りが本当に大変。
- ・ 両国駅周辺の再開発

ウ その他（9件）

- ・ 墨田区内の移動を充実してほしい。近い割にアクセス面が悪い。南北の交通の便をよくしてもらいたい。【3件】
- ・ 定住すると交通の便の良さに気付く【2件】
- ・ 曳舟西口の交通広場は、役に立っているのですか。事前情報を知らなかった方が悪いと言えばそれまでですが今後状況を見ていきます。状況次第で意見書を出します。
- ・ グリーンスローモビリティ等、交通不便地域での交通手段の確保
- ・ EV充電機の設備を増してほしい。せっかく電機自動車を買ったのに、充電がたいへんです。
- ・ 交通網の整備。地下鉄駅の増設。

9) 産業（4件）

- ・ 新産業の創出・誘致
- ・ 地域事業の活性化
- ・ この度、ライオンが台東区へ引っ越ししてしまいました。伝統、歴史や子育て支援等の社会福祉も重要な課題ですが、産業との両立も大事だと思います。産業も発展して活力のある人々が次の世代を育てる事も目指して取り組んで頂ければと思います。
- ・ マンション開発時は商業スペースをとるか、事務所利用していい割合をふやすとかして、地元産業、区内起業を促す仕組みを作してほしい

10) 商業・商店街 (28 件)

- ・ 商店街の活気が戻ってほしい。商店街のシャッター街が多くなってきている。【4 件】
- ・ 八広駅周辺が寂しい。チェーン店や買い物できる店があるとよい【2 件】
- ・ 両国付近は観光地として国内外の観光客が多いですが、飲食店などの商業施設は少ないと思います。両国駅前に商業施設の開発をしてもらいたい。【2 件】
- ・ 恐らく社会人（オフィス勤め）が多い印象があるので Coworking Space 等があると利用が増えるかもしれません。カフェももっとあると嬉しいです…！（両国駅周辺）。
- ・ オシャレなお店や商店街を増やしてほしい。
- ・ 安心して歩ける道の近くに地域の商店街があったら最高です。
- ・ 今は路地裏や商店街に入っていない、小さなお店が増えてきている。そういうお店は新しいし、やる気もある。古い商店街に力を入れるより、小さなお店にもよりサポートを入れることが魅力ある地域づくりとなるとおもう。
- ・ 引き続き PayPay や商店街復興のキャンペーンを打ってほしい。
- ・ 墨田区だったらこれ！という特産物をアピールしてほしい。
- ・ 墨田区は高齢者の方も多く、商店街が身近にできるといい。アーケードがあるといい。
- ・ 大きな商業施設の誘致。コストコ、ショッピングモール
- ・ 中小企業や個人商店へのフォローアップ。
- ・ 総合スーパーやホームセンターなど日用品を買うお店が少ない。
- ・ 商売をしても長続きしない。魅力的なスーパーがない。
- ・ スカイツリーやミズマチだけではなく新しい商業施設がほしい。
- ・ 工場を減らして、商業を増やすこと
- ・ 本所吾妻橋駅周辺に大規模な食料品スーパーマーケットが欲しい。
- ・ 区の端まで、商業施設の充実をはかって欲しい。
- ・ 高速、電車の高架下が多いので、持続的に活用できるように商業的な利用(マルシェ、フードトラック、出店、イベント)があると更に良いと思う。
- ・ 共働きなので主に週末に食材や日用品の買い物をしていますが、近隣に大型スーパーがないので日々の買い物に苦労しています。車を所持していませんので、自転車や徒歩で買い物をしていますが、持てる量に限りがあるので墨田区で買い物をしやすいサポートをしていただけるとありがたいです。
- ・ 商業施設の充実
- ・ 駅付近には、商業施設等何もなくなった
- ・ 歩いていると行き止まりや曲がり道が多く迷うことがある。困ることもあるが、逆手にとって、「まち探検」や「スタンプラリー」をして、店舗の宣伝やまちを知ってもらうイベントをするのはどうか。

11) 労働について (5 件)

- ・ 障害者・高齢者を雇用し、誰もが安心して働けて、生活できる区を目指して欲しい。障害者の雇用率 2.80% を大幅に超えて欲しい。区役所で民間企業での勤務経験が 10 年以上あ

る中途採用も積極的に実施し、区民に対するホスピタリティ精神、効果的な血税の使用方法の向上を図って。

- ・ コツコツ一生懸命働いている人、働いて来た人が報われるようにしてほしい。
- ・ 雇用の確保
- ・ 欲を言えば、若者が働きたいと思える場が他の区に比べて少ないように感じるので、その拡充を是非ともお願いしたい。
- ・ 年齢的に働き方に制限も出て来ましたので、時間・日数等柔軟に就労が可能である求人情報を発信していただけたらと思います。

12) 防災について (50 件)

ア 防災全般について (34 件)

- ・ 気象災害や地震に対する防災体制を整備してほしい。災害があっても安心して住みつづけられる墨田区であってほしい。【8 件】
- ・ また集合住宅が増え、街のことに興味がなく住んでいるだけという方も多くなってきているのではないのでしょうか？新しく来た人や外国人とも災害時に協力できるように地域の団結をもっとよびかけて行ってほしいと思います。【4 件】
- ・ 密集住宅地に対する防災政策をしてほしい。消防自動車が入れる道路など【2 件】
- ・ 区役所や学校から流れる防災放送は聞き取りづらく役に立たない。SNS でいろいろ発信して欲しい【2 件】
- ・ 災害情報の提供や避難所の確保や運営についての情報提供【2 件】
- ・ 今後、大きな地震、隅田川の決壊など、災害のときのための、防災をしっかり、して欲しい。昔、関東大震災のときには墨田区が特に大きな被害があった。今後、そういうことがないように、皆が逃げこめる、大きな公園や高台を作してほしい。【2 件】
- ・ 首都直下型地震がいつ発生してもおかしくないと言われている昨今。川の恩恵をたくさん受けてきたからこそ、心配にもなる墨田区エリア。墨田区は地震対策万全ですよというメッセージがほしい
- ・ 河川が近い為、防災についてのアナウンス、設備、体制を機能的に。
- ・ 地震対策で、火災を防ぐため電線を地下化するとともに、消火用水をいつでも使えるように。
- ・ 災害の時に学校とかに避難した時にプライバシーが守られるような取組をしてもらいたいと思います。
- ・ 大きな災害に対する防災を地域別に各家庭で取り組めるよう具体的にご指導いただけると助かります。
- ・ 防災の意味でも、空家放置、なくす。
- ・ 防災・防犯の対策が分かりにくくて不安。
- ・ 江東区は災害に備えて、区民全員に「防災持ち出し袋」とその中身、また 3～7 日分の食料備蓄を配布している。海拔 0 メートル地帯に住んでいる自分としては、防災持ち出し袋や食料備蓄の配布が墨田区にはないのが残念。
- ・ 今後も、災害や生活環境の大きな変化に対応できるように、ますますのご努力を期待します。

- ・ 避難場所の確保や運営について具体的なシミュレーションが必要。たとえば、犬や猫などのペットを飼っている人たちがいっしょに避難できる場所や環境づくり、物質支援の検討が必要に感じます。以前、ペット防災危機管理士の講義を受けましたが、熊本地震などの災害が発生した際には、人とペットの避難について課題がたくさんあったそうです。防災そのものの意識が低く、なかなか取り組みは難しいですが、避難が必要になるような災害時には、対策不足によってさまざまな影響があるのではと感じます。
- ・ 公的核シェルターの設置
- ・ とにかく、防災に力を入れて欲しい。学校など、地域に対して災害時の拠点となるように整備されることを強く望みます。昨今の大雨など水害への恐れは身近なものと感じており、特に戸建住宅に住む者にとっては、リアルな脅威です。
- ・ 洪水や地震が怖く、大丈夫なのか心配です。京島など新しい家も出来ていますが、やはり家事など心配される長屋も多く残っています。墨田区＝震災のイメージを持ちながら暮らしています。
- ・ 特に区の北部地域について、水害や火災等の災害に対する備えをもう少し強化しても良いかと思います。個人的には、その部分についての不安が払拭されないと、上記の地域において自宅を建築したいとは思えません。

イ 水害について（16 件）

- ・ 水害、河川の氾濫対策の推進に力を入れてほしいです。【8 件】
- ・ 隅田川が近く、低地であるので防災面が心配です。【3 件】
- ・ 洪水の時の避難場所の情報や災害対策をもっと発信して下さい。【3 件】
- ・ 荒川の氾濫による水害が心配です。河川氾濫マップの他に、水害に合わないための手当て等、工事を予定している地域や、工事を行い安全な状態になったモデル等を公開（更に啓蒙する意味）するなど、アピールも重要と思います。
- ・ 現在不安に感じることは、防災です。都市直下型地震や荒川・隅田川の氾濫が起こった時、私が住む東向島地域は浸水します。そうならないための最大限の対策を講じて頂きたいです。

1 3）防犯について（34 件）

ア 防犯全般について（22 件）

- ・ より防犯に力を入れて、安全で安心な街作りについてお願いします。【9 件】
- ・ 治安の悪いところやそのイメージを改善してほしい。【3 件】
- ・ スカイツリー周辺など、外国人、観光客が夜遅くまで多くいます。治安もより一層お願いしたいです。【4 件】
- ・ 夜の街灯など、青（やそれに似た冷たい色）の照明を普及してほしい
- ・ 世間の評判としての歓楽街の悪いイメージは何十年もかわらず、外国人の素行の悪目立ちの改善も見られない。
- ・ 暗い夜道にも安心・安全を感じられるようにトンネルにもっと明るい光を設備して欲しい。

- ・ 昨今、外国人が多い街並みなので、警察官の配置を検討して欲しい
- ・ 防犯が弱いと思います。不法投棄が増えているのは防犯カメラが少ない為、バレることは絶対でない、簡単に捨てていけると思われていることが弱い証だと思います。
- ・ 大通りだけでなく裏道や高架下などの整備。清潔感があり犯罪が起りにくいような明るい街づくり。

イ 錦糸町駅周辺について（12件）

- ・ 錦糸町駅南口周辺の治安、客引き対策を引き続きお願いします。【3件】
- ・ 錦糸町駅周辺は酒場、JRA などが多く、来訪者の品が悪い。酔っぱらいが多い。酒場ばかり増えている。子どもを近づけさせたくない。クリーンで安全な雰囲気へシフトすべき。【3件】
- ・ 主に錦糸町ですが、昔と違って外国人や不良グループが多く、マナーや治安がとても悪いです。ここ数年は外国人による治安の悪さが酷いと感じます。しかし警察官は見てみぬフリをしているように見えます。以前、警察官に外国人の客引きが毎夜しつこいので注意してほしいと相談したところ、呆れたような対応をされ、注意はしてもらえませんでした。取り締まりを強化して欲しいです。このままでは地域のイメージも更に下がり、他の産業にも影響が出てくるかと思っています。
- ・ 錦糸町駅前南口飲み屋声かけ監視員は土日でも監視してほしい
- ・ 錦糸町周辺の風俗街を無くしてほしい。未だ特に南口側は丸井、パルコなど若者のお店がある一方、やはり治安が悪すぎ。もっと南口側を安心な場所にしてほしいです。
- ・ 錦糸町周辺は单身者用のマンションが増え、治安がものすごく悪くなっている。ずっと住んでいる人たちには悲しい環境になりつつあります。
- ・ 錦糸町の駅周りを中心に、細い道に入ると暗く、夜間怖いと思うことがあります。
- ・ 錦糸町駅の周辺でもっと治安が良くなるように再開発をしてほしい、丸井らへんや夜に特に南口など呼び込みでたっている人がたくさんいる。

14) 地域活動・地域づくりについて（17件）

- ・ 地域の行事等も限られた人達でやっていくようになってしまっているの、マンションに住む若い人達も参加できるように、参加しやすい地域活動があると良い。【5件】
- ・ 区民祭りのような催し物や、町おこしイベントがあれば地域の交流活性化に繋がると思うので検討して欲しい。【2件】
- ・ 地域のコミュニケーションも必要だと感じます
- ・ ボランティア活用の創意工夫、
- ・ ボランティアを募集し、定期的にゴミや雑草の駆除をした街並みをきれいにする
- ・ 30年住んでいるわりには、働いていた事もあり（現在も工作中）行政や自分の住む街にあまり目を向けるゆとりもありませんでした。町会、老人会に入会するうち、地域の関係、コミュニケーションの大切さを考えるこの頃です。
- ・ p a y p a y（30%還元）キャンペーンなど、他の自治会に先駆けて取組んでいることが目立っているように感じますし、注力して引き続きがんばって頂きたいです。

- ・ 長く行政で保健活動、指導等の経験あり（有資格）主に、子育て事業。退職後も出来れば地域で同様の社会活動が継続出来ればと思っていますが、情報もあまりなく足踏み状態のままです。
- ・ 何でも町会に依存しすぎで各町会の負担が多すぎる
- ・ 地域の人との関わりがほぼゼロなので、お祭りを増やし、地域の人が集まって屋台などを出せる環境などを作ってほしい。
- ・ 毎月第2土曜日に墨田区庁舎1Fロビーを使用した「マンション管理相談」が行なわれていますが、区はこの相談内容と「マンション管理士」のアドバイスに責任が持てるのでしょうか？誤ったアドバイスは問題を生じさせる場合があります。「マンション管理士」は国家資格ですが、「名称独占資格」であり、中には、法律を学ぶことなく、受験テキストのみで受験し、合格した人も多く存在します。アドバイザーである当該「マンション管理士」の能力、職歴、学歴、等を墨田区は、把握しているのでしょうか？区民がボランティアで、よりよいまちづくりは理想的ですが、責任の所在が不明となる活動は、かえってマイナスになります。ボランティア精神で参加しているか、他の目的（営業・人脈づくり）で参加しているかは判断が困難です。
- ・ まんべんなく交通手段の良い所に、イベント等開催して頂きたい

15) 高齢者福祉について（14件）

- ・ 高齢者が多い地域なので、福祉を充実させることや、活躍できる場をつくると良いと思う。
【3件】
- ・ 高齢者ひとり暮らしでも安心して生活出来る事を願っています。特に病気で身内がいない場合の入院又、終活全般を相談できる場所があれば良いのですが。【2件】
- ・ 引き続き高齢者にやさしい区であって欲しいです。【2件】
- ・ 高齢化への対応
- ・ 高齢者への仕事の提供。
- ・ 老人が多い町、道路（歩道）や交通機関、バリアフリー他、商業施設の整備が必要。
- ・ 若い人も大事ですが、高齢者も病気を予防するためにももう少し元気体操などと、出来る場所があるといいかなと思います。それぞれの町会の近場で…
- ・ 家で過ごしてばかりの高齢者が、気軽に他の方とコミュニケーションをとれる機会を作って頂きたい！！
- ・ 老人ばかりが優遇されている。
- ・ 墨田区は老人の人数が多いので 老人ホームを増やして欲しいです。

16) 障害者福祉について（9件）

- ・ バリアフリーに力を入れてほしい【2件】
- ・ 障害者の高齢化・重症化への対応
- ・ 障害者福祉について、区の実情が少ないように感じます。前まではほわわ墨田のような施設が区内にあって子供をあずけていましたが今は別の区に移ってしまいましたので、そうい

った施設を成人するまで整えていただきたいと思います。

- ・ 支援施設（グループホーム）での職員からのパワハラ問題の解決。
- ・ 障害者の方が他の自治体より住みやすい区になるよう。
- ・ 道路のバリアフリー、車イスや杖でも歩きやすい。もちろん電動車イスでもOKな道をお願いします！！
- ・ 障がい者や高齢者など、手助けが必要な方々にとって便利のように様々な施策をされていることに、深く感謝しています。
- ・ 公共機関などの階段などが古く、弱視だと少し見づらい気がする。そういった障害者としてハンディキャップを大きく持つ人よりも、少し不便だがなんとかなる。けど不便……。というような人も、安心して過ごせる街づくりがあれば、老若男女問わず過ごしやすい街になると思う。

17) 健康について (34 件)

ア 健康全般について (17 件)

- ・ すぐかけつけられる小児科病院が少ない。子供が緊急で病院へ行こうとしたら全て区外になる。【3 件】
- ・ 本所保健センターが汚く、場所が不便なので両国駅前などに移転してほしい。【2 件】
- ・ 無料の健診実施枠をより増やしていただきたい。
- ・ 今後も健康的な生活が出来るような墨田区民へのサポートをお願いします
- ・ 勤務先で健康診断を行う場合に、区からも重複する案内がある場合に、別の検査に置きかえ可能であると嬉しいです。
- ・ HPVワクチンの男子への接種費用の助成を実現して頂きたいです。
- ・ 薬局がほしい
- ・ 胃カメラを麻酔して欲しい。
- ・ 福祉や保健施設の充実
- ・ 健康診断は誰でも制限なくやってもらいたい。会社の優先とか言わないで受けたい人は墨田区でも受けさせて欲しい。
- ・ 保健師が子供を見ないで、問診票だけみている。コロナ対応では墨田区モデルと報道され、いかにも保健事業が進んでいる区のようにみえるが基本的な事業の見直しをしてほしい。
- ・ 子育て相談で保健センターを利用しているが、施設も古いので改善して欲しい
- ・ 希望として予防接種補助
- ・ 墓地難民を作らないための支援、散骨等の相談窓口。

イ 新型コロナウイルス感染症への対応について (17 件)

- ・ 新型コロナウイルス感染症発生時の対応は都内でも群を抜いて素早く、的確な対応は好印象、安心感をえました。【13 件】
- ・ 新興感染症への備え
- ・ 誤った情報によって過度にコロナ風邪を煽らないで欲しい。未来有る子供や若者に得体の知

れない毒ワクチンを打たせないようにする必要有ります。子供がマスクをするなど健康を考えたらもってのほか。学校現場が最も過度なコロナ対応をするのは危険極まりないです。

- ・ 新型コロナワクチンのその後の接種案内
- ・ コロナワクチンは人間を遺伝子組み換えにするワクチンですね、遺伝子組み換えトマト、遺伝子組み換え大豆と同じです。山本太郎はアメリカでファイザーは裁判に負けて開示となった機密資料が公開ワクチンで 10291 種類の有害事象のリストが公開されたと、河野大臣に質問しています、2030 年日本人の人口は、40000000 人を切ると、思う。

18) 妊娠・出産・子育てについて (63 件)

ア 妊娠・出産・子育て全般について (9 件)

- ・ 妊娠・出産・子育てに関する支援を拡充して下さい。【3 件】
- ・ 少子高齢化対策として、不妊治療無償化に力を入れてほしい。現在不妊治療をしています。東京都の補助も活用していますがやはり金銭的な負担が大きいです。自治体独自の補助をしている地域もあるため、墨田区にも不妊治療の補助があれば嬉しいなと思いました。【2 件】
- ・ 現状：子供が少ない超高齢地域のイメージを持っています。学校、公園、保育園など子供向け施設が充実していない？こういった施設を増やしたり、子育て支援、出産支援などを充実させるとより長期的な発展、活気のあるまちになると思います。独身の内は墨田区に住むことに大満足ですが、結婚して出産、子育てはこの地域で考えられません、残念ながら…
- ・ 妊婦はバス無料など
- ・ 子育て世代に向けた支援。
- ・ 働き手を多くつくり、子育て層を呼び込む町作りをしないと、高齢者福祉にかかる費用が増え、税収入が確保できないと思う。勤労者も地域ビジネスに参加しやすくさせて、子育てから長く住みたい町にしてほしい。

イ 特に子育てについて (54 件)

- ・ ボールや花火、アスレチックなどで子供が自由に遊べる場所・施設を増やして下さい。【9 件】
- ・ 皆が安心して日々を過ごせるまちになるよう、子育て政策に力を入れてほしいです。【8 件】
- ・ 給食費を無償化してほしい。【6 件】
- ・ 保育料が高いと感じる、助成金を出してほしい。【3 件】
- ・ ひとり親家庭への支援。【2 件】
- ・ 子育て支援の充実（乳幼児～中高生まで）として、以前の図書券交付のような、対子ども向けの予算の使い方をしてほしい。【2 件】
- ・ 学童など小学生の放課後支援。【2 件】
- ・ 認可外保育園（企業主導型保育園）の第 2 子無償化実現。【2 件】
- ・ 私立学校の誘致
- ・ 墨田区に住み始めて 1 年未満ですが今まで葛飾区、江東区と住んでみました。子育て関係では江東区より葛飾区の方が熱心で寄りそった感じがありました。墨田区に今後求めるところ

はお役所の仕事の流れではなく親身になって欲しいと思っています。これからもよろしくお願い致します。

- ・ 子供が0才の時、墨田区に引越してきました。他の自治体に引越した友人が何人もいます。墨田区をはなれる理由はみなさん同じです。子育ての助成金がちがいます。特に私立の幼稚園の費用です。墨田区は区立幼稚園が2年保育ということで、私立に入れたい人が多いです。
- ・ 給食費無料の話をよくききますが、給食費は高くなってもいいので、質と味をおとさないでほしいと思っています。小学生の子どもがここ1、2年でおいしくなくなったと言っています。材料費の高騰で、質が落ちたのかなと思っています。
- ・ 保育園について、居住年数が長い方が点数が多いことに疑問を感じます。墨田区には、昔からのマンションや地元色が強い反面、新しい建物が増え、墨田区に転入される方が多いのも事実です。他区がどのような制度か知りませんが、居住年数について関係なくすれば、誰もがより住み良い街になるのかなと思います。
- ・ 子供向けのイベントを充実させてほしい。
- ・ 子供がいるのであまり外食をする機会がないのですが、座しきや、子育てスペースのある飲食施設を多く作っていただきたいです。
- ・ 産後ケア（宿泊型）の補助日数が増えてほしい。
- ・ 児童館のおかげで、充実した子育てができました。
- ・ 託児所（安く！！）付きのパートができる所が欲しい。（ヤクルト以外で）
- ・ 保育ママ事業の拡充
- ・ 朝、小学校が始まる時間に子供を送り出してから出勤すると間に合いません。そのため、仕事を辞めるか変わるかすることになります。帰りの時間（学童）だけでなく、朝の小学校の預かり時間にも幅を持たせていただくなどの改善策を考えていただけると、保育園を増やしたことで働く機会を得られた母親にもその先が見えるのではないかと思います。
- ・ 児童福祉、特に学童保育の待機児童が全国的にみても多いと伺いました。我が家にはまだ子どもはいませんが、誰もが働き続けられる環境整備をすすめて頂きたいと思います。
- ・ 乳児連れのひとも声を届けやすい仕組みがほしい
- ・ 保育施設の申し込みに融通が効かない。兄弟で同じ施設に入れるよう配慮してほしい。申し込み資料のやり取りが機械的すぎる
- ・ 保育園に入所しやすい区になってほしい
- ・ 子育て相談で保健センターを利用しているが、官僚的な対応
- ・ 【お願いしたいこと】 環境の整備（公園、施設など）、教育、子育てなどでしょうか。子育て支援は他の市区町村に比べては充実していると思いますが、日本自体はまだまだ子育て世帯には優しくないと感じます。墨田区はさらに子供に優しい、育てやすいまちづくりをしてほしいと思います。例えばですが一時預かり（東京都ベビーシッター利用支援）が墨田区は対象ではないので、対象にしてほしいです。
- ・ 子供が小さい頃に免許更新のための講習を受けたが、託児をお願いできるところもなく、子供を室外で見ながらビデオを視聴しなければならなかった。小さい子供が居ても親が何かを諦めないでいい街になって欲しい。

- ・ 墨田区立立花児童館を新しくして欲しい。近所に住んでいるがどう見ても古すぎる。(危ないレベル) 立花児童館付近は暗すぎるのも気になる。今すぐにも街灯の設置をして子どもたちが安心して遊べる場所を作ってください。本当にお願いします。

19) 子ども・若者支援について (20 件)

- ・ 今後を担う若い世代が過ごしやすいまちづくり(治安と教育面で特に)を検討してほしい。【4 件】
- ・ 働きざかりの世代や子供たちへの補助を手厚くして欲しい。今後の区を担う世代を大事にして欲しい。【3 件】
- ・ 以前より若い層が増えてきたので、定着してもらえよう支援等充実するのはどうでしょうか。【2 件】
- ・ 子どもや若者が住みやすく、住んでよかったと実感できる墨田区となるように、若い人の意見を取り入れるシステム作りに取り組んでほしい。【2 件】
- ・ 子供、若者の人口が増え続けないと区の未来は無い。
- ・ 若者が住みやすい区にするため家賃補助・移住補助など。(スカイツリー効果なのか、やはり若者が住むには家賃が高い。住みやすくするためには補助の充実をしてほしい)
- ・ 若者サポートステーションという就職相談など、できるところを作ってもらいたい。
- ・ 20 代 30 代中心の議論するようなプロジェクト、何を生みだすか、どうなるかはわからないが、若者のみで考える何かが必要。「基本的に、施策や取り組みが古い!!」
- ・ 若者支援、子育てしやすい環境作り、墨田区に住み続けたいと思える環境作り 少子高齢化対策としての子育て支援、健康であり続けるための検診など…こどもたちにとって明るい未来と感じられる墨田区であってほしいです。
- ・ お役所仕事ではなく時代に沿った新しい思考で。ワークライフバランス、プライベートの充実した若者に住みやすい街にして。
- ・ 子育てしやすい街にして下さい。高齢者に優しすぎると思います。近くの区の施設で子育て世代の集まりをしようとした所、高齢者「限定」です。設立したときからの決まりです。しか言われず区の方もマニュアルを送りつけてきて見間違いだと思いました。あらゆる世代に親身な区を目指すのであれば様々な意見に耳を傾け柔軟にとりいれてほしいです。
- ・ 高校生まで医療費無料になったことは、とても有難いです。児童手当も高校まで拡大されたら、家計も助かります。様々な子供に対しての助成制度で、所得制限がある中で、家計は苦しいのはじかれてしまったことがありました。もっと大変なご家庭もあるかと思いますが、申請が通っていたら助かったのに…と思うことが何回かありました。
- ・ 若い人達が安心して結婚、出産、育児、そして生活できるようにお金だけの補助 だけでなく、施設や制度などを出来るだけ充実して欲しい。

20) 教育について (26 件)

- ・ 教育支援をもっと考えてほしい。子供達の未来の為に。【5 件】
- ・ 不登校支援

- ・ 子供の小学校はよかったが、中学校の先生の対応がよくなく、ギャップが大きすぎた。中学校の先生は、サラリーマン的、事務的な感じで、生徒の気持ちより、先生の気持ちをぶつけてくる感じで、もう2度とあのような学校には、子供を任せたくないと思った。先生の質を高めて頂きたいです。
- ・ 格差社会といわれる中で、できるだけ平等な教育学習がうけられ、選択肢がひろがるような子どもの未来を作ってほしい。
- ・ 保育園や小学校や中学校、全体的に古くて私の周りの教育機関は魅力がないです。耐久性や設備、防犯などこちらから望んで「行かせたい」ではなく「ここしかないから」と消去法で選ばなければいけない事が多くて、かなしいです。子どもが多いので新設園や学校のリフォームなど学びの場の見直しをしていただく事を本当にお願ひしたいです。もっと子育ての幅を広げて楽しく成長を身まもれる区にしてください。
- ・ 若い家族にとって暮らすことに魅力を感じられるポイントとしては、教育環境は大きなポイント。納税者である若い人を集めるためにも、公教育の充実は大切だと思います。墨田区独自の学力向上に向けたプログラムの充実を望みます。
- ・ 子供（小、中、高）がのびのびと安全に過せる施設の提供、イベント実施。募集人数に制限があり、利用できない。（夏期のイベントは特に。）特に放課後、治安が良くない場所があり、安心できない。
- ・ 財源など難しいと思いますが、公立の学校の老朽化を感じております。毎年災害が多くなっており、子ども達の安全を守る上でも環境をととのえる時期なのではないかと思っております。教育は全ての基盤となることと思いますので、ハード、ソフト両面での充実を期待致します。（区外の方が転入したいと思うような教育）。
- ・ 教育についてもインクルーシブ教育を早く構築するべきだと思います。教育の環境整備に予算を使っていただきたいです。未来を担う子供たちに予算をかけていただきたいです。自ずと居住者も増えていきます。
- ・ 大学を誘致して欲しい。
- ・ 土曜授業は無い方がよい
- ・ 子供の学力向上のための施策をしていただきたい。塾代の補助など。
- ・ もっと弱者の声に耳を傾けてほしい。虐待、家庭内暴力に苦しむ者を救い、支援を手厚くしてほしい。誰もが学び直せる環境、支援を行ってほしい。未来を担う子どもの保護、支援、投資、人材育成。
- ・ ほかの区と比べて公立小学校のDX化や不登校児童への対応などがいい加減だなと感じる。学校ではあまりに退屈な授業をやっているの、理解度の高い子供は支給されたiPadでゲームをやっていた。集団授業は無駄が多いと感じた。授業は動画配信にして個別指導に力を入れるなど、抜本的な改革をいち早く採り入れたら若い人が集まると思う。子育て世代は、「子供を安心して育てることが出来るか」をよく見ていると思う。
- ・ 私立学校の誘致。
- ・ 不登校の子の居場所作り フリースクール作り など
- ・ 教育レベルの向上

- ・ 小学校中学年から発達児童に関して支援が手薄に感じます(低学年までしか支援の先生はついてもらえない印象です)。特に情緒面で問題を抱える児童の抛り所がかなり少ない様に感じます。
- ・ 学校でのイジメがなくなるまで積極的に働き掛けていただきたいです。区でイジメを許さないと打ち出してもらいたいです。
- ・ 大学のある墨田区 活力あるまちとは、若者のいる町である。足立区（北千住）では大学誘致に成功して活気あふれるまちになっている。墨田区も専門大学を誘致してはいるが、まったく不十分である。たとえば、教育学科を誘致して、墨田区内の教育レベルを向上させるような、戦略的な誘致をして欲しい。近接の未来大学との協働も、現実的な選択ではないだろうか。
- ・ 教育環境の向上に取り組んでほしい。例えば、共働き世帯のために、学童とは別に、放課後や夏休みに区立学校で見守り保育できるようにしてほしい。区立中学で英検や数検を無料で受けられる機会を作って欲しい。以上は他の区で実際に取り組まれていることです。墨田区は地域で教育格差が大きいと思います。格差を減らすためにも教育環境の改善をお願いします。
- ・ 現状、墨田区立の小学校に（子どもが）通っている中で、授業の一環で、地元の取組みについて知る、体験することがあっても良いと思っていますが、それだけ、自然に（あたりまえ）提供されているサービスとは言え、誰かが、支えて、より良いサービスを作っている役割の人がいることももっと伝えて良いと思います。人の顔が見える区役所として、是非、がんばって下さい。

21) 環境保全について (19 件)

- ・ 隅田川沿いの海鳥（うみねこ）の糞対策【2 件】
- ・ プラスチックゴミをリサイクルできる形で回収してほしい。来年から導入と聞いているが、プラスチックゴミを捨てるのが忍びない。区外に住んでいた時はプラスチックをリサイクルに出していたが、今は燃えるゴミで環境に良くないと思う。【2 件】
- ・ “自然や動物（動物愛護）にやさしい区”のロールモデルとなって欲しい。
- ・ 環境やSDGsに関するワークショップの開催。
- ・ 地球温暖化が進むことで、道路のアスファルトを水はけ・強度・熱をにがす。素材改良を考えると、すばらしいですね。
- ・ 一時期初夏にウミネコの鳴き声がうるさくて眠れませんでした。近隣のマンションの最上階に巣を作っていたようで、道路にフンがたくさん落ちていて皆困っていました。（今年は見ていませんが蔵前に→墨田区ではありませんが…）住む知人が同じこと言っていました。
- ・ お祭りや花火大会は地元の人が優先出来る環境を希望。花火大会の後のゴミや治安の悪さを見てしまうと花火は嬉しいが来客が来てほしくないと感じた。空き缶やゴミの放置がひどい。
- ・ 街の清掃美化をより徹底していただけると皆様がより住みやすい街になると思う。
- ・ 害虫やネズミなどの駆除を徹底して欲しい。
- ・ 江戸川区でやっているような、回数制限有りの粗大ごみの無料回収。

- ・ 錦糸町駅周辺、特に錦糸公園のネズミ対策をしてください。
- ・ ゴミ分別をもう少し進める
- ・ ヒートアイランド対策をしてほしい
- ・ 不用品をリサイクルして必要な人にわたるような取り組み。
- ・ ごみ出しやごみ分別について外国人が住んでいることが多いですが、ごみ収集日や分別方法は日本語のみで記載されていて外国のかたにはわからないと思います。粗大ごみが普通ごみに出されていたりすることも多く、教えてあげたくても言葉がわからず説明もできません。良い方法はないでしょうか？（特に中国の方）
- ・ よりよい町にする為に、ゴミ問題があると思います。曜日に関係なく、生ゴミを出したり、分別関係なく出したり、モラルがなさすぎです。民泊させて、観光客に、泊まらせるならルールを守らせる。皆がルールを守ってこそよりよい町が出来ると思います
- ・ 他区から転入した時にゴミのまとめ方、またペットの始末の悪さに驚きました。新店舗が綺麗に舗装された歩道に火鉢などを並べ、みるみる汚していく様など… 行政の指導はないのかと思いました。道路の幅や町並みに加え、区民の意識改革も必要だと感じます

22) コミュニティについて（3件）

- ・ 新しい家がいっぱいできました近所づきあいもなく、名前も知らない。個人情報とかいろいろありますがだいじょうぶですか役所、警察、町会連絡がうまく取れればいいな。日ごろ、こまっていること、など話し合える場所があったらいいな、遠くだと行けないけど！！
- ・ ハコモノよりソフト。墨田区の素晴らしい人材を活かし、是非よりコミュニティ力のある、「住んでイイ」町を「何度も来てみたくなる」町化にしてほしい。
- ・ 転勤者が地域コミュニティに入っていける機会を増やして欲しい。相撲部屋との交流の機会等

23) 生涯学習（8件）

- ・ 区内図書館、全て使いやすくて助かりました。利用カードなしでもキャレルを使わせてもらえてありがたいと感じました（ひきふね図書館もそのようにして下さると申し分ありません）。
- ・ 図書館の充実、ブルーレイ映画観劇など館内で視聴できるようにしてほしい。図書館（大型）増やしてほしい。
- ・ 図書館、便利でよく使っています。
- ・ 正直、取組んでほしいことは、思い付きませんが有難く思っていることを書きます。図書館の本とCDを、どの図書館でも返却可なこと（とても便利）。
- ・ 広々とした図書館に小さな子が屋内で遊べる空間や、イスではなく座わってのんびりできたり、カフェが併設され、くつろげる空間、広場で遊んだり、イベントができる公園があったら、いいな、と思う。複合型施設。屋外で映画や、星を見たり夜カフェで地域の方と、語れる場があれば嬉しいです。

- ・ 図書館に時々行くのですが、もっと高齢になった時、行けるかどうか心配です。近い所であればなと思います
- ・ 区の図書館を多目的に使えるように整備、建替などしてほしい。
- ・ 希望として高齢者限定でない生涯学習参加機会

24) スポーツについて (18 件)

- ・ 区の体育館や会館等を沢山開放して区民価格を導入し利用しやすくしてほしいです。(例えばスポーツチームの練習会場として利用できるなど) 他区では、そのような場所 (学校の体育館なども) や施設を安価で利用出来ます。【2 件】
- ・ 体育館の利用料金を下げてほしい。【2 件】
- ・ 区民がスポーツを楽しんだりできる環境を整えてほしい。【2 件】
- ・ スポーツが出来る施設が、どんどん少なくなり、場所取りが大変で、思う様に出来なくなった。市民サービスの低下が懸念される。
- ・ 野球場や、陸上競技場等、他区に借りなくても自前で小、中学生が使えるきちんとした物を作って欲しいです。
- ・ 墨田区を、スポーツの街にしましょう。錦子町に住んでいますが、駅から5分でフルサイズの野球が出来る所が他にありますか？墨田区総合体育館では野球・サッカーテニスと都内では充実の環境です。墨田区総合体育館は駅から5分の好立地なので改修してイベント対応施設にしましょう。
- ・ 子供達が放課後や休日にボール等を使って気軽に遊べる公園が、墨田区の特に南部には本当に無い。お金を払って使用する体育館やグラウンド・テニスコート等があっても、子供達が気軽に使える場所ではない。陳情で議会に諮っても、この内容を公約に掲げている議員が否決しているようでは、子供達にとっての良い墨田区には全くなりません。興味を持っても気軽にスポーツが出来ないので、墨田区からはスポーツで未来を担う人材は、今後も出てこないのではないかと危惧している。有料のスポーツ施設ばかり作るのではなく、身近にある公園を、未来ある子供達の可能性を創り出す場として整備してほしい。(ここで言う子供達は、特に小・中学生年代)
- ・ 学校の校庭を人工芝のグラウンドにするなど、勉強以外にスポーツにも力を入れて欲しい。墨田区在住の子供無料招待を様々なスポーツでも取り入れるなど、スポーツに触れる機会などの環境整備を進めていかないと子供の運動離れも進んでいく。ハンドボール、相撲はやっていた。江東区の有明アリーナでは、バスケの試合等でどんどん子供達を招待している。
- ・ すみだ生涯学習センターユートリヤの体育館はサインがわかりにくいし、極めて使い勝手が悪いので、建て直す場合は使い易い施設にしてほしい。
- ・ 地域スポーツチームの広報と応援に力を入れてもっと墨田区民としての満足感を高める活動を。
- ・ 学校のテニスコートを区民が簡単に使えるようにしてほしい。
- ・ 本所地区と向島地区での様々な事柄での分断を強く感じます。具体的には東武亀戸線を境に南北で文化的に違う町になるイメージはあります。様々なものが墨田区の南側に集まってい

る以上仕方がないこともあるでしょうが、墨田区、葛飾区、足立区を結ぶ北側にも人が集まる仕組みが欲しいと感じております。そのために鐘ヶ淵地区でのスポーツ競技場や荒川の土手を利用したサッカー場、野球場、東墨田のスポーツセンター、ゴルフ施設など向島地区はスポーツ、健康路線をもっと拡張して頂いても面白いかもしれないと考えます。

- ・ サッカー文化が弱すぎる。野球の街ではあるが、今一番の人気スポーツのサッカーの人工芝が使えるグラウンドが少なすぎる。
- ・ 子ども向けのスポーツや文化のイベントを積極的に開催してほしい。
- ・ 区民の健康増進のためにも、区の活性化のためにも体育施設は不可欠です。豪華なものではなくても、よいので小規模なものをいくつか作ってほしい。

25) 多様性・多文化共生について (14 件)

- ・ 家族や高齢者向けだけではなく、単身向けの何かの企画・支援を行ってほしい。独身にもやさしいまちにしてほしい。【2 件】
- ・ 子供、親子、高齢者へのサービスは充実しているが、独身、夫婦のみ、介護世帯へのサービスが無い、弱いと感じる。拡充して欲しい。
- ・ 老若男女全てに開かれた街へ。
- ・ ひきこもりの長期化
- ・ 現在、シェアハウスに住んでいますが、外国の方は、清潔にトイレを使ったりすることも苦手なようです。文化の違いにより、トイレが壊れたり、洗濯機が壊れたりすることもあります。このようなことが、街全体でおこらないように、対策してほしい。日本の安全と多様な文化を両立できる街であってほしい。
- ・ 長期的には住民減少に対し、そうならないようむしろ住民増の強力政策。(外国人の定住)
- ・ 「個」により添う姿勢が感じられたら嬉しいと思います
- ・ 人権に関するワークショップの開催。
- ・ 家にひきこもりの31才の息子がいます。10年前頃は、区役所では特に何もやっていないとのことなので、保健所をすすめて下さり、話を聞いて頂きました。最近、そのテーマで、対応して下さる役所の係の方に、お世話になりました。そんなひきこもりの、子供や大人にも、生きる居場所があると感じられる地域になればいいなと、思う。
- ・ 墨田区は今と昔がある街だと思います。人もそうで、色々な国の人が住んでいますよね。一緒に共生を考えていかないといけなくなると思います。墨田区には、つなぐコミュニティを考えてほしいと思います。
- ・ LGBTQ に配慮したパートナーシップ制度がようやく施行されたようですが、これも区民に認識が浸透しているとはいいいがたいと感じています。総じて情報発信が足りていないように思います。
- ・ 川口市がクルド人につぶされているように移民を安易に受け入れない仕組みづくり
- ・ 子供がいない世帯にも注目していただけることを期待します。今の生活もですが、老後も安心して暮らしていきたいと思います。墨田区に暮らしてまだ1年未満ですが、未長くお世話になるのでよろしくお願いします。自己中心的な考え方かもしれませんが、老後次世代に迷

惑をかけずに済むようなシステムがあればありがたいと日々思っています。

26) 区政参画について(7件)

- ・ (墨田区には) 旗振り役になってほしい。それに共感する人でなにか出来る事があるかも
- ・ 人口減少により日本はどうか危機感を区民1人1人認識してもらう、PR活動を区はもっとして欲しい。そのうえで地域の活動を区の職員中心に参加して頂き区民全員が、「墨田区はこう言う所」と他の区民に言える町作りにもっと力を注いで欲しい。
- ・ 協働という言葉はあまりなじみがないですがいい考え方だと思う。区の職員も住民と一緒に墨田区をよい町にしていこうという意識をしっかりと持ってくれたらよいのではないか。
- ・ 墨田区と区民が接する機会(区施設の最適配置、交流イベント等の開催)を増やす。
- ・ 区民参画型の事業を企画したらどうか。
- ・ 若者の政治参加。区が主導となって投票率を上げるような取り組みを行なっていただき、議会の若返りが成れば。
- ・ よりよい街づくりのセミナー(ディスカッション、グループワーク)に出たとき、区の担当が企画者の割に全く総評もなくコメントもなく大変やる気がないと感じました。年度当初決まったイベントを淡々とこなしているようにしか見えず、まずは職員の意識改善が急務だと思っています。

27) DX(デジタル・トランス・フォーメーション)について(4件)

- ・ デジタル化して、便利になるのはよいことですが人がデジタルにあわせるような施策はよくないと思う。
- ・ ICT化・書類のデータ申請、受取等
- ・ 未婚かつ貸借マンションに住んでいるため、あまり庁舎の利便性を重視していませんが、住民票取得やマイナンバーカード関連で数回通った事があります。今後この様な手続きがオンラインで完結するようになると、より快適に暮らせるようになると感じます。
- ・ 死亡した時の手続きが区役所にTELしただけで完了するとうれしい。残された家族の相談窓口があると良いと思う。(相続保険の手続きなど)

以上

**墨田区 令和5年度区のイメージに関する
アンケート調査分析
(区報・ウェブサイト等での周知による調査)
報告書**

墨 田 区

目次

第1章 はじめに.....	1
1. 調査実施概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の実施方法	1
(3) 調査項目	1
(4) 回収状況	1
(5) 調査結果の集計と分析について	1
(6) 分析の視点	2
第2章 調査の結果	3
1. 回答者の基本属性	3
(1) 調査結果	3
2. 現在の区のイメージと今後の区に期待するイメージについて	4
(1) 調査結果概要	4
(2) 調査結果	4
3. 区への満足点、不満点等について	8
(1) 結果まとめ	8
(2) 調査結果	9
4. 地域課題の解決やまちづくりへの区民参加について	15
(1) 結果まとめ	15
(2) 調査結果	15

第1章 はじめに

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、次期基本構想の策定に活用することを目的に、まちづくりの方向性や区の様々な取り組み等について広く区民の意見や意向を把握し、基本構想の策定に活用するため、区報、墨田区公式ウェブサイト、公式 SNS から回答者を募集し実施した。

(2) 調査の実施方法

調査対象：墨田区民

抽出方法：区報「すみだ」、区ウェブサイト、SNS（facebook、X（旧 twitter）、LINE）より回答者を募集

調査方法：インターネット回答により回収

調査期間：令和5年9月11日～9月30日

(3) 調査項目

調査項目は以下の通りである。

基本属性	F1	満年齢
	F2	性別
	F3	居住年数
	F4	居住地域
区のイメージについて	問1_1	現在の区のイメージについて
	問1_2	今後の区に期待するイメージについて
区への満足点等について	問2_1	区に満足している点のキーワード
	問2_2	区に不満である点のキーワード
	問2_3	区がより一層魅力的になるためのキーワード
区民参加	問3①	区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験
	問3②	区と協力して地域課題の解決やまちづくりを進める重要性
	問3③	地域課題の解決やまちづくりへの参加意向
	問3③-1	地域課題の解決やまちづくりへ参加したいと思わない理由
	問3④	参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式

(4) 回収状況

有効回収数：188人

(5) 調査結果の集計と分析について

① 留意事項

- ・ 図表中のnとは、各設問の回答者総数のことである。
- ・ 百分率はnを100%として算出し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示した。

このため、百分率の合計が100%にならない場合や合計と一致しない場合がある。

- ・ 読みやすさの観点から、回答割合が1%未満のデータラベルを削除している場合がある。
- ・ 報告書中のSAは単一回答の、MAは複数回答のことである。

② 標本誤差

全体（母集団から）一部を抽出して行う標本調査では、全数調査に比べて調査結果に差が生じることがある。

本調査は、満18歳以上のすべての墨田区民に回答を呼び掛けているが、すべての方が回答しているわけではない。よって、有効回収数を母集団から抽出された標本とみなし、抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出する。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N=母集団数（満18歳以上の墨田区民） n=回答者数 P=回答比率（ $0 \leq P \leq 1$ ）

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものは以下の表のとおりである。例えば、ある設問の回答者数（n）が188人であり、その設問中の選択肢の回答比率（P）が30%であった場合、その回答比率の誤差は±6.7%となり、23.3%～36.7%の範囲にあると考えられる。

回収数	回答率					
	50%	40%又は 60%	30%又は 70%	20%又は 80%	10%又は 90%	5%又は 95%
188	7.3%	7.1%	6.7%	5.8%	4.4%	3.2%
100	10.0%	9.8%	9.2%	8.0%	6.0%	4.4%
50	14.1%	13.9%	13.0%	11.3%	8.5%	6.2%

（6）分析の視点

回収したアンケート調査は単純集計による分析を実施した。

なお、居住地域については区内を以下の6地区に区分している。

地区名	該当する町丁目
1. 堤通・墨田・八広地域	堤通2丁目、墨田1～5丁目、八広1～6丁目、東向島4～6丁目
2. 向島・京島・押上地域	堤通1丁目、京島1～3丁目、押上1～3丁目、東向島1～3丁目、向島1～5丁目
3. 東墨田・立花・文花地域	東墨田1～3丁目、立花1～6丁目、文花1～3丁目
4. 吾妻橋・本所・両国地域	吾妻橋1～3丁目、東駒形1～4丁目、本所1～4丁目、石原1～4丁目、横綱1・2丁目、亀沢1～4丁目、両国1～4丁目
5. 業平・錦糸・江東橋地域	業平1～5丁目、横川1～5丁目、太平1～4丁目、錦糸1～4丁目、江東橋1～4丁目
6. 緑・立川・菊川地域	菊川1～3丁目、立川1～4丁目、緑1～4丁目、千歳1～3丁目、江東橋5丁目

第2章 調査の結果

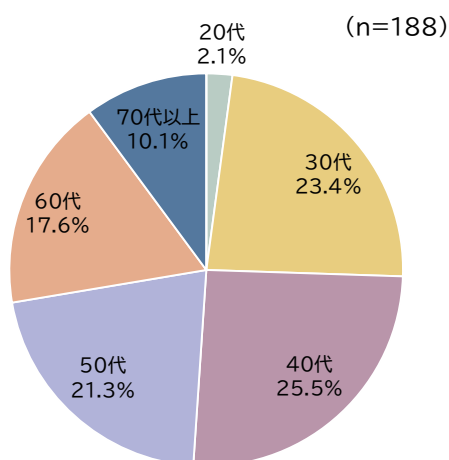
1. 回答者の基本属性

(1) 調査結果

① 満年齢

年齢は、「40代」の割合が最も高く 25.5% である。次いで、「30代 (23.4%)」、「50代 (21.3%)」である。

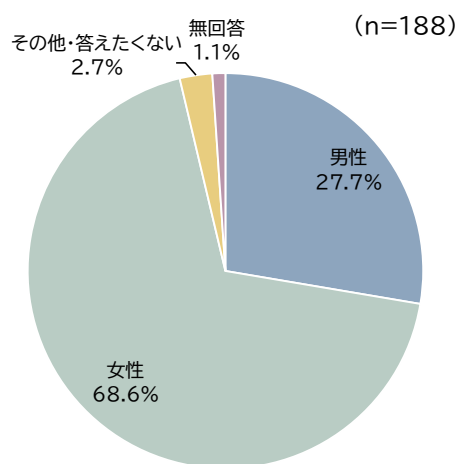
図表 1 満年齢 (SA)



② 性別

性別は、「女性 (68.6%)」、「男性 (27.7%)」である。

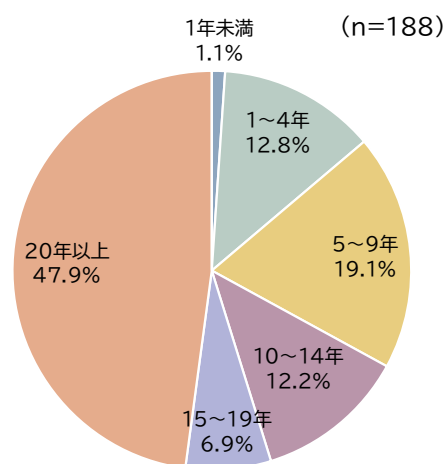
図表 2 性別 (SA)



③ 居住年数

居住年数は「20年以上」の割合が最も高く 47.9%である。次いで、「5～9年 (19.1%)」、「1～4年 (12.8%)」である。

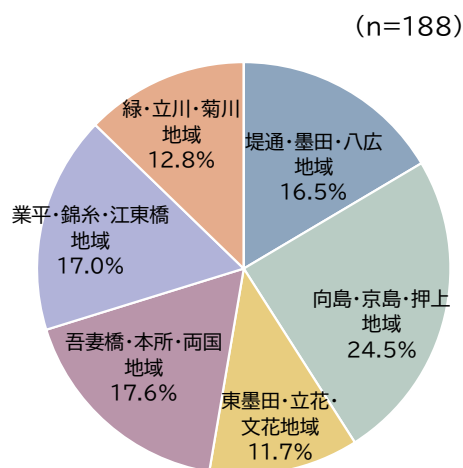
図表 3 居住年数 (SA)



④ 居住地域

居住地域は「向島・京島・押上地域」の割合が最も高く 24.5%である。次いで、「吾妻橋・本所・両国地域 (17.6%)」、「業平・錦糸・江東橋地域 (17.0%)」である。

図表 4 居住地域 (SA)



2. 現在の区のイメージと今後の区に期待するイメージについて

(1) 調査結果概要

- ◆ 現在の墨田区のイメージは、「便利で住みやすいまち」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」「地域のつながりが強いまち」の選択率が高い。(p.4 図表 5)
- ◆ 今後墨田区へ期待するイメージについては、「災害に強いまち」、「便利で住みやすいまち」、「治安が良いまち」の選択率が高い。また、回答順位をもとに点数化した場合に、「災害に強いまち」、「便利で住みやすいまち」の他に「出産・子育てがしやすいまち」が上位に挙げられる。(p.6 図表 7、p.7 図表 8)

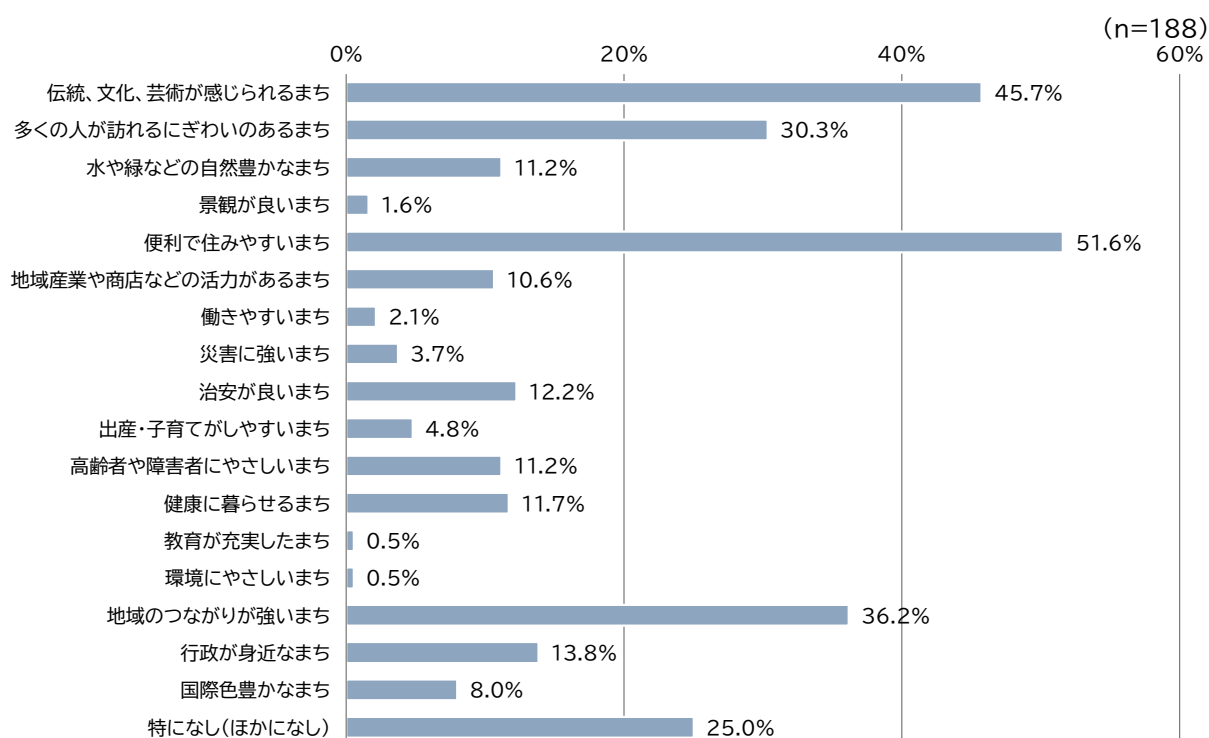
(2) 調査結果

① 現在の墨田区へのイメージについて（回答の選択割合）

現在の墨田区へのイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

現在の墨田区のイメージとして、選択されている割合は、「便利で住みやすいまち（51.6%）」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち（45.7%）」、「地域のつながりが強いまち（36.2%）」の順に高い。

図表 5 現在の墨田区へのイメージについて（回答の選択割合）

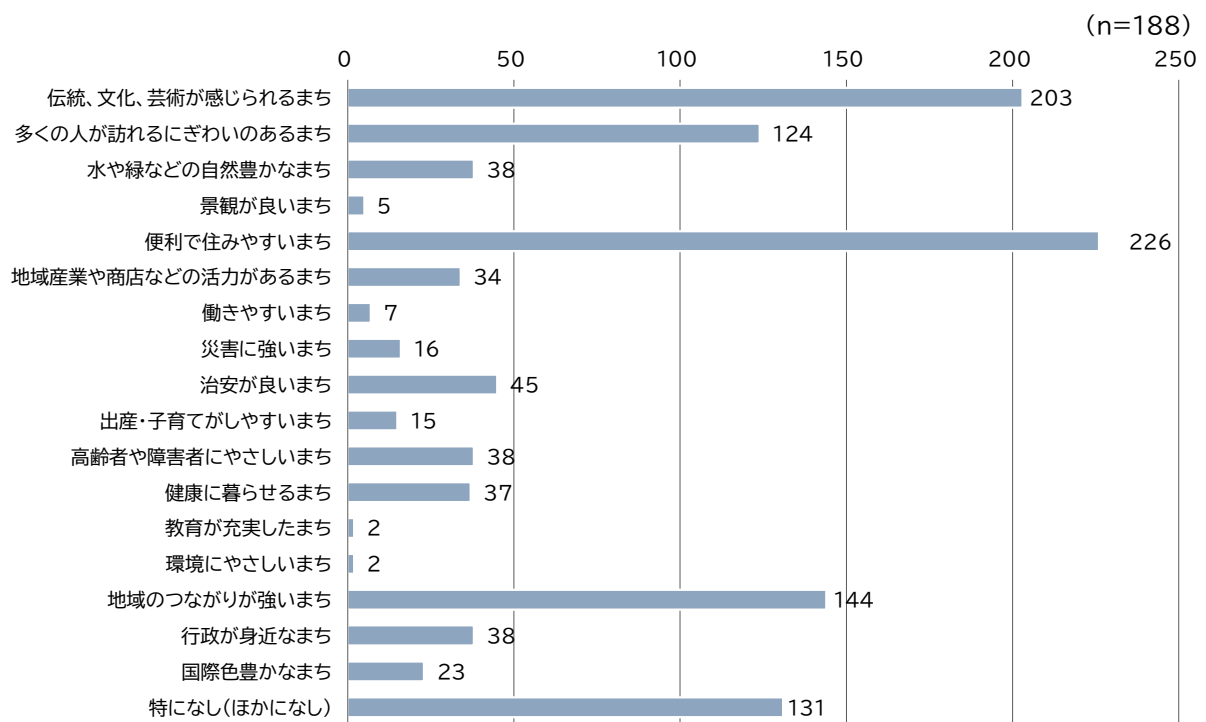


② 現在の墨田区へのイメージについて（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 3 点、2 番目に選択されたものを 2 点、3 番目に選択されたものを 1 点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

現在の区のイメージを点数化した結果は、「便利で住みやすいまち（226）」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち（203）」、「地域のつながりが強いまち（144）」の順に高い。

図表 6 現在の墨田区へのイメージについて(回答の点数化)

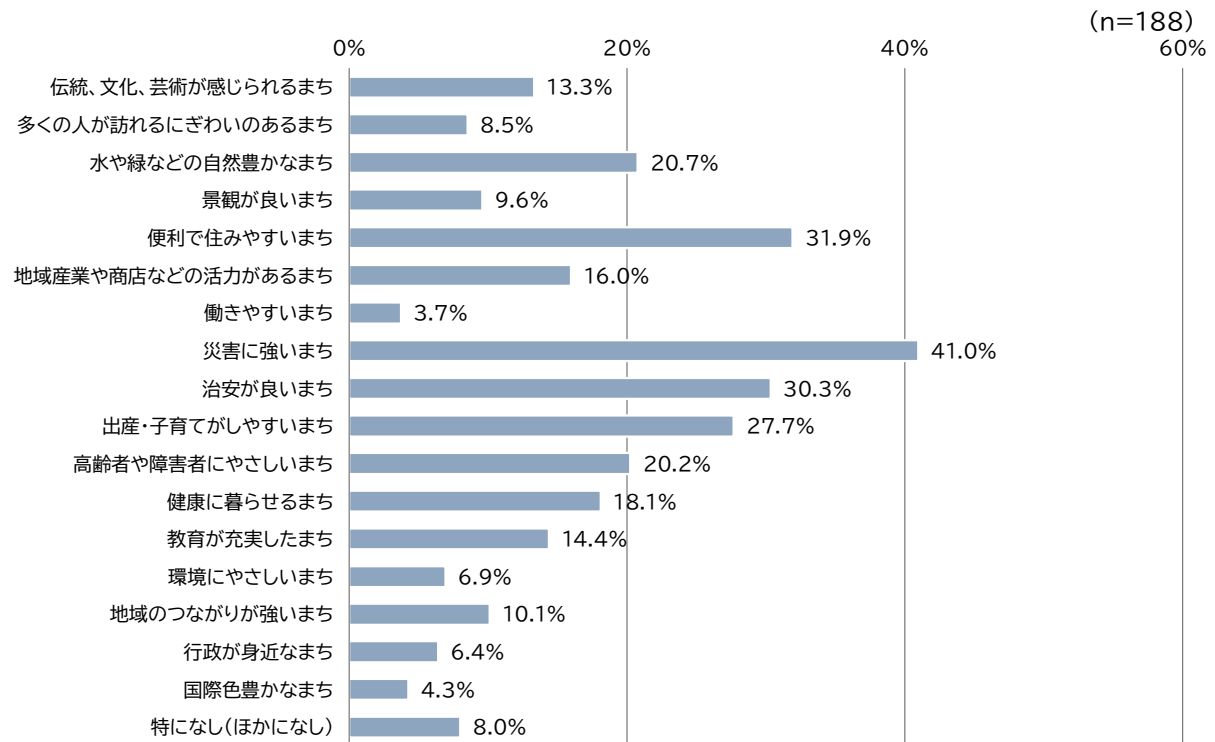


③ 今後の墨田区へ期待するイメージについて （回答の選択割合）

今後の墨田区へ期待するイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

今後の墨田区へ期待するイメージとして、選択されている割合は、「災害に強いまち（41.0%）」、「便利で住みやすいまち（31.9%）」、「治安が良いまち（30.3%）」の順に高い。

図表 7 今後区へ期待するイメージ（回答の選択割合）

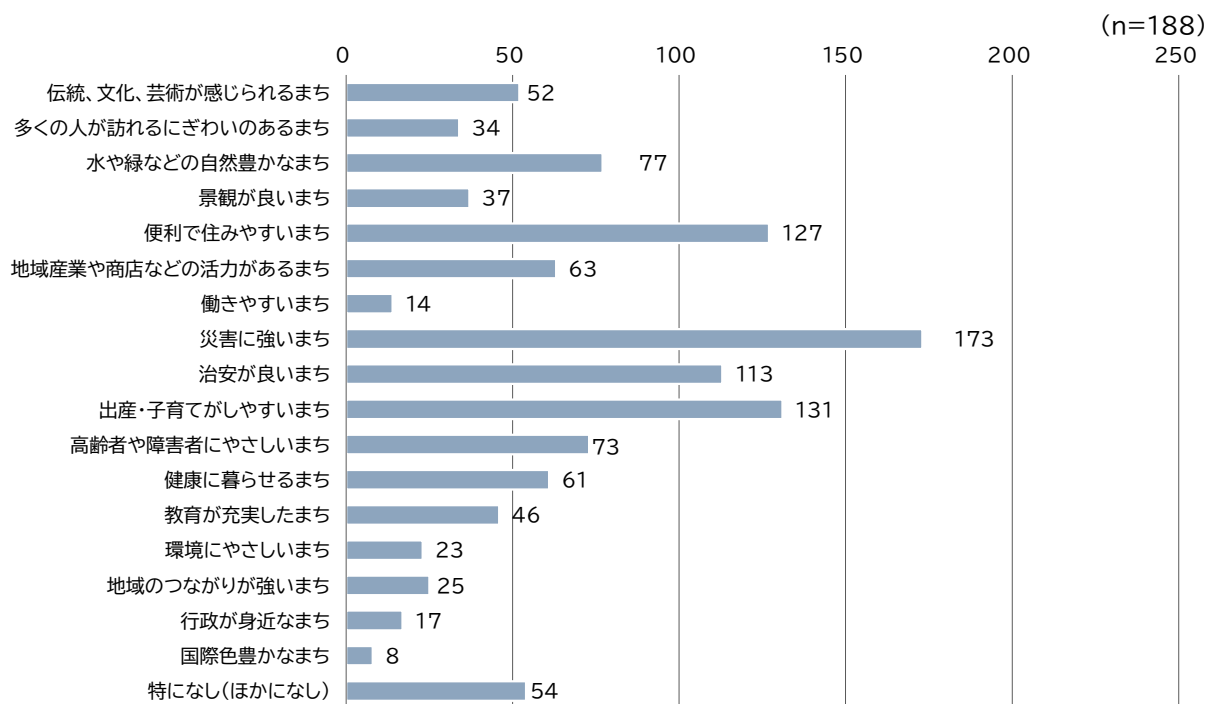


④ 今後の墨田区へ期待するイメージについて （回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 3 点、2 番目に選択されたものを 2 点、3 番目に選択されたものを 1 点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

今後の墨田区へ期待するイメージについて点数化した結果は、「災害に強いまち（173）」、「出産・子育てがしやすいまち（131）」、「便利で住みやすいまち（127）」の順に高い。

図表 8 今後区へ期待するイメージ（回答の点数化）



3. 区への満足点、不満点等について

(1) 結果まとめ

- ◆ 墨田区に満足している点のキーワードについては、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」、「伝統・歴史」、「観光」、「地域活動・地域づくり」、「住環境（住宅・道路・公園等）」の選択率が高い。（p.9 図表 9）
- ◆ 墨田区への不満点のキーワードについては、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「防災」、「子ども・若者支援」、「まちなみ」、「教育」の選択率が高い。（p.11 図表 11）
- ◆ 墨田区がより一層魅力的になるためのキーワードについては、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「商業・商店街」、「防災」、「子ども・若者支援」、「まちなみ」、「妊娠・出産・子育て」の選択率が高い。（p.13 図表 13）

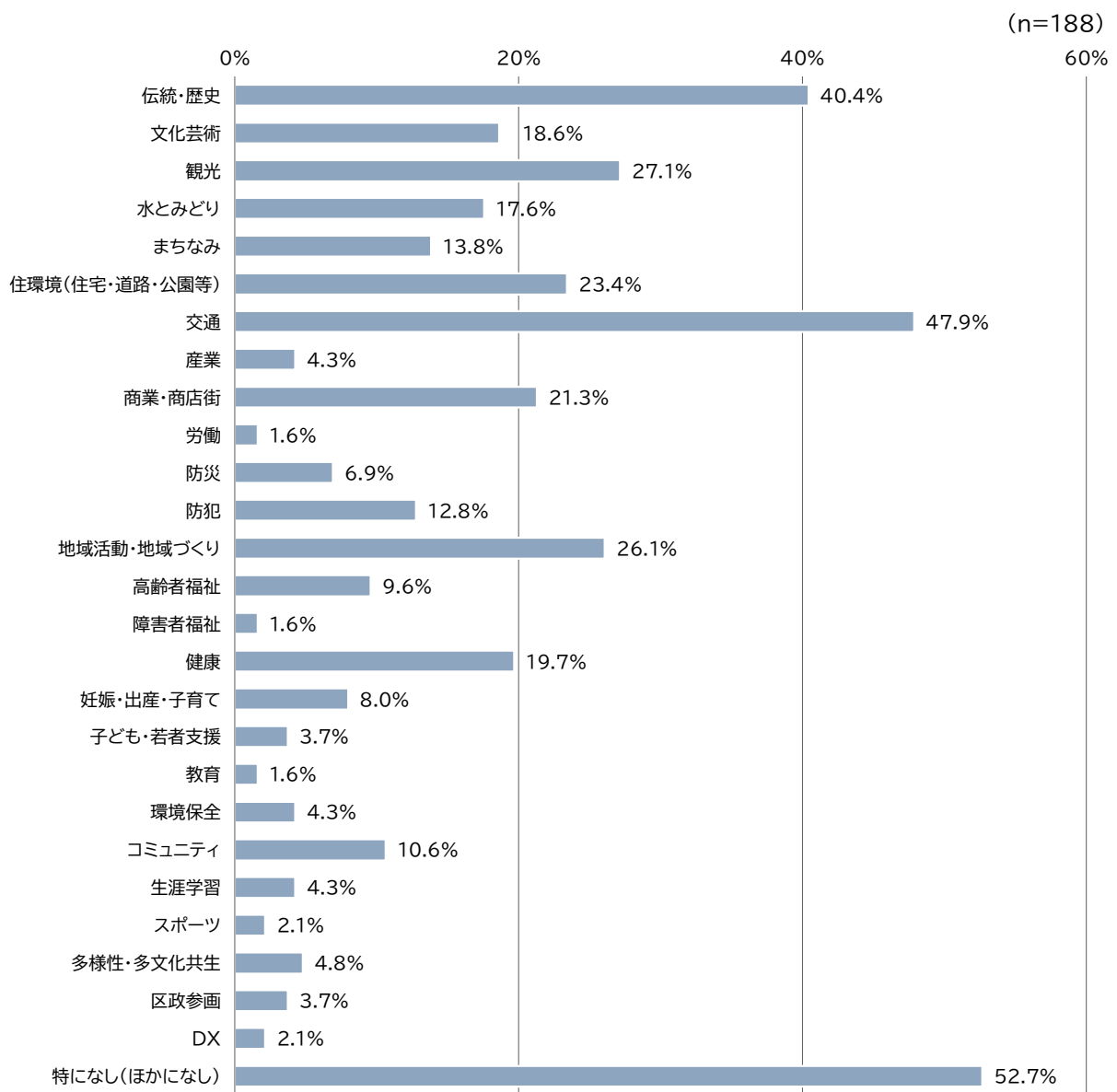
(2) 調査結果

① 満足している点のキーワード（回答の選択割合）

墨田区に満足している点のキーワードについて、1位～5位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

墨田区に満足している点のキーワードについて、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（47.9%）」、「伝統・歴史（40.4%）」が特に高く、次いで「観光（27.1%）」、「地域活動・地域づくり（26.1%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（23.4%）」の順に高い。

図表 9 満足している点のキーワード（回答の選択割合）

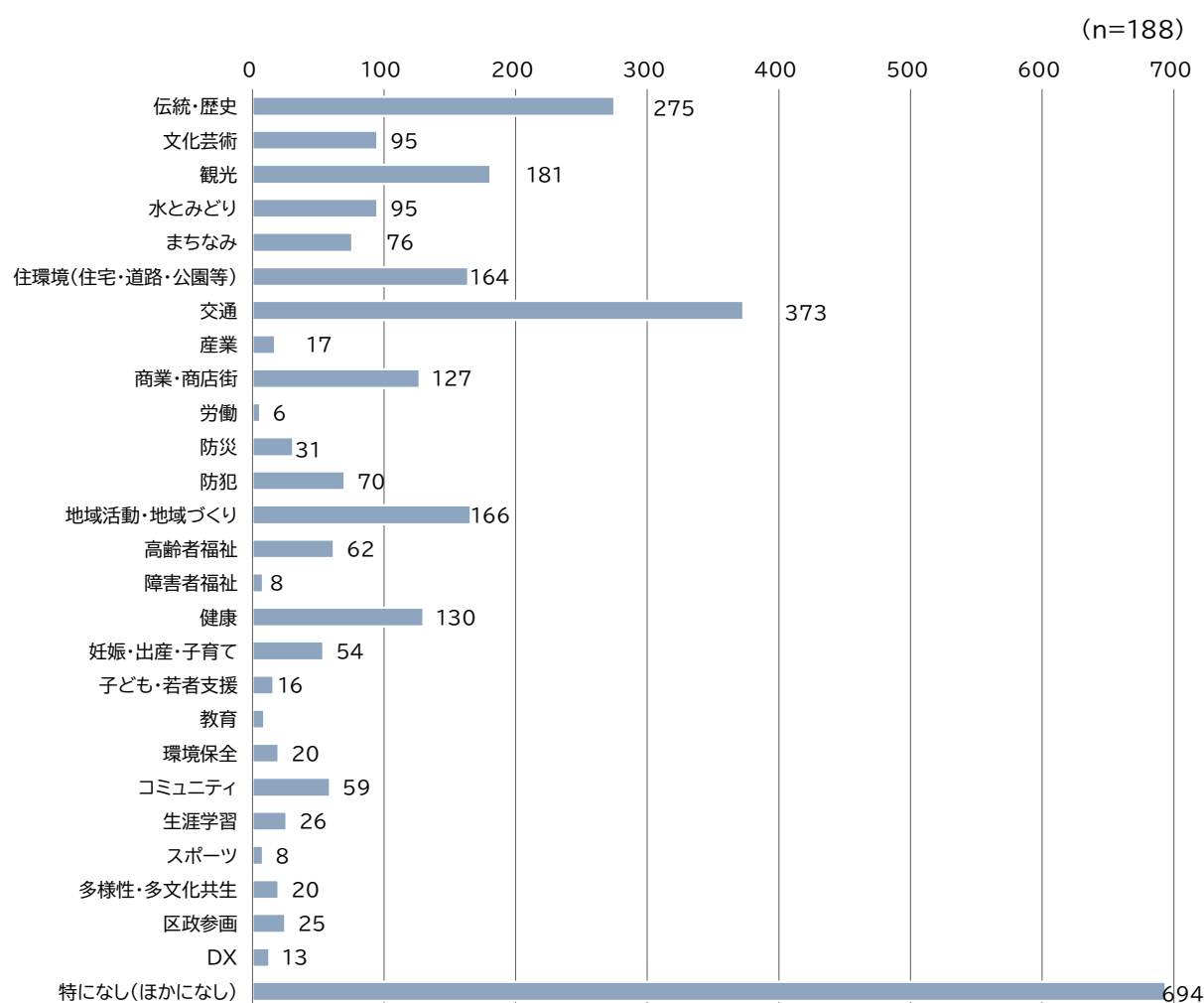


② 満足している点のキーワード（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

満足している点のキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（373）」「伝統・歴史（275）」「観光（181）」「住環境（住宅・道路・公園等）（164）」「地域活動・地域づくり（166）」の順に高い。

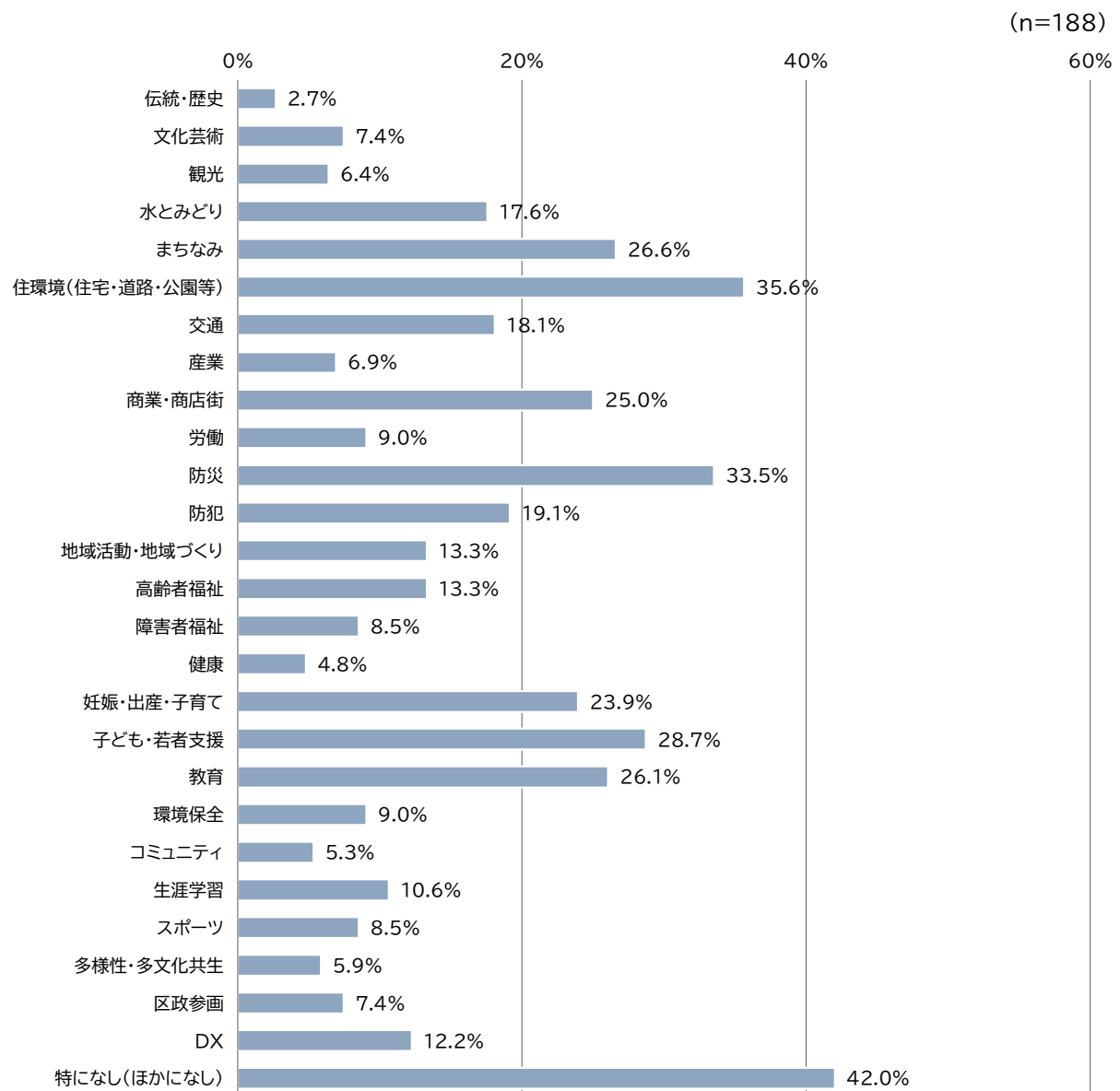
図表 10 満足している点のキーワード(回答の点数化)



③ 不満足である点のキーワード（回答の選択割合）

墨田区に不満足である点のキーワードについて、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（35.6%）」、「防災（33.5%）」、「子ども・若者支援（28.7%）」、「まちなみ（26.6%）」、「教育（26.1%）」の順に高い。

図表 11 不満足である点のキーワード（回答の選択割合）

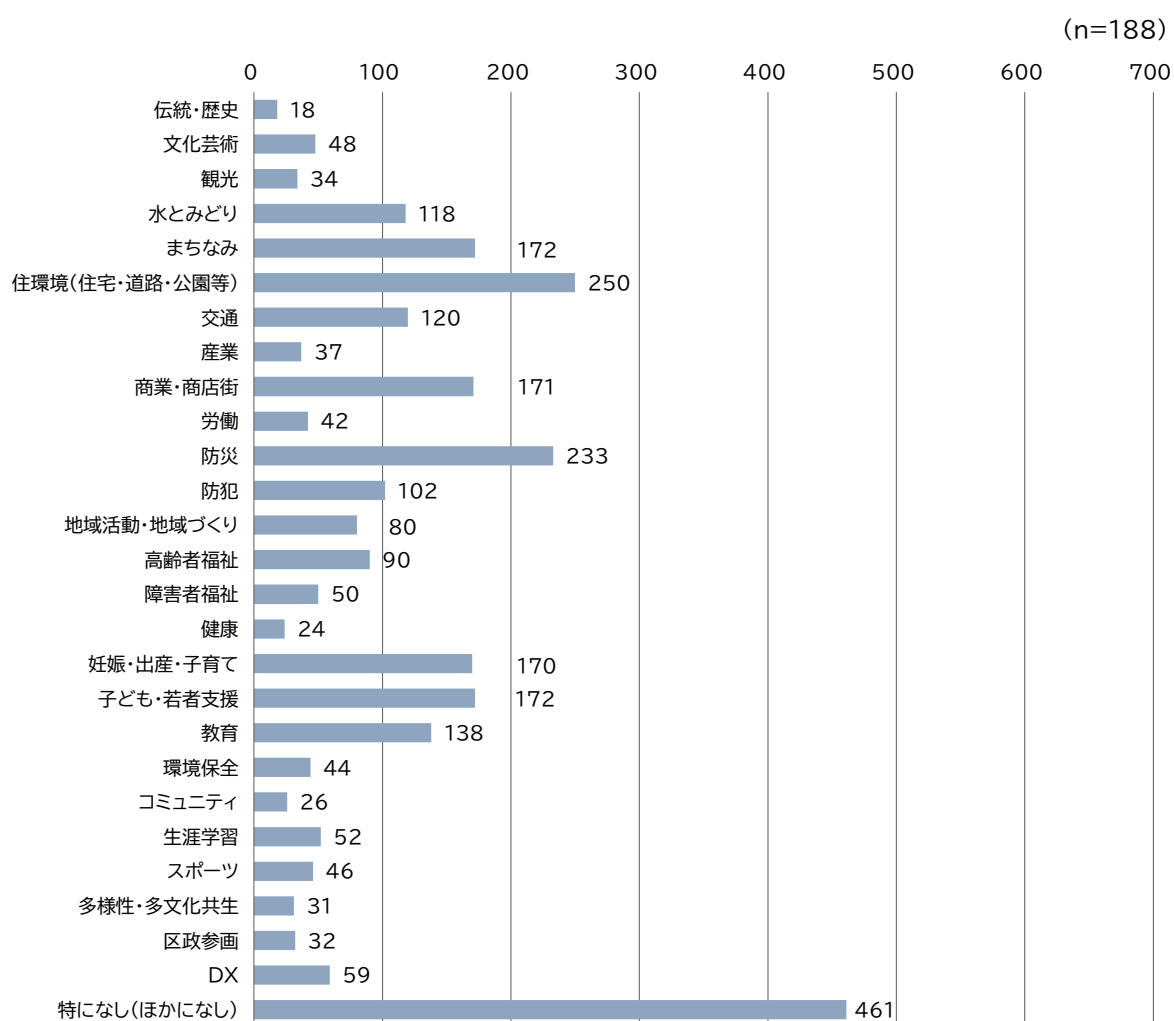


④ 不満足である点のキーワード（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

不満足である点のキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（250）」、「防災（233）」、「まちなみ（172）」、「子ども・若者支援（172）」、「商業・商店街（171）」の順に高い。

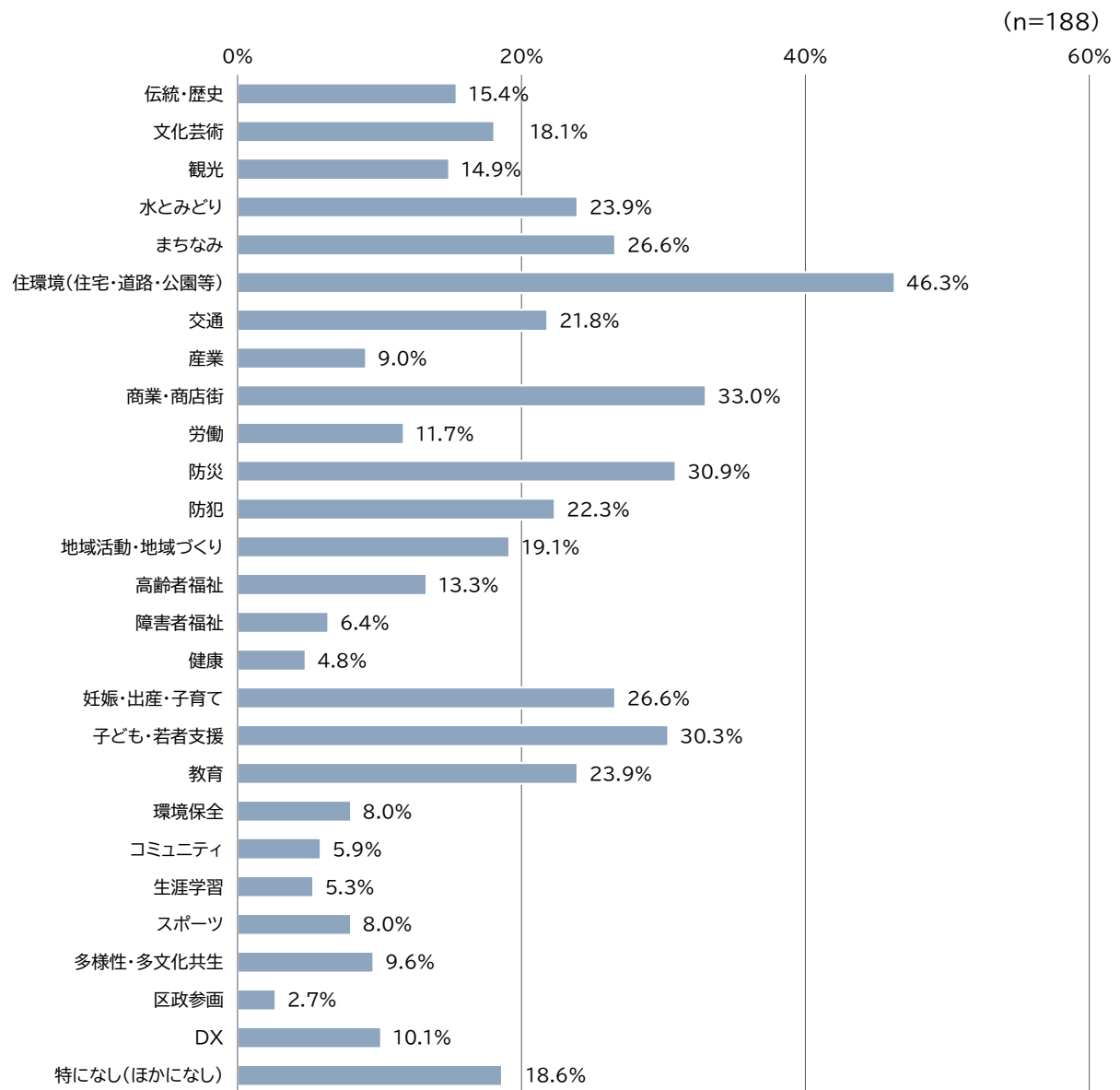
図表 12 不満足である点のキーワード（回答の点数化）



⑤ 魅力的になるためのキーワード（回答の選択割合）

墨田区がより一層魅力的になるためのキーワードとして、選択されている割合は、「住環境（住宅・道路・公園等）（46.3%）」が最も高く、次いで「商業・商店街（33.0%）」、「防災（30.9%）」、「子ども・若者支援（30.3%）」、「まちなみ（26.6%）」、「妊娠・出産・子育て（26.6%）」の順である。

図表 13 魅力的になるためのキーワード（回答の選択割合）

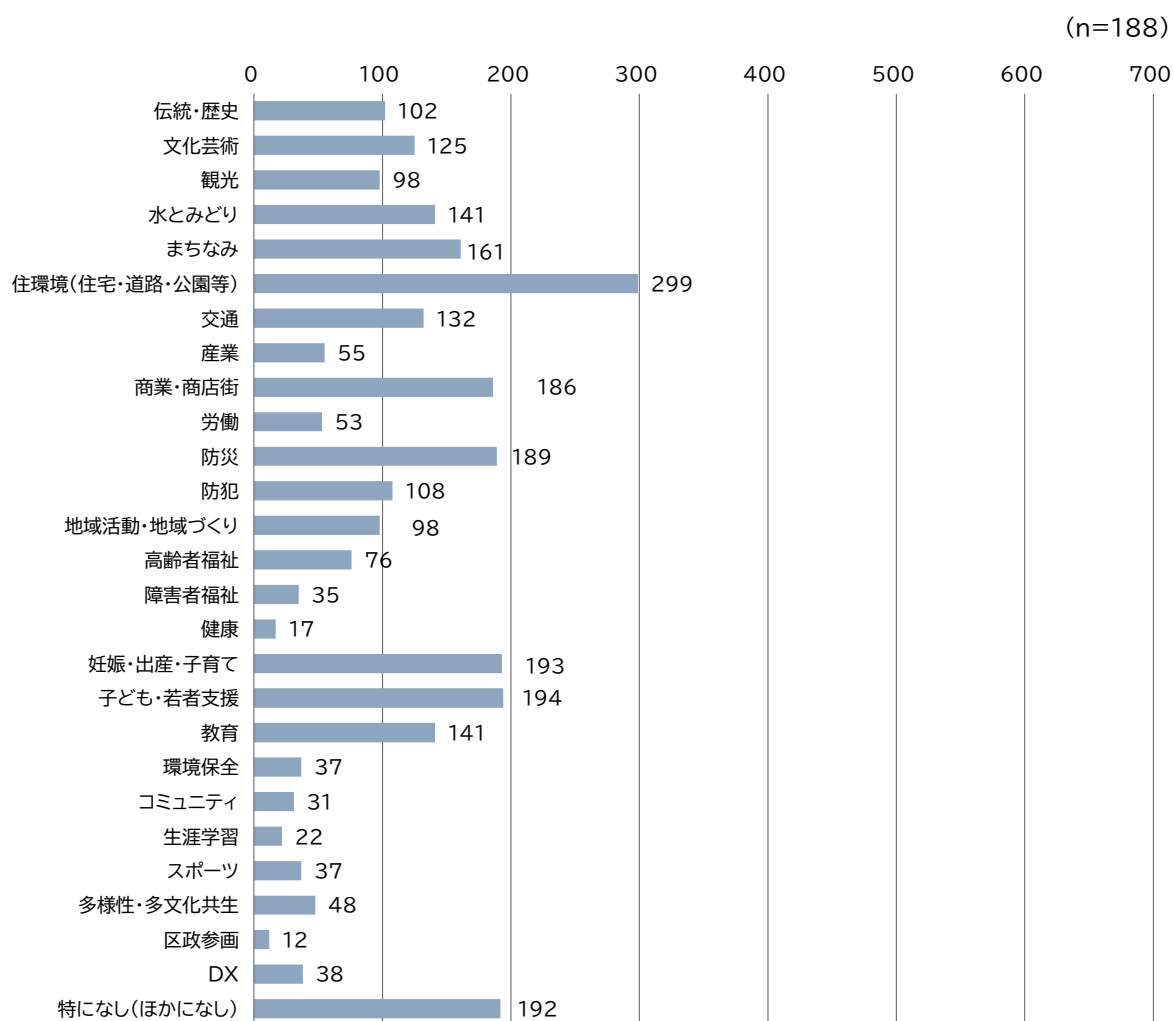


⑥ 魅力的になるためのキーワード（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

魅力的になるためのキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（299）」、「子ども・若者支援（194）」、「妊娠・出産・子育て（193）」、「防災（189）」、「商業・商店街（186）」の順に高い。

図表 14 魅力的になるためのキーワード（回答の点数化）



4. 地域課題の解決やまちづくりへの区民参加について

(1) 結果まとめ

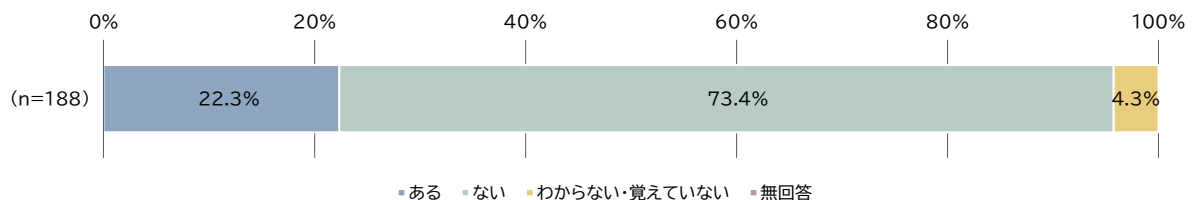
- ◆ 回答者全体の区の事業やイベントなどへの企画・実施経験がある割合は2割以上を占める。(p.15 図表 15)
- ◆ 区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計)は、全体の9.5割以上を占める。(p.15 図表 16)
- ◆ 地域課題の解決やまちづくりへの参加意向があるとする割合(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計)は、全体の約8.5割を占める。(p.16 図表 17)
- ◆ 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式は、「SNS 等によるアンケート」の割合が最も高く、次いで、「地域の課題解決やまちづくりに関する対面ワークショップ」、「オンラインでの意見交換等」が挙げられた。(p.17 図表 19)

(2) 調査結果

① 区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験

区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験について、「(参加経験が)ある」の割合が22.3%、「(参加経験が)ない」の割合が73.4%である。

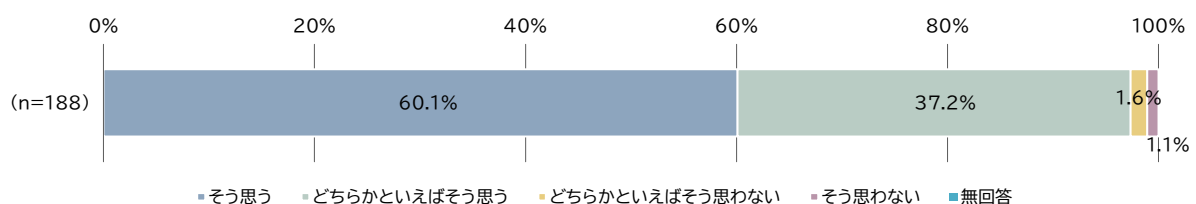
図表 15 区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験 (SA)



② 区と協力して地域課題の解決やまちづくりを進める重要性

区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計)は、全体の9.5割以上を占める。

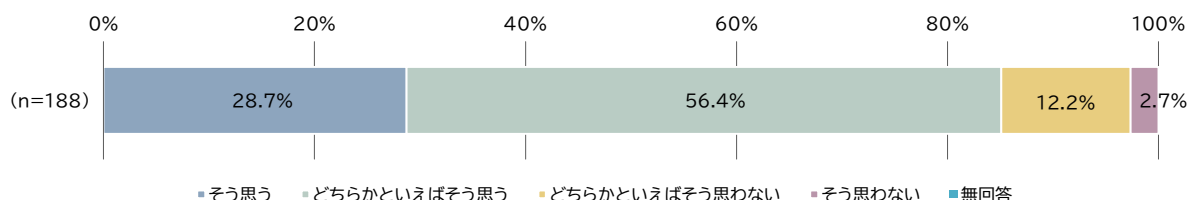
図表 16 区と協力して地域課題の解決やまちづくりを進める重要性 (SA)



③ 地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいか

地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいと思う割合（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計）は、全体の約 8.5 割を占める。

図表 17 地域課題の解決やまちづくりへの参加意向（SA）



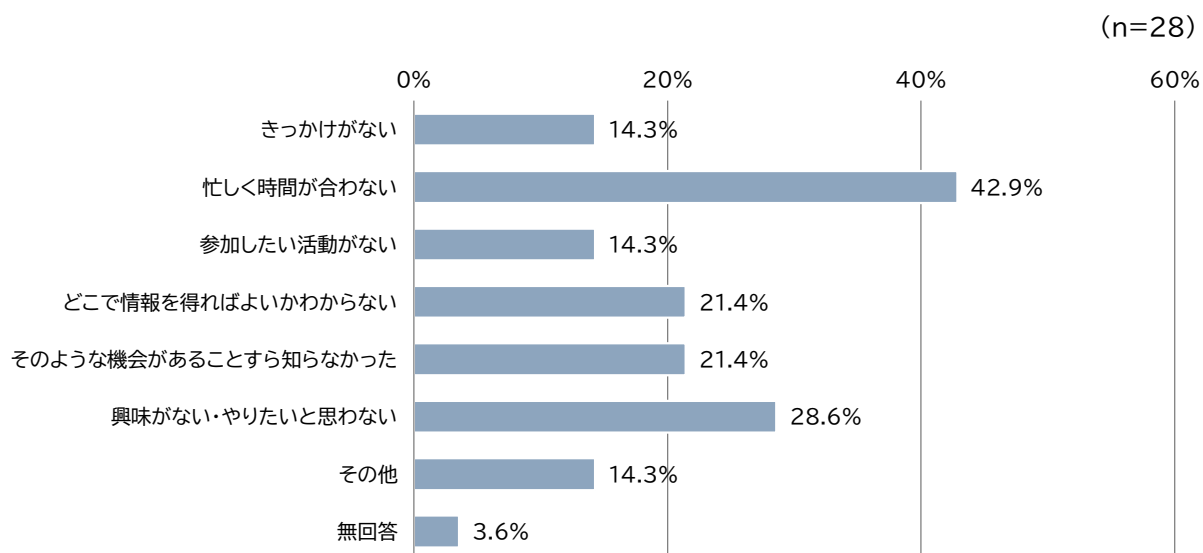
④ 地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由

地域課題の解決やまちづくりへの参加に対し関わりたいと思わない（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」）と回答した方を対象にその理由を確認した。

地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由としては、「忙しく時間が合わない（42.9%）」、「興味がない・やりたいと思わない（28.6%）」、「どこで情報を得ればよいかわからない（21.4%）」「そのような機会があることすら知らなかった（21.4%）」の順に高い。

「その他」の回答として、「高齢のため難しい」、「健康上の問題」、「過去に何年か経験したが、縦割り行政の問題を感じる」、「一部の方のみで牛耳られている団体がある」等が挙げられた。

図表 18 地域課題の解決やまちづくりへ参加したいと思わない理由（MA）



⑤ 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式

参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式は、「SNS 等によるアンケート（78.7%）」、「地域の課題解決やまちづくりに関する対面ワークショップ（44.1%）」、「オンラインでの意見交換等（29.3%）」の順に高い。

「その他」の回答として、「定期的な紙面によるアンケートと、イベント・区の施設、町内会等での回収」、「子どもや若者中心の意見交換」、「区の職員が区民の集まりに参加する形でのヒアリング」、「公共の道路や公園の清掃」等が挙げられた。

図表 19 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式（MA）

